
武蔵野市子ども・子育て支援に関する
アンケート調査報告書

平成31年（2019年）3月
武蔵野市

目次

I. 調査概要	1
II. 調査結果の概要	2
1. 回答者の属性	2
2. 調査対象児童及び家族等の状況	4
(1) 調査対象児童の年齢	4
(2) 児童の保護者の子ども全員の人数と末子の学年年齢	5
(3) 児童の身の回りの世話をしている人と児童の同居者・近親者の状況	6
(4) 母親の就労状況	8
(5) 父親の就労状況	23
(6) 就労の転換希望	28
(7) 就労していない保護者の就労希望	31
(8) 出産前後の離職状況	37
(9) 離職者の就労継続可能性とその条件	38
3. 子育ての状況	39
(1) 理想的な子どもの人数と実際に育てられると思う子どもの人数	39
(2) 実際に育てられると思う子どもの数が、理想とする子どもの数より少ない理由	40
(3) 実際に育てられると思う子どもの数が、理想とする子どもの数より少ない最大の理由	41
(4) 子どもを預かってもらえる親族・知人の有無	42
(5) 子育てに関して悩んでいることや気になること	43
(6) 相談できる人や場所の有無	46
(7) 子育て・家庭教育に関する相談先	47
(8) 必要なサポートで重要だと思うもの	50
(9) 子育て・家庭教育をする上で、周囲からあればよいと思うサポート	51
(10) 第一子が生まれる前に赤ちゃんの世話をした経験の有無	52
(11) 妊娠中にほしいサービスやしたかったこと	53
(12) 産後（退院してすぐ）に困ったことや欲しいサービスのこと	54
(13) 子育て中（これからのこと）にほしいサービスやしたいこと	56
(14) 市の就学援助費制度の認知度	57
(15) 妊娠中に相談できると良かったと思うタイミング	58
(16) 出産後に相談できると良かったと思うタイミング	59
4. 子育て支援サービスや地域子育て支援事業の利用状況	60
(1) 子育て支援サービス・地域子育て支援事業の利用状況	60
(2) 地域子育て支援施設の利用状況	69
5. 教育・保育事業の利用状況	91
(1) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況	91
(2) 定期的に利用したいと考えている教育・保育事業	116

6. 子どもの病気の際の対応や一時預かり等の状況	139
(1) 病気の際の対応と病児・病後児施設の利用状況	139
(2) 一時預かり等の利用	149
7. 児童の放課後の過ごし方	166
(1) 学童クラブの利用状況	166
(2) 『地域子ども館あそべえ』の利用状況	181
8. 育児休業などの仕事と子育ての両立支援制度	191
(1) 育児休業の取得状況	191
(2) 育児休業を取得していない理由	192
(3) 育児休業取得後の職場復帰状況	193
(4) 育児休業から職場復帰した時の子どもの年齢と職場復帰を希望する子どもの年齢	194
(5) 仕事と子育てを両立させる上で大変だと思うこと	196
9. 市の子育て環境や支援への満足度、意見等	197
(1) 市の子育て環境や支援への満足度	197
(2) 市の子育て環境や支援に関する意見	200
Ⅲ. 調査票	203

I. 調査概要

1. 調査の目的

本調査は、市民の皆様の子育てに関する状況や武蔵野市の子育て支援サービスに対するご要望・ご意見、保育ニーズ、子育て世帯の生活状況等について把握し、2020年から2024年を期間とする子ども子育て支援事業計画「第五次子どもプラン武蔵野」策定の基礎資料とすることを目的として実施しました。

2. 実施概要

平成30年7月の武蔵野市の住民基本台帳に基づき、下表に示したそれぞれの対象データから無作為に抽出し、郵送配布・回収を行いました。配布数、有効回収数、有効回収率は下表のとおりです。

対象（対象児童について保護者が記入）	調査票種類	配布数	有効回収数	有効回収率
平成30年4月1日時点で未就学の児童	未就学児童 保護者用	1,400票	768票	54.9%
平成30年4月1日時点で小学生の児童	小学生児童 保護者用	1,200票	682票	56.8%

3. 報告書の見方

報告書の見方は、以下のとおりです。

- ①図表内の「N」は、設問に対する回答者数です。
- ②単数回答の設問は帯グラフ、複数回答の設問は棒グラフとします。
- ③集計は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示しているため、比率の合計が100.0%とならない場合があります。
- ④複数回答を求めた設問では、設問に対する回答者数を基数として算出しているため、回答比率の合計が100.0%を超えることがあります。
- ⑤クロス集計表では性別や年齢について無回答の人を除いているため、回答者数と数が合わないことがあります。
- ⑥本文や図表内の選択肢表記は、場合によっては語句を短縮・簡略化しています。
- ⑦母数Nが10未満の結果については、分析の対象外とします。
- ⑧クロス集計は【列の設問 × 行の設問】で表記しています。

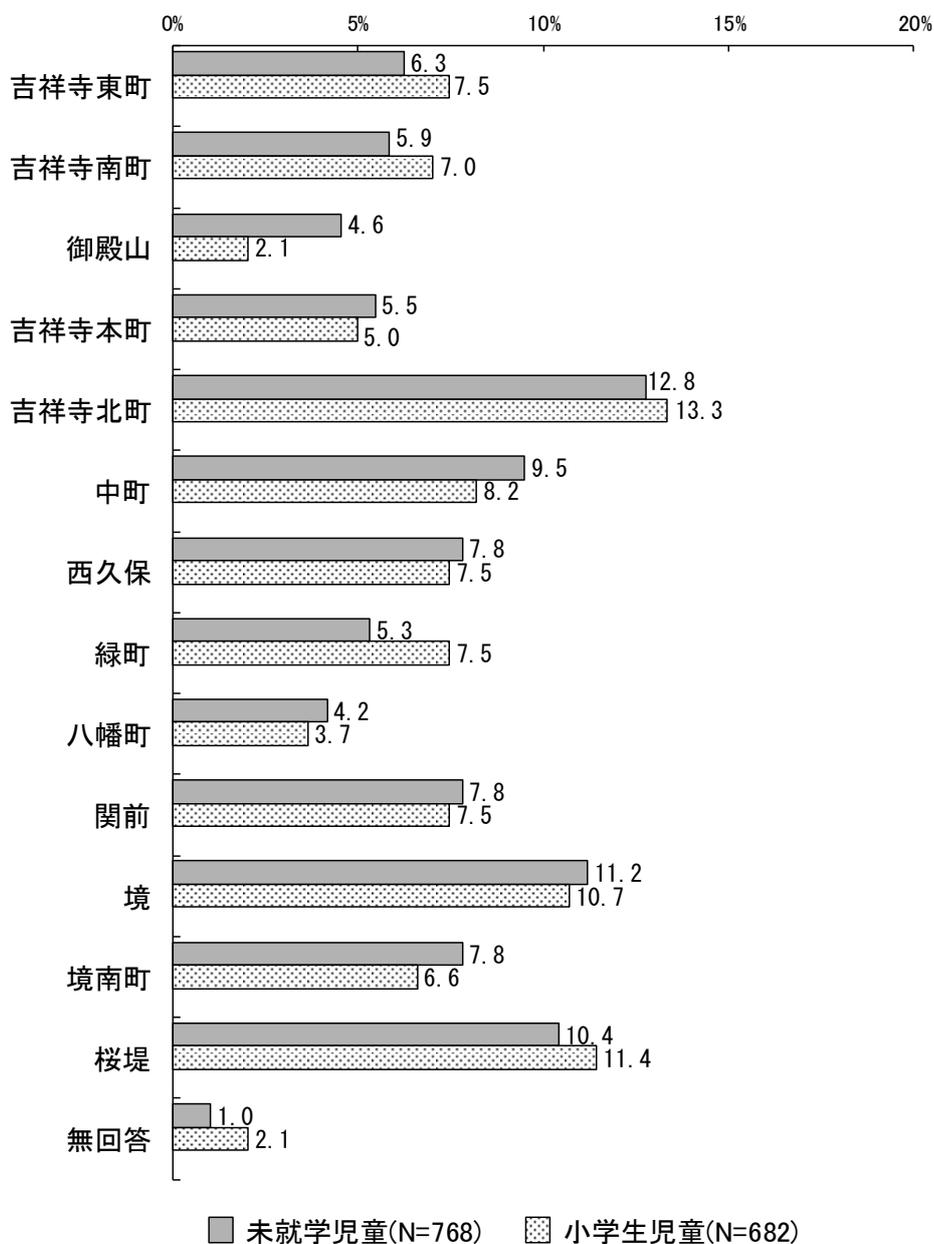
II. 調査結果の概要

1. 回答者の属性

① 回答者の居住地区（単数回答）

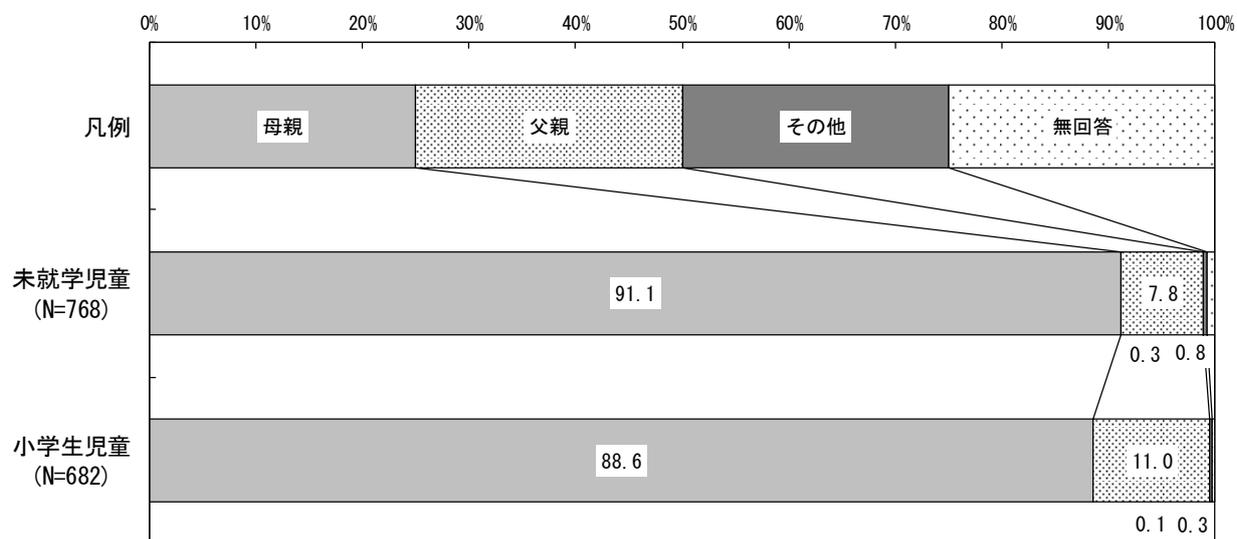
（未就学児童：問1 小学生児童：問1）

未就学児童では、「吉祥寺北町」（12.8%）、「境」（11.2%）、「桜堤」（10.4%）の順になっています。小学生児童では、「吉祥寺北町」（13.3%）、「桜堤」（11.4%）、「境」（10.7%）の順になっています。



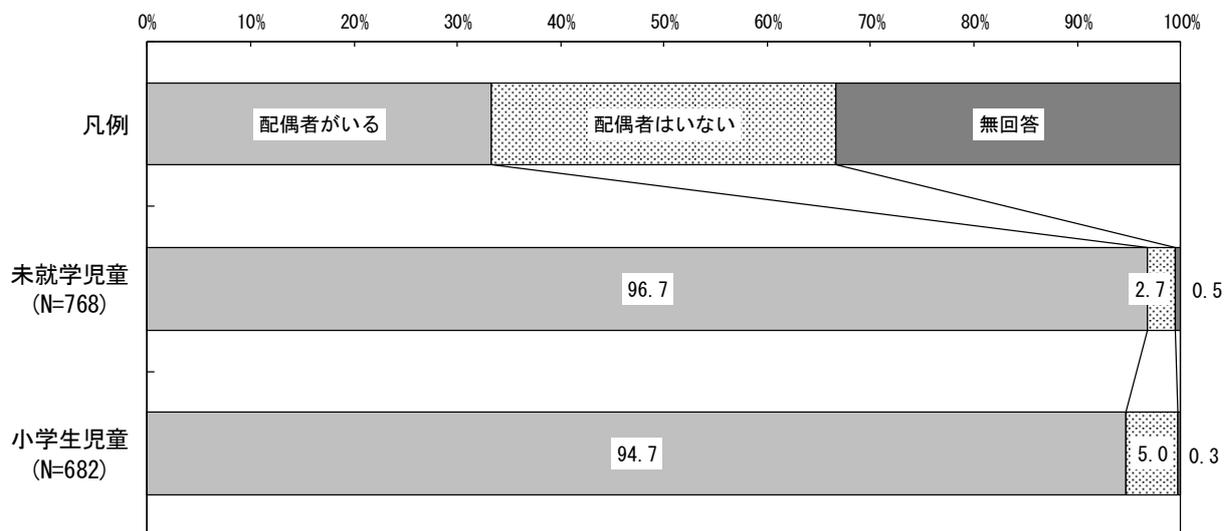
② アンケートの回答者（単数回答）
 （未就学児童：問4 小学生児童：問4）

未就学児童、小学生児童ともに「母親」が9割程度となっています。



③ アンケート回答者の配偶関係（単数回答）
 （未就学児童：問5 小学生児童：問5）

未就学児童、小学生児童ともに「配偶者がいる」が9割を超えています。



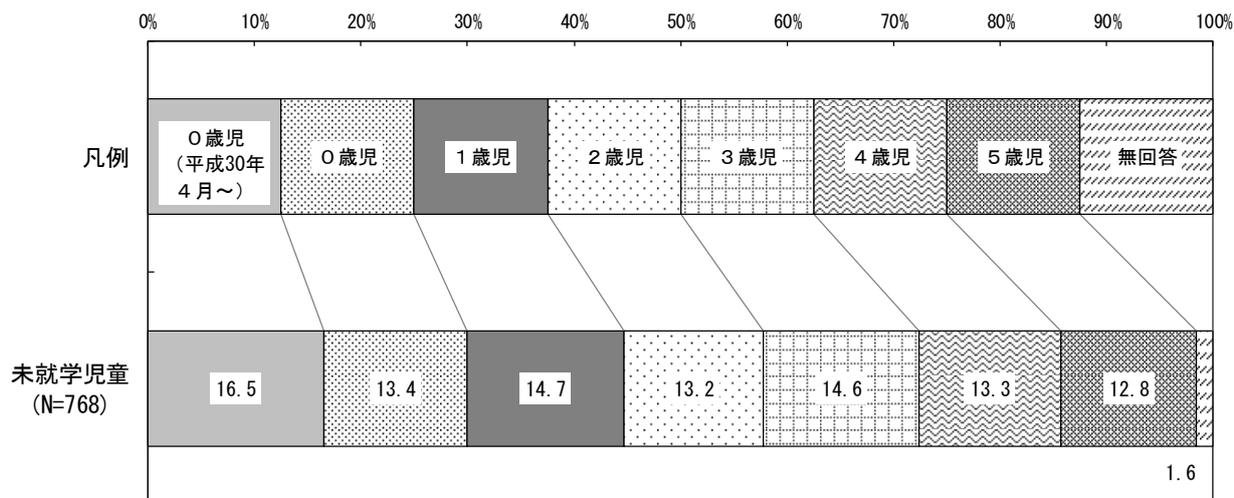
2. 調査対象児童及び家族等の状況

(1) 調査対象児童の年齢

(未就学児童：問2 小学生児童：問2)

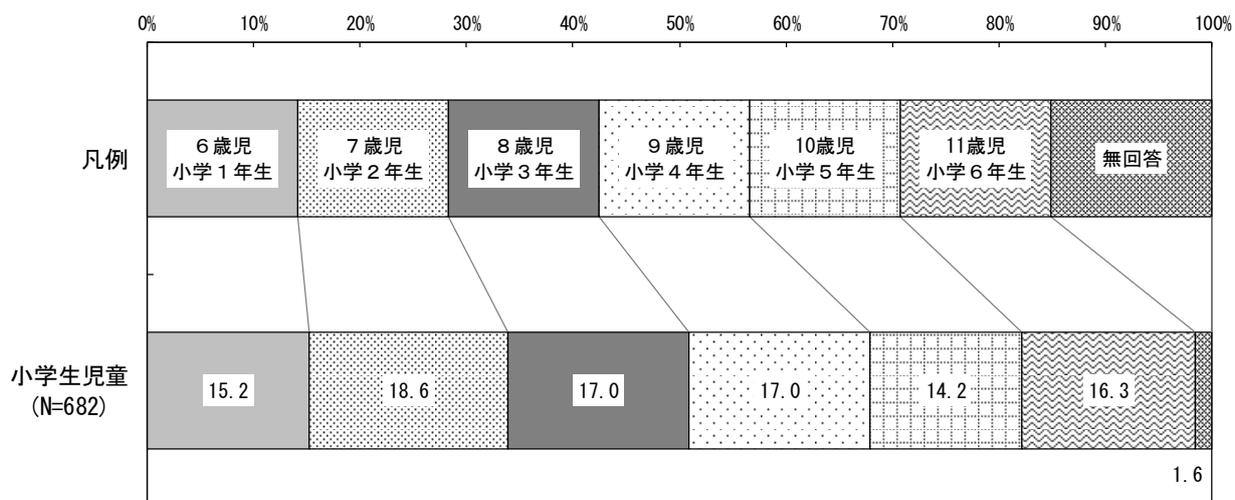
① 未就学児童の学年年齢 (数量回答)

「0歳児 (平成30年4月～)」が16.5%と最も多く、次いで「1歳児」(14.7%)となっています。



② 小学生児童の学年年齢 (数量回答)

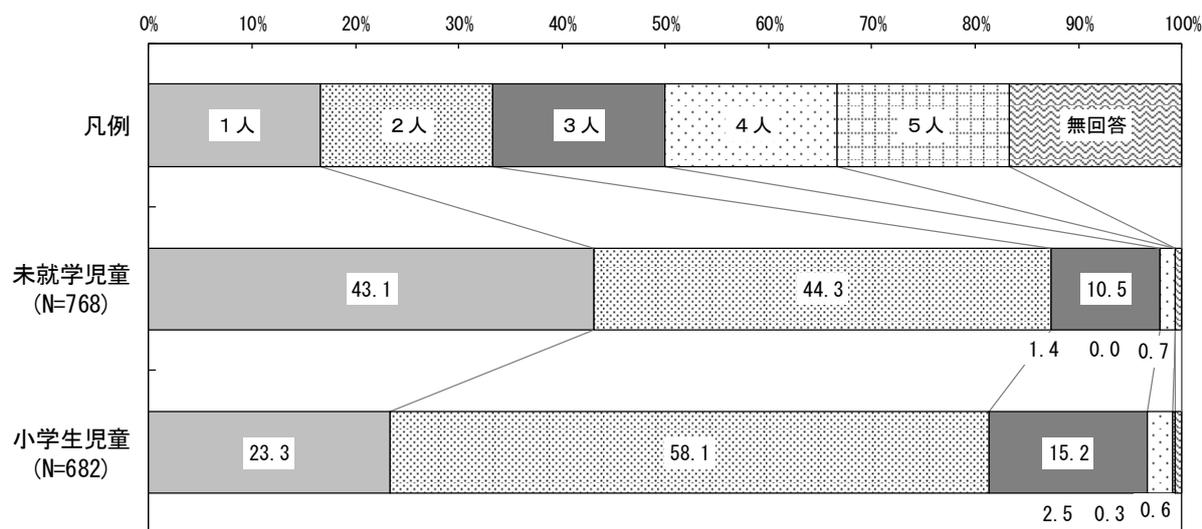
「7歳児」が18.6%と最も多く、次いで「8歳児」および「9歳児」がともに17.0%となっています。



**(2) 児童の保護者の子ども全員の人数と末子の学年年齢
(未就学児童：問3 小学生児童：問3)**

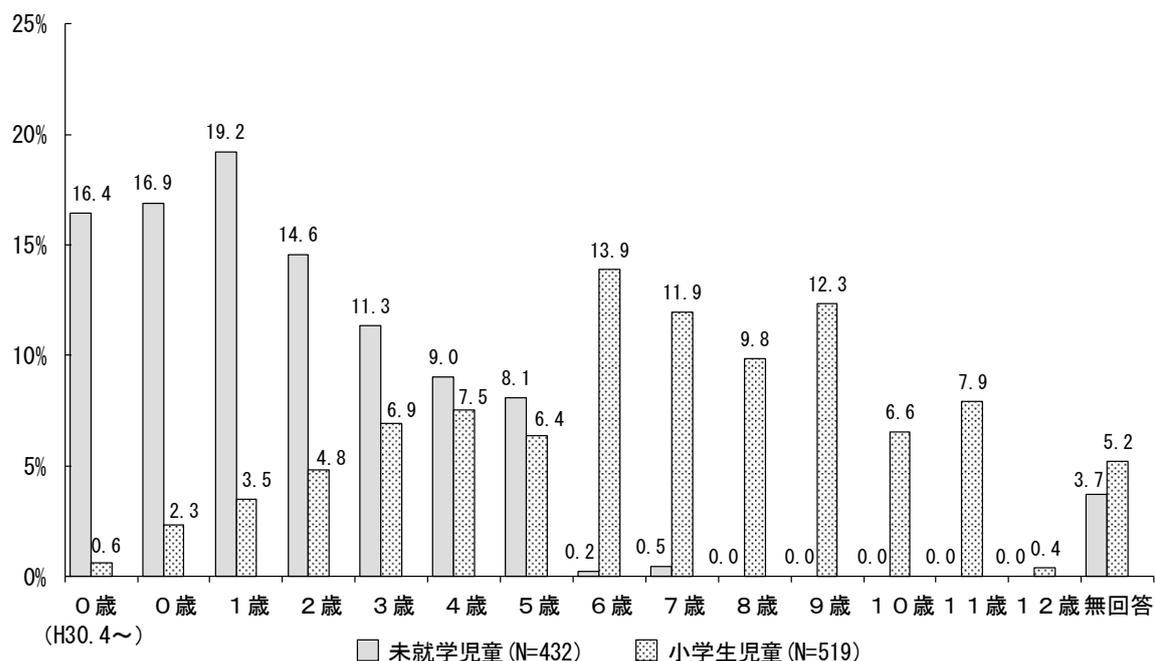
① 児童の保護者の子ども全員の人数 (数量回答)

未就学児童保護者、小学生児童保護者ともに「2人」が最も多く、それぞれ44.3%、58.1%となっています。次いで「1人」が未就学児童保護者で43.1%、小学生児童保護者で23.3%となっています。



② 末子の学年年齢 (子どもが2人以上いる世帯 数量回答)

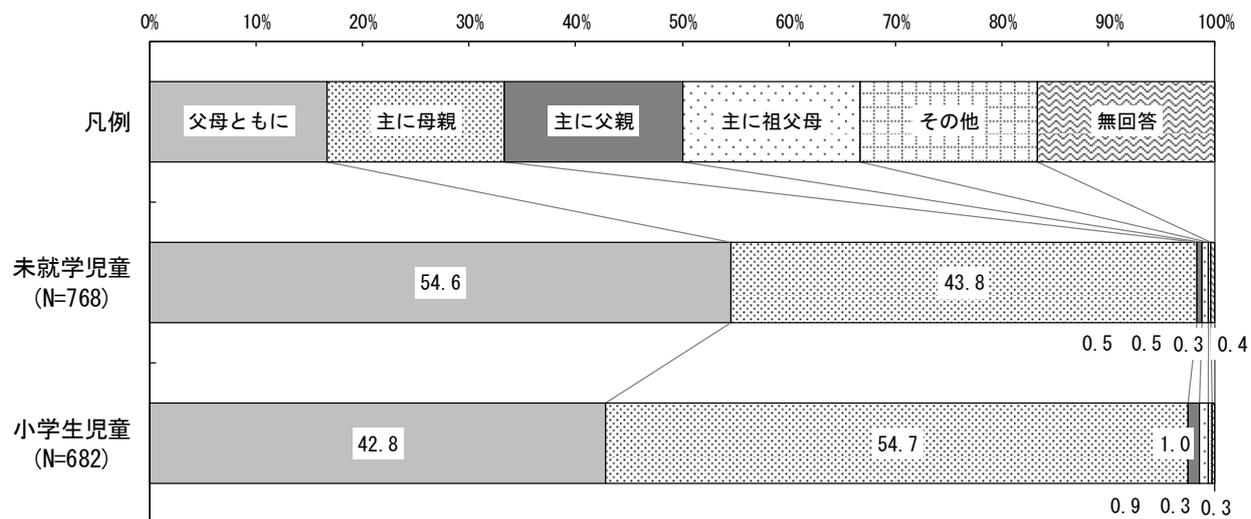
未就学児童保護者では「1歳」が19.2%と最も多く、小学生児童保護者では、「6歳」が13.9%と最も多くなっています。



(3) 児童の身の回りの世話をしている人と児童の同居者・近親者の状況

① 児童の身の回りの世話を主にしている人（単数回答） （未就学児童：問6 小学生児童：問6）

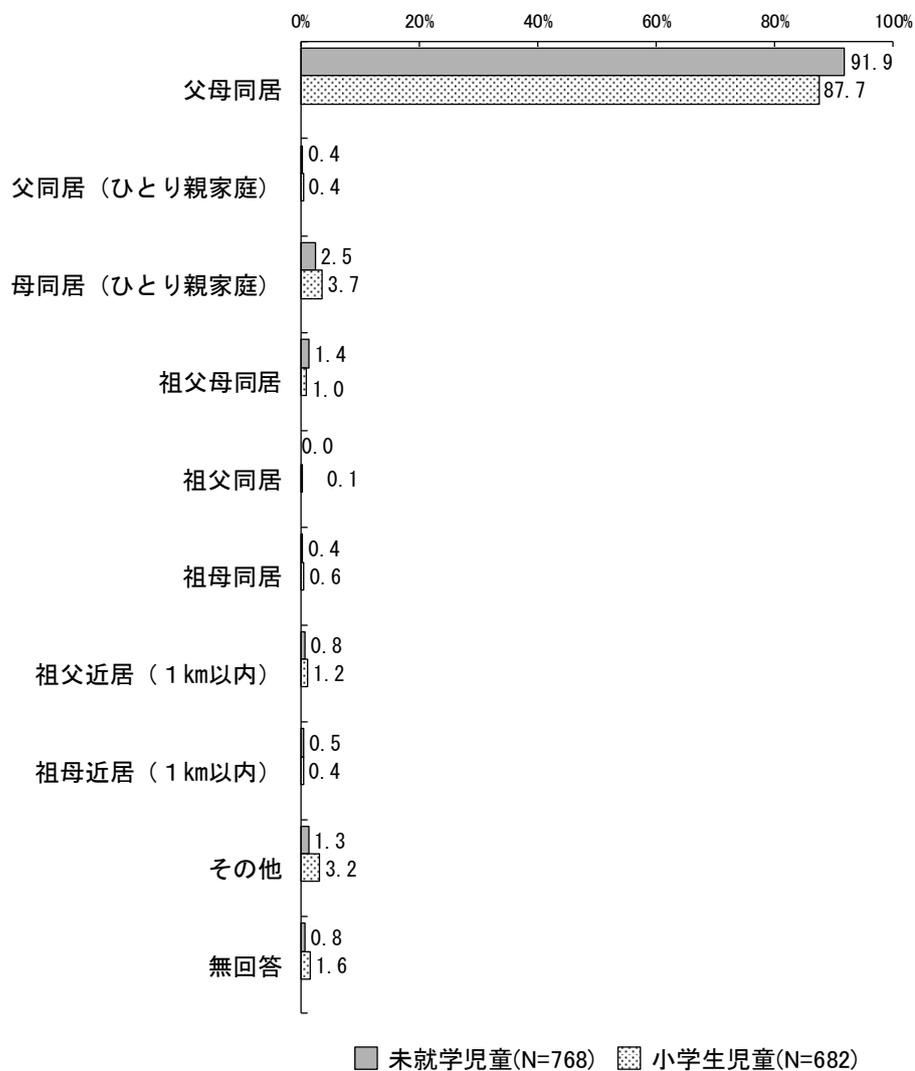
未就学児童保護者では、「父母ともに」が54.6%と最も多く、小学生児童保護者では、「主に母親」が54.7%となっています。



② 児童の同居者・近親者の状況（複数回答）

（未就学児童：問7 小学生児童：問7）

未就学児童、小学生児童ともに「父母同居」が9割前後となっています。



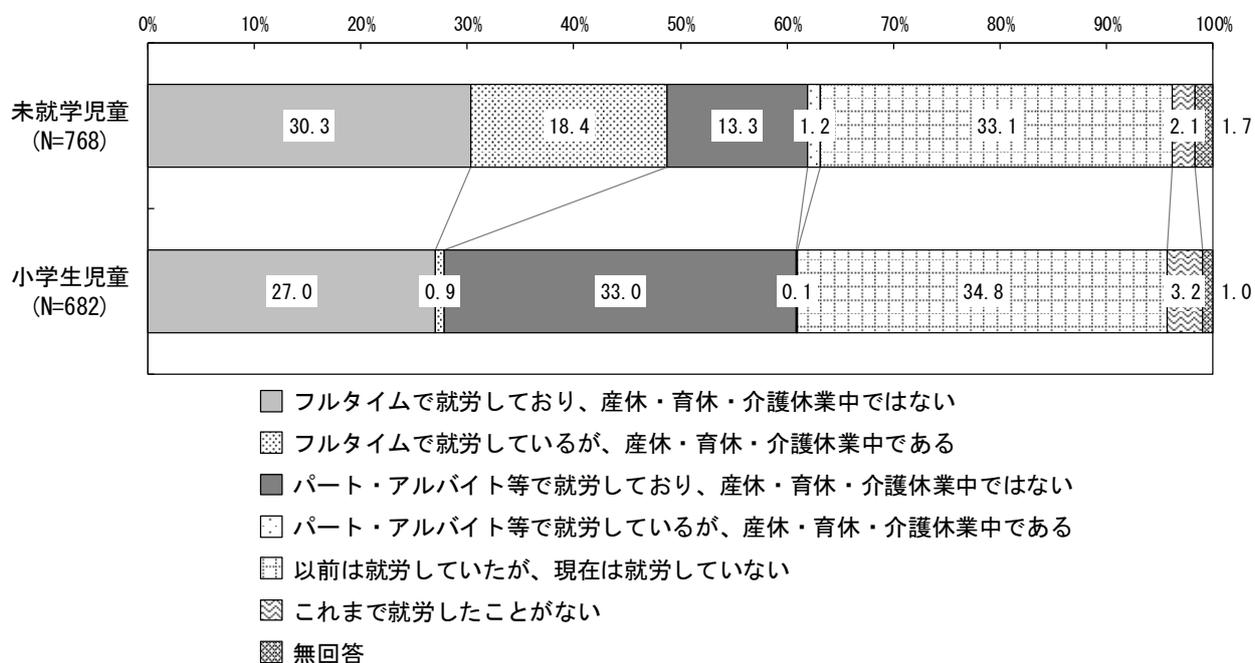
(4) 母親の就労状況

① 母親の就労状況 (単数回答)

(未就学児童：問 24 小学生児童：問 14)

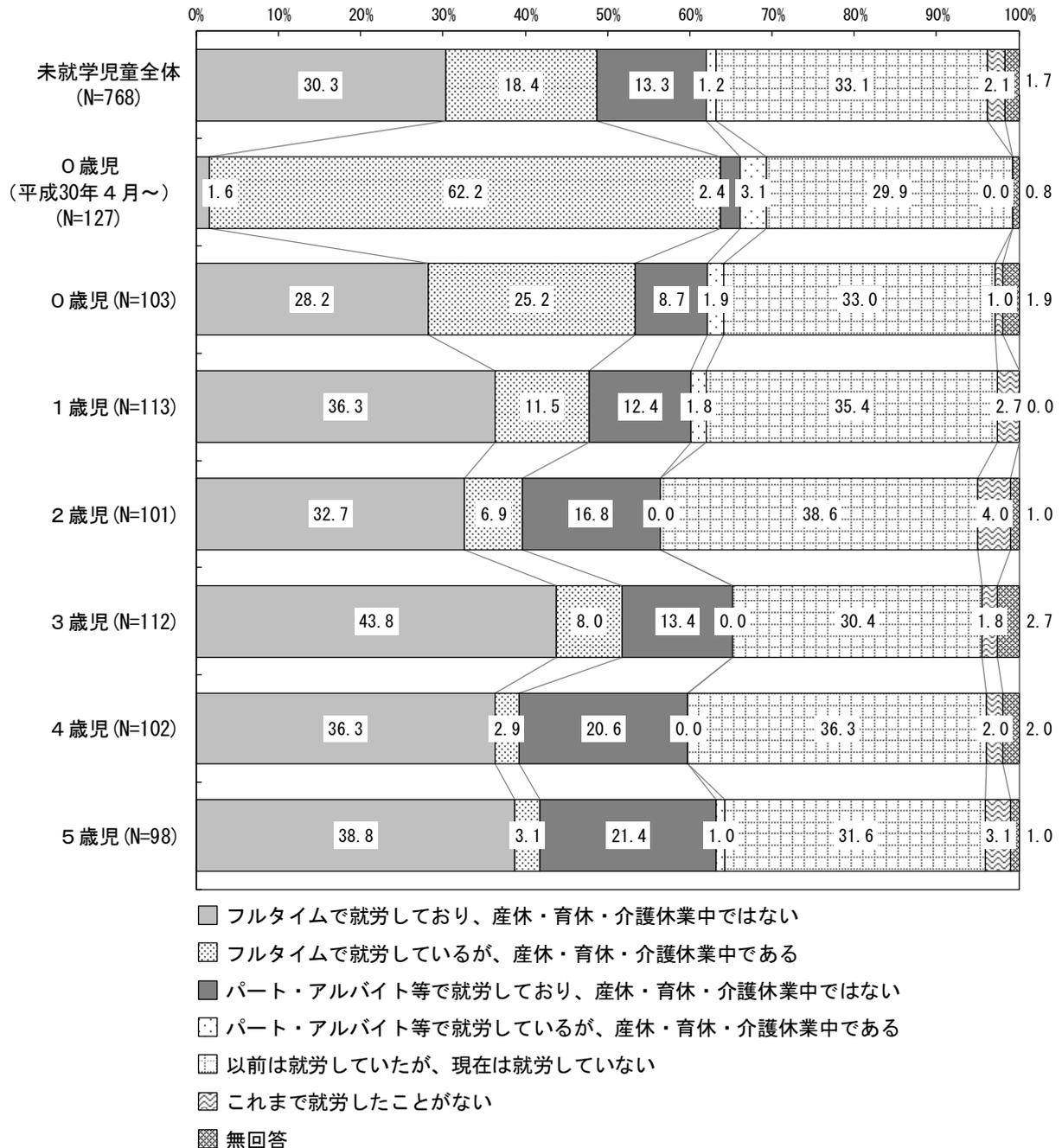
母親の就労状況について、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合は、未就学児童保護者、小学生児童保護者で大差はありませんが、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」の割合は、未就学児童保護者が 18.4%、小学生児童保護者が 0.9%となっています。

パート・アルバイト等の就労状況を見ると、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合は、未就学児童保護者の 13.3%に対し、小学生児童保護者が 33.0%となっています。「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合は、未就学児童保護者、小学生児童保護者ともに3割台となっています。



【学年年齢 × 母親の就労状況（未就学児童）】

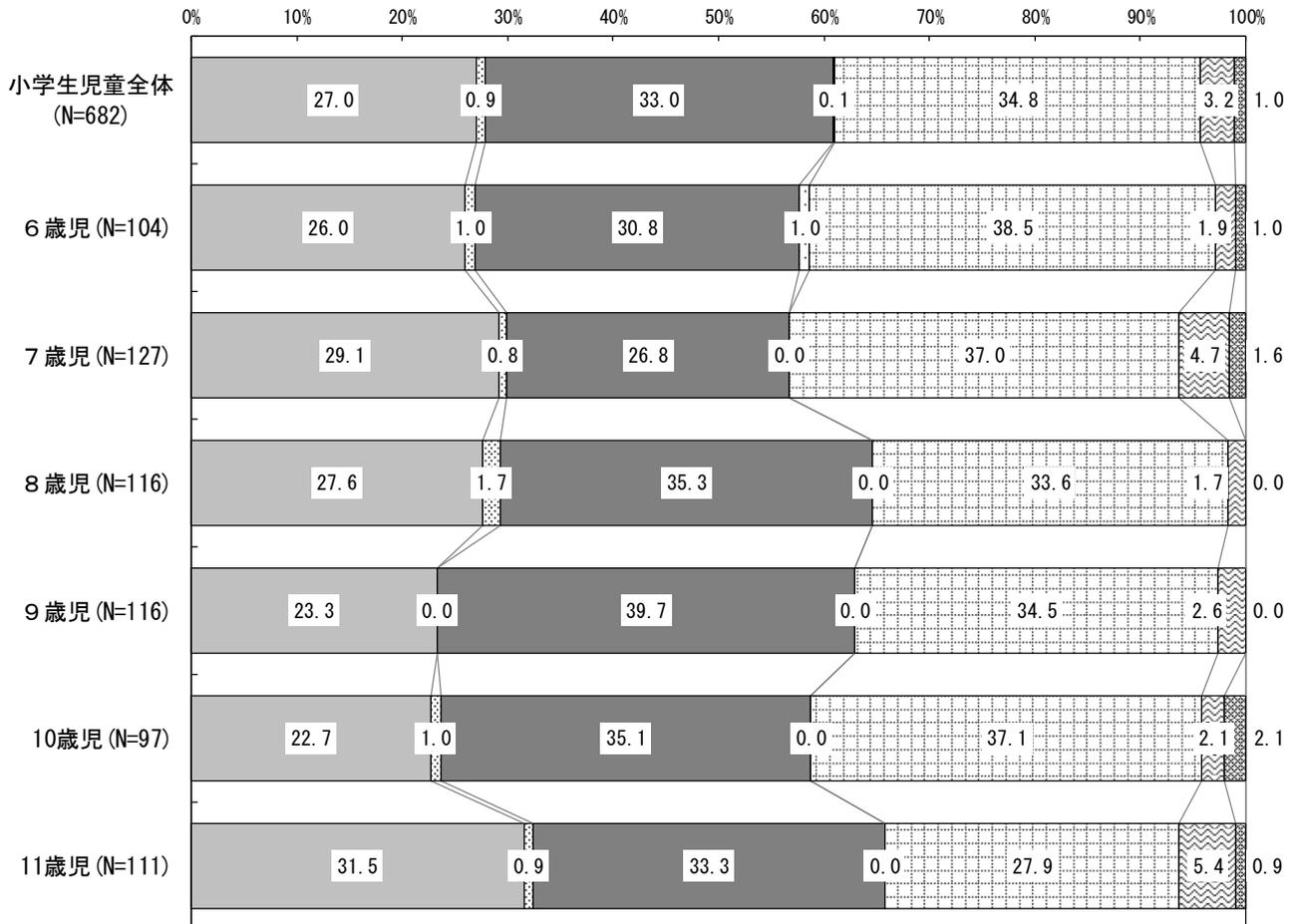
未就学児童保護者の就労状況を学年年齢別にみると、「0歳児（平成30年4月～）」の母親は、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」が62.2%と最も多くなっています。



※学年年齢が不明は除く。

【学年年齢 × 母親の就労状況（小学生児童）】

小学生児童保護者の就労状況を学年年齢別にみると、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合は、6歳児の保護者で38.5%となっており、学年年齢が高くなるにつれて減少する傾向にあります。11歳児の保護者では、27.9%と3割を下回っています。

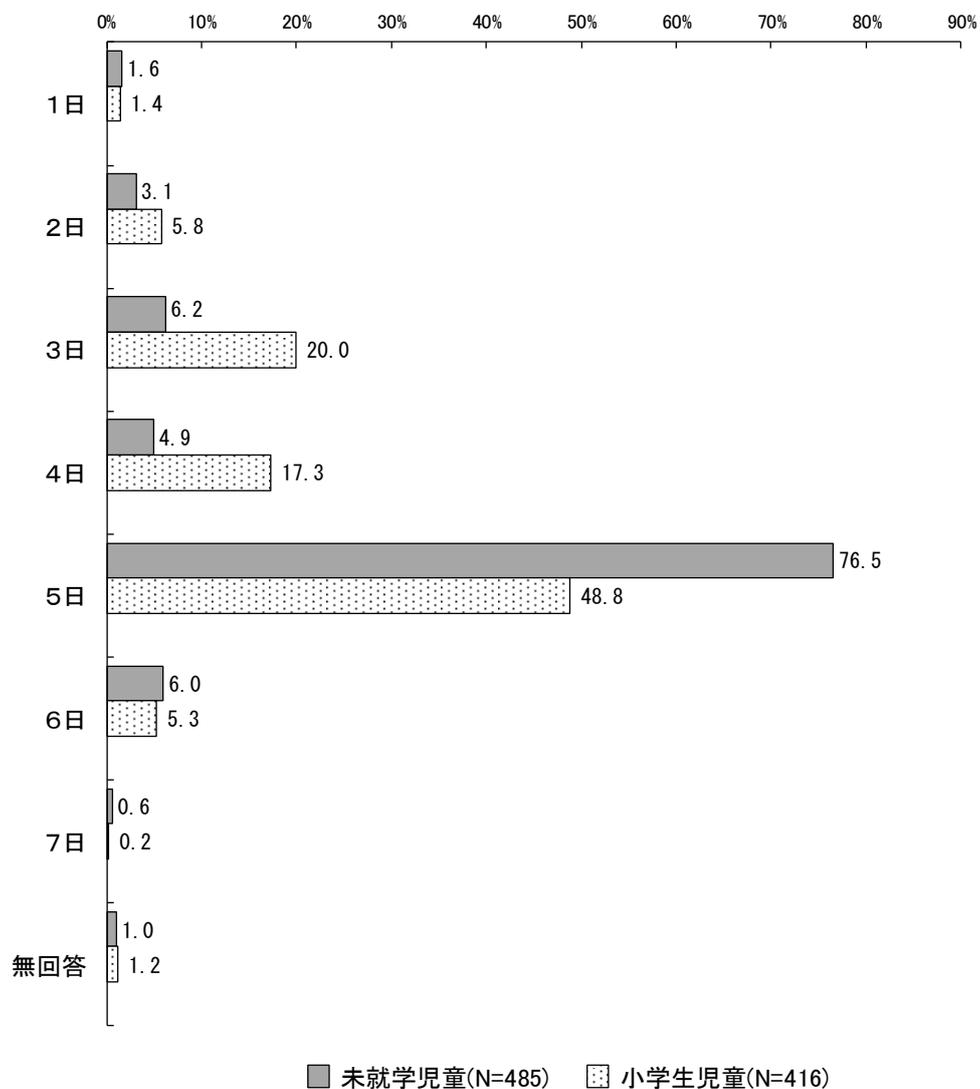


- フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- ▨ フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- ▨ パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- ▨ 以前は就労していたが、現在は就労していない
- ▨ これまで就労したことがない
- ▨ 無回答

※学年年齢が不明は除く。

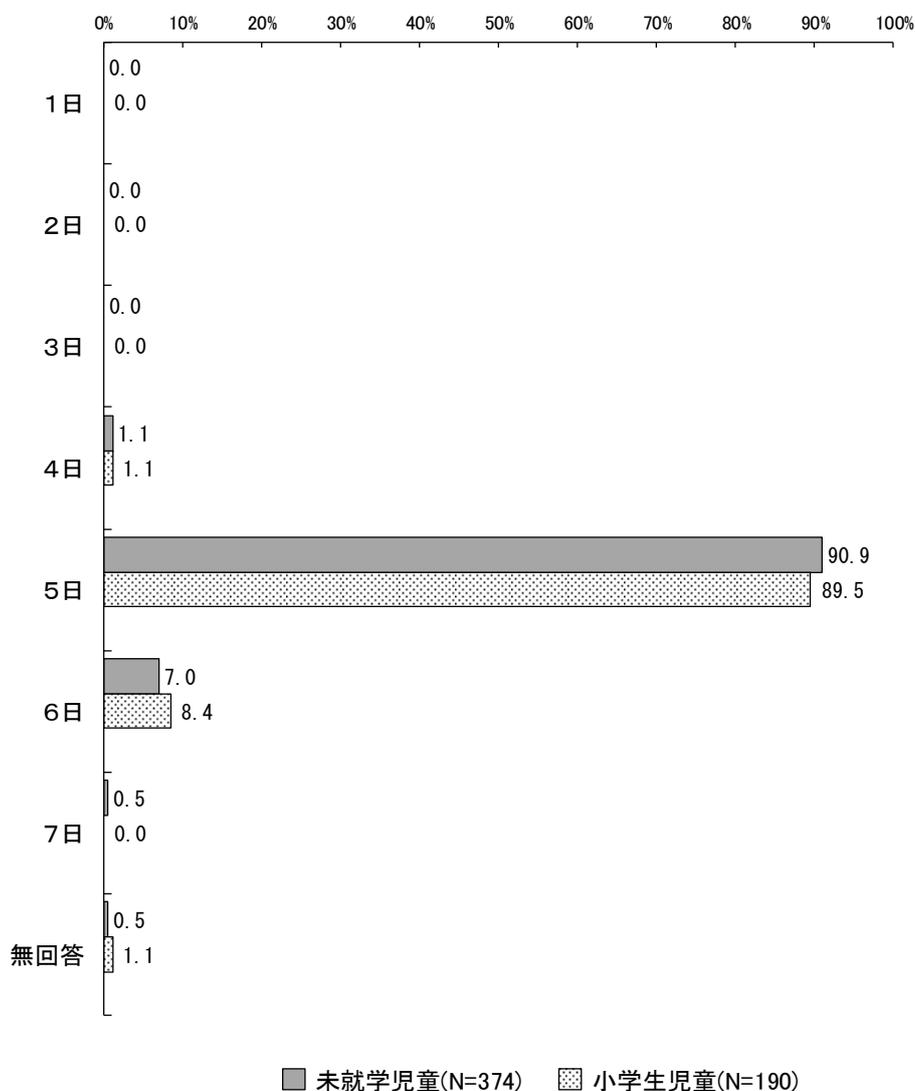
② 母親の1週あたりの就労日数（就労者全体 数量回答）
 （未就学児童：問 24 小学生児童：問 14 「就労している」と回答
 した方のみ）

就労している母親における1週あたりの就労日数は、「5日」が未就学児童保護者、小学生児童保護者ともに最も多くなっています。



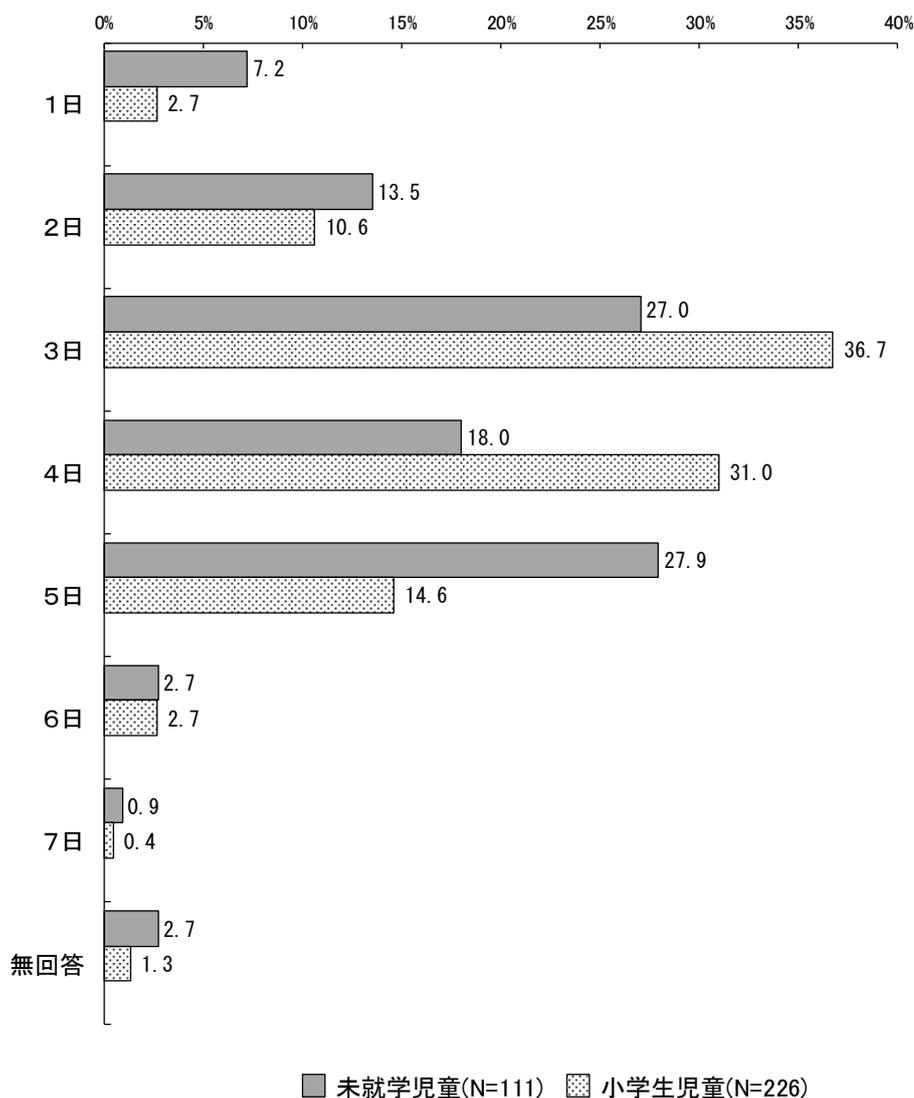
③ 母親の1週あたりの就労日数（フルタイム就労者 数量回答）
 （未就学児童：問 24 小学生児童：問 14 「就労している」と回答
 した方のみ）

フルタイムで就労している母親における1週あたりの就労日数は、未就学児童保護者、小学生児童保護者ともに「5日」が最も多くなっています。



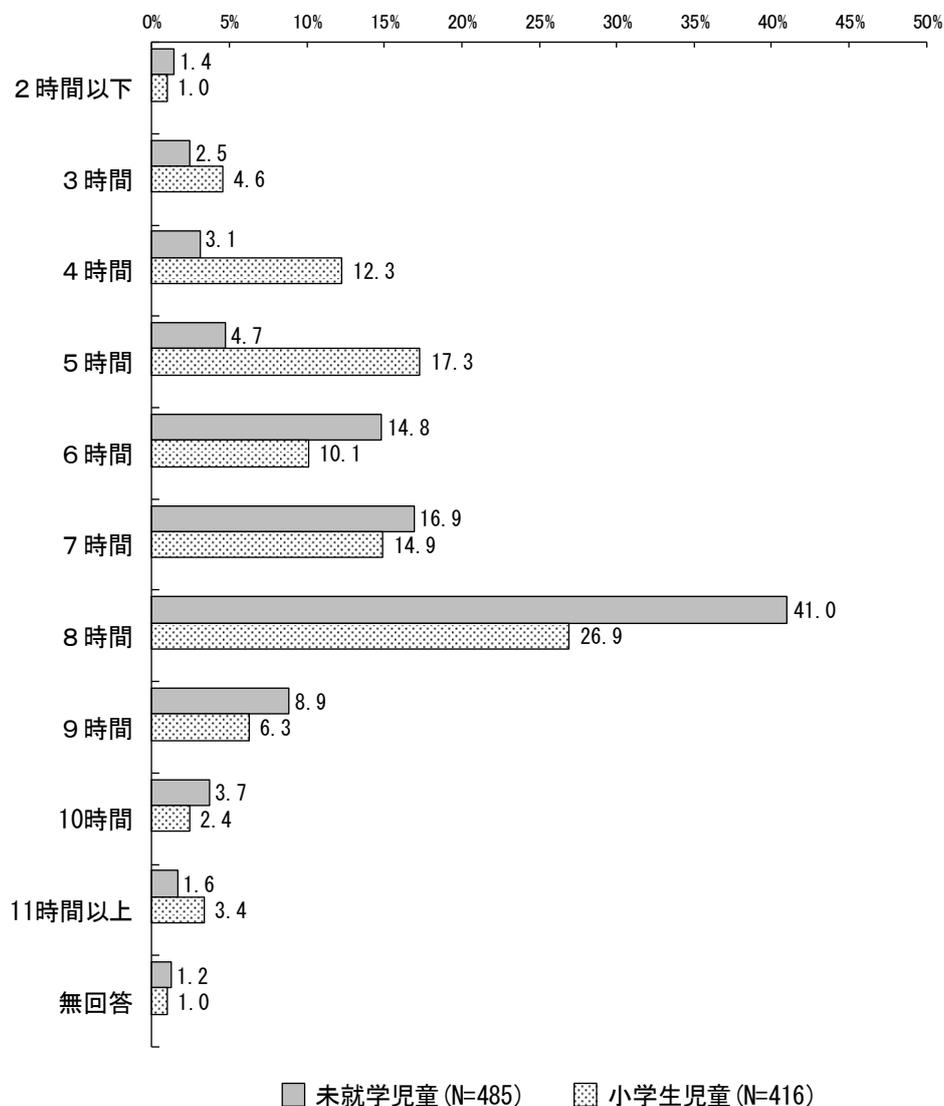
④ 母親の1週あたりの就労日数（パート・アルバイト等就労者 数量回答）
 （未就学児童：問 24 小学生児童：問 14 「就労している」と回答
 した方のみ）

パート・アルバイト等で就労している母親における1週あたりの就労日数は、未就学児童保護者では「5日」が27.9%と最も多く、次いで「3日」が27.0%となっています。また、小学生児童保護者では「3日」が36.7%と最も多く、次いで「4日」が31.0%となっています。



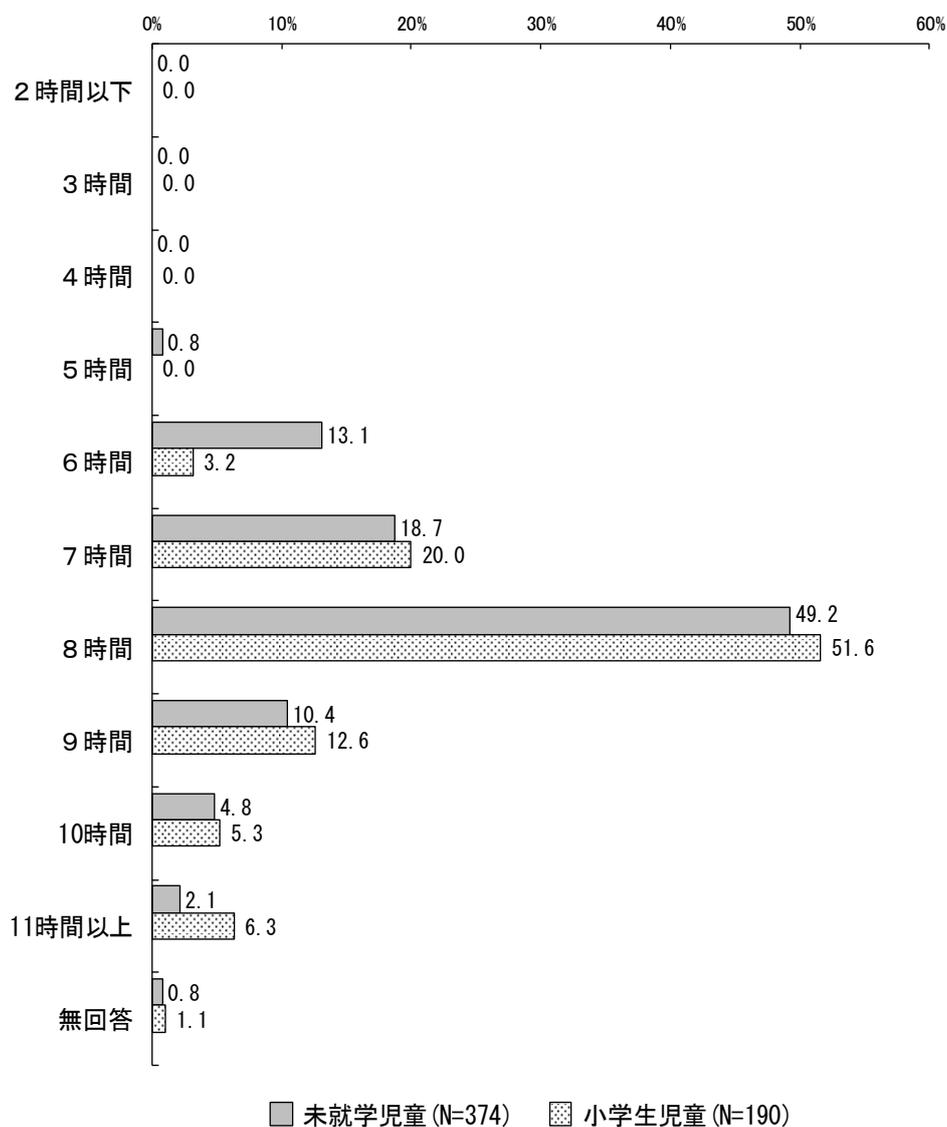
⑤ 母親の1日あたりの就労時間（就労者全体 数量回答）
 （未就学児童：問 24 小学生児童：問 14 「就労している」と回答
 した方のみ）

就労している母親における1日あたりの就労時間は、未就学児童保護者、小学生児童保護者ともに「8時間」が最も多く、それぞれ41.0%、26.9%となっています。



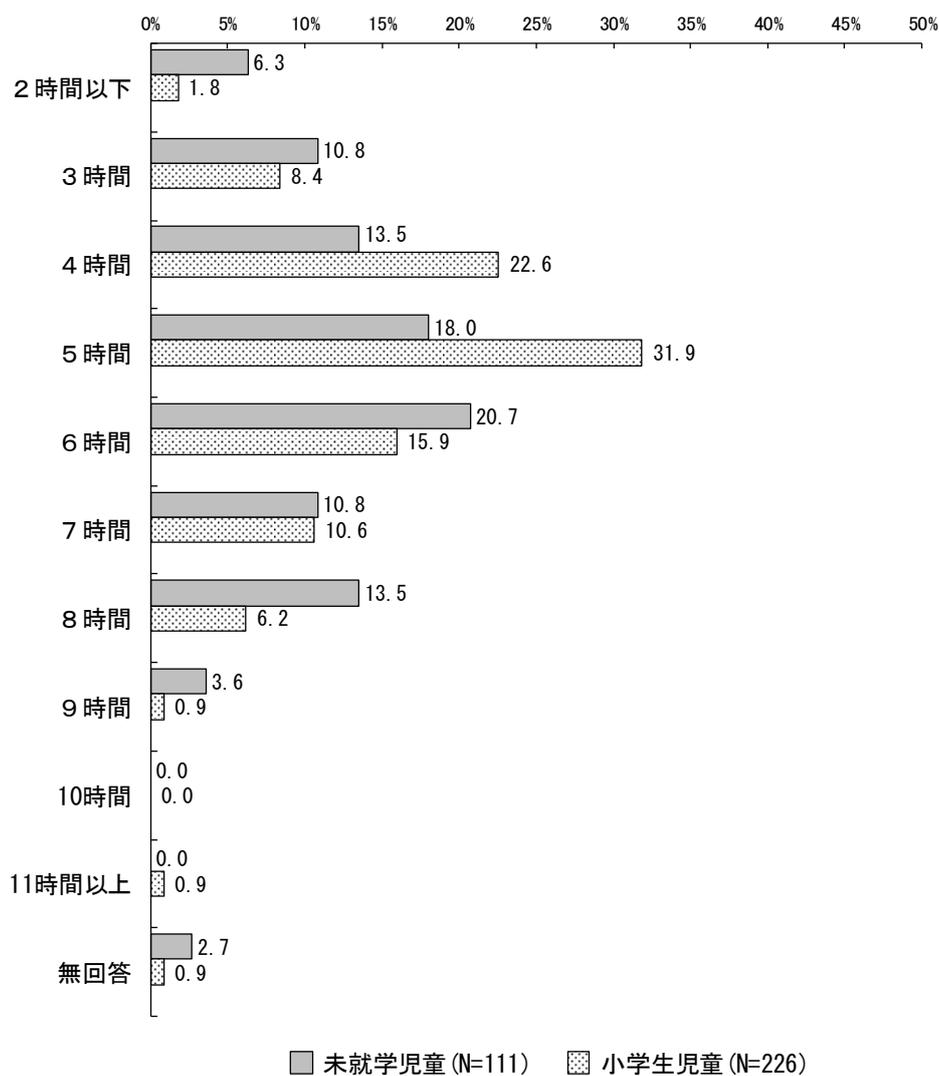
⑥ 母親の1日あたりの就労時間（フルタイム就労者 数量回答）
 （未就学児童：問 24 小学生児童：問 14 「就労している」と回答
 した方のみ）

フルタイムで就労している母親における1日あたりの就労時間は、「8時間」が最も多く、それぞれ49.2%、51.6%となっています。



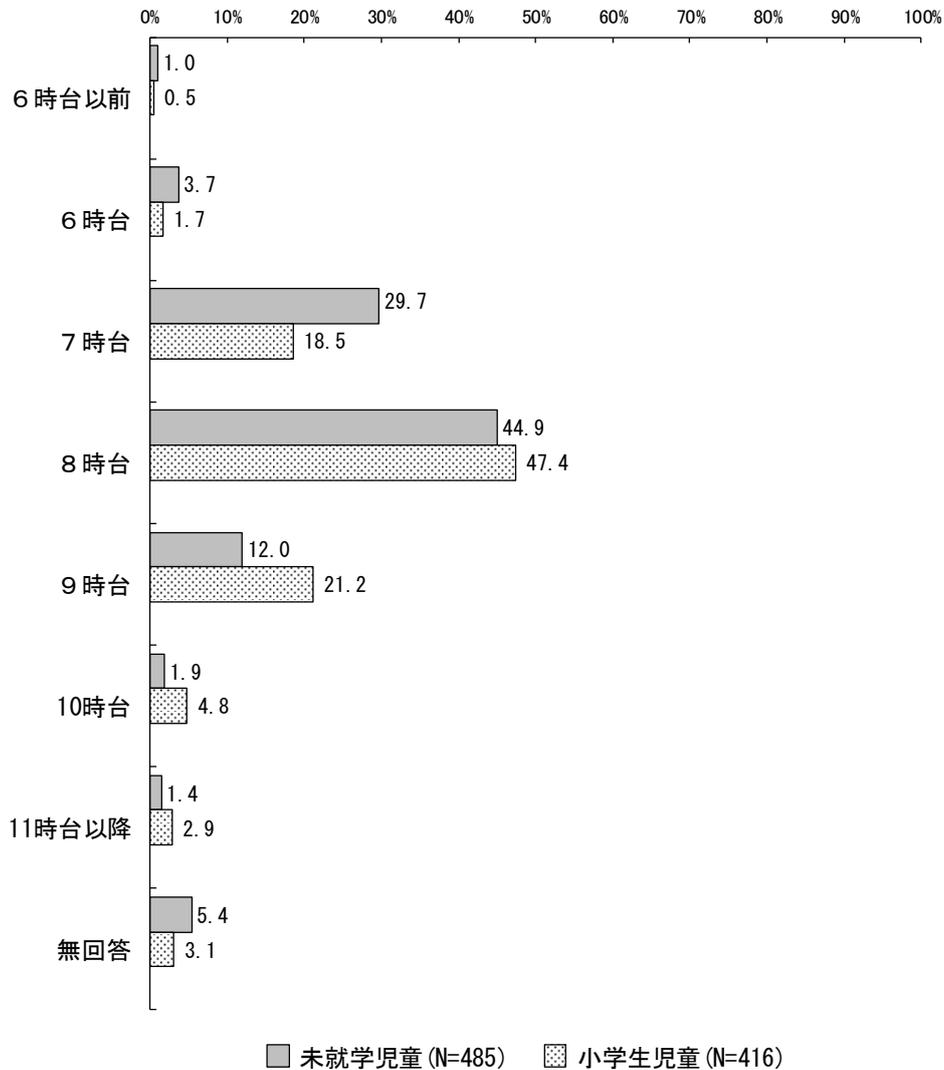
⑦ 母親の1日あたりの就労時間（パート・アルバイト等就労者 数量回答）
 （未就学児童：問 24 小学生児童：問 14 「就労している」と回答
 した方のみ）

パート・アルバイト等で就労している母親における1日あたりの就労時間は、未就学児童保護者は「6時間」が20.7%と最も多く、次いで「5時間」が18.0%となっています。小学生児童保護者は、「5時間」が31.9%と最も多く、次いで「4時間」が22.6%となっています。



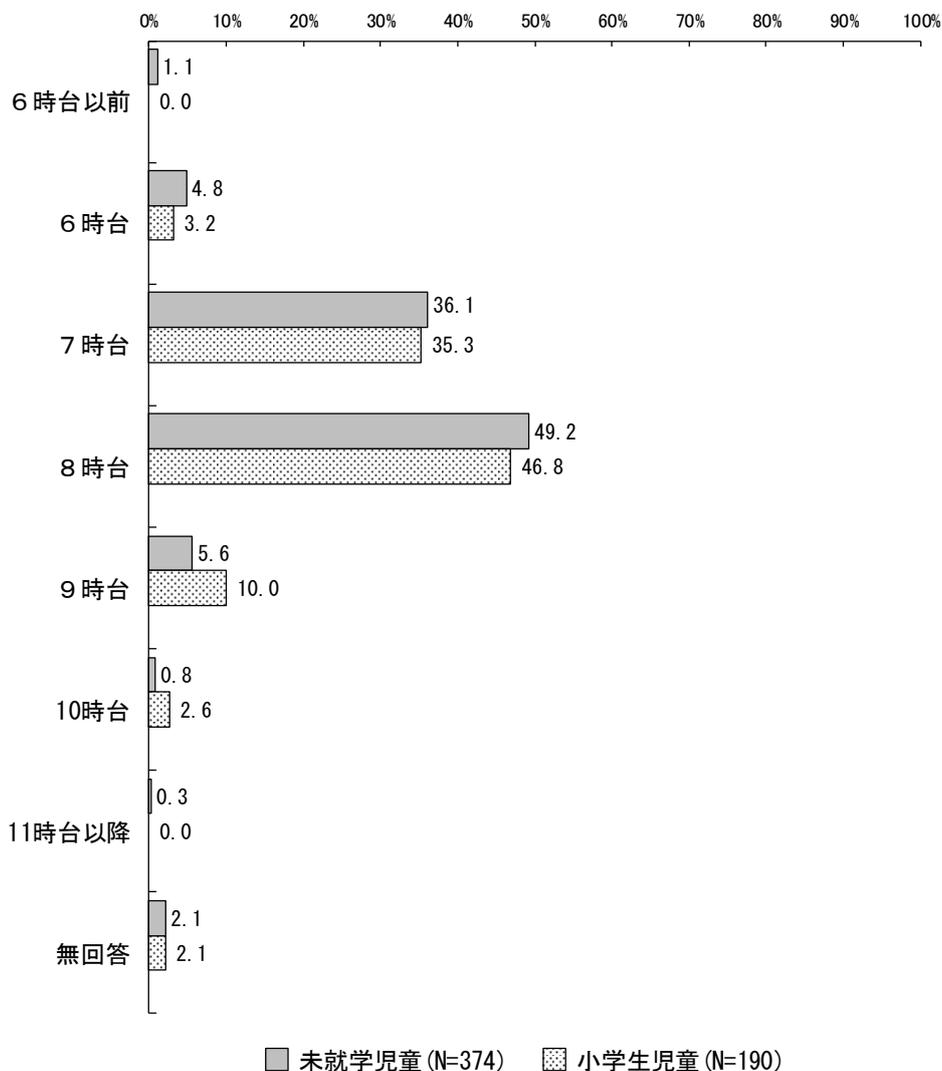
⑧ 母親の出勤時刻（就労者全体 数量回答）
 （未就学児童：問 24 小学生児童：問 14 「就労している」と回答
 した方のみ）

就労している母親の出勤時刻は、未就学児童保護者、小学生児童保護者ともに「8時台」が最も多く、それぞれ44.9%、47.4%となっています。次いで、未就学児童保護者では「7時台」が29.7%、小学生児童保護者では「9時台」が21.2%となっています。



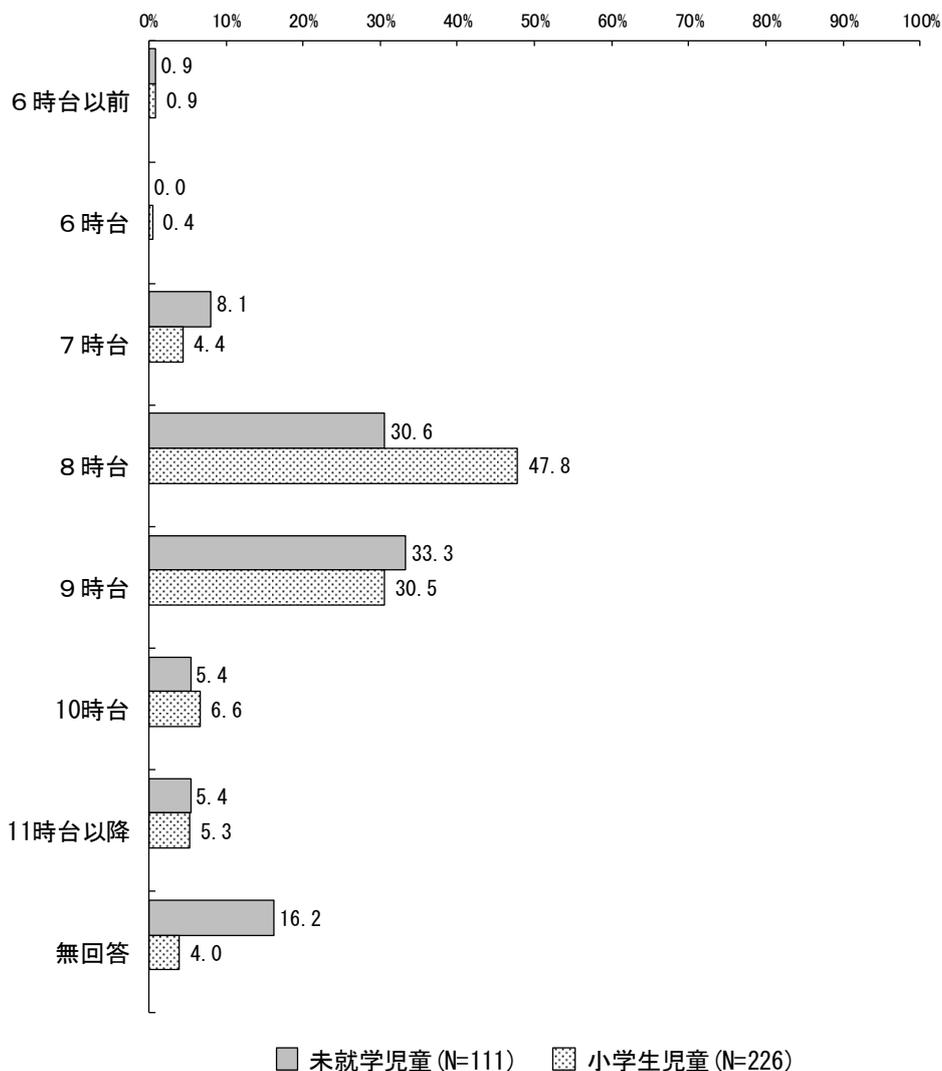
⑨ 母親の出勤時刻（フルタイム就労者 数量回答）
 （未就学児童：問 24 小学生児童：問 14 「就労している」と回答
 した方のみ）

フルタイムで就労している母親の出勤時刻は、未就学児童保護者、小学生児童保護者ともに「8時台」が最も多く、それぞれ49.2%、46.8%となっています。次いで「7時台」がそれぞれ36.1%、35.3%となっています。



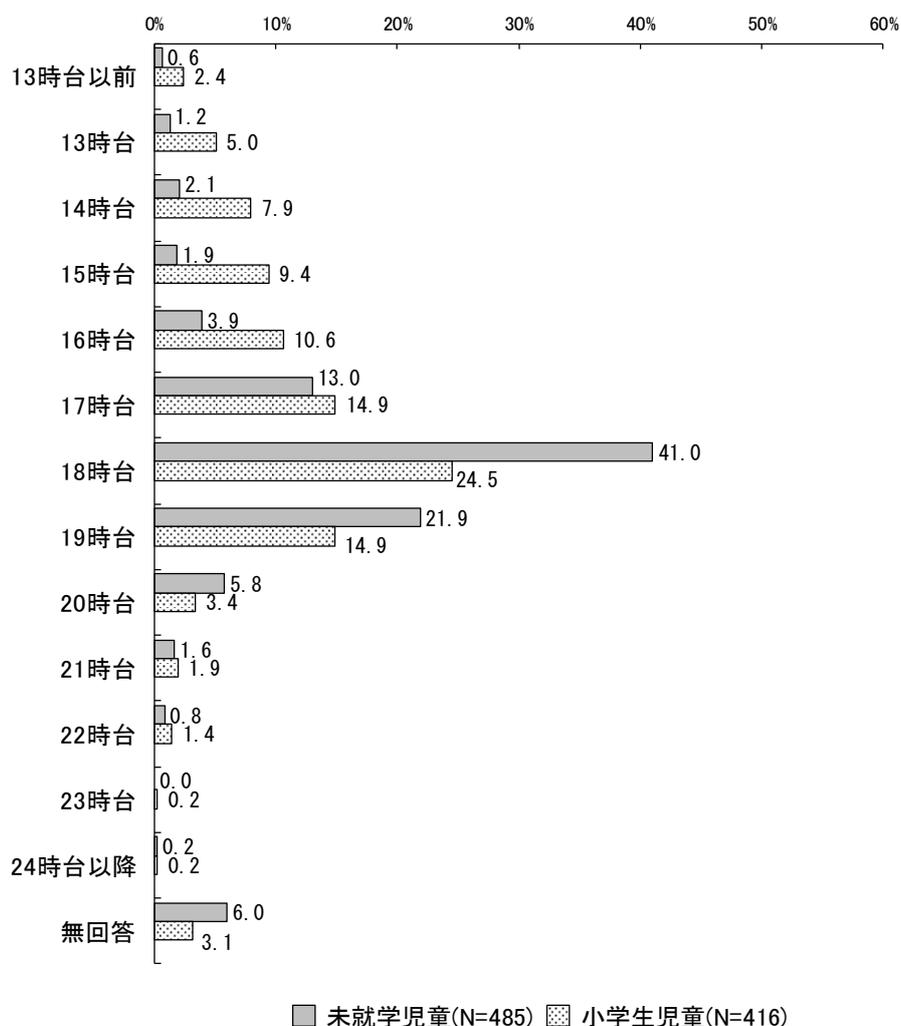
⑩ 母親の出勤時刻（パート・アルバイト等就労者 数量回答）
 （未就学児童：問 24 小学生児童：問 14 「就労している」と回答
 した方のみ）

パート・アルバイト等で就労している母親の出勤時刻は、未就学児童保護者では「9時台」が最も多く、33.3%となっています。また、小学生児童保護者では「8時台」が最も多く、47.8%となっています。



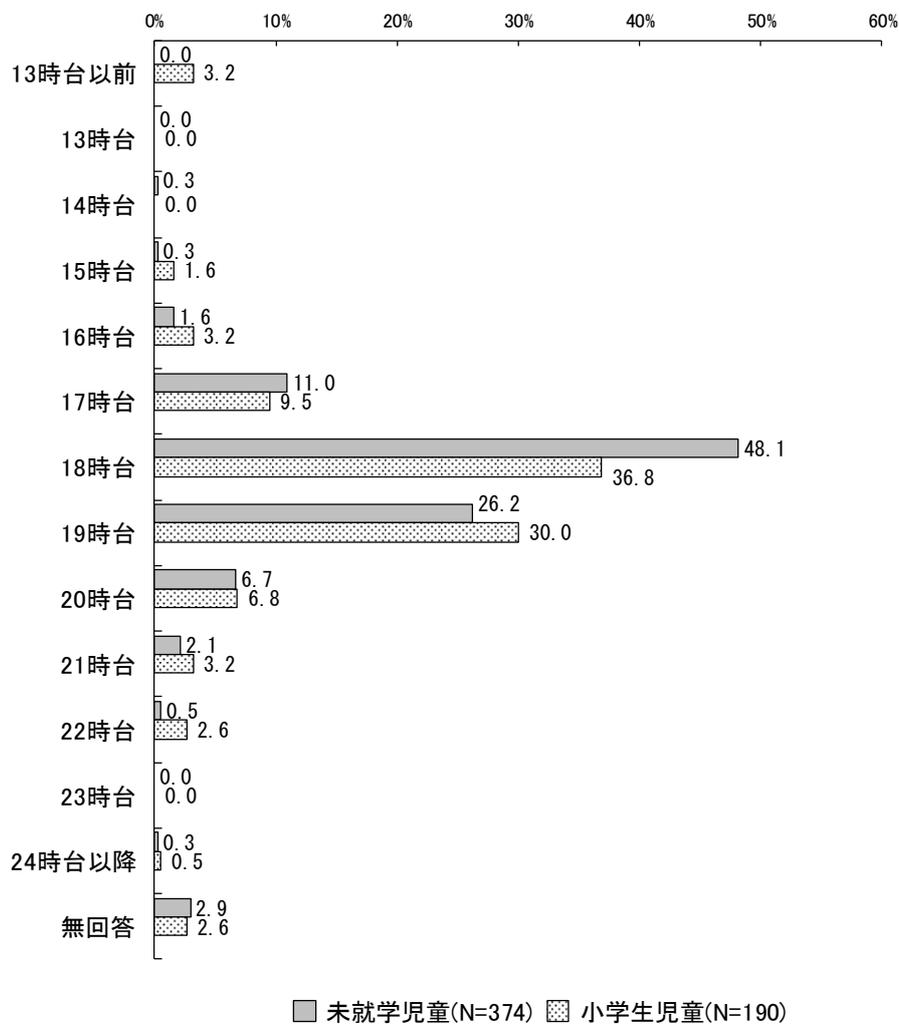
⑪ 母親の帰宅時刻（就労者全体 数量回答）
 （未就学児童：問 24 小学生児童：問 14 「就労している」と回答
 した方のみ）

就労している母親の帰宅時刻は、未就学児童保護者、小学生児童保護者ともに「18 時台」が最も多く、それぞれ 41.0%、24.5%となっています。次いで「19 時台」がそれぞれ 21.9%、14.9%となっています。



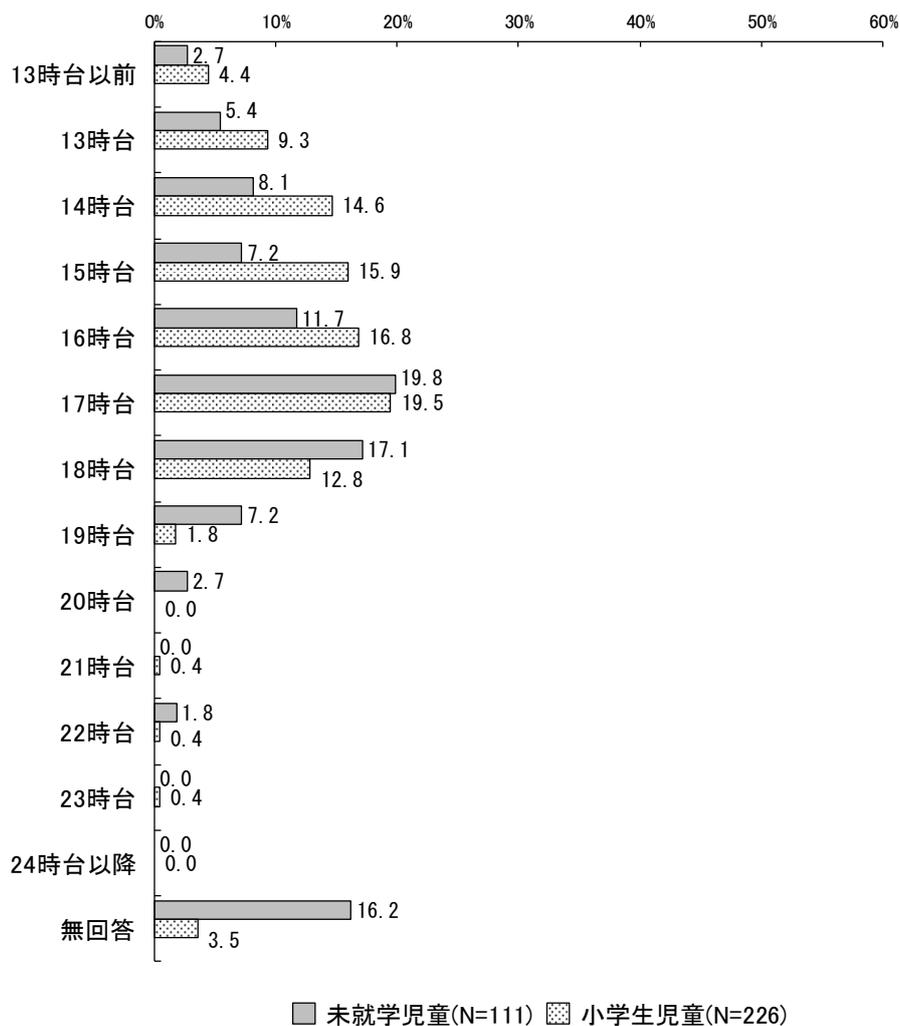
⑫ 母親の帰宅時刻（フルタイム就労者 数量回答）
 （未就学児童：問 24 小学生児童：問 14 「就労している」と回答
 した方のみ）

フルタイムで就労している母親の帰宅時刻は、未就学児童保護者、小学生児童保護者ともに「18時台」が最も多く、それぞれ48.1%、36.8%となっています。次いで「19時台」がそれぞれ26.2%、30.0%となっています。



⑬ 母親の帰宅時刻（パート・アルバイト等就労者 数量回答）
 （未就学児童：問 24 小学生児童：問 14 「就労している」と回答
 した方のみ）

パート・アルバイト等で就労している母親の帰宅時刻は、未就学児童保護者、小学生児童保護者ともに「17時台」が最も多く、それぞれ19.8%、19.5%となっています。次いで、未就学児童保護者では「18時台」が17.1%、小学生児童保護者では「16時台」が16.8%となっています。

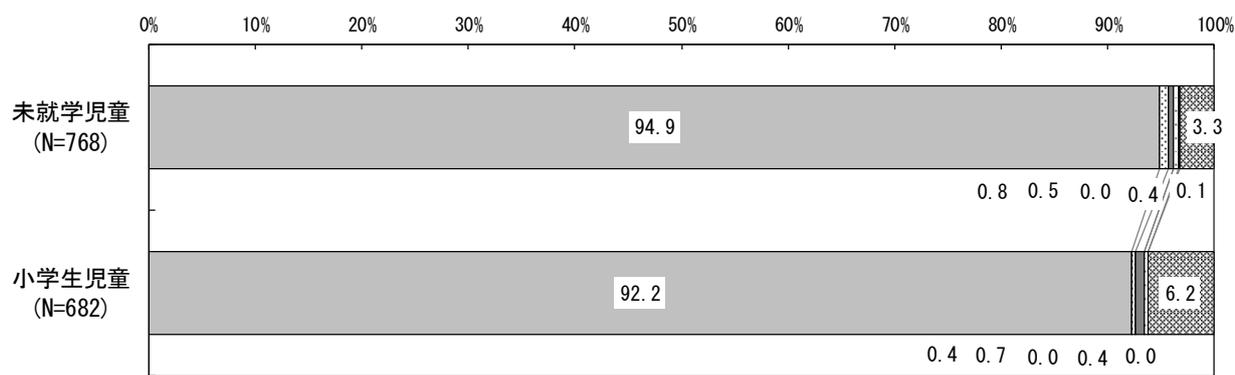


(5) 父親の就労状況

① 父親の就労状況（数量回答）

（未就学児童：問 24 小学生児童：問 14）

父親の就労状況をみると、未就学児童保護者、小学生児童保護者ともに「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が最も多く、それぞれ9割を超えています。



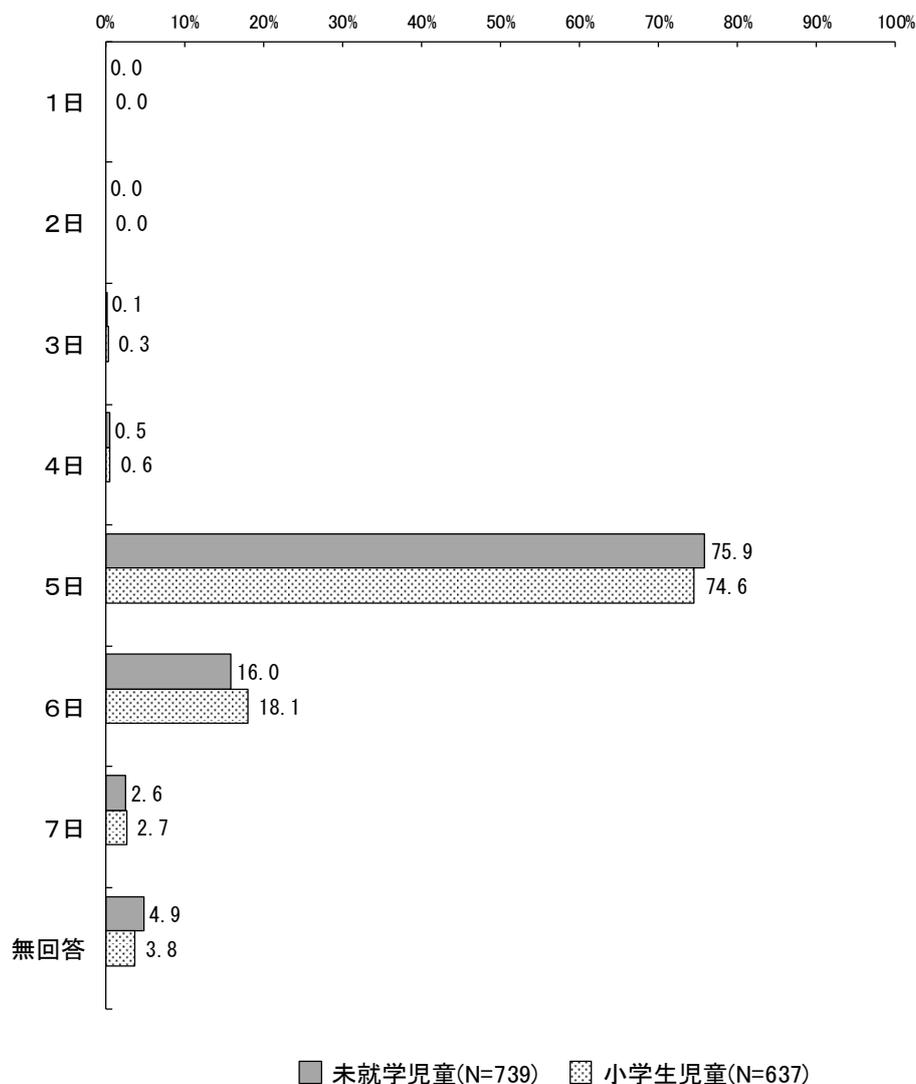
- フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- ▨ フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- ▨ パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- ▨ 以前は就労していたが、現在は就労していない
- ▨ これまで就労したことがない
- ▨ 無回答

※上記グラフに同じ

	未就学児童 (N=768)	小学生児童 (N=682)
■ フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	94.9	92.2
▨ フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	0.8	0.4
■ パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	0.5	0.7
▨ パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	0.0	0.0
▨ 以前は就労していたが、現在は就労していない	0.4	0.4
▨ これまで就労したことがない	0.1	0.0
▨ 無回答	3.3	6.2

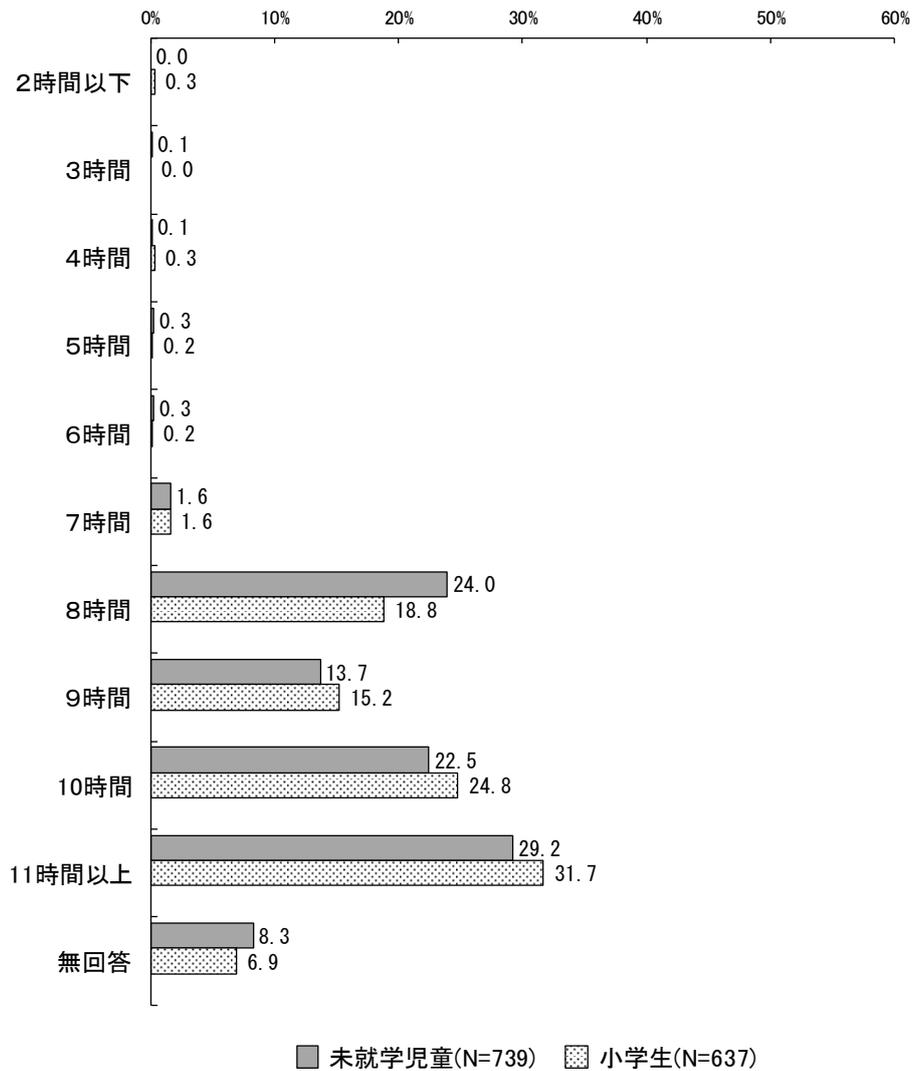
② 父親の1週あたりの就労日数（就労者全体 数量回答）
 （未就学児童：問 24 小学生児童：問 14 「就労している」と回答
 した方のみ）

就労している父親における1週あたりの就労日数は、未就学児童保護者、小学生児童保護者ともに「5日」が最も多く、それぞれ75.9%、74.6%となっています。



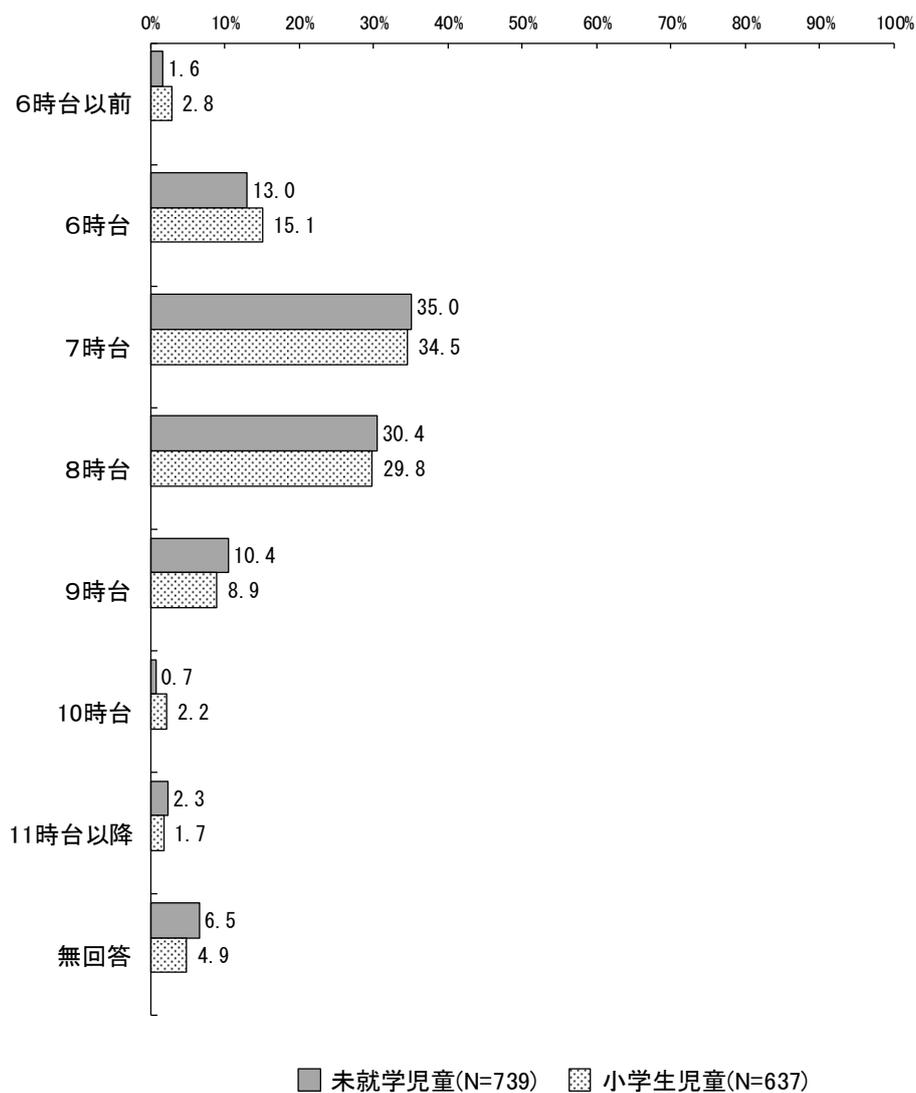
③ 父親の1日あたりの就労時間（就労者全体 数量回答）
 （未就学児童：問 24 小学生児童：問 14 「就労している」と回答
 した方のみ）

就労している父親における1日あたりの就労時間は、未就学児童保護者、小学生児童保護者ともに「11時間以上」が最も多く、それぞれ29.2%、31.7%となっています。次いで、未就学児童保護者では「8時間」が24.0%、小学生児童保護者では「10時間」が24.8%となっています。



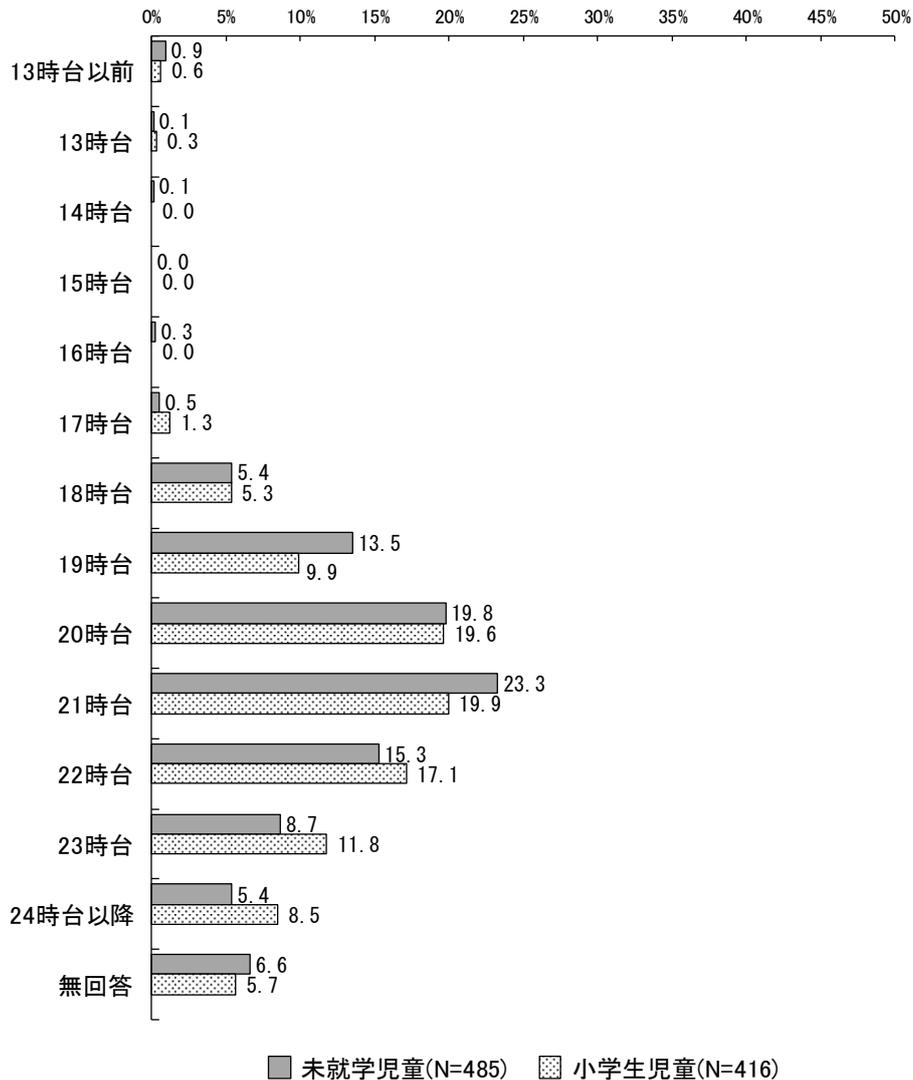
④ 父親の出勤時刻（就労者全体 数量回答）
 （未就学児童：問 24 小学生児童：問 14 「就労している」と回答
 した方のみ）

就労している父親の出勤時刻は、未就学児童保護者、小学生児童保護者ともに「7時台」が最も多く、それぞれ35.0%、34.5%となっています。次いで「8時台」がそれぞれ30.4%、29.8%となっています。



⑤ 父親の帰宅時刻（就労者全体 数量回答）
 （未就学児童：問 24 小学生児童：問 14 「就労している」と回答
 した方のみ）

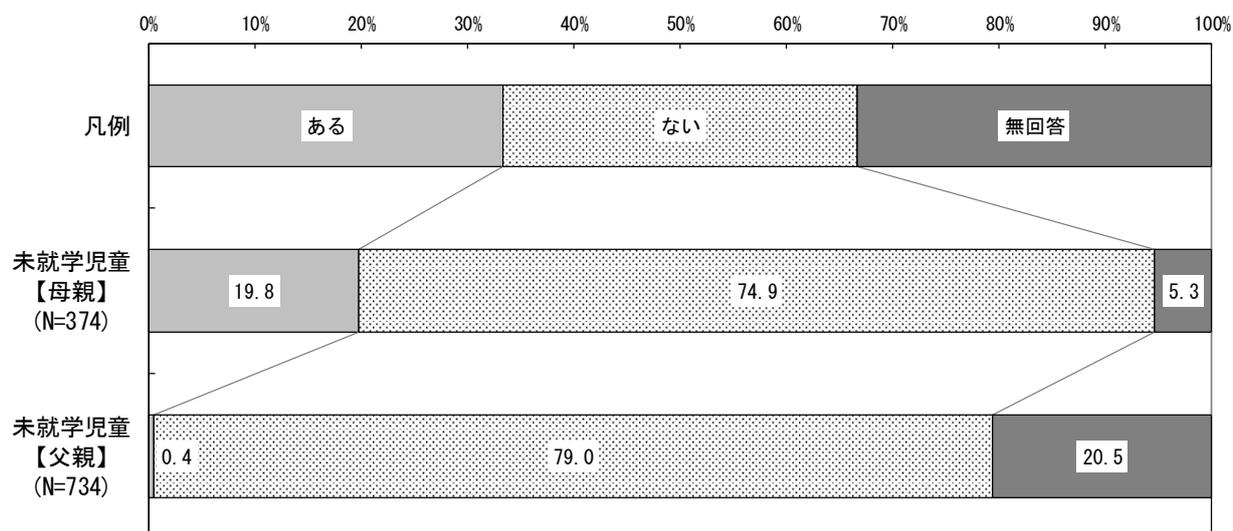
就労している父親の帰宅時刻は、未就学児童保護者、小学生児童保護者ともに「21 時台」が最も多く、それぞれ 23.3%、19.9%となっています。次いで「20 時台」がそれぞれ 19.8%、19.6%となっています。母親の帰宅時刻は 17～18 時台が多いのに対し、父親の帰宅時刻は遅い傾向にあります。



(6) 就労の転換希望

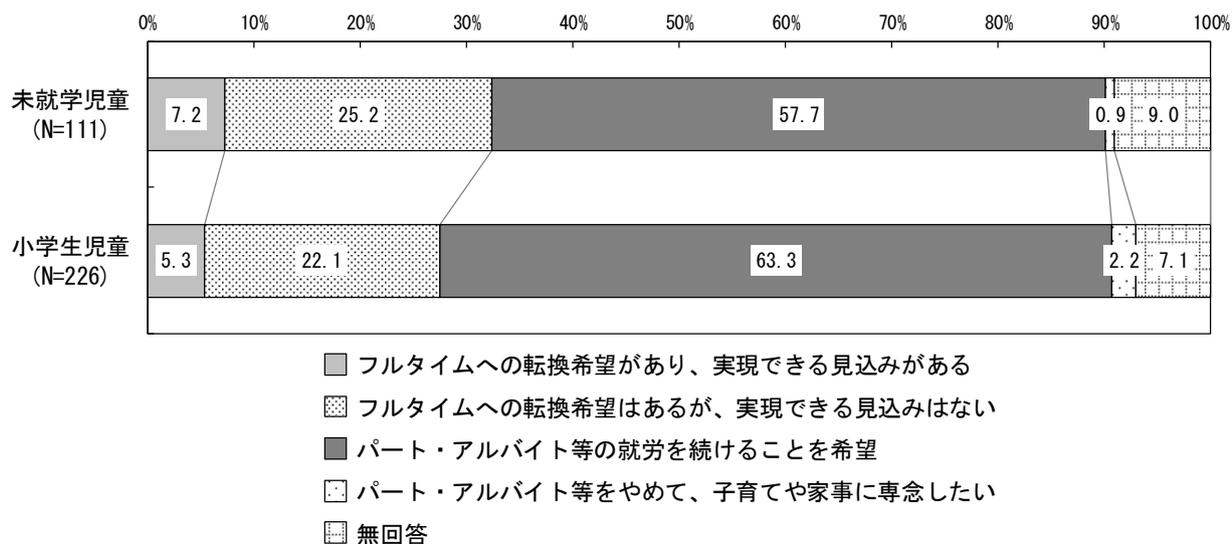
① フルタイム就労者のパート・アルバイト等への転換希望（単数回答） （未就学児童：問 25 「フルタイムで就労している」と回答した方のみ）

フルタイム就労者でパート・アルバイト等への転換希望は、母親、父親ともに7割超が「ない」となっています。



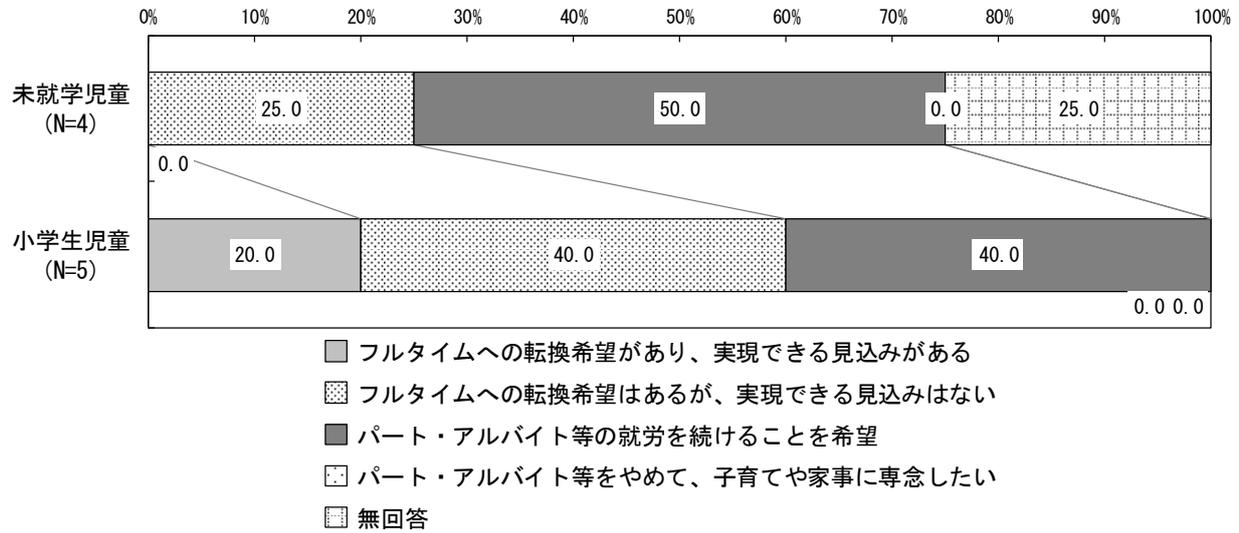
② パート・アルバイト等就労者（母親）のフルタイムへの転換希望
 （単数回答）
 （未就学児童：問 26 小学生児童：問 15 「パート・アルバイト等で就
 労している」と回答した方のみ）

パート・アルバイト等の就労者でフルタイムの転換希望をみると、未就学児童保護者、小学生保護者ともに「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が最も多く、特に小学生児童の母親は6割超となっています。



③ パート・アルバイト等就労者（父親）のフルタイムへの転換希望
 （単数回答）
 （未就学児童：問 26 小学生児童：問 15 「パート・アルバイト等で就
 労している」と回答した方のみ）

回答者数（N）が10未満のため、分析の対象外。

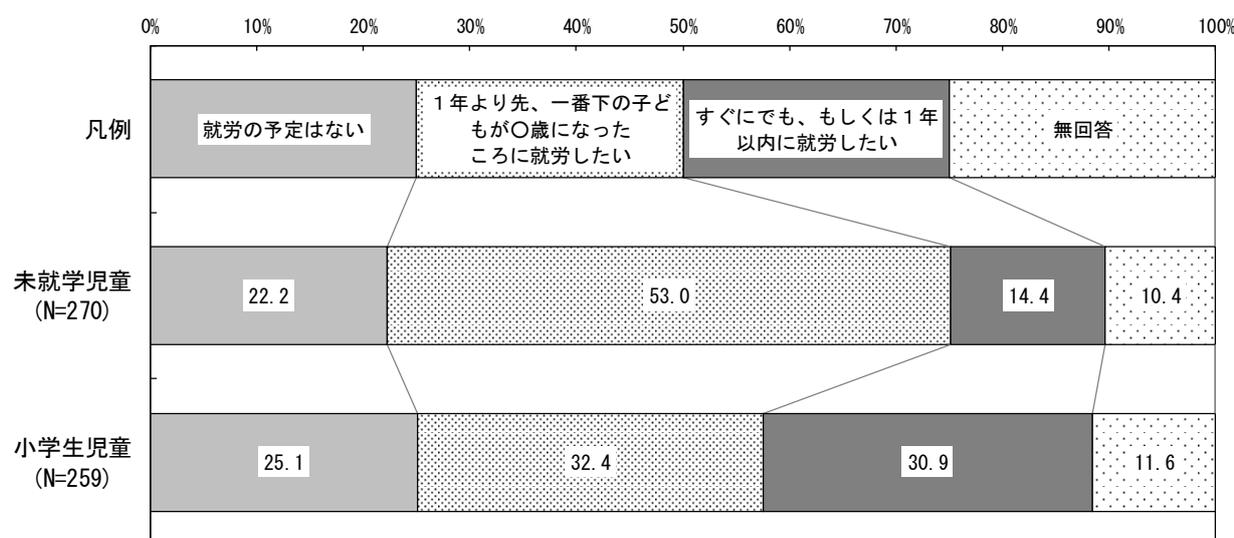


(7) 就労していない保護者の就労希望

① 現在就労していない母親の就労希望（単数回答）

（未就学児童：問 27 小学生児童：問 16 「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」と回答した方のみ）

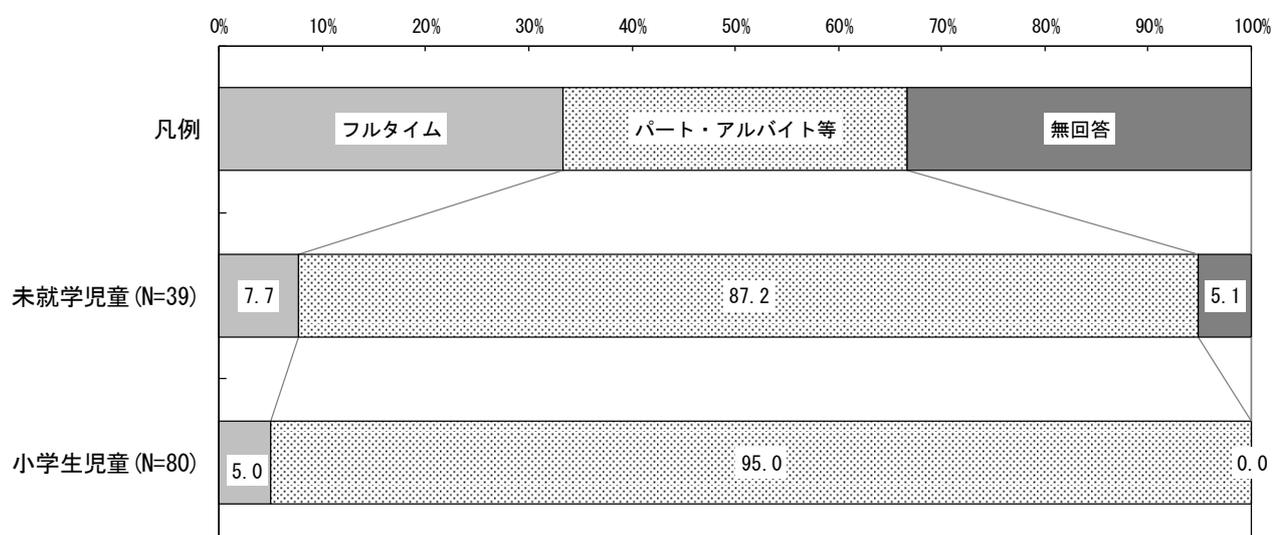
現在就労していない母親の就労希望については、未就学児童、小学生児童ともに「1年より先、一番下の子どもが〇歳になったころに就労したい」が最も多く、それぞれ53.0%、32.4%となっています。また、「1年より先、一番下の子どもが〇歳になったころに就労したい」と「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」を合わせた就労希望は、未就学児童の母親で67.4%、小学生児童の母親で63.3%となっています。



② 就労希望者（母親）の希望する就労形態（単数回答）

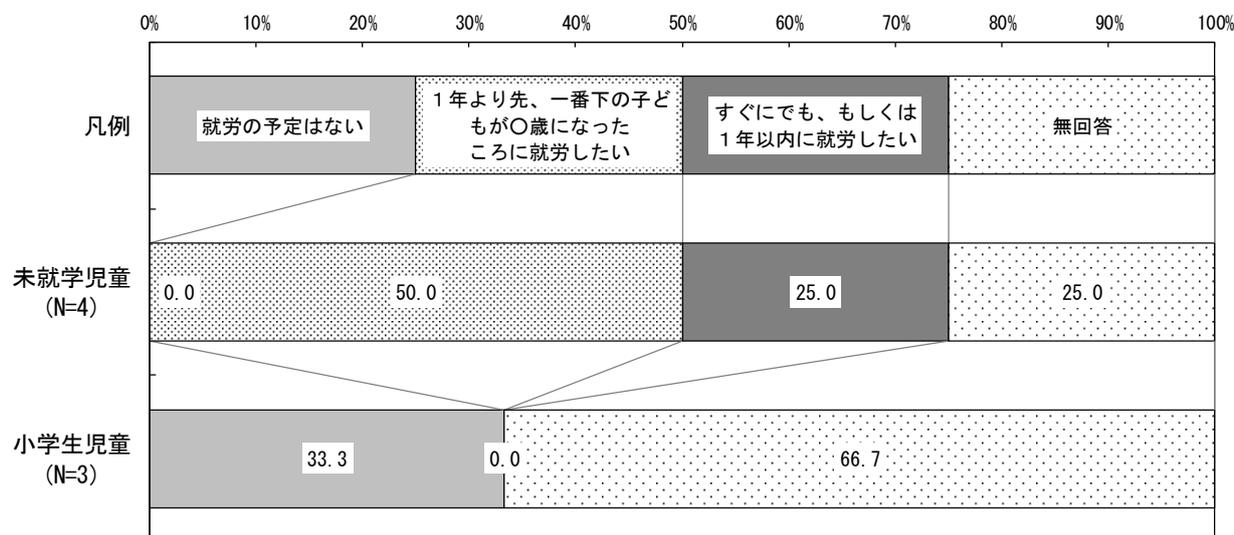
（未就学児童：問 27 小学生児童：問 16 「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した方のみ）

母親の就労希望者の希望する就労形態については、未就学児童、小学生児童ともに「パート・アルバイト等」が最も多く、それぞれ87.2%、95.0%となっています。



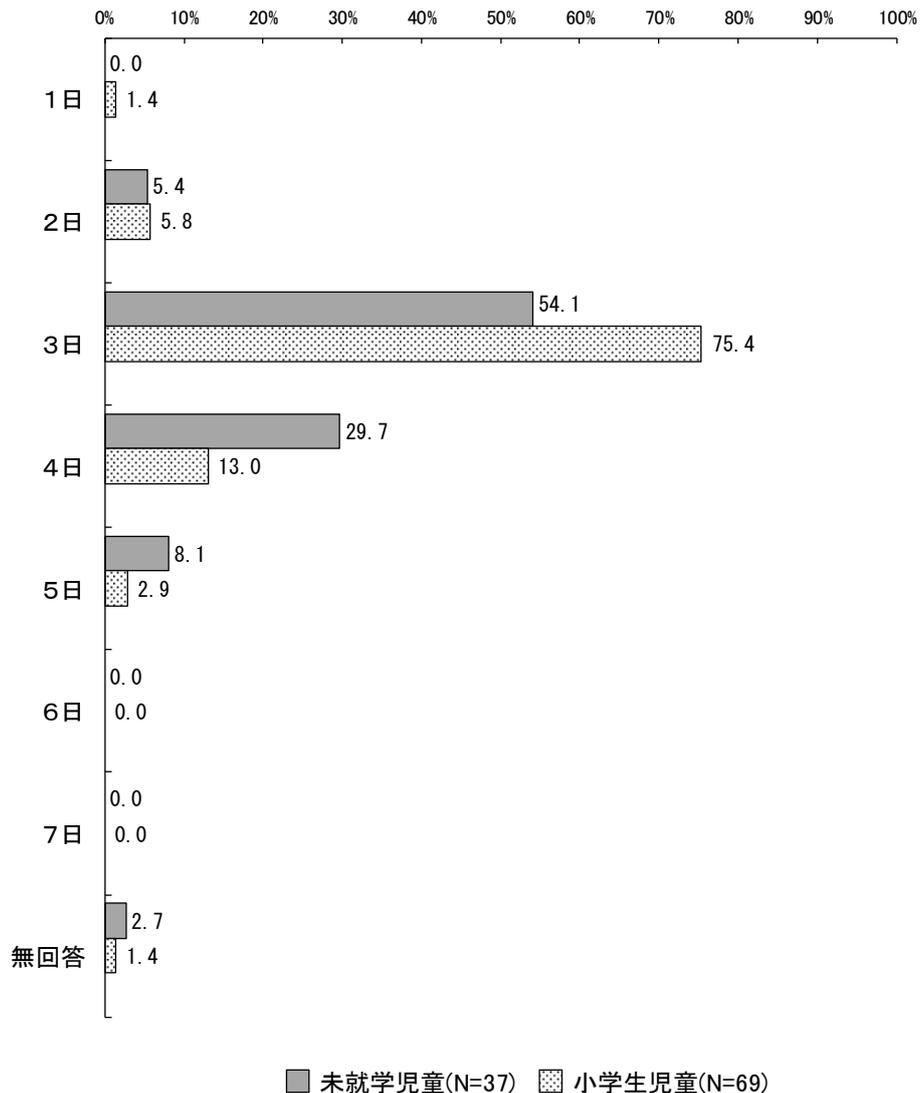
③ 現在就労していない父親の就労希望（単数回答）
 （未就学児童：問 27 小学生児童：問 16 「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」と回答した方のみ）

回答者数（N）が10未満のため、分析の対象外。



④ パート・アルバイト等就労希望者の1週あたりの就労日数
 (母親 数量回答)
 (未就学児童：問 27 小学生児童：問 16 希望する就労形態で「パートタイム、アルバイト等」と回答した方のみ)

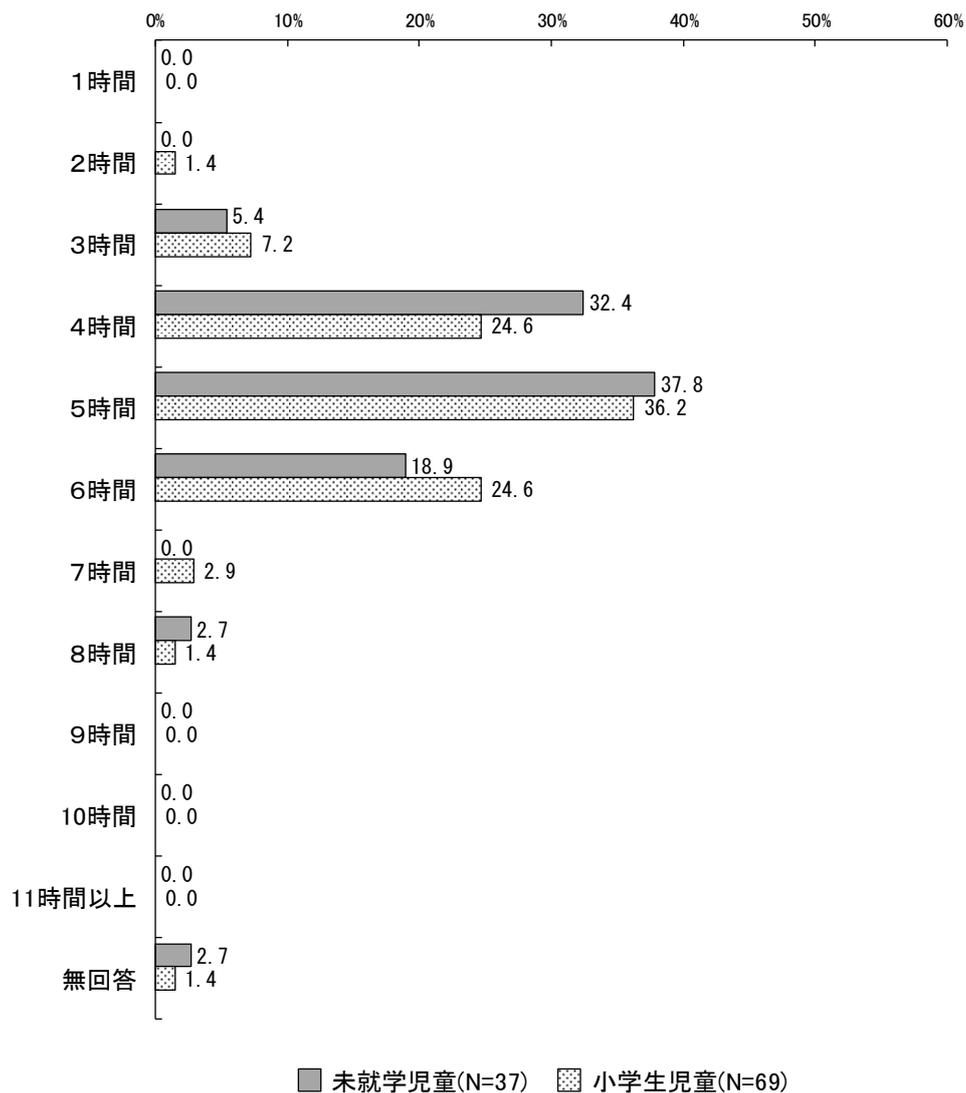
パート・アルバイト等就労希望者の1週あたりの就労日数は、未就学児童、小学生児童の母親ともに「3日」が最も多く、それぞれ54.1%、75.4%となっています。次いで「4日」がそれぞれ29.7%、13.0%となっています。



⑤ パート・アルバイト等就労希望者の1日あたりの就労時間
(母親 数量回答)

(未就学児童：問 27 小学生児童：問 16 希望する就労形態で「パートタイム、アルバイト等」と回答した方のみ)

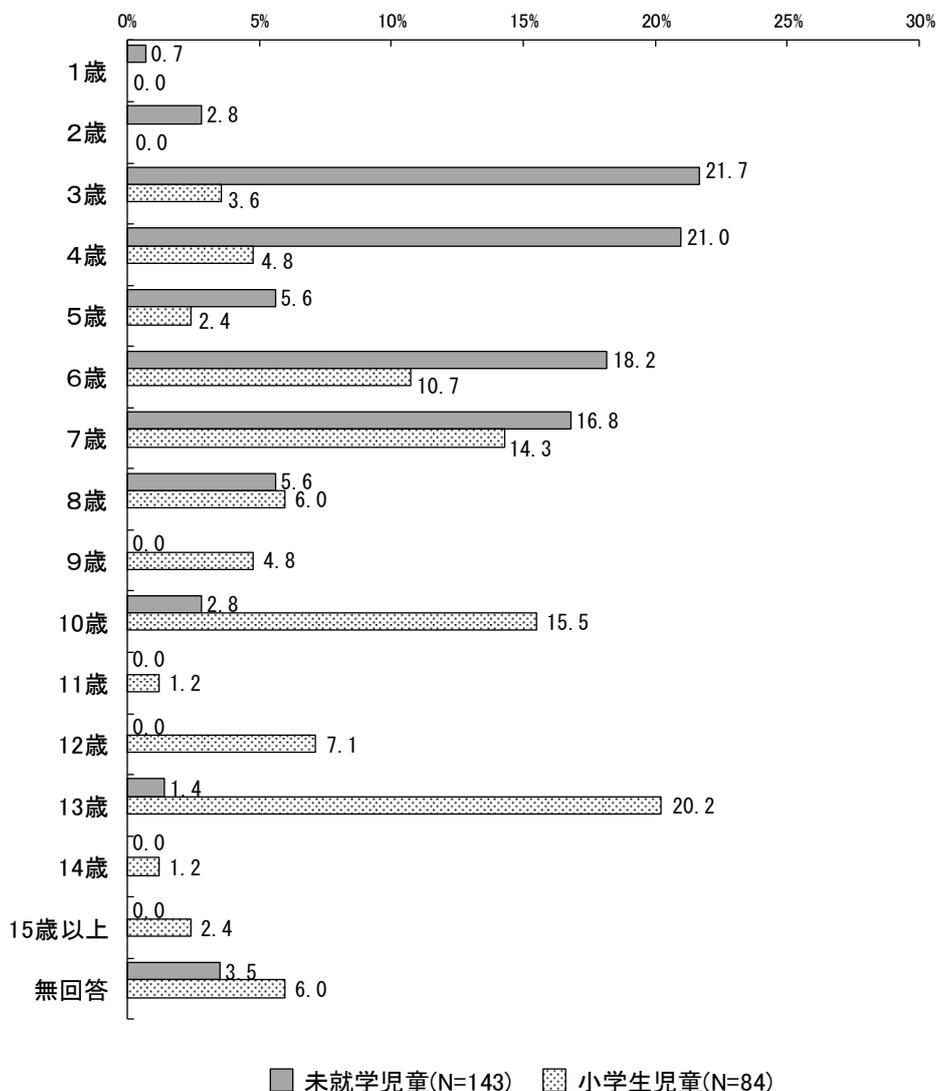
パート・アルバイト等就労希望者の1日あたりの就労時間は、未就学児童、小学生児童の母親ともに「5時間」が最も多く、それぞれ37.8%、36.2%となっています。次いで、未就学児童の母親は「4時間」が32.4%、小学生児童の母親は「4時間」および「6時間」がそれぞれ24.6%となっています。



⑥ 就労を希望する末子の到達年齢（母親 数量回答）

（未就学児童：問 27 小学生児童：問 16 就労の予定で「1年より先、一番下の子が○歳になったころに就労したい」と回答した方のみ）

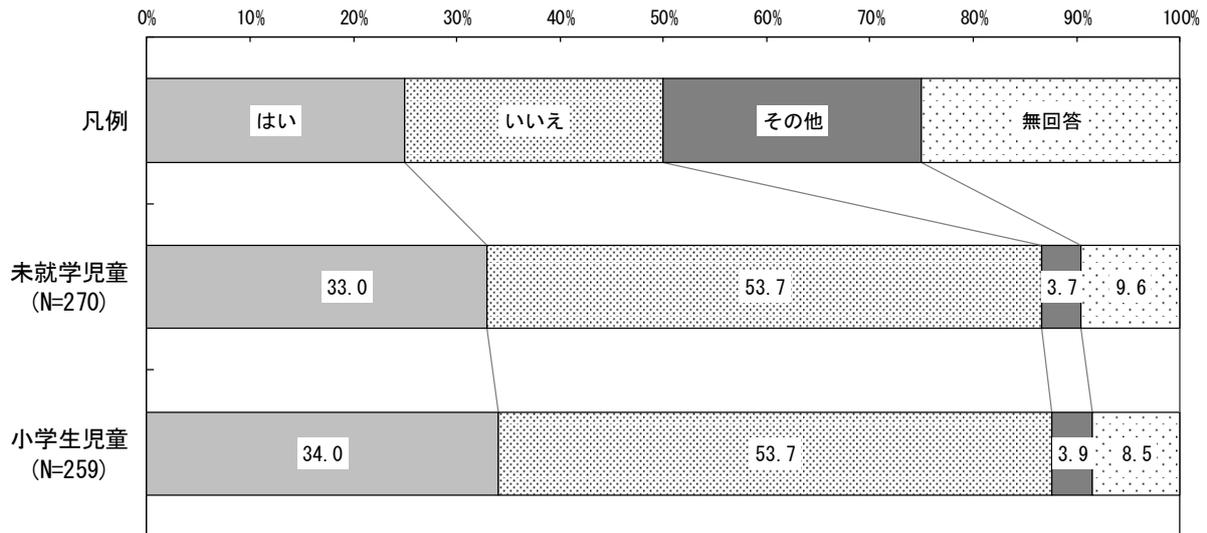
1年より先、就労を希望する末子の到達年齢をみると、未就学児童の母親では「3歳」が21.7%と最も多く、小学生児童の母親では「13歳」が20.2%と最も多くなっています。



⑦ 地域や社会と繋がる仕事の希望の有無（母親 単数回答）

（未就学児童：問 28 小学生児童：問 17 「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」と回答した方のみ）

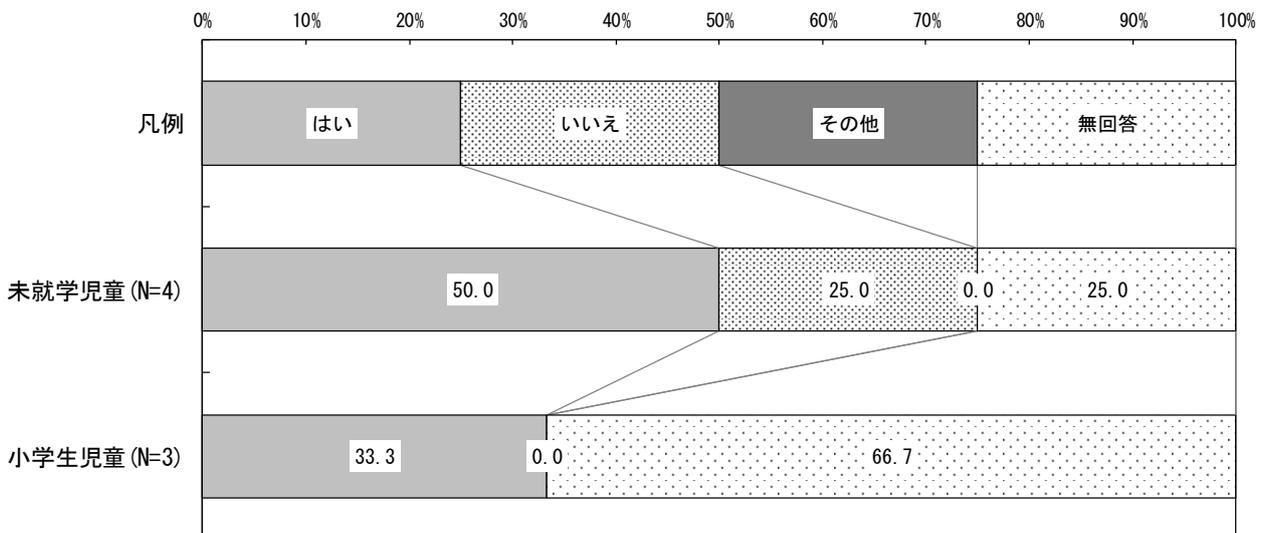
現在は就労していない、またはこれまで就労したことがない母親のうち、地域や社会と繋がる仕事の希望の有無については、未就学児童、小学生児童の母親ともに「いいえ」が最も多くなっていますが、「はい」がそれぞれ33.0%、34.0%となっています。



⑧ 地域や社会と繋がる仕事の希望の有無（父親 単数回答）

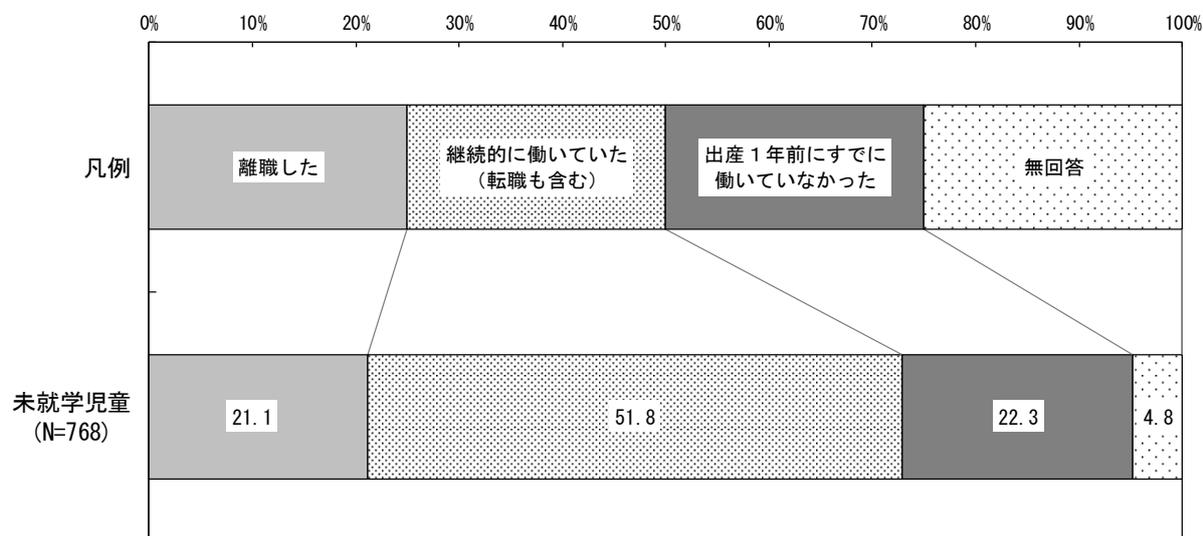
（未就学児童：問 28 小学生児童：問 17 「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」と回答した方のみ）

回答者数（N）が10未満のため、分析の対象外。



(8) 出産前後の離職状況
(単数回答) (未就学児童：問 29)

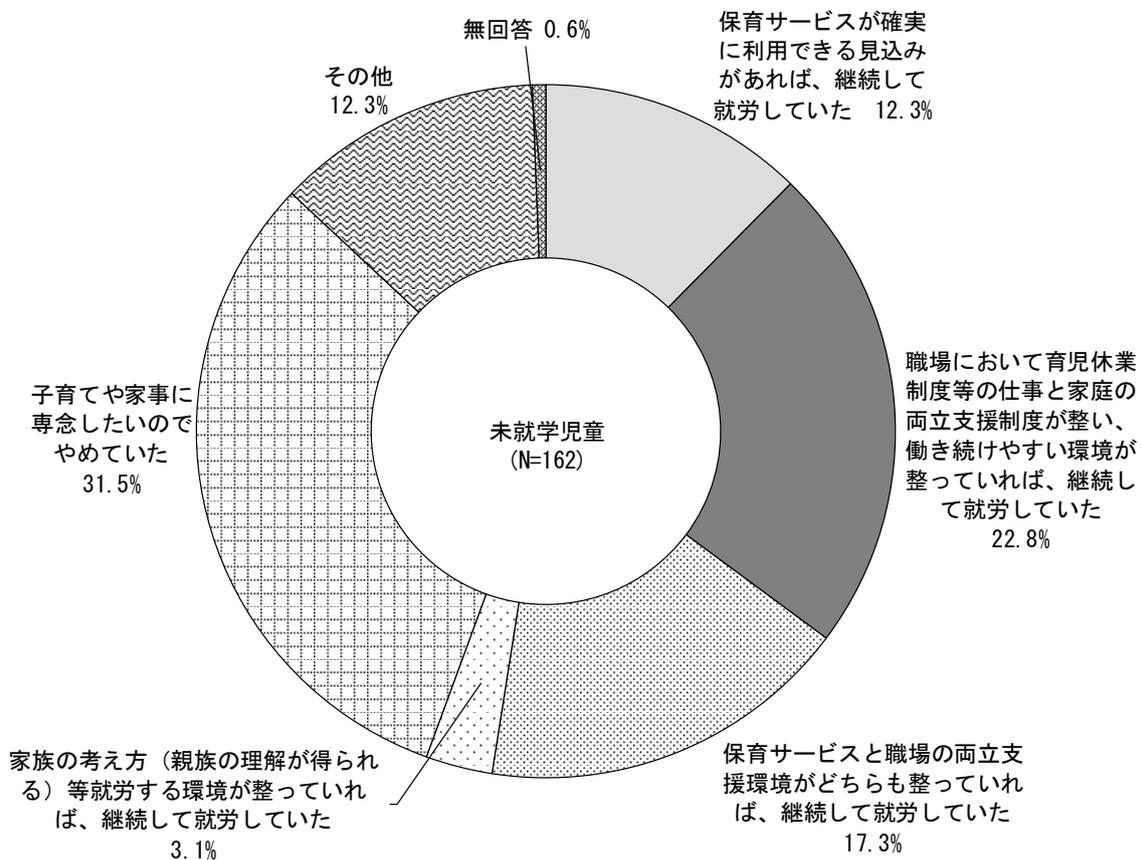
未就学児童の母親における出産前後の離職状況は、「継続的に働いていた（転職も含む）」が最も多く、51.8%となっています。次いで「出産1年前にすでに働いていなかった」が22.3%となっています。



(9) 離職者の就労継続可能性とその条件

(単数回答) (未就学児童：問 29-1 出産前後に「離職した」と回答した方のみ)

離職した未就学児童の母親における就労継続の可能性とその条件は、「子育てや家事に専念したいのでやめていた」が31.5%と最も多く、次いで「職場において育児休業制度等の仕事と家庭の両立支援制度が整い、働き続けやすい環境が整っていれば、継続して就労していた」が22.8%となっています。なお、「保育サービスが確実に利用できる見込みがあれば、継続して就労していた」「職場において育児休業制度等の仕事と家庭の両立支援制度が整い、働き続けやすい環境が整っていれば、継続して就労していた」「保育サービスと職場の両立支援環境がどちらも整っていれば、継続して就労していた」「家族の考え方（親族の理解が得られる）等就労する環境が整っていれば、継続して就労していた」を合わせた「条件が整っていれば継続して就労していた」の割合は55.5%となっています。

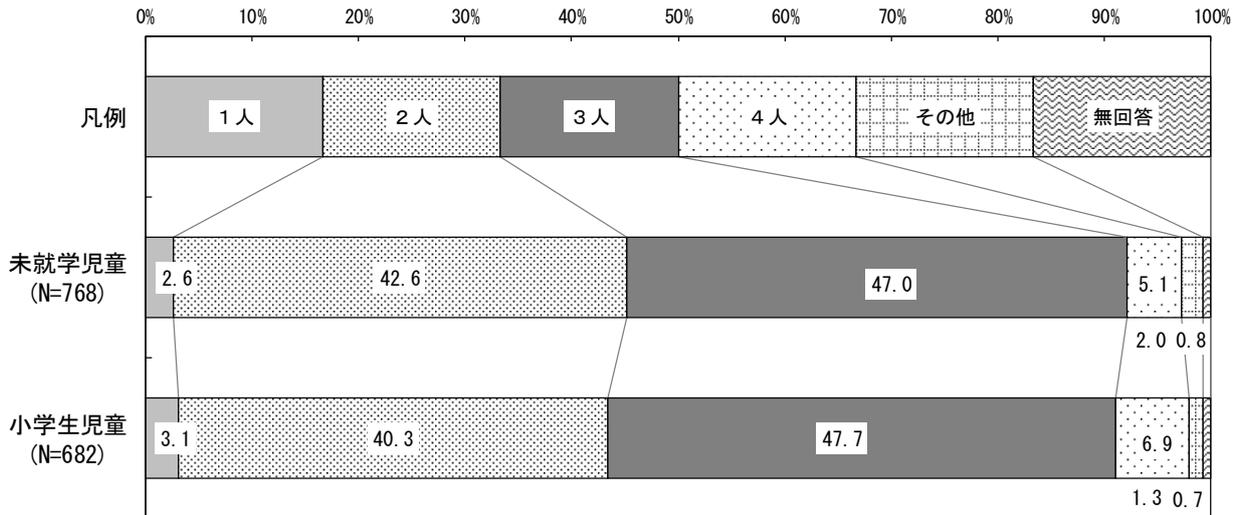


3. 子育ての状況

(1) 理想的な子どもの人数と実際に育てられると思う子どもの人数 (単数回答) (未就学児童：問8 小学生児童：問8)

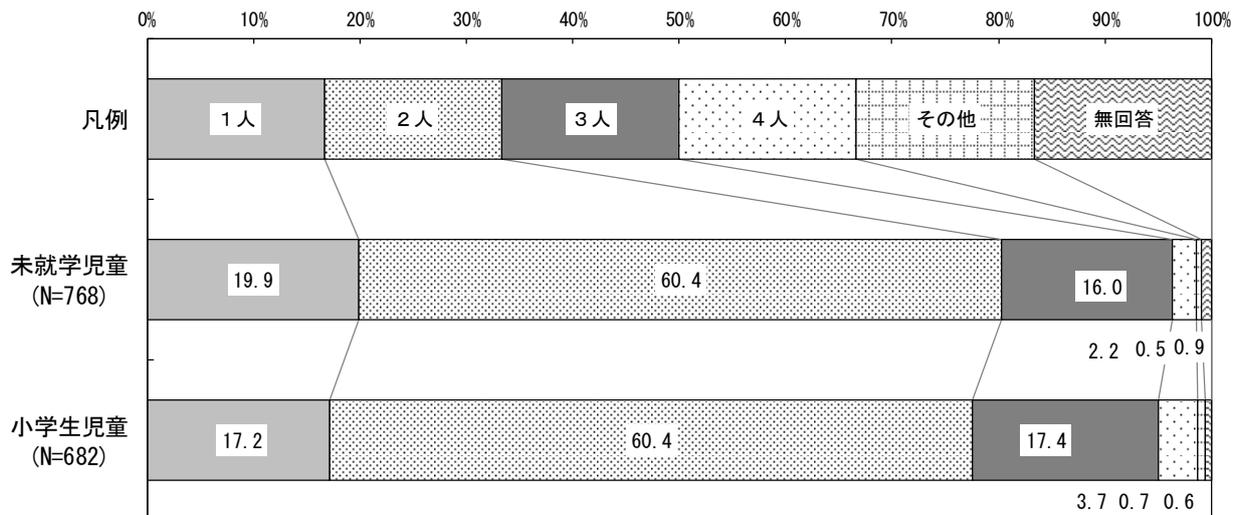
① 理想的な子どもの人数

理想的な子どもの人数は、未就学児童保護者、小学生児童保護者ともに「3人」が最も多く、それぞれ47.0%、47.7%となっています。



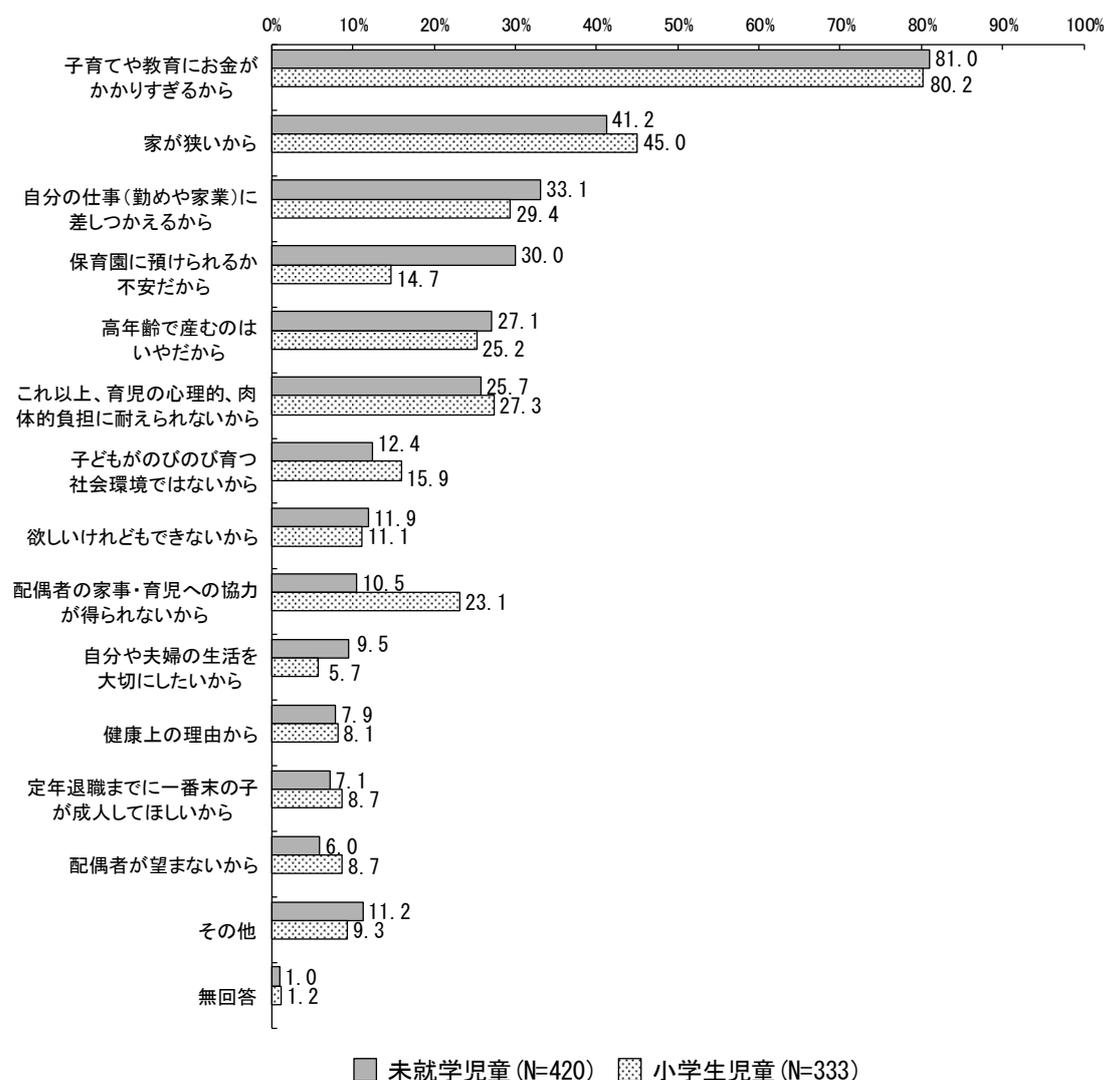
② 実際に育てられると思う子どもの人数

実際に育てられると思う子どもの人数は、未就学児童保護者、小学生児童保護者ともに「2人」が最も多く、それぞれ60.4%となっています。



**(2) 実際に育てられると思う子どもの数が、理想とする子どもの数より少ない理由
(複数回答) (未就学児童：問8-1 小学生児童：問8-1「実際に育てられる
と思う子どもの人数」が「理想的な子どもの人数」より少ない方のみ)**

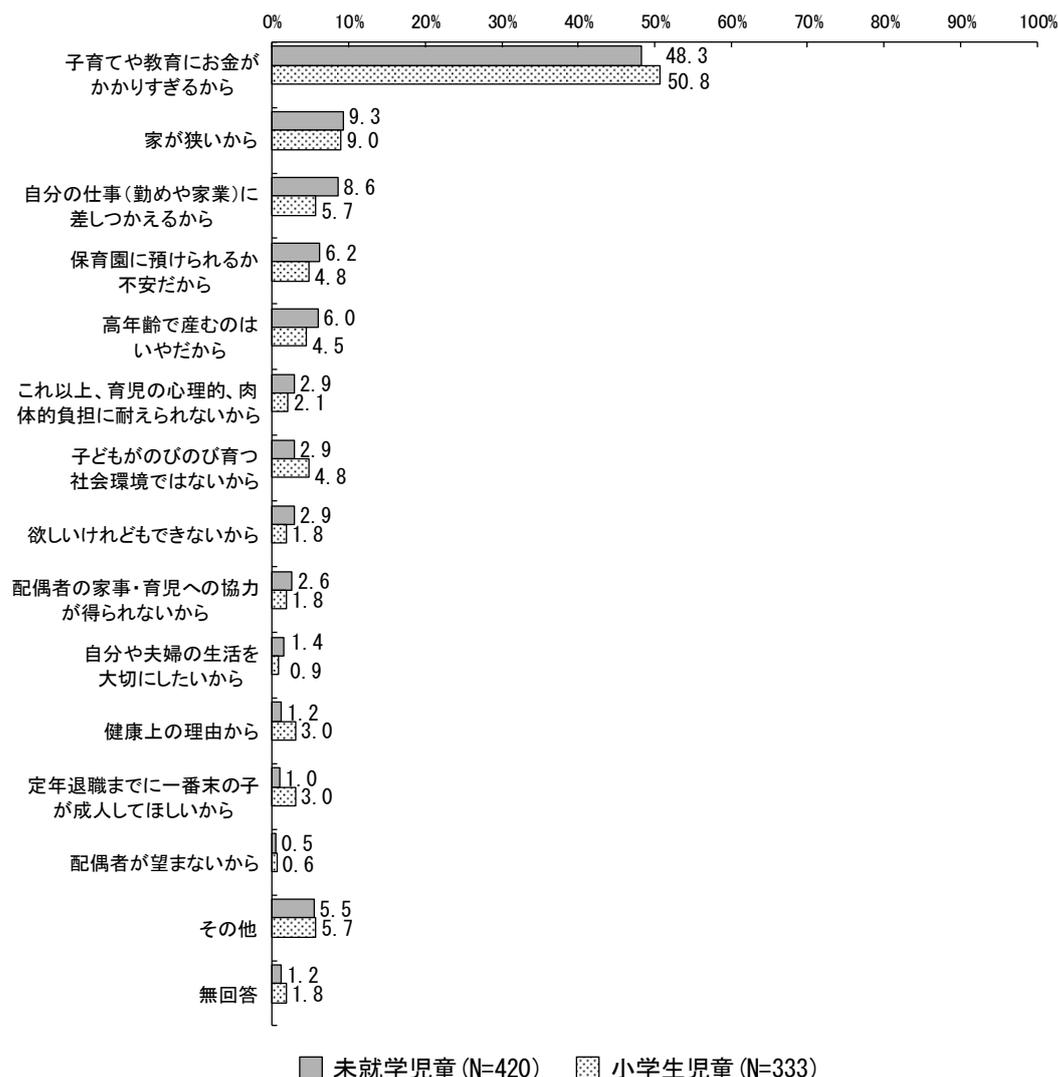
実際に育てられると思う子どもの数が、理想とする子どもの数より少ない理由は、未就学児童保護者、小学生児童保護者ともに「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が最も多く、それぞれ81.0%、80.2%となっています。次いで「家が狭いから」がそれぞれ41.2%、45.0%となっています。



(3) 実際に育てられると思う子どもの数が、理想とする子どもの数より少ない最大の理由

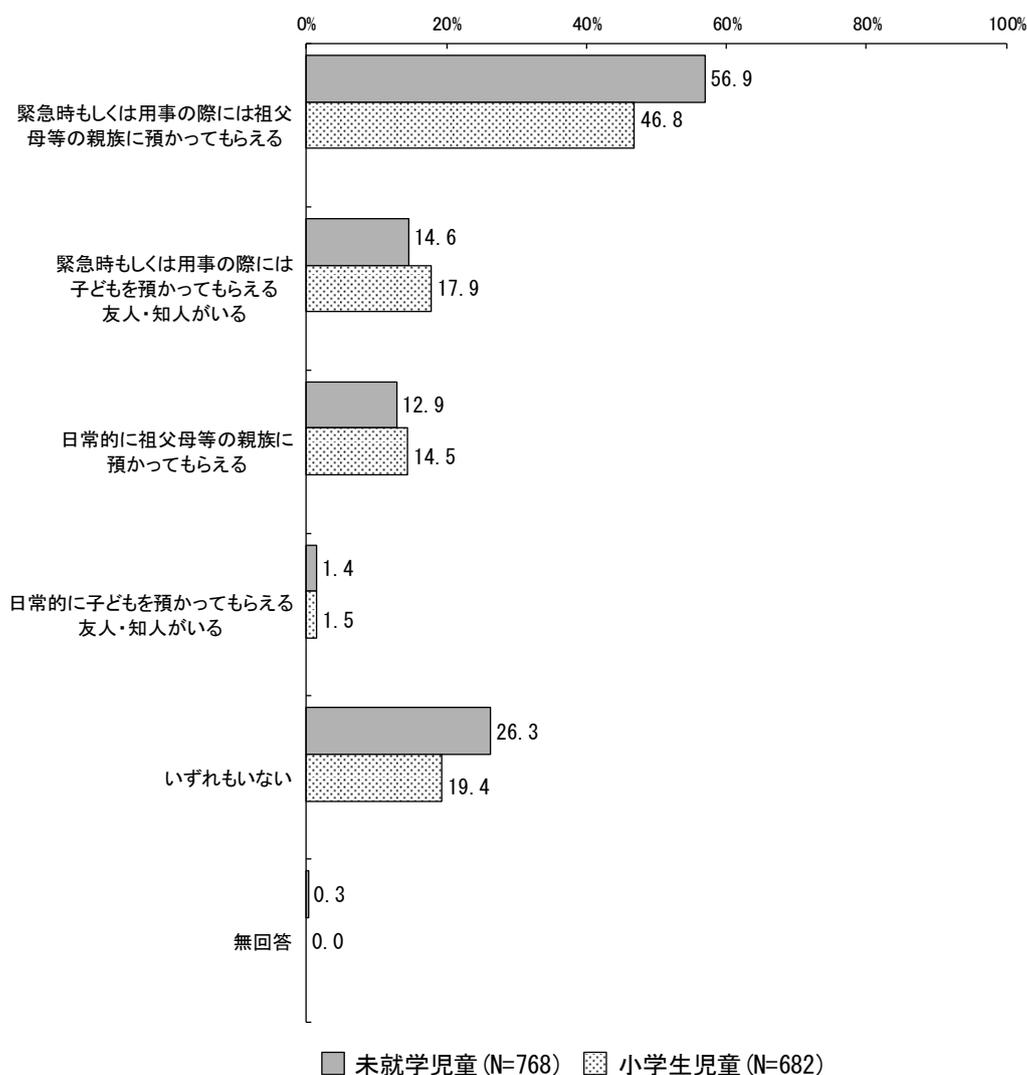
(単数回答) (未就学児童：問8-2 小学生児童：問8-2「実際に育てられると思う子どもの人数」が「理想的な子どもの人数」より少ない方のみ)

実際に育てられると思う子どもの数が、理想とする子どもの数より少ない最大の理由は、未就学児童保護者、小学生児童保護者ともに「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が最も多く、それぞれ48.3%、50.8%となっています。



**(4) 子どもを預かってもらえる親族・知人の有無
(複数回答) (未就学児童：問9 小学生児童：問9)**

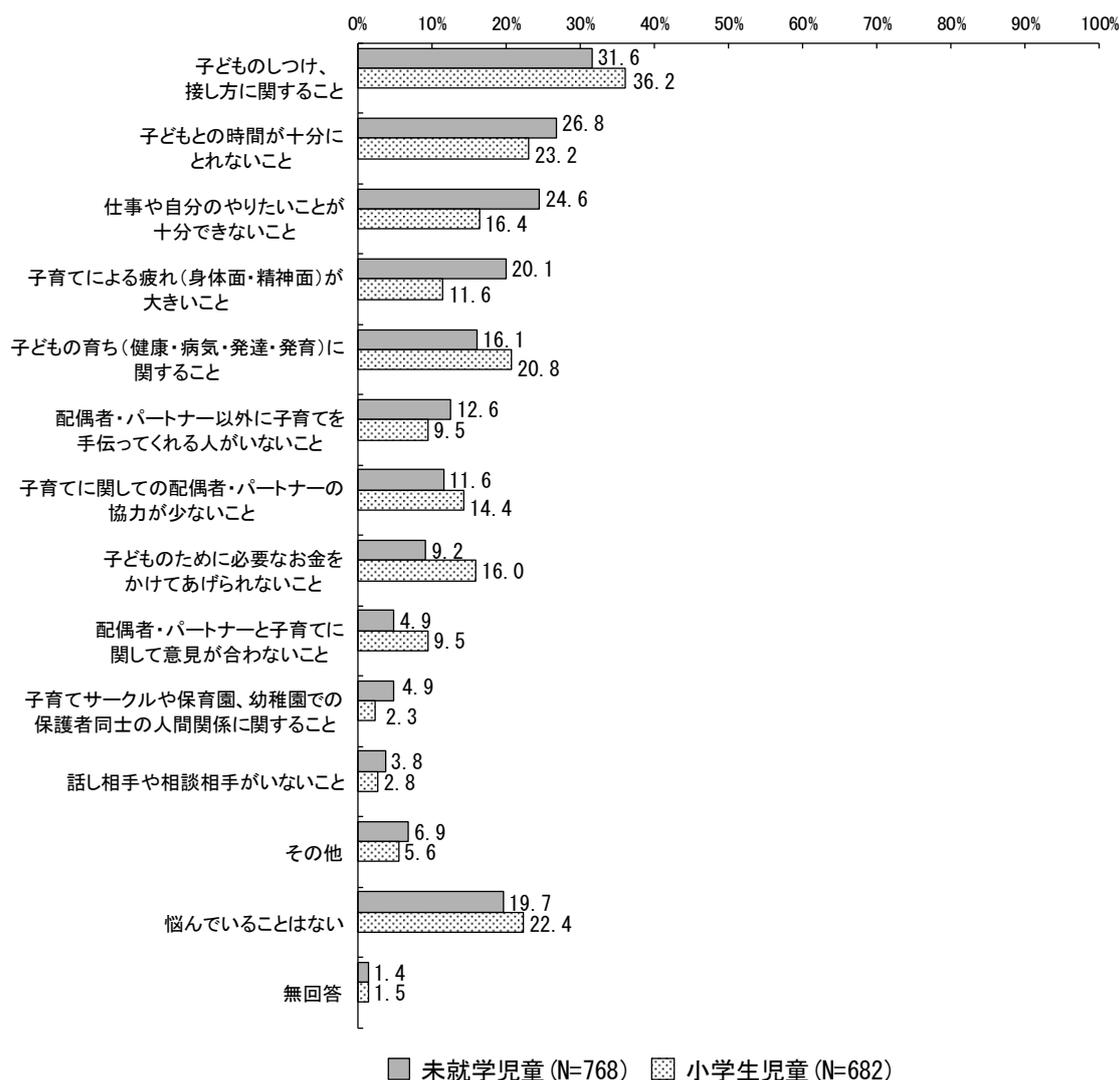
子どもを預かってもらえる親族・知人の有無は、未就学児童保護者、小学生児童保護者ともに「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる」が最も多く、それぞれ56.9%、46.8%となっています。次いで「いずれもない」が未就学児童保護者で26.3%、小学生児童保護者で19.4%となっています。



**(5) 子育てに関して悩んでいることや気になること
(複数回答) (未就学児童：問 10 小学生児童：問 10)**

子育てに関して悩んでいることや気になることは、未就学児童保護者、小学生児童保護者ともに「子どものしつけ、接し方に関すること」が最も多く、それぞれ 31.6%、36.2%となっています。次いで「子どもとの時間が十分にとれないこと」がそれぞれ 26.8%、23.2%となっています。

なお、「悩んでいることはない」は、未就学児童保護者、小学生児童保護者ともに 2 割程度となっています。



【母親の就労状況 ×
子育てに関して悩んでいることや気になること（未就学児童）】

未就学児童保護者における子育てに関して悩んでいることや気になることを母親の就労状況別にみると、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」では「子どもとの時間が十分にとれないこと」が最も多く、それ以外では「子どものしつけ、接し方に関すること」が最も多くなっています。

(%)

	子どもとの時間が十分にとれないこと	子どものために必要なお金をかけられないこと	子どもの育ち（健康・発達・発達・発育）に関すること	子どものしつけ、接し方に関すること	話し相手や相談相手がないこと	仕事や自分のやりたいことができないこと	子育てに関しての配偶者・パートナーの協力が少ないこと	配偶者・パートナーと子育てに関して意見が合わないこと	配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと	子育てサークルや保育園、幼稚園での保護者同士の間関係に関すること	子育てによる疲れ（身体面・精神面）が大きいこと	その他	悩んでいることはない	無回答
未就学児童全体 (N=768)	26.8	9.2	16.1	31.6	3.8	24.6	11.6	4.9	12.6	4.9	20.1	6.9	19.7	1.4
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない (N=233)	57.1	10.3	13.7	36.1	4.7	27.9	14.6	7.7	12.9	5.6	17.2	5.2	14.6	0.9
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である (N=141)	13.5	3.5	14.2	27.7	4.3	16.3	8.5	4.3	12.1	3.5	22.0	10.6	23.4	1.4
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない (N=102)	25.5	16.7	15.7	36.3	1.0	26.5	10.8	3.9	16.7	6.9	20.6	8.8	16.7	0.0
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である (N=9)	11.1	0.0	33.3	44.4	11.1	44.4	22.2	0.0	0.0	11.1	33.3	22.2	22.2	0.0
以前は就労していたが、現在は就労していない (N=254)	8.3	9.1	18.5	29.1	3.1	25.2	11.4	3.9	12.2	3.9	21.3	5.5	23.2	1.6
これまで就労したことがない (N=16)	6.3	12.5	31.3	25.0	6.3	18.8	6.3	0.0	6.3	12.5	18.8	0.0	31.3	0.0

※回答者数（N）が10未満の項目は分析の対象外。

【母親の就労状況 ×
子育てに関して悩んでいることや気になること（小学生児童）】

小学生児童保護者における子育てに関して悩んでいることや気になることを母親の就労状況別にみると、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」では「子どもとの時間が十分にとれないこと」が最も多く、それ以外では「子どものしつけ、接し方に関すること」が最も多くなっています。

(%)

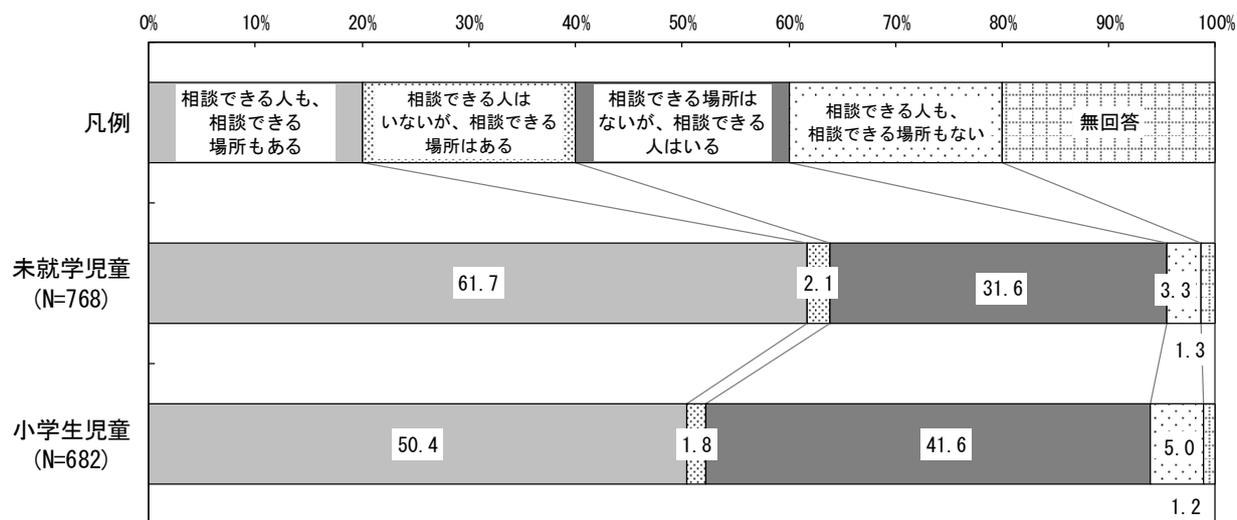
	子どもとの時間が十分に とれないこと	子どものために必要な お金をかけられないこと	子どもの育ち（健康・発 達・発達・発育）に 関すること	子どものしつけ、接し 方に関すること	話し相手や相談相手 がないこと	仕事や自分のやりたい ことができないこと	子育てに関する配偶者・ パートナーの協力が少 ないこと	配偶者・パートナーと 子育てに関して意見 が合わないこと	配偶者・パートナー 以外に子育てを手 伝ってくれる人がい ないこと	子育てサークルや保 育園、幼稚園での保 護者同士の人間関係 に関すること	子育てによる疲れ（身 体面・精神面）が大 きいこと	その他	悩んでいる ことはない	無回答
小学生児童全体 (N=682)	23.2	16.0	20.8	36.2	2.8	16.4	14.4	9.5	9.5	2.3	11.6	5.6	22.4	1.5
フルタイムで就労しており、 産休・育休・介護休業中 ではない (N=184)	57.1	17.9	16.3	32.6	2.2	15.8	12.0	10.3	7.6	2.2	10.9	6.0	12.5	1.6
フルタイムで就労しているが、 産休・育休・介護休業中 である (N=6)	0.0	16.7	16.7	66.7	0.0	16.7	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	16.7	33.3	0.0
パート・アルバイト等で 就労しており、産休・育 休・介護休業中ではない (N=225)	13.3	19.6	19.6	34.7	1.8	18.7	17.3	9.8	10.2	1.8	8.4	5.3	26.2	1.3
パート・アルバイト等で 就労しているが、産休・ 育休・介護休業中である (N=1)	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
以前は就労していたが、 現在は就労していない (N=237)	9.3	11.0	25.3	40.1	4.6	15.2	13.5	7.6	11.4	1.7	15.2	5.1	25.7	1.3
これまで就労したことが ない (N=22)	0.0	22.7	22.7	36.4	0.0	18.2	22.7	18.2	4.5	9.1	13.6	9.1	31.8	0.0

※回答者数（N）が10未満の項目は分析の対象外。

(6) 相談できる人や場所の有無
(単数回答) (未就学児童：問 11 小学生児童：問 11)

相談できる人や場所の有無は、未就学児童保護者、小学生児童保護者ともに「相談できる人も、相談できる場所もある」が最も多く、それぞれ61.7%、50.4%となっています。

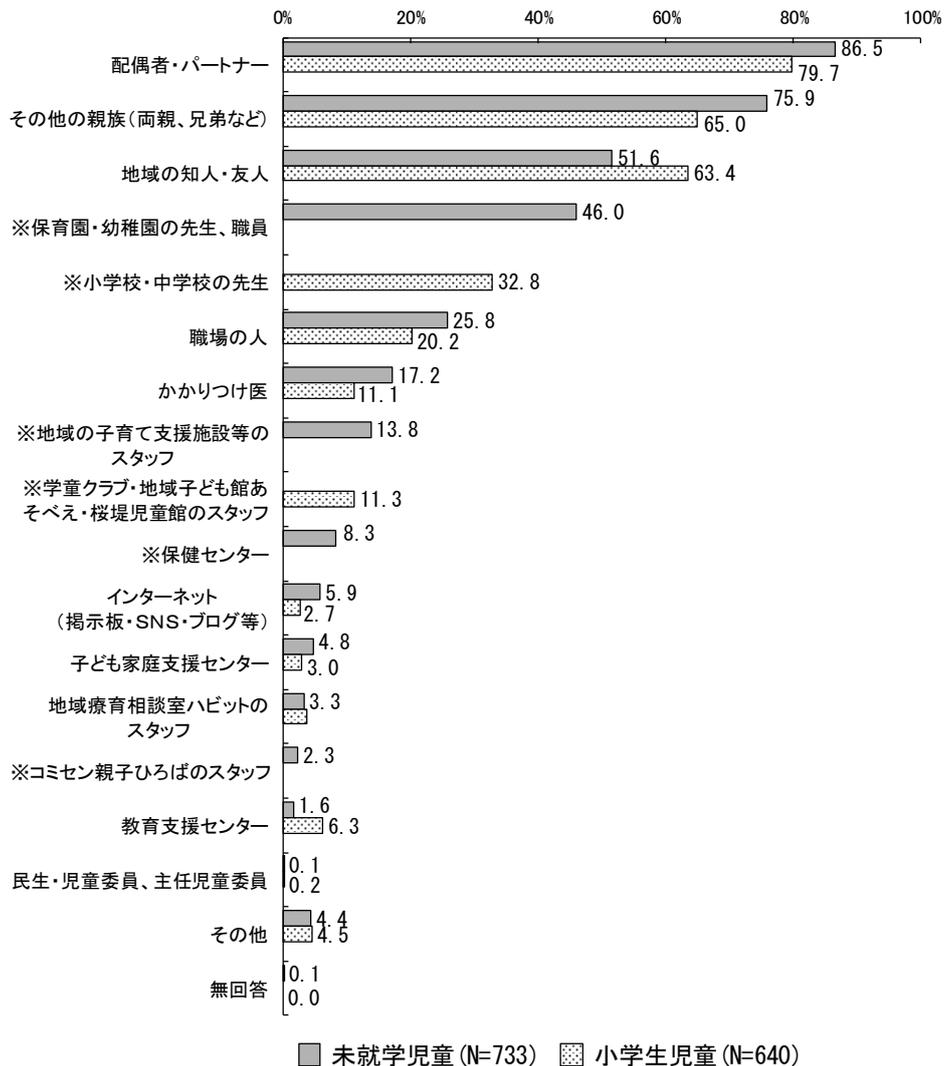
次いで「相談できる場所はないが、相談できる人はいる」がそれぞれ31.6%、41.6%となっています。



(7) 子育て・家庭教育に関する相談先

(複数回答) (未就学児童：問 11-1 小学生児童：問 11-1 「相談できる人も、相談できる場所もある」、「相談できる人はいないが、相談できる場所はある」、「相談できる場所はないが、相談できる人はいる」のいずれかに回答した方のみ)

子育て・家庭教育に関する相談先は、未就学児童保護者、小学生児童保護者ともに「配偶者・パートナー」が最も多く、それぞれ86.5%、79.7%となっています。次いで、「その他の親族（両親、兄弟など）」がそれぞれ75.9%、65.0%となっています。なお、未就学児童保護者のみに聴取した「保育園・幼稚園の先生、職員」は46.0%、小学生児童保護者のみに聴取した「小学校・中学校の先生」は32.8%となっています。



※印がついた回答選択肢は、未就学児童保護者、小学生児童保護者のどちらか一方のみの設問。

【母親の就労状況 × 子育て・家庭教育に関する相談先（未就学児童）】

未就学児童保護者における子育て・家庭教育に関する相談先を母親の就労状況別にみると、「配偶者・パートナー」が最も多くなっています。

(%)

	配偶者・パートナー	その他の親族（両親、兄弟など）	地域の知人・友人	職場の人	地域の子育て支援施設等のスタッフ	保育園・幼稚園の先生、職員	保健センター	子ども家庭支援センター	教育支援センター	地域療育相談室ハビットのスタッフ	コミセン親子ひろばのスタッフ	民生・児童委員、主任児童委員	かかりつけ医	インターネット（掲示板・SNS・ブログ等）	その他	無回答
未就学児童(N=733)	86.5	75.9	51.6	25.8	13.8	46.0	8.3	4.8	1.6	3.3	2.3	0.1	17.2	5.9	4.4	0.1
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない(N=222)	82.9	72.1	45.5	53.6	5.0	70.7	5.0	5.4	1.8	2.3	0.9	0.5	18.0	6.3	5.0	0.0
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である(N=136)	88.2	82.4	48.5	29.4	16.9	30.1	12.5	2.9	0.0	1.5	0.7	0.0	17.6	5.1	2.2	0.7
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない(N=94)	84.0	74.5	58.5	20.2	10.6	60.6	4.3	7.4	1.1	4.3	0.0	0.0	13.8	7.4	2.1	0.0
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である(N=7)	71.4	57.1	71.4	14.3	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0
以前は就労していたが、現在は就労していない(N=251)	90.0	76.5	56.2	3.2	20.7	29.5	11.2	4.4	2.4	4.8	5.2	0.0	17.1	5.6	6.4	0.0
これまで就労したことがない(N=13)	100.0	69.2	30.8	0.0	7.7	30.8	7.7	7.7	0.0	7.7	0.0	0.0	23.1	0.0	0.0	0.0

※回答者数（N）が10未満の項目は分析の対象外。

【母親の就労状況 × 子育て・家庭教育に関する相談先（小学生児童）】

小学生児童保護者における子育て・家庭教育に関する相談先を母親の就労状況別にみると、「配偶者・パートナー」が多い傾向にあります。

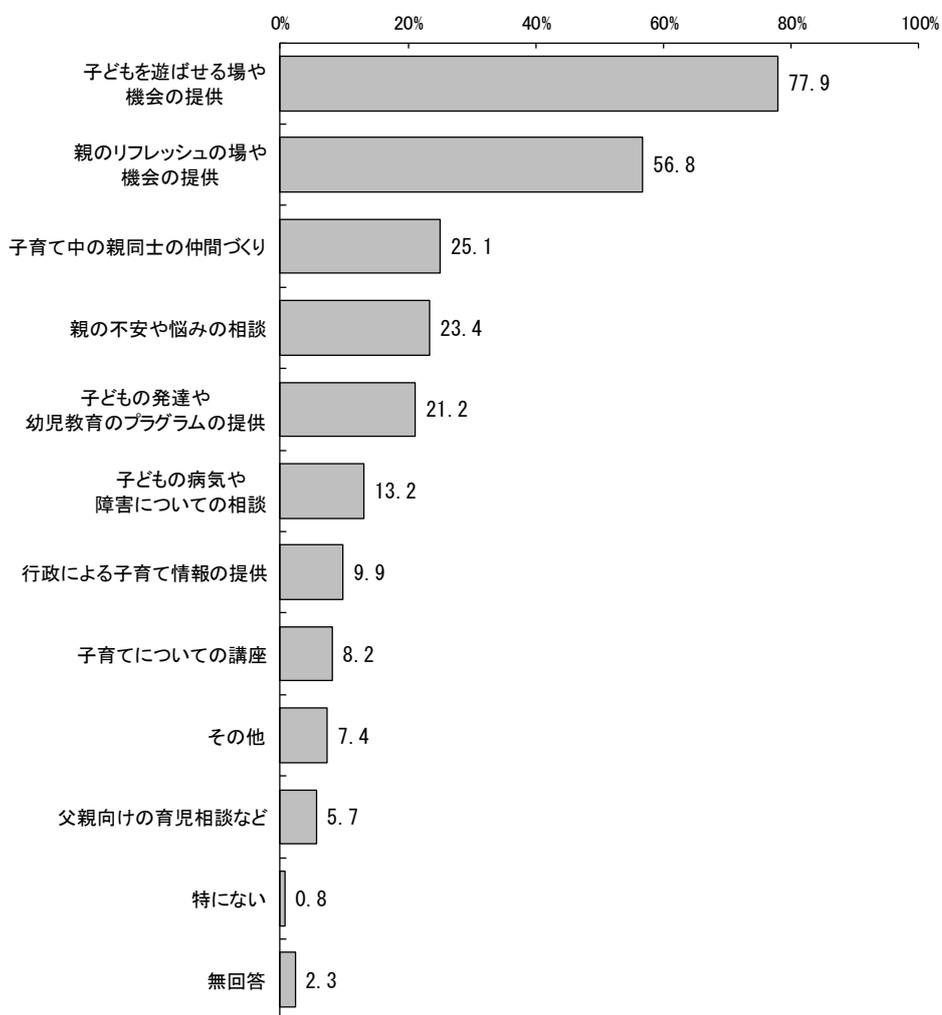
(%)

	配偶者・ パートナー	その他の親 族（両親、 兄弟など）	地域の知 人・友人	職場の人	学童クラ ブ・地域子 ども館あそ べえ・桜堤 児童館のス タッフ	小学校・中 学校の先生	子ども家庭 支援セン ター	教育支援セ ンター	地域療育相 談室ハビタ ットのスタッ フ	かかりつけ 医	民生・児童 委員、主任 児童委員	インター ネット（掲 示板・SNS ・ブログ 等）	その他	無回答
小学生児童全体 (N=640)	79.7	65.0	63.4	20.2	11.3	32.8	3.0	6.3	3.8	11.1	0.2	2.7	4.5	0.0
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない (N=170)	76.5	64.7	56.5	37.6	24.1	34.7	1.8	2.4	1.8	9.4	0.0	2.4	4.7	0.0
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である (N=6)	83.3	100.0	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない (N=214)	79.9	61.7	68.2	25.7	8.4	31.3	2.3	6.1	1.9	9.8	0.0	3.3	4.2	0.0
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である (N=1)	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
以前は就労していたが、現在は就労していない (N=223)	84.3	67.7	66.4	4.0	4.9	32.3	3.6	8.5	6.7	14.8	0.0	2.2	4.9	0.0
これまで就労したことがない (N=21)	66.7	57.1	42.9	0.0	9.5	42.9	9.5	14.3	9.5	4.8	4.8	4.8	4.8	0.0

※回答者数（N）が10未満の項目は分析の対象外。

**(8) 必要なサポートで重要だと思うもの
(3つまでの複数回答) (未就学児童：問 12)**

必要なサポートで重要だと思うものは、「子どもを遊ばせる場や機会の提供」が77.9%と最も多く、次いで「親のリフレッシュの場や機会の提供」が56.8%となっています。



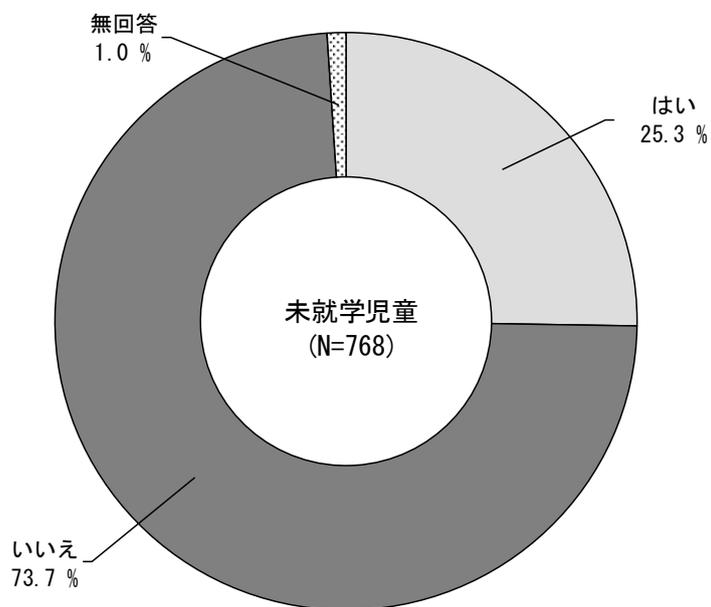
未就学児童 (N=768)

**(9) 子育て・家庭教育をする上で、周囲からあればよいと思うサポート
(自由記述) (小学生児童：問 12)**

周囲からあればよいと思うサポートの内容	件数
子どもを預かってくれる	5
多様な手段での相談窓口	5
相談できるようなイベント、講演会	2
子育て・家庭教育に関する情報提供	1
サポートする側の教育	1
金銭的支援	1
日本語教育	1
スクールカウンセラー	1
子どもの逃げ場	1
具体的には思いつかない	2

**(10) 第一子が生まれる前に赤ちゃんの世話をした経験の有無
(単数回答) (未就学児童：問 13)**

第一子が生まれる前に赤ちゃんの世話をした経験の有無についてみると、「はい」が25.3%、「いいえ」が73.7%となっています。



(11) 妊娠中にほしいサービスやしたかったこと
(自由記述) (未就学児童：問 14-1)

育児・保育関連の支援	件数
家族・上の子・兄弟の世話（預かり）について	59
保育園の情報について	24
上の子・兄弟の世話（送迎）について	16
一時保育について	6
遊ぶ場所・相手について	4
予防接種について	3
上の子向きの教室について	2

日常生活についての支援	件数
病院について	17
ヘルパーについて	6
家事代行サービスについて	5
駅について	2
バスの割引・無料化について	1

知識・情報・相談に関する支援	件数
出産後の子育てサービス情報について	37
父親教室について	32
産後の知識やトラブル・情報・イメージについて	30
ママ同士の交流会について	27
つわり時の知識やサポートについて	23
ヨガやプールについて	21
妊娠中の相談窓口について	13
母親教室について	9
母乳・ミルクについて	8
こうのとりの学級について	6
妊娠中に関する知識やトラブル・情報・イメージについて	5
食事についての知識やサポートについて	2
育児についての知識について	1

行政・社会に関する支援	件数
働いている会社や仕事について	45
行政への意見	30
経済的支援について	21
他市区町村のサービスとの比較について	3

その他	件数
その他	9

**(12) 産後（退院してすぐ）に困ったことや欲しいサービスのこと
（自由記述）（未就学児童：問 14-2）**

育児・保育関連の支援	件数
送迎について	9
一時保育について	6
家族・上の子・兄弟の世話（預かり）について	6
赤ちゃんの世話（育児サポート）について	3
ベビーシッターについて	2
保育園の情報について	1
保育時間について	1

日常生活についての支援	件数
リフレッシュや休息・育児の大変さについて	49
病院（小児科）に関して	23
家事代行サービスに関して	7
産前・産後ヘルパーに関して	5
食事の宅配・提供サービスについて	5
ファミサポに関して	4
買い物（代行や買い物中の一時預かり）について	1

知識・情報・相談に関する支援	件数
母乳相談・母乳マッサージについて	51
育児についての相談窓口について	5
運動やマッサージなどの講座について	4
産後の自分の身体の変化について	4
父親教室について	3
産後の電話相談について	1

交流や居場所に関する支援	件数
里帰り出産について	16
産後の宿泊ケア施設について	6

行政・社会に関する支援	件数
他市区町村のサービスとの比較について	24
行政への意見	17
経済的支援（保育）について	12
経済的支援（産後）について	6
働いている会社や仕事について	4
手続の簡素化について	3

健康に関する支援	件数
赤ちゃんの体重を知る機会（体重計のレンタル）について	7
赤ちゃんの健診について	5

その他	件数
その他	12

**(13) 子育て中（これからのこと）にほしいサービスやしたいこと
（自由記述）（未就学児童：問 14-3）**

育児・保育・教育関連の支援	件数
一時保育・病児保育について	31
子ども向けの講座・教室・ならいごと（土日開催含む）について	21
学童について	15
保育園や児童館の充実について	14
健診について	4
ベビーシッターについて	1

日常生活についての支援	件数
交通機関について	15
病院の情報について	10
ファミリーサポートについて	6
夫婦での時間について	5
子ども用品のリユース・レンタルについて	4
ヘルパーについて	3
子育てで使えるサービス券・クーポン券について	1

知識・情報・相談に関する支援	件数
分かりやすい情報について	29
親向けの講座・教室・娯楽について	27
相談サービスについて	23

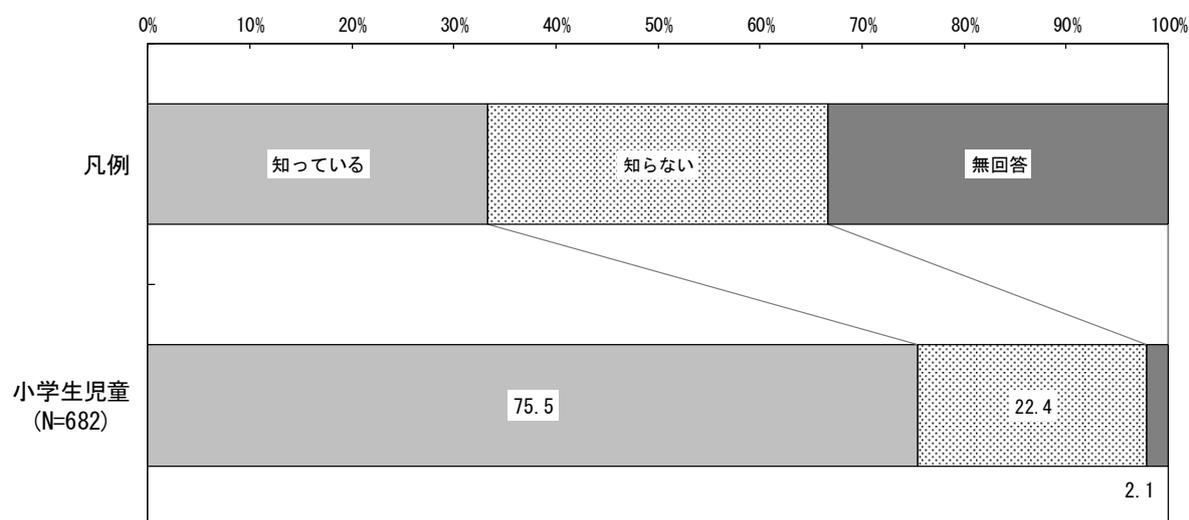
交流や居場所に関する支援	件数
交流の場について	11
子どもが楽しく遊べる場所について	4
赤ちゃんが遊べるスペースについて	3

行政・社会に関する支援	件数
経済的補助・支援等について	31
仕事との両立について	17
保健センター・市役所・施設などの立地や営業時間について	7
育休について	2
周囲の理解について	1

その他	件数
その他	27

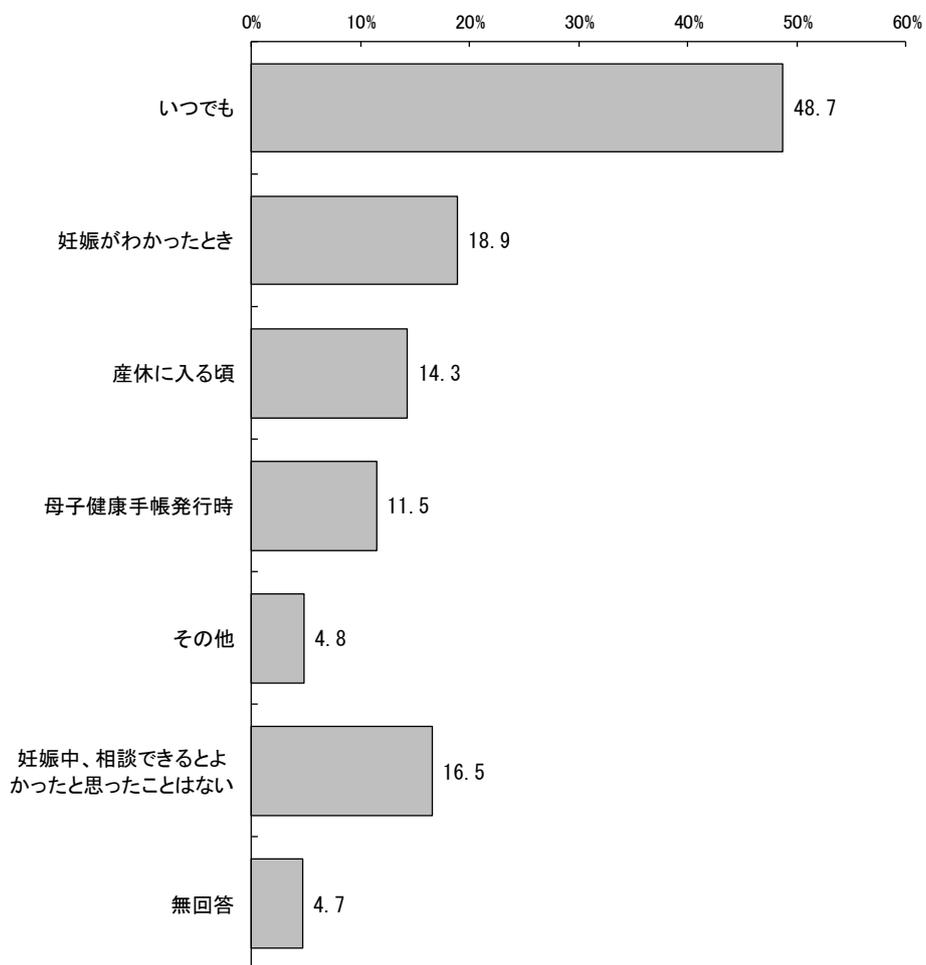
(14) 市の就学援助費制度の認知度
(単数回答) (小学生児童 : 問 13)

市の就学援助費制度の認知度をみると、「知っている」が75.5%、「知らない」が22.4%となっています。



**(15) 妊娠中に相談できると良かったと思うタイミング
(複数回答) (未就学児童：問 15)**

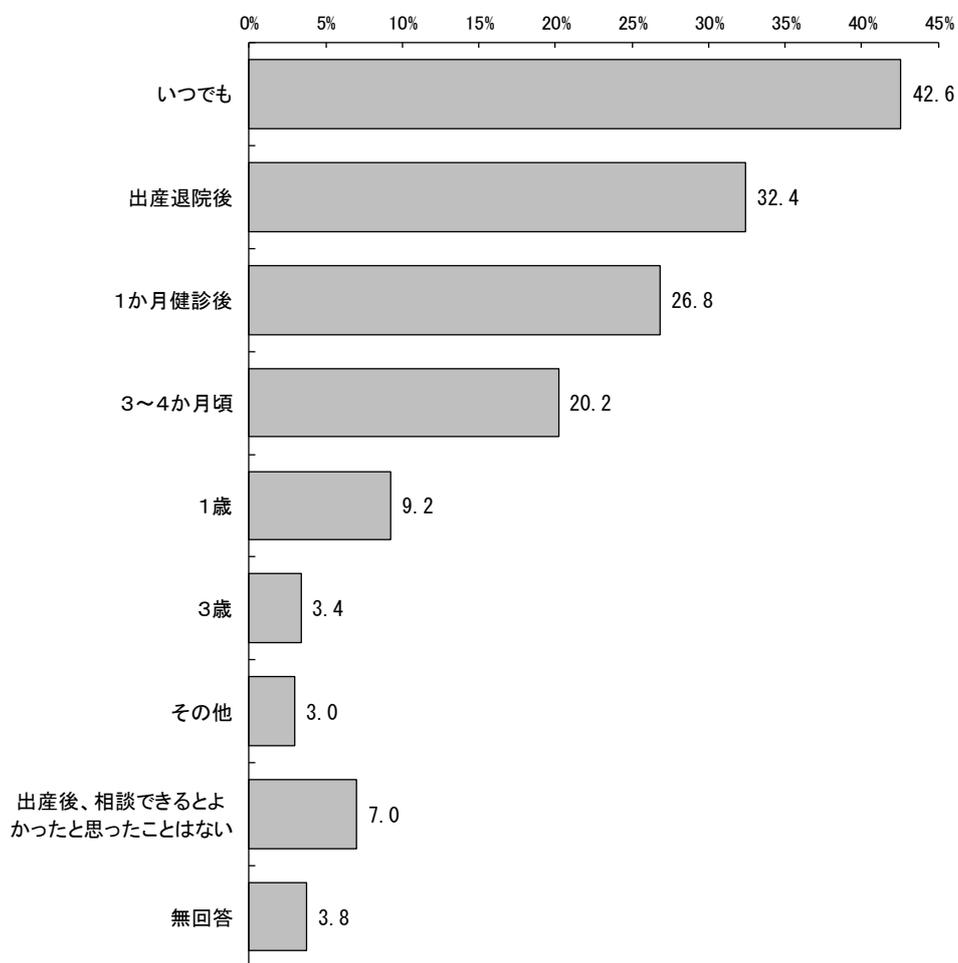
妊娠中に相談できると良かったと思うタイミングについてみると、「いつでも」が48.7%と最も多く、次いで「妊娠がわかったとき」が18.9%となっています。



未就学児童(N=768)

(16) 出産後に相談できると良かったと思うタイミング
(複数回答) (未就学児童：問 16)

出産後に相談できると良かったと思うタイミングについてみると、「いつでも」が42.6%と最も多く、次いで「出産退院後」が32.4%となっています。



未就学児童(N=768)

4. 子育て支援サービスや地域子育て支援事業の利用状況

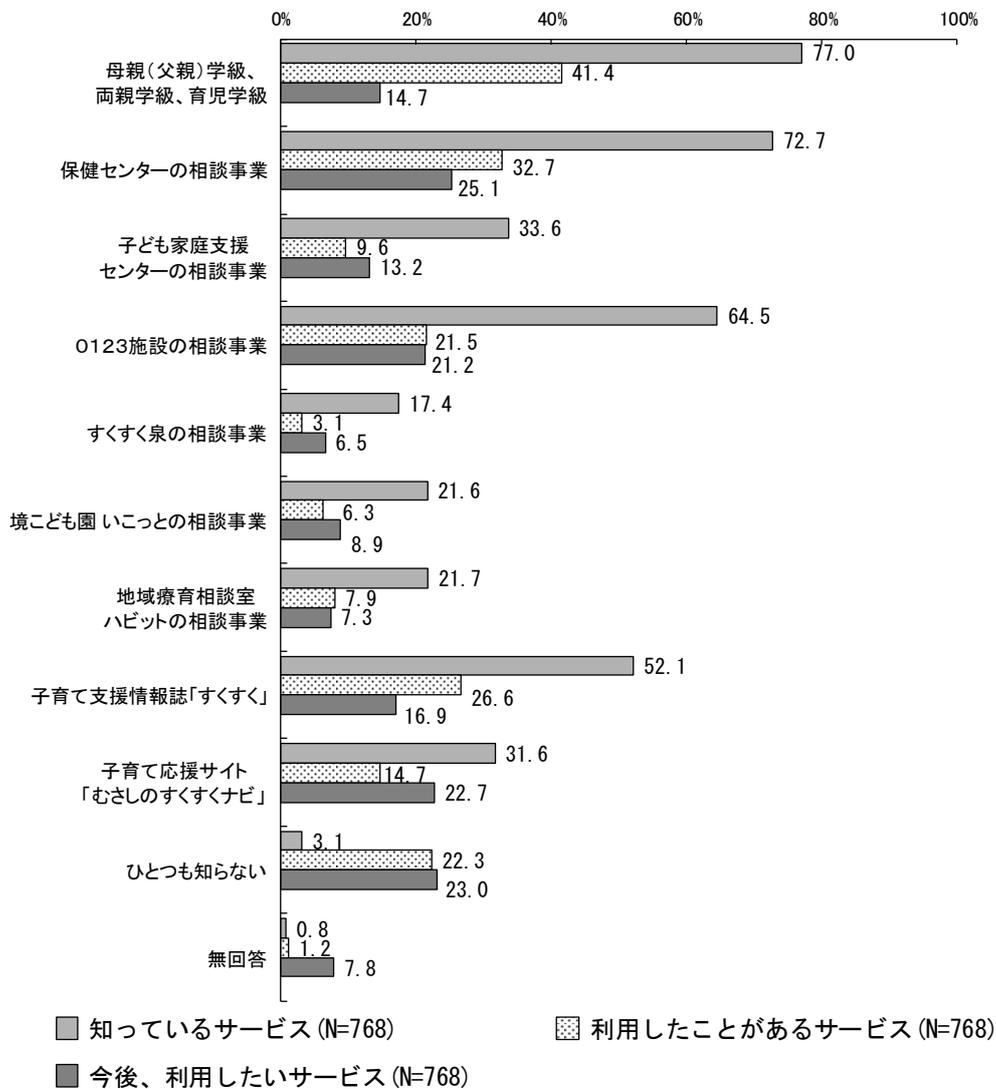
(1) 子育て支援サービス・地域子育て支援事業の利用状況 (未就学児童：問 17、問 18、問 19)

① 子育て支援サービス・地域子育て支援事業の認知・利用状況 (複数回答)

子育て支援サービス・地域子育て支援事業で知っているサービスは、「母親（父親）学級、両親学級、育児学級」が77.0%と最も多く、次いで「保健センターの相談事業」が72.7%となっています。

利用したことがあるサービスは、「母親（父親）学級、両親学級、育児学級」が41.4%と最も多く、次いで「保健センターの相談事業」が32.7%となっています。

今後、利用したいサービスは、「保健センターの相談事業」が25.1%となっています。



【母親の就労状況 × 利用したことがあるサービス】

子育て支援サービス・地域子育て支援事業の利用状況を母親の就労状況別にみると、「母親（父親）学級、両親学級、育児学級」が「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」「以前は就労していたが、現在は就労していない」で多く、「保健センターの相談事業」が「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」で多くなっています。

(%)

	母親（父親）学級、両親学級、育児学級	保健センターの相談事業	子ども家庭支援センターの相談事業	0123施設の相談事業	すくすく泉の相談事業	境こども園いこっこの相談事業	地域療育相談室ハビットの相談事業	子育て支援情報誌「すくすく」	子育て応援サイト「むさしのすくすくナビ」	ひとつも利用したことがない	無回答
未就学児童全体 (N=768)	41.4	32.7	9.6	21.5	3.1	6.3	7.9	26.6	14.7	22.3	1.2
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない (N=233)	51.1	30.9	7.3	18.9	1.3	9.0	3.9	30.9	9.0	19.3	0.9
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である (N=141)	46.1	28.4	6.4	19.9	5.0	5.0	2.1	23.4	36.2	20.6	0.0
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない (N=102)	30.4	41.2	16.7	22.5	0.0	2.0	12.7	19.6	8.8	29.4	0.0
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である (N=9)	44.4	33.3	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	11.1	11.1	22.2	0.0
以前は就労していたが、現在は就労していない (N=254)	37.0	35.4	11.0	25.2	5.5	7.1	13.0	28.3	11.8	22.0	2.0
これまで就労したことがない (N=16)	18.8	25.0	12.5	18.8	0.0	0.0	18.8	12.5	6.3	25.0	0.0

※回答者数（N）が10未満の項目は分析の対象外。

【母親の就労状況 × 今後利用したいサービス】

今後利用したい子育て支援サービス・地域子育て支援事業の利用状況を母親の就労状況別にみると、全体では「保健センターの相談事業」が25.1%、次いで「子育て応援サイト「むさしのすくすくナビ」」が22.7%となっています。また、「これまで就労したことがない」の50.0%が「ひとつも利用したことがない」と回答しています。

	母親（父親）学級、両親学級、育児学級	保健センターの相談事業	子ども家庭支援センターの相談事業	0123施設の相談事業	すくすく泉の相談事業	境こども園いこっこの相談事業	地域療育相談室ハビットの相談事業	子育て支援情報誌「すくすく」	子育て応援サイト「むさしのすくすくナビ」	ひとつも利用したことがない	無回答
未就学児童全体 (N=768)	14.7	25.1	13.2	21.2	6.5	8.9	7.3	16.9	22.7	23.0	7.8
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない (N=233)	15.0	20.6	11.6	14.2	5.2	9.4	6.0	15.9	21.0	28.3	9.9
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である (N=141)	21.3	27.7	9.9	27.0	8.5	9.9	2.1	14.2	31.2	14.9	7.8
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない (N=102)	5.9	24.5	17.6	11.8	2.9	2.0	11.8	13.7	18.6	32.4	6.9
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である (N=9)	22.2	11.1	22.2	33.3	11.1	0.0	33.3	22.2	33.3	22.2	0.0
以前は就労していたが、現在は就労していない (N=254)	14.6	28.7	14.6	29.5	8.7	11.4	9.1	20.9	22.4	16.9	5.5
これまで就労したことがない (N=16)	0.0	18.8	12.5	6.3	0.0	0.0	6.3	12.5	12.5	50.0	18.8

※回答者数（N）が10未満の項目は分析の対象外。

② 子育て支援サービス・地域子育て支援事業を利用したことがない理由
(自由記述) (未就学児童：問 18-1)

母親(父親)学級、両親学級、育児学級について「利用したことがない」理由	件数
必要性を感じないから	6
時間がない・忙しいから	6
別の施設(病院など)で受けたから	5
2人目以降で参加したくてもできなかったから	5
知らなかったから	4
利用方法等が分からなかったから	4
土日の開催がなかったから(日程が合わなかったから)	4
引っ越してきたから	4
参加したくてもできなかった	1
定員に達したと言われたから	1

保健センターの相談事業について「利用したことがない」理由	件数
時間がない・忙しいから	6
必要性を感じないから	5
身近な人への相談で解決できるから	4
利用方法等が分からなかったから	4
知らなかったから	3
引っ越してきたばかりだから	3
家から遠いから	2
相談することに迷うから(行きづらかったから)	2

子ども家庭支援センターの相談事業について「利用したことがない」理由	件数
引っ越してきたばかりだから	7
知らなかったから	5
家から遠いから	5
必要性を感じないから	5
利用方法等が分からなかったから	4
身近な人への相談で解決できるから	4
時間がない・忙しいから	3

0123施設の相談事業について「利用したことがない」理由	件数
引っ越してきたばかりだから	7
知らなかったから	6
必要性を感じないから	5
時間がない・忙しいから	3
家から遠いから	2
身近な人への相談で解決できるから	2
利用方法等が分からなかったから	1

すくすく泉の相談事業について「利用したことがない」理由	件数
必要性を感じないから	6
知らなかったから	5
利用方法等が分からなかったから	4
時間がない・忙しいから	3
引っ越してきたばかりだから	2
身近な人への相談で解決できるから	2
家から遠いから	1

境こども園 いこっとの相談事業について「利用したことがない」理由	件数
知らなかったから	5
利用方法等が分からなかったから	4
必要性を感じないから	4
時間がない・忙しいから	3
引っ越してきたばかりだから	2
身近な人への相談で解決できるから	2
家から遠いから	1
今後は利用したい	1

地域療育相談室ハビットの相談事業について「利用したことがない」理由	件数
知らなかったから	6
利用方法等が分からなかったから	4
必要性を感じないから	4
時間がない・忙しいから	3
引っ越してきたばかりだから	2

子育て支援情報誌「すくすく」について「利用したことがない」理由	件数
知らなかったから	5
利用方法等が分からなかったから	4
必要性を感じないから	3
時間がない・忙しいから	3
特に活用をしなかった	2
引っ越してきたばかりだから	2

子育て応援サイト「すくすくナビ」について「利用したことがない」理由	件数
知らなかったから	5
利用方法等が分からなかったから	5
必要性を感じないから	3
時間がない・忙しいから	3
引っ越してきたばかりだから	2
身近な人への相談で解決できるから	2
手間がかかるから	1

③ 子育て支援サービス・地域子育て支援事業を今後利用したい理由
(自由記述) (未就学児童：問 19-1)

母親(父親)学級、両親学級、育児学級について「今後利用したい」理由	件数
育児(離乳食など)について学びたいから	22
子どものしつけ等について学びたいから	9
父親にも参加してほしいから	6
以前参加して役に立った・役に立ちそうだから	5
参加したい講座があるから	5

保健センターの相談事業について「今後利用したい」理由	件数
子どもの成長・発達に関する相談(身体測定含む)をしたいから	35
育児(子育て)についての相談をしたいから	21
何かあった時の相談をしたいから	15
健診の際に相談したいから	8
電話相談をしたいから	8
家から近いから	6
健康の相談をしたいから	5
以前、利用したことがあるから	4
専門家の意見やアドバイスを聞きたいから	3
相談しやすいから	2

子ども家庭支援センターの相談事業について「今後利用したい」理由	件数
育児・子育てに悩んだ時に相談したいから	17
子どもの成長・発達についての相談をしたいから	13
必要があれば利用したい	8
保育園・小学校についての相談をしたいから	3
悩みなどを解決するため	2
電話相談をしたいから	1

0123施設の相談事業について「今後利用したい」理由	件数
相談したいことがあるから	37
家から近い・行きやすいから	9
子どもを遊ばせながら相談できるから	9
相談しやすい・気軽に相談できるから	7
何か困ったことがあれば利用したい	2
以前利用したことがあり良かったから	1
予約が不要だから	1

すくすく泉の相談事業について「今後利用したい」理由	件数
家から近いから	5
相談したいことがあるから	3
何かあれば利用したい	3
参加してみたい	3
相談しやすいから・気軽に相談できるから	1

境こども園 いこっとの相談事業について「今後利用したい」理由	件数
相談したいことがあるから	9
遊び場としても利用できるから	9
悩みがあった時に利用したい	3
家から近いから	3
以前から利用していたから	2
気軽に相談できるから	1

地域療育相談室ハビットの相談事業について「今後利用したい」理由	件数
子どもの成長・発達についての相談をしたいから	20
現在（以前）利用しているから	2
相談したいことがあるから	2

子育て支援情報誌「すくすく」について「今後利用したい」理由	件数
子育て支援サービスの情報が載っているから	13
公園（遊び場）の参考にしたいから	9
情報誌として役に立つから	5
手軽・気軽に利用できるから	5
幼稚園・保育園の情報が載っているから	4
家で情報が手に入るから	3

子育て応援サイト「すくすくナビ」について「今後利用したい」理由	件数
予防接種の情報が欲しいから	16
手軽・気軽に利用できるから	15
便利だから・役に立つから	13
幼稚園・保育園の情報が手に入るから	6
情報収集をしたいから	4

④ 子育て支援サービス・地域子育て支援事業を今後利用したいと思わない理由
 (自由記述) (未就学児童：問 19-2)

母親(父親)学級、両親学級、育児学級について「利用したいと思わない」理由	件数
必要性を感じないから	6
特に相談したい内容がないから	6
年齢が合わないから	2
子どもを連れて行くのが困難だから	2
スタッフの対応	1
初産対象がほとんどだから	1
子どもが大きくなって悩みが減ったから	1

保健センターの相談事業について「利用したいと思わない」理由	件数
必要性を感じないから	10
家から遠いから	5
時間がない・忙しいから	4
スタッフの対応	2
特に不安がないから	2
相談できる人が近くにいるから	1
利用方法等がよく分からないから	1

子ども家庭支援センターの相談事業について「利用したいと思わない」理由	件数
必要性を感じないから	23
時間がない・忙しいから	5
相談しても解決しないから	2
サービスの内容が分からないから	1
家から遠いから	1

0123施設の相談事業について「利用したいと思わない」理由	件数
必要性を感じないから	8
時間がない・忙しいから	4
相談しづらいから	2
対象年齢から外れているから	2
スタッフの対応	1
相談しても解決しないから	1
サービスの内容が分からないから	1

すくすく泉の相談事業について「利用したいと思わない」理由	件数
時間がない・忙しいから	4
必要性を感じない・悩みがないから	2
家から遠いから	1
相談しても解決しないから	1
サービスの内容が分からないから	1

境こども園 いこっこの相談事業について「利用したいと思わない」理由	件数
必要性を感じない・悩みがないから	12
時間がない・忙しいから	4
家から遠いから	3
サービスの内容が分からないから	1
相談しても解決しないから	1

地域療育相談室ハビットの相談事業について「利用したいと思わない」理由	件数
必要性を感じない・悩みがないから	12
時間がない・忙しいから	4
相談しても解決しないから	1
スタッフの対応	1
家から遠いから	1

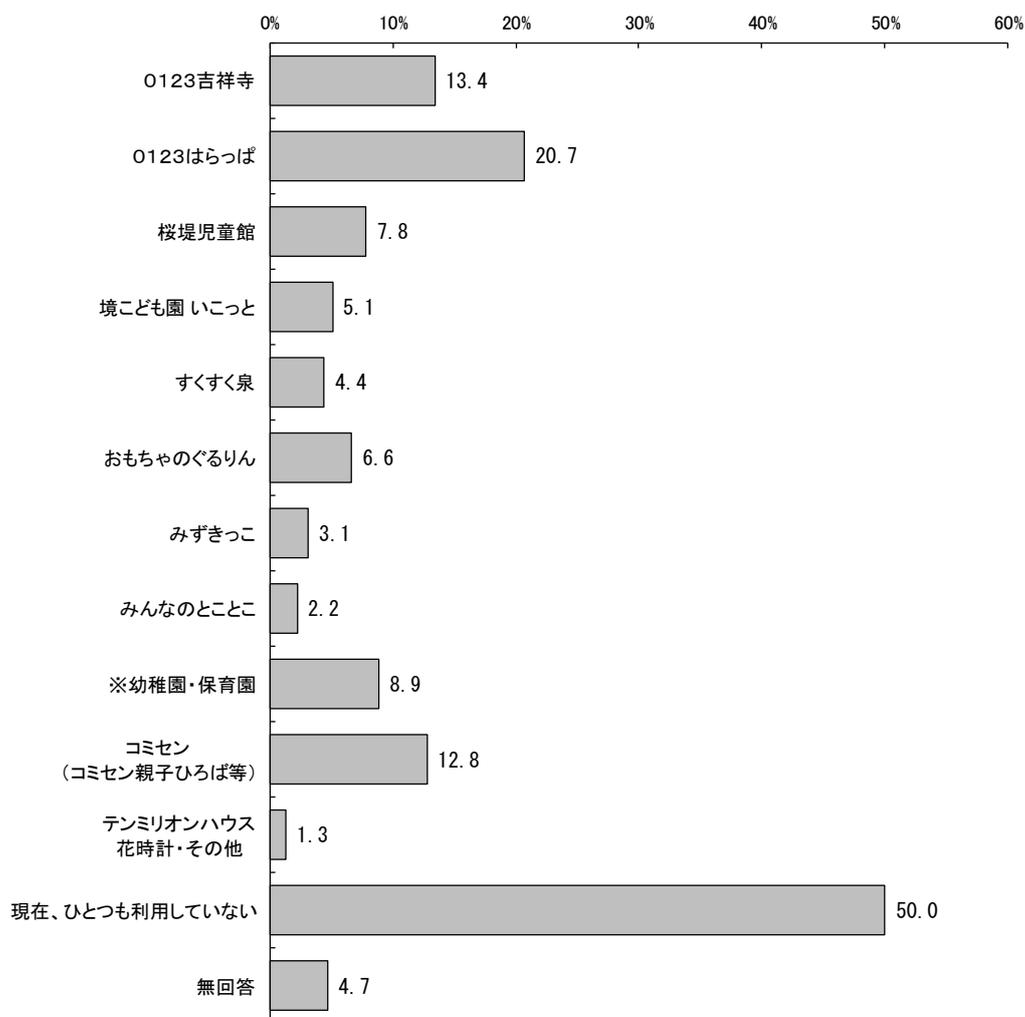
子育て支援情報誌「すくすく」について「利用したいと思わない」理由	件数
必要性を感じない・悩みがないから	9
時間がない・忙しいから	3
サービスの内容が分からないから	2
内容が充実していないから	1

子育て応援サイト「すくすくナビ」について「利用したいと思わない」理由	件数
必要性を感じない・悩みがないから	11
時間がない・忙しいから	3
内容が分からないから	2
内容が充実していないから	1

(2) 地域子育て支援施設の利用状況

① 地域子育て支援施設で現在利用している施設 (複数回答) (未就学児童：問 20)

地域子育て支援事業で現在利用している施設は、「0123はらっぱ」が20.7%と最も多く、次いで「0123吉祥寺」が13.4%となっています。



未就学児童 (N=768)

※印の「幼稚園・保育園」は、調査票では「幼稚園・保育園 (あかちゃんのひろば、プレママのひろば、園庭開放等)」と表記。

【母親の就労状況 × 地域子育て支援施設で現在利用している施設】

地域子育て支援施設の利用状況を母親の就労状況別にみると、どの就労状況でも「現在、ひとつも利用していない」が最も多くなっていますが、次いで「0 1 2 3はらっぱ」が多い傾向にあります。

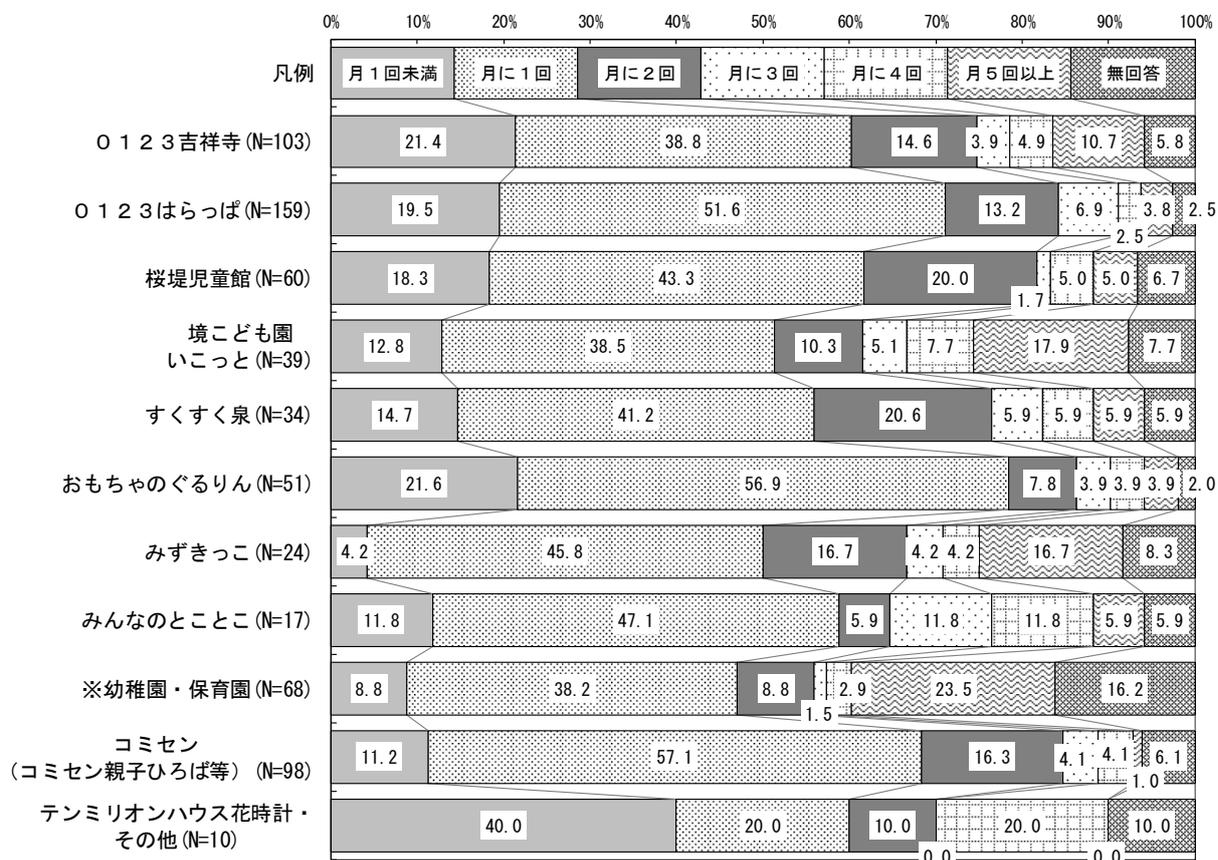
(%)

	0123 吉祥寺	0123 はらっぱ	桜堤 児童館	境こども園 いこっと	すくすく泉	おもちゃの ぐるりん	みずきっこ	みんなの とことこ	幼稚園・保 育園(あか ちゃんのひ ろば、プレ ママのひろ ば、園庭開 放等)	コミセン(コ ミセン親子 ひろば等)	テンミリオン ハウス花時 計・その他	現在、ひとつも利用して いない	無回答
未就学児童全体 (N=768)	13.4	20.7	7.8	5.1	4.4	6.6	3.1	2.2	8.9	12.8	1.3	50.0	4.7
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない (N=233)	9.9	16.7	6.9	3.9	4.7	3.9	0.4	0.0	6.0	9.0	0.0	56.2	6.4
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である (N=141)	14.2	17.0	4.3	7.8	5.7	3.5	5.0	3.5	10.6	13.5	2.1	51.8	2.1
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない (N=102)	13.7	14.7	12.7	3.9	1.0	5.9	2.0	1.0	8.8	12.7	1.0	54.9	2.0
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である (N=9)	22.2	44.4	11.1	0.0	11.1	11.1	22.2	11.1	11.1	22.2	0.0	44.4	0.0
以前は就労していたが、現在は就労していない (N=254)	16.5	29.1	9.4	5.5	4.7	11.0	4.3	3.9	10.2	16.1	2.4	40.6	5.1
これまで就労したことがない (N=16)	6.3	6.3	0.0	6.3	6.3	6.3	6.3	0.0	6.3	12.5	0.0	62.5	6.3

※回答者数 (N) が 10 未満の項目は分析の対象外。

【現在利用している施設の1か月あたりの利用頻度】

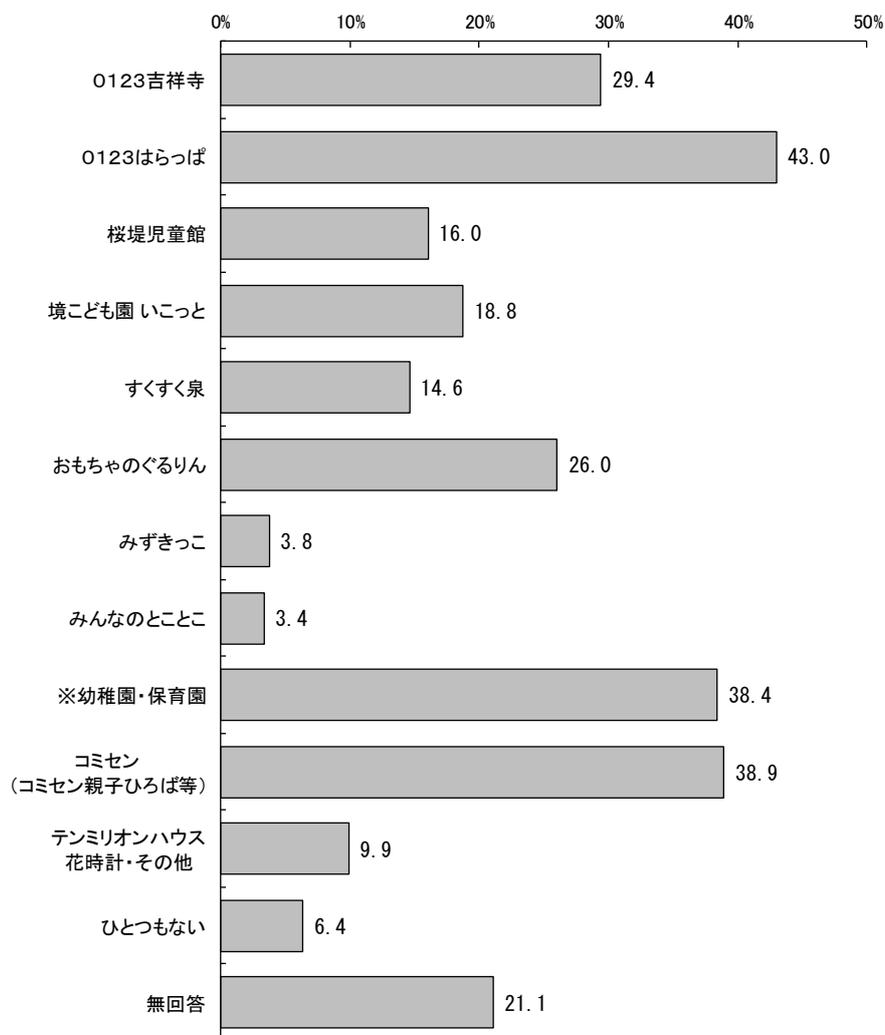
地域子育て支援施設で現在利用している施設の1か月あたりの利用頻度をみると、「0 1 2 3はらっぱ」や「おもちゃのぐるりん」、「コミセン（コミセン親子ひろば等）」では、「月に1回」が5割を超えています。また、「幼稚園・保育園（あかちゃんのひろば、プレママのひろば、園庭開放等）」は、「月5回以上」が23.5%となっています。



※印の「幼稚園・保育園」は、調査票では「幼稚園・保育園（あかちゃんのひろば、プレママのひろば、園庭開放等）」と表記。

② 現在利用していないが、過去に利用したことがある施設
 (複数回答) (未就学児童：問 20-1)

現在利用していないが、過去に利用したことがある施設は、「0123はらっぱ」が43.0%と最も多く、次いで「コミセン (コミセン親子ひろば等)」が38.9%となっています。

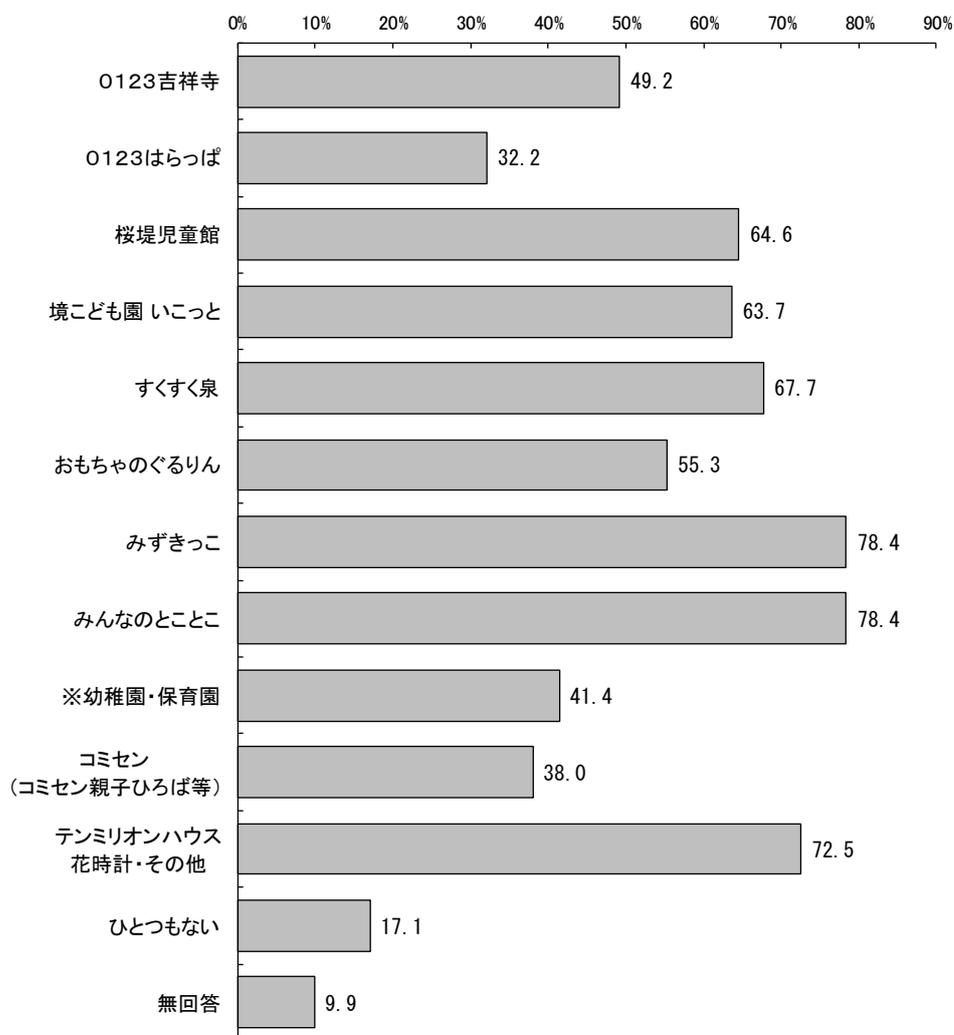


未就学児童 (N=768)

※印の「幼稚園・保育園」は、調査票では「幼稚園・保育園 (あかちゃんのひろば、プレママのひろば、園庭開放等)」と表記。

③ 今まで一度も利用したことがない施設
(複数回答)(未就学児童：問 20-1)

今まで一度も利用したことがない施設は、「みずきっこ」と「みんなのとことこ」がともに78.4%と最も多くなっており、次いで「テンミリオンハウス花時計・その他」が72.5%となっています。



未就学児童 (N=768)

※印の「幼稚園・保育園」は、調査票では「幼稚園・保育園 (あかちゃんのひろば、プレママのひろば、園庭開放等)」と表記。

④ 地域の子育て支援施設を利用したことがない理由
(自由記述) (未就学児童：問 20-2)

0 1 2 3 吉祥寺について「利用したことがない」理由	件数
遠い・近くに別の施設があるから	141
内容等をよく知らないから	60
保育園・幼稚園に通っているから	14
時間がない・忙しいから	9
機会がないから	8
必要性を感じないから	6
子どもが小さい・対象年齢から外れているから	3

0 1 2 3 はらっぱについて「利用したことがない」理由	件数
遠い・近くに別の施設があるから	26
知らなかったから	18
保育園・幼稚園に通っているから	11
時間がない・忙しいから	10
必要性を感じないから	5
機会がないから	5
利用方法が分からないから	3
まだ子どもが小さいから	3

桜堤児童館について「利用したことがない」理由	件数
遠い・交通が不便だから	66
内容等をよく知らないから	27
保育園・幼稚園に通っているから	11
時間がない・忙しいから	10
必要性を感じないから	6
まだ子どもが小さい・対象年齢から外れているから	3
魅力が分からないから	1
行きづらいから	1

境こども園 いこっとについて「利用したことがない」理由	件数
遠い・交通が不便だから	66
詳しく知らないから	27
保育園・幼稚園に通っているから	11
時間がない・忙しいから	10
必要性を感じないから	6
まだ子どもが小さい・対象年齢から外れているから	3
魅力が分からないから	1
ひとりでは行きづらいから	1

すくすく泉について「利用したことがない」理由	件数
遠い・交通が不便だから	101
内容等をよく知らないから	62
保育園・幼稚園に通っているから	14
行く機会がないから	9
時間がない・忙しいから	8
必要性を感じないから	6
子どもが小さい・対象年齢から外れているから	3
利用方法が分からないから	2
他の施設で足りているから	1
子どもが外遊びを好むから	1

おもちゃのぐるりんについて「利用したことがない」理由	件数
遠い・交通が不便だから	33
内容等をよく知らないから	21
時間がない・忙しいから	6
面白そうではない・行きづらいから	4
機会がない	1
ひとりでは行きづらいから	1

みずきっこについて「利用したことがない」理由	件数
遠い・交通が不便だから	100
内容等をよく知らないから	92
保育園・幼稚園に通っているから	13
時間がない・忙しいから	12
機会がなかったから	11
必要性を感じないから	7
まだ子どもが小さい・対象年齢から外れているから	3
手続があるから	1

みんなのとことこについて「利用したことがない」理由	件数
遠い・交通が不便だから	101
内容等をよく知らないから	82
時間がない・忙しいから	8
必要性を感じないから	6
子どもが小さい・対象年齢から外れているから	4
利用方法等が分からないから	3
小さい子向けのイメージがあるから	1
有料だったから	1

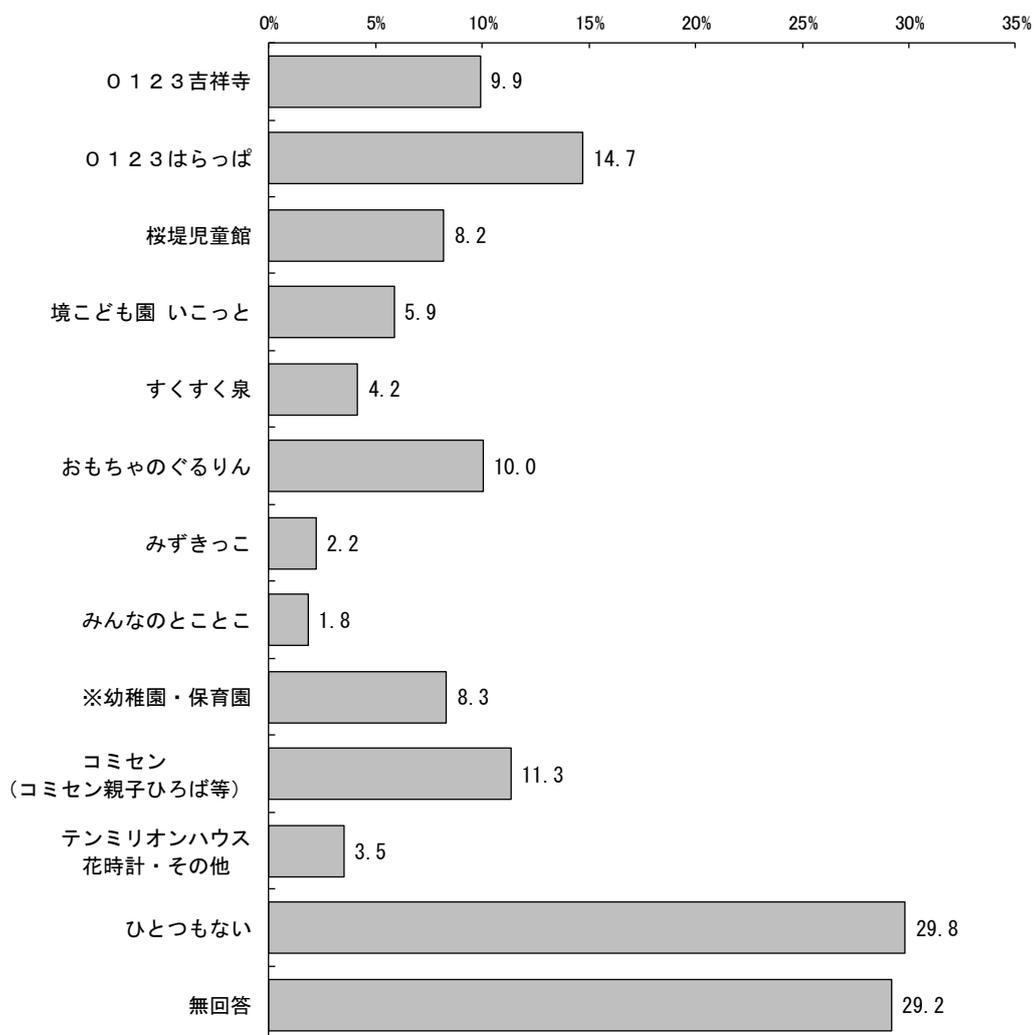
幼稚園・保育園（あかちゃんのひろば、プレママのひろば、園庭開放等） について「利用したことがない」理由	件数
よく知らないから	28
遠い・交通が不便だから	25
時間がない・忙しいから	10
日程が合わなかったから	7
必要性を感じないから	4
他の施設を利用しているから	3
ひとりでは行きづらいから	3
手続きが面倒だから	2
合いそうな人がいるか不安だから	1

コミセン（コミセン親子ひろば等）について「利用したことがない」理由	件数
遠い・交通が不便だから	33
よく知らないから	28
保育園・幼稚園に通っているから	10
時間がない・忙しいから	8
日程が合わなかったから	6
人間関係	6
他の施設を利用しているから	2
赤ちゃん向けだと感じられなかったから	1

テンミリオンハウス花時計・その他について「利用したことがない」理由	件数
遠い・交通が不便だから	79
よく知らないから	78
保育園・幼稚園に通っているから	12
内容や利用方法が分からないから	6
時間がない・忙しいから	6
高齢者向けの施設だと思っていたから	5
どのような施設か分からないから	4
行きづらいから	3
他の施設を利用しているから	3

⑤ 現在利用していないが、今後利用したい施設
(複数回答)(未就学児童：問 21)

現在利用していないが、今後利用したい施設についてみると、「0123はらっぱ」が14.7%と最も多く、次いで「コミセン(コミセン親子ひろば等)」が11.3%となっています。

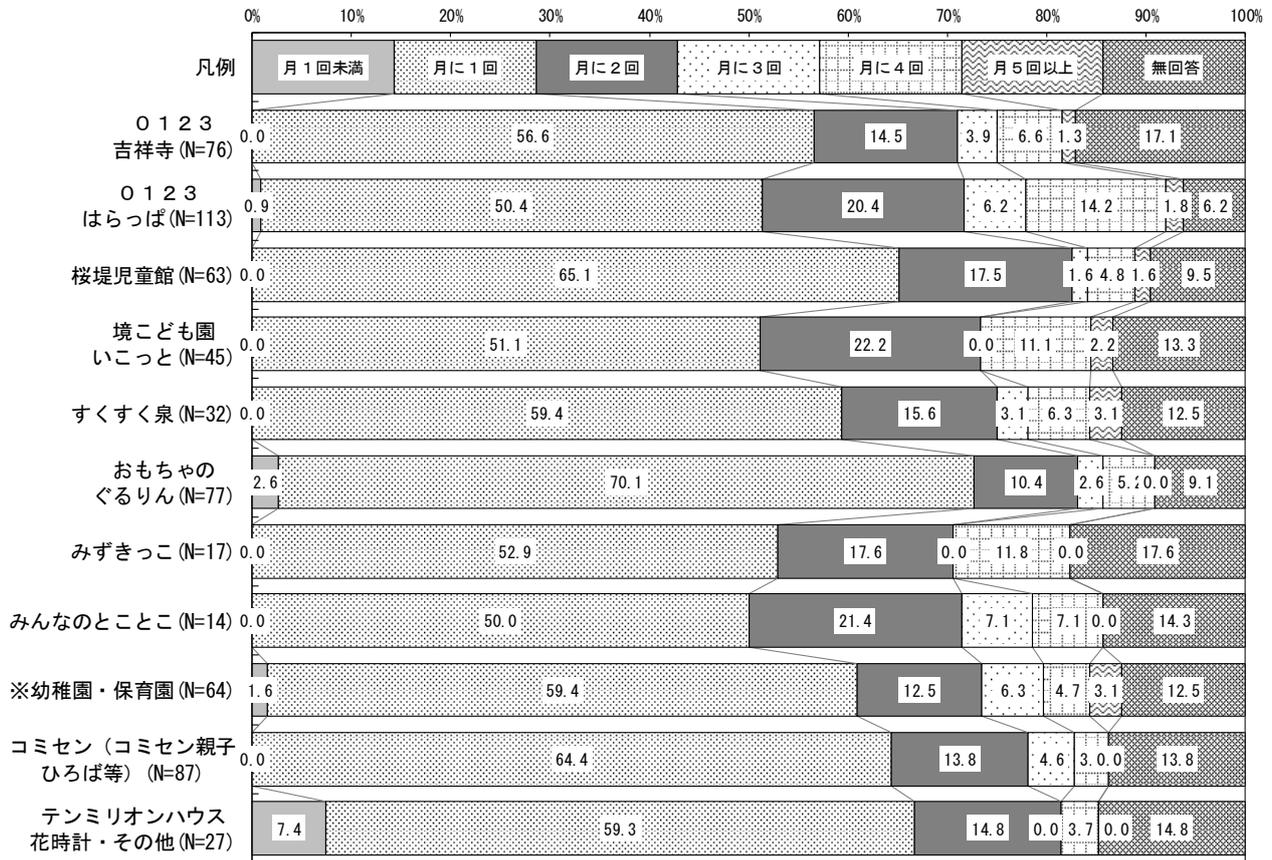


未就学児童(N=768)

※印の「幼稚園・保育園」は、調査票では「幼稚園・保育園(あかちゃんのひろば、プレママのひろば、園庭開放等)」と表記。

⑥ 現在利用していないが、今後利用したい施設の1か月あたりの利用頻度
(数量回答) (未就学児童：問 21)

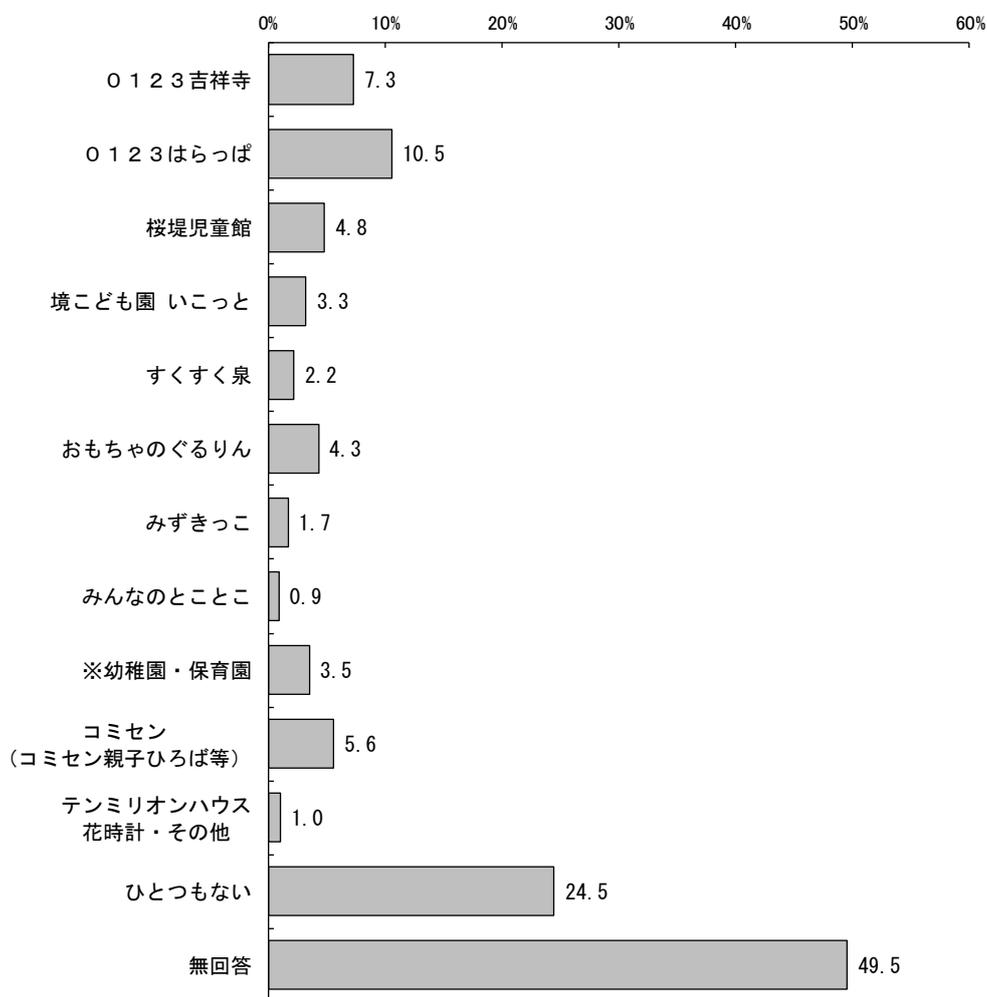
現在利用していないが、できれば今後利用したい施設の1か月あたりの利用頻度をみると、「桜堤児童館」「おもちゃのぐるりん」「コミセン(コミセン親子ひろば等)」にて「月1回」の利用が6割を超えています。



※印の「幼稚園・保育園」は、調査票では「幼稚園・保育園(あかちゃんのひろば、プレママのひろば、園庭開放等)」と表記。

⑦ **すでに利用しているが、今後利用回数を増やしたい施設**
(複数回答) (未就学児童：問 21)

すでに利用しているが、できれば今後利用回数を増やしたい施設をみると、「0 1 2 3 はらっぱ」が10.5%と最も多く、次いで「0 1 2 3 吉祥寺」が7.3%となっています。

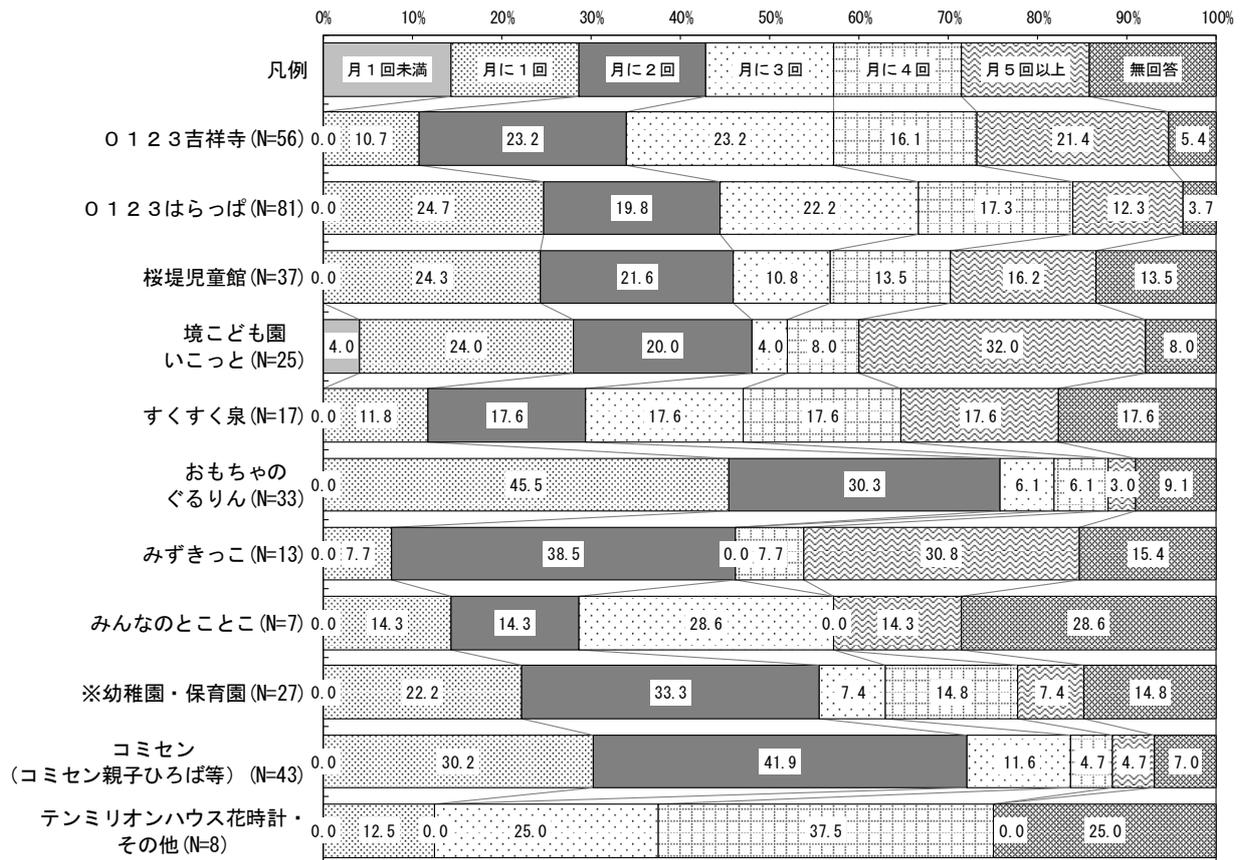


未就学児童 (N=768)

※印の「幼稚園・保育園」は、調査票では「幼稚園・保育園 (あかちゃんのひろば、プレママのひろば、園庭開放等)」と表記。

⑧ **すでに利用しているが、今後利用回数を増やしたい施設の1か月あたりの利用頻度**
(数量回答) (未就学児童：問 21)

すでに利用しているが、できれば今後利用回数を増やしたい施設の1か月あたりの利用頻度をみると、「0123吉祥寺」「境こども園いこっと」「みずきっこ」では、「月5回以上」が2割超となっています。特に「境こども園いこっと」「みずきっこ」はそれぞれ32.0%、30.8%となっています。



※印の「幼稚園・保育園」は、調査票では「幼稚園・保育園（あかちゃんのひろば、プレママのひろば、園庭開放等）」と表記。

⑨ 地域の子育て支援施設を今後利用したいと思わない理由・今後利用回数を増やしたいと思わない理由
(自由記述)(未就学児童：問 21-1)

0 1 2 3 吉祥寺について「今後利用したいと思わない」理由	件数
遠い・交通が不便だから	38
対象年齢から外れたから	15
保育園・幼稚園に通っているから	15
必要性を感じないから	7
時間がない・忙しいから	7
利用方法などが良く分からないから	4
土日の利用ができないから	4
他の施設の方が良いから	1
施設の作りや雰囲気合わないから	1

0 1 2 3 はらっぱについて「今後利用したいと思わない」理由	件数
遠い・交通が不便だから	23
対象年齢から外れたから	15
保育園・幼稚園に通っているから	15
必要性を感じないから	7
時間がない・忙しいから	6
利用方法などが良く分からないから	3

桜堤児童館について「今後利用したいと思わない」理由	件数
遠い・交通が不便だから	55
保育園・幼稚園に通っているから	15
対象年齢から外れたから	11
時間がない・忙しいから	7
必要性を感じないから	7
土日の利用ができない	3
スタッフの対応	1

境こども園 いこっについて「今後利用したいと思わない」理由	件数
遠い・交通が不便だから	50
保育園・幼稚園に通っているから	12
対象年齢から外れたから	11
時間がない・忙しいから	7
必要性を感じないから	5

すくすく泉について「今後利用したいと思わない」理由	件数
遠い・交通が不便だから	34
保育園・幼稚園に通っているから	15
対象年齢から外れたから	13
必要性を感じないから	7
狭いから	2

おもちゃのぐるりんについて「今後利用したいと思わない」理由	件数
遠い・交通が不便だから	15
保育園・幼稚園に通っているから	15
対象年齢から外れたから	12
時間がない・忙しいから	7
土日の利用ができないから	5
利用方法等が良く分からないから	3
狭いから	2
外で遊ばせたいから	1

みずきっこについて「今後利用したいと思わない」理由	件数
遠い・交通が不便だから	30
保育園・幼稚園に通っているから	14
対象年齢から外れたから	12
時間がない・忙しいから	7
必要性を感じないから	7
利用方法等が良く分からないから	4
雰囲気などが合わないから	1
狭いから	1

みんなのとことこについて「今後利用したいと思わない」理由	件数
遠い・交通が不便だから	37
保育園・幼稚園に通っているから	16
対象年齢から外れたから	13
時間がない・忙しいから	7
必要性を感じないから	7
利用方法等が良く分からない	5
狭いから	2
今のままで十分だから	1
利用手続きが面倒だから	1

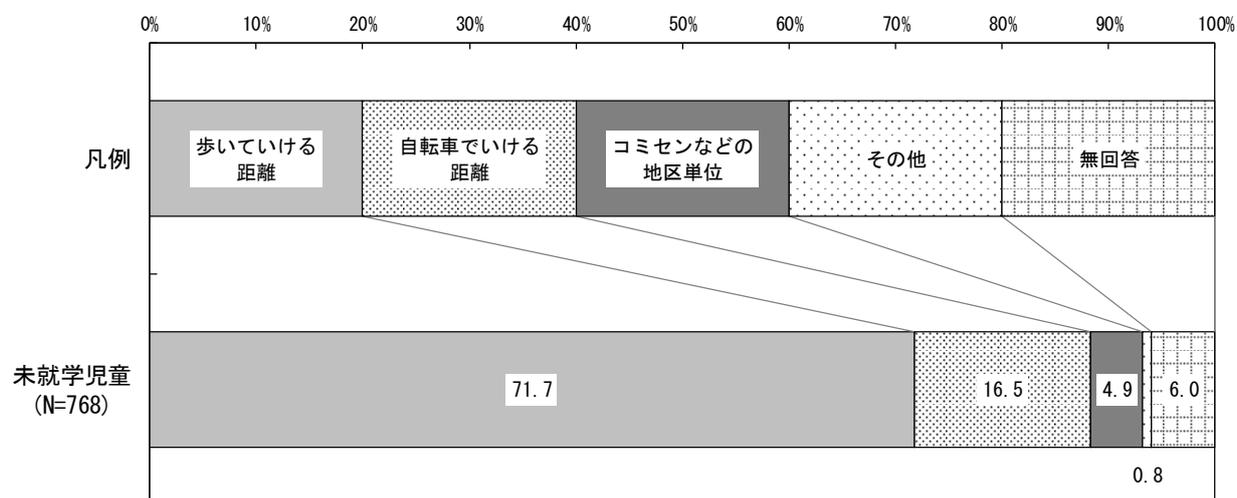
幼稚園・保育園（あかちゃんのひろば、プレママのひろば、園庭開放等） について「今後利用したいと思わない」理由	件数
既に幼稚園・保育園に通っているから	10
遠い・交通が不便だから	8
必要性を感じないから	8
対象年齢から外れたから	6
時間がない・忙しいから	2
人間関係	1
予約が必要だから	1

コミセン（コミセン親子ひろば等）について「今後利用したいと思わ ない」理由	件数
保育園・幼稚園に通っているから	16
遠い・交通が不便だから	13
対象年齢から外れたから	12
必要性を感じないから	8
時間がない・忙しいから	6
利用方法などが良く分からないから	4
土日の利用ができないから	3
人間関係	2
現状で満足しているから	2
スタッフの対応	1

テンミリオンハウス花時計・その他について「今後利用したいと思わ ない」理由	件数
遠い・交通が不便だから	7
利用方法などが良く分からないから	6
必要性を感じないから	5
イメージと合わないから	2
人間関係	1

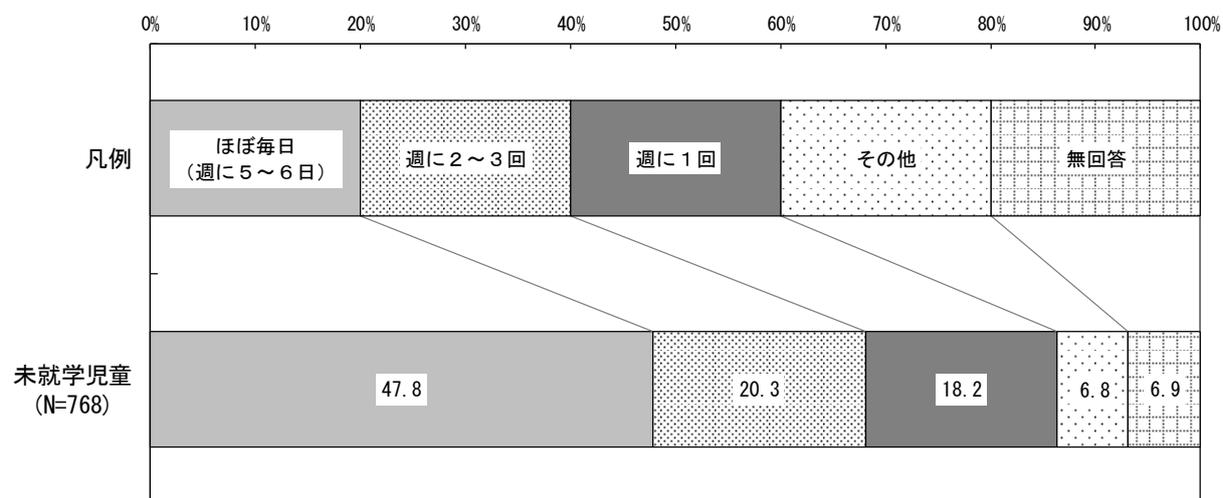
⑩ 「子育てひろば」の自宅からの理想の範囲
(単数回答) (未就学児童：問 22)

「子育てひろば」の自宅からの理想の範囲は、「歩いて行ける距離」が71.7%と最も多く、次いで「自転車でいける距離」が16.5%となっています。



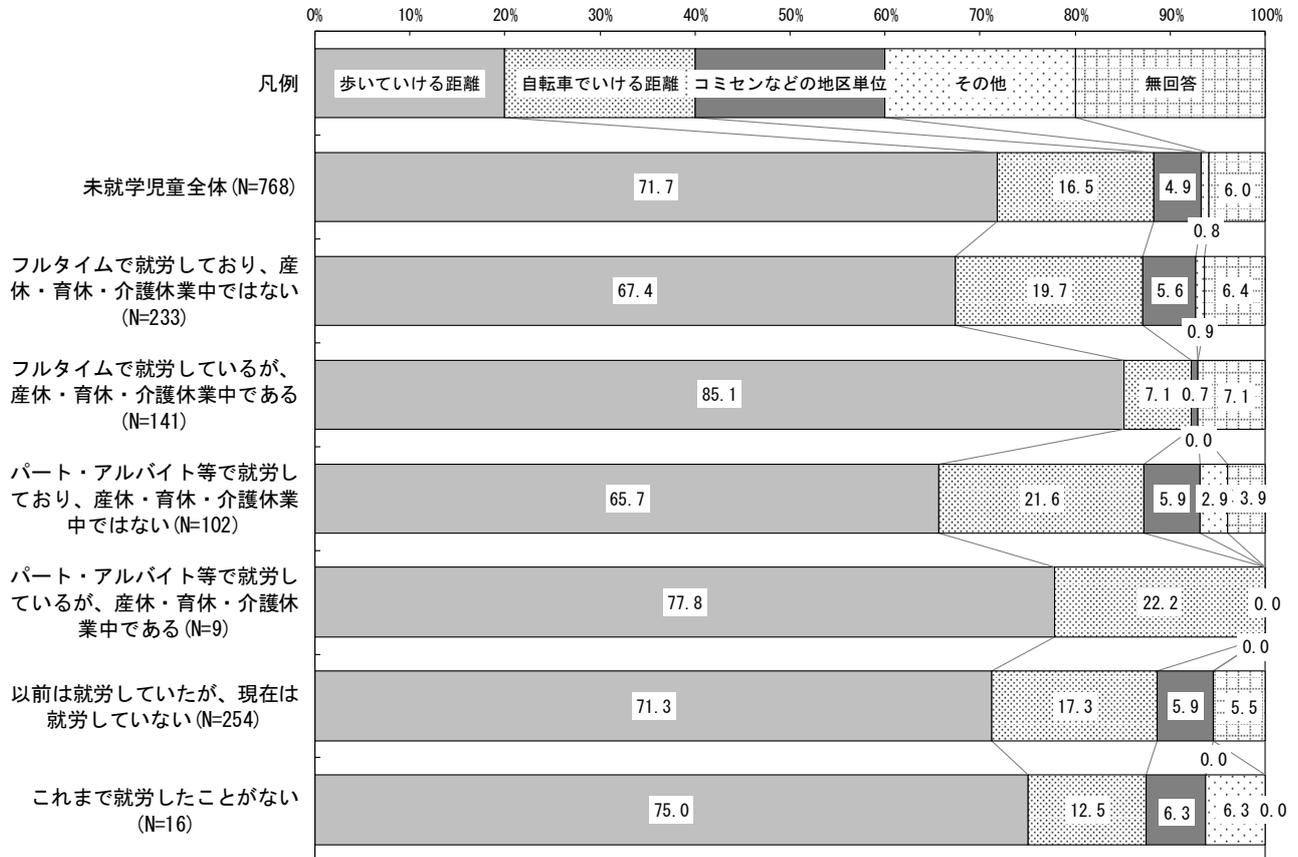
⑪ 「子育てひろば」に希望する開設形態
(単数回答) (未就学児童：問 22-1)

「子育てひろば」に希望する開設形態は、「ほぼ毎日 (週に5~6日)」が47.8%と最も多く、次いで「週に2~3回」が20.3%となっています。



【母親の就労状況 × 「子育てひろば」の自宅からの理想の範囲】

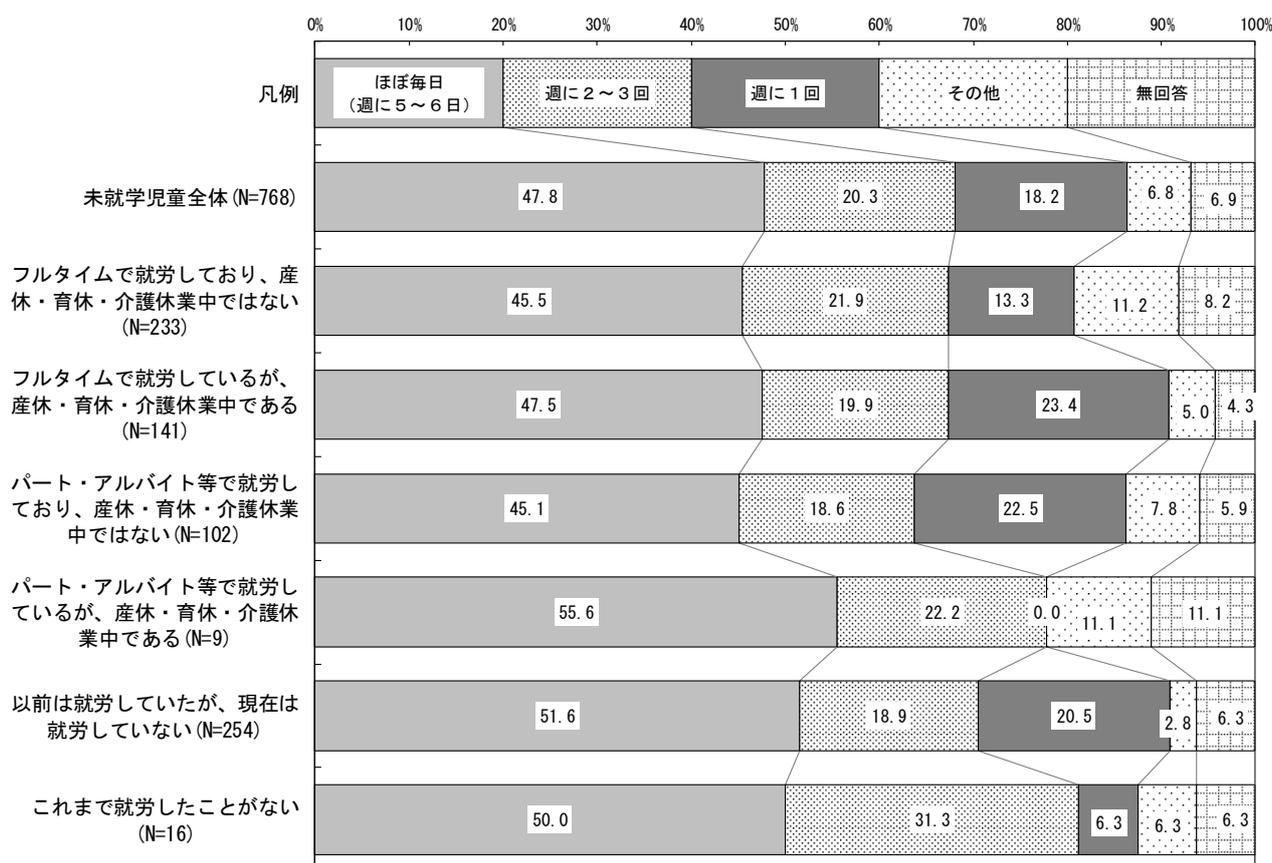
「子育てひろば」の自宅からの理想の範囲を母親の就労状況別にみると、「歩いていける距離」が最も多く、次いで「自転車でいける距離」となっています。



※回答者数 (N) が 10 未満の項目は分析の対象外。

【母親の就労状況 × 「子育てひろば」に希望する開設形態】

「子育てひろば」に希望する開設形態を母親の就労状況別にみると、全体では「ほぼ毎日（週に5～6日）」が最も多く、次いで「週に2～3回」となっています。また、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」「以前は就労していたが、現在は就労していない」では「週に1回」が多い傾向にあり、休業中や就労していないと希望する開設日が少ない傾向にあります。



※回答者数（N）が10未満の項目は分析の対象外。

⑫ 「子育てひろば」に対する意見
 (自由記述) (未就学児童：問 22-2)

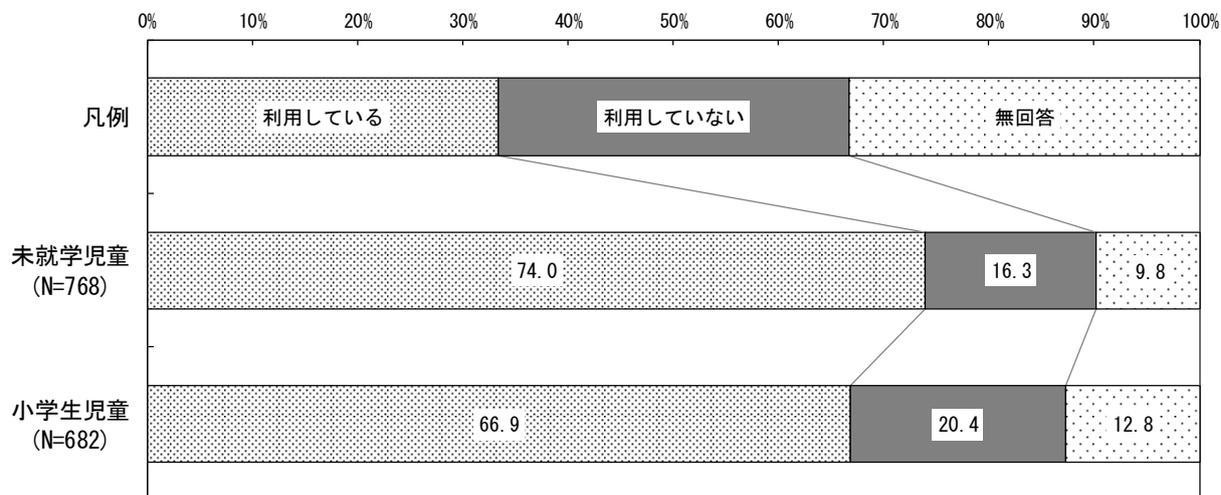
育児・保育関連の支援	件数
施設までの距離や施設数について	19
相談できる相手や機会について	19
施設環境について	17
情報提供・発信について	12
未就学児童へのサポートや遊び場の充実について	6

交流や居場所に関する支援	件数
交流の場・遊び場施設の曜日・時間・回数の充実について	37
交流の場・遊び場施設的环境について	8
リフレッシュのための場所について	1
親や子どもの交流イベントについて	1

行政・社会に関する支援	件数
地域ネットワークについて	7
企業や行政の体制について	1

⑬ 普段利用している公園
 (単数回答) (未就学児童：問 23 小学生児童：問 25)

普段利用している公園の有無についてみると、「利用している」が未就学児童保護者で 74.0%、小学生児童保護者で 66.9%となっています。



公園名	件数
中央公園	184
井の頭公園	112
小金井公園	80
西久保公園	33
市民公園	32
関前公園	29
ぼっぼ公園	26
立野公園	22
上水南公園	18
桜堤中央公園	17
本田北公園	17
こうちゃん公園	16
もみじ山公園	16
かえで公園	14
なかよし公園	13
かわばた公園	13
境南中央公園	12
北町子ども広場	11
かくれみの公園	10
吉祥寺公園	7
三角広場	7
あおき公園	4
UR 団地の公園	2

⑭ 公園で子どもと一緒にできる（したい）活動
 （自由記述）（未就学児童：問 23- 1 小学生児童：問 25- 1）

未就学児童	件数
遊具を使った遊び	127
ボール遊び	113
砂遊び	54
様々なスポーツ活動	51
自転車・サイクリング	42
キャッチボール、サッカー	23
アスレチック	21
自然や季節を感じる事	19
散歩	18
虫取り	18
バーベキュー	12
シャボン玉	9
ヨガ	7
子どもが喜ぶ遊び	6

小学生児童	件数
ボール遊び	112
様々なスポーツ活動	52
鬼ごっこ、かくれんぼ、かけっこ、なわとび	26
自然観察、自然とのふれあい	21
遊具を使った遊び	19
虫取り、魚取り	16
アスレチック	14
散歩	11
自転車の練習	10
バーベキュー、ピクニック	10
昔遊び	6
花火	6
サイクリング	6
ジョギング	6
ブレイブボード、スケートボード	4
写生	2
フリーマーケット	2

⑮ 公園に求めること

(自由記述) (未就学児童：問 23-2 小学生児童：問 25-2)

未就学児童	件数
安心・安全・整備されていること	345
遊具が充実していること	167
清潔・衛生・きれいであること	137
思い切り遊べる・身体活動ができること	89
広い	60
トイレが整備されていること	56
芝生などの自然があること	40
ボール遊びができること	31
虫・蚊などがいないこと	30
小さい子・乳幼児が遊べること	17
明るい	12

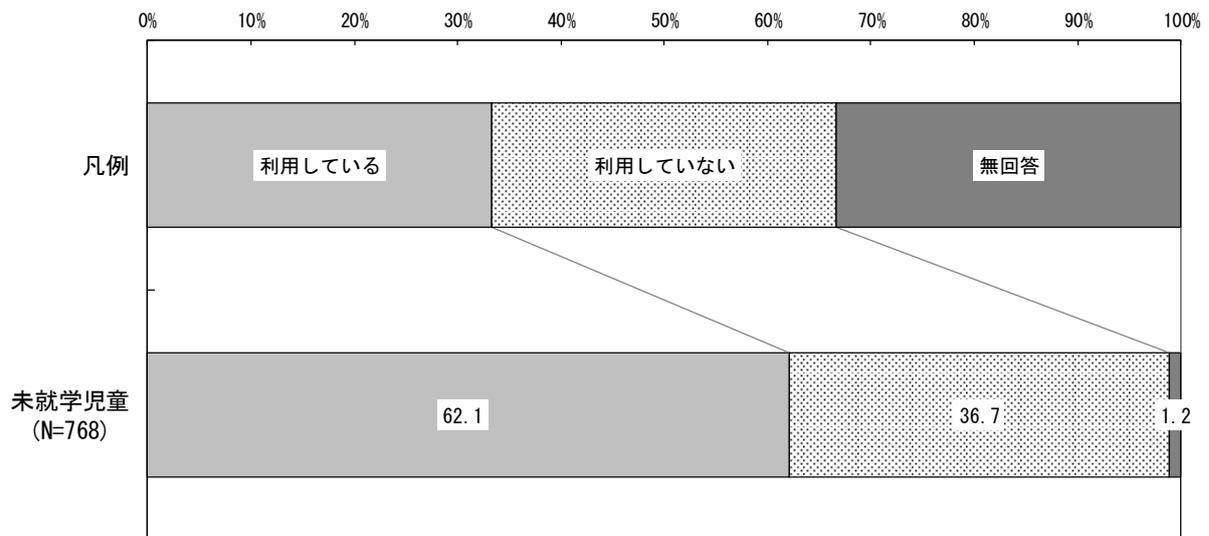
小学生児童	件数
安全であること	251
遊具が充実していること	84
ボール遊びができること	70
清潔であること	43
トイレの整備、維持管理されていること	28
不審者がいない、入ってこれないこと	25
禁止事項が多すぎる、バランス	22
環境が整備されていること	19
自然が多いこと	12
不快な虫対策	11
ベンチやテーブルが設置されていること	8
パトロールの実施	6
祭りなど地域のイベントの開催	4
満足している	2
ルール徹底	1
プレーパークの整備	1

5. 教育・保育事業の利用状況

(1) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

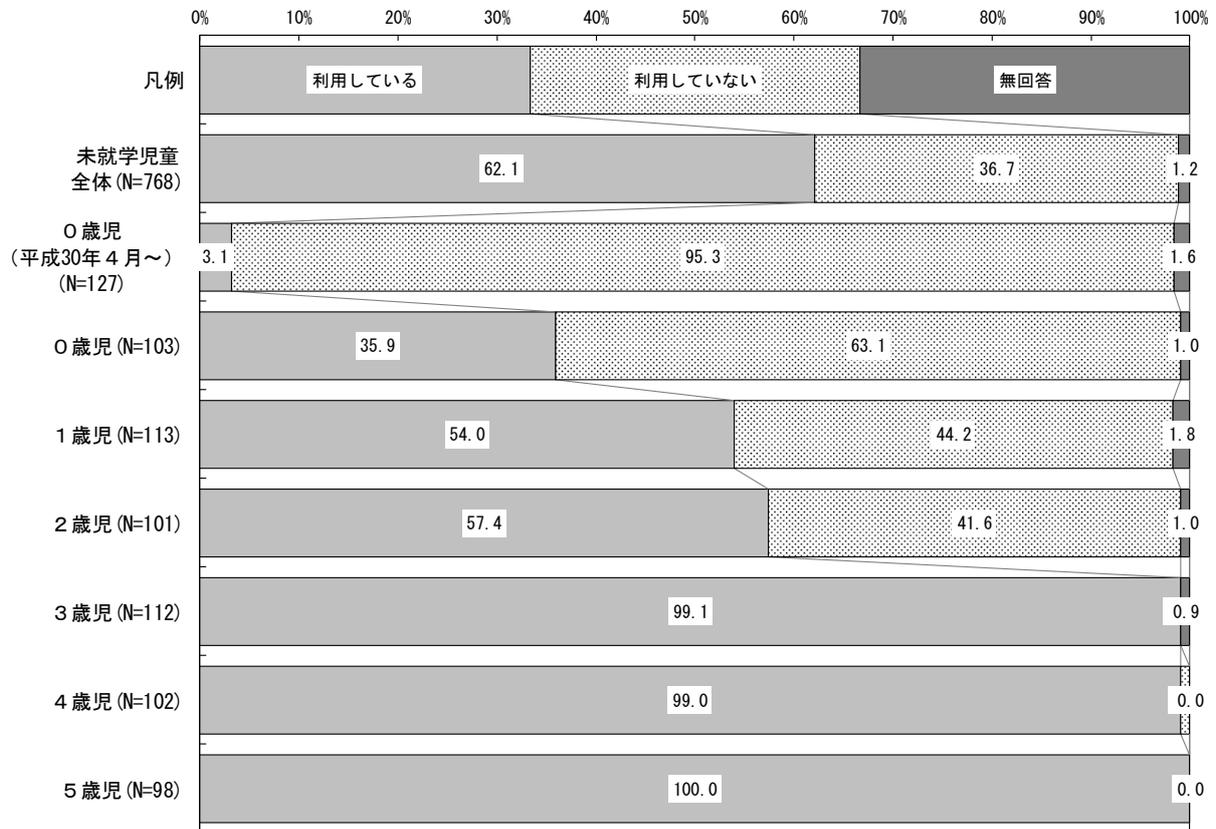
① 定期的な教育・保育事業の利用状況 (単数回答) (未就学児童：問 30)

未就学児童の定期的な教育・保育事業の利用状況についてみると、「利用している」が62.1%、「利用していない」が36.7%となっています。



【学年年齢 × 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況】

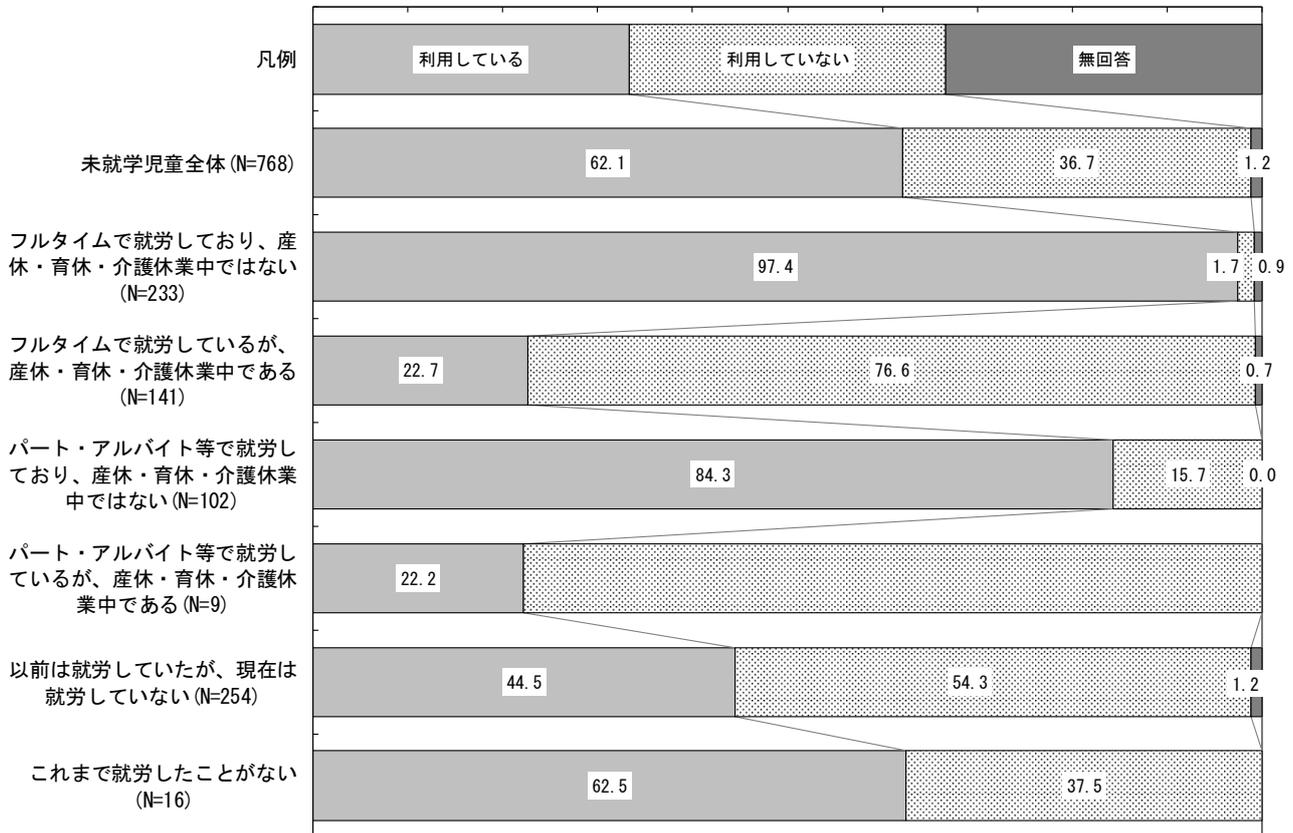
定期的な教育・保育事業の利用状況を学年年齢別にみると、「0歳児（平成30年4月～）」では「利用している」が3.1%であるのに対し、3歳児以上では9割を超え、「5歳児」では100.0%に達しています。



※学年年齢が不明は除く。

【母親の就労状況 × 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況】

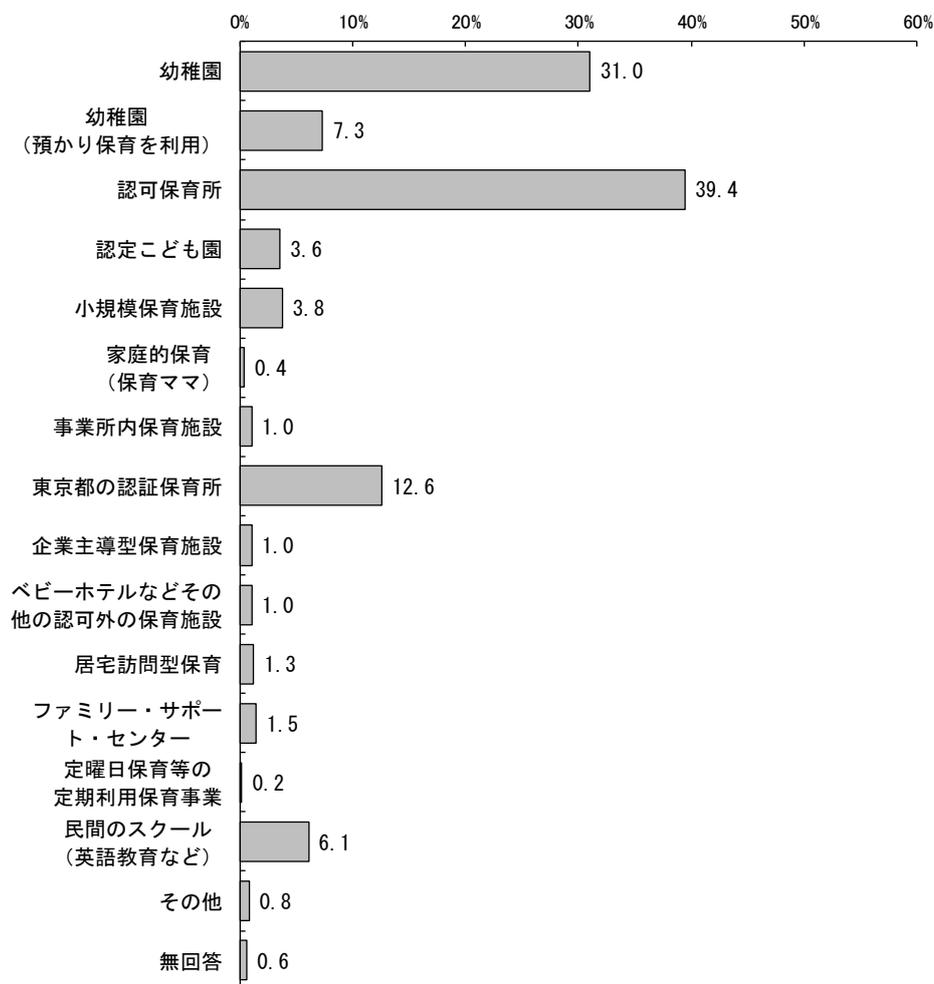
定期的な教育・保育事業の利用状況を母親の就労状況別にみると、母親が就労していると事業を「利用している」傾向にあります。一方、休業中では事業を「利用していない」傾向にあります。以前は就労していたが、現在は就労していない・これまで就労したことがない母親においては、「利用している」の割合が4割台半ば～6割程度となっています。



※回答者数 (N) が 10 未満の項目は分析の対象外。

② 定期的に利用している教育・保育事業
 (複数回答) (未就学児童：問 30-1 定期的な教育・保育事業を「利用している」と回答した方のみ)

定期的に利用している教育・保育事業については、「認可保育所」が39.4%と最も多く、次いで「幼稚園」が31.0%となっています。



未就学児童 (N=477)

【母親の就労状況 × 定期的に利用している教育・保育事業】

定期的に利用している教育・保育事業を母親の就労状況別にみると、パート・アルバイト等や就労していない母親は「幼稚園」が多く、フルタイムで働いている母親は「認可保育所」が多い傾向にあります。

(%)

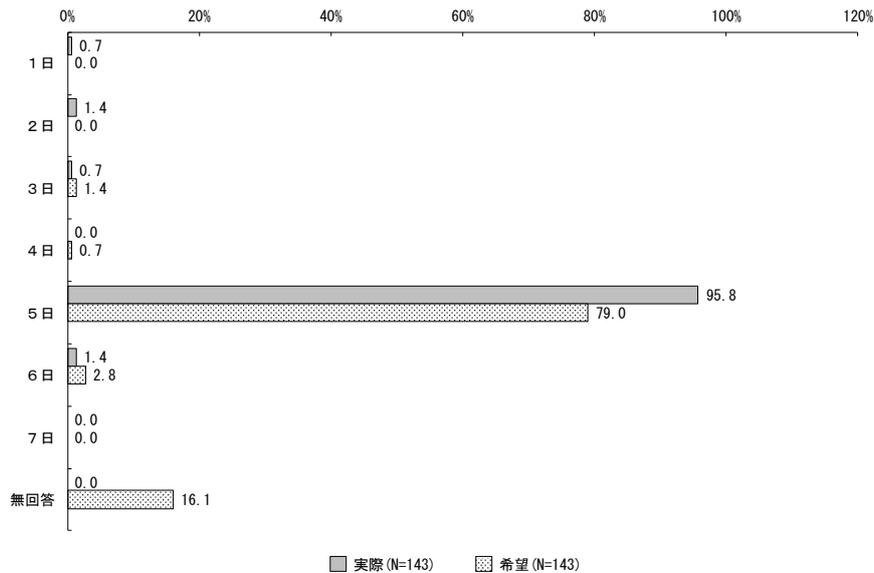
	幼稚園	幼稚園(預かり保育を利用)	認可保育所	認定こども園	小規模保育施設	家庭的保育(保育ママ)	事業所内保育施設	東京都の認証保育所	企業主導型保育施設	ベビーホテルなどその他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリーサポート・センター	定曜日保育等の定期利用保育事業	民間のスクール(英語教育など)	その他	無回答
未就学児童全体(N=477)	31.0	7.3	39.4	3.6	3.8	0.4	1.0	12.6	1.0	1.0	1.3	1.5	0.2	6.1	0.8	0.6
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない(N=227)	3.1	3.5	67.0	3.5	5.3	0.4	1.3	15.4	1.3	0.9	0.4	2.2	0.0	3.5	0.0	0.4
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である(N=32)	3.1	0.0	50.0	6.3	3.1	0.0	3.1	34.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない(N=86)	39.5	23.3	15.1	3.5	4.7	1.2	1.2	14.0	2.3	3.5	3.5	2.3	0.0	4.7	2.3	0.0
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である(N=2)	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
以前は就労していたが、現在は就労していない(N=113)	85.0	3.5	2.7	3.5	0.0	0.0	0.0	1.8	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0	13.3	0.9	0.9
これまで就労したことがない(N=10)	60.0	20.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	10.0	10.0

※回答者数(N)が10未満の項目は分析の対象外。

③ 定期的な教育・保育事業の利用状況（1週あたりの日数）
 （数量回答）（未就学児童：問 30-2 定期的な教育・保育事業を「利用
 している」と回答した方のみ）

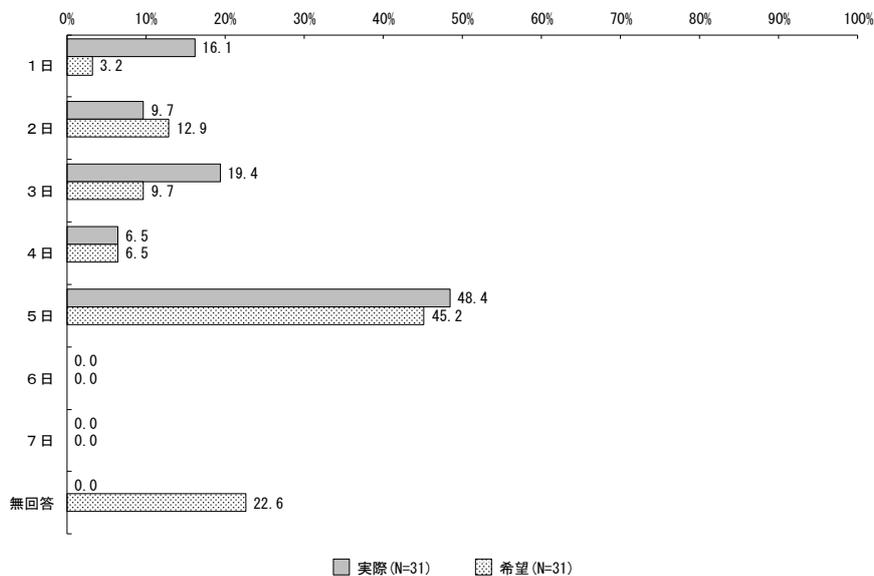
＜幼稚園の実際の利用日数・希望日数＞

幼稚園の実際・希望の利用日数は、「5日」が最も多く、それぞれ95.8%、79.0%となっ
 ています。



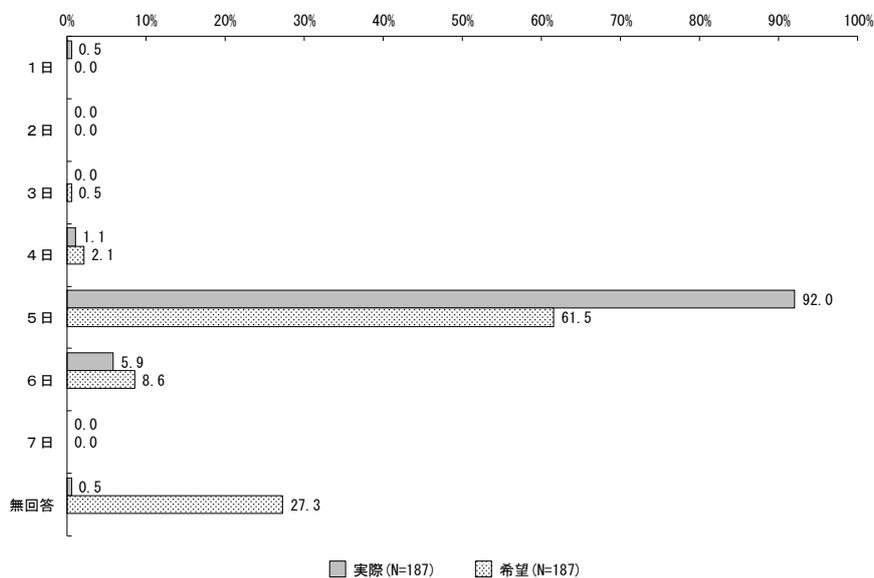
＜幼稚園（預かり保育）の実際の利用日数・希望日数＞

幼稚園（預かり保育）の実際・希望の利用日数は、「5日」が最も多く、それぞれ
 48.4%、45.2%となっています。



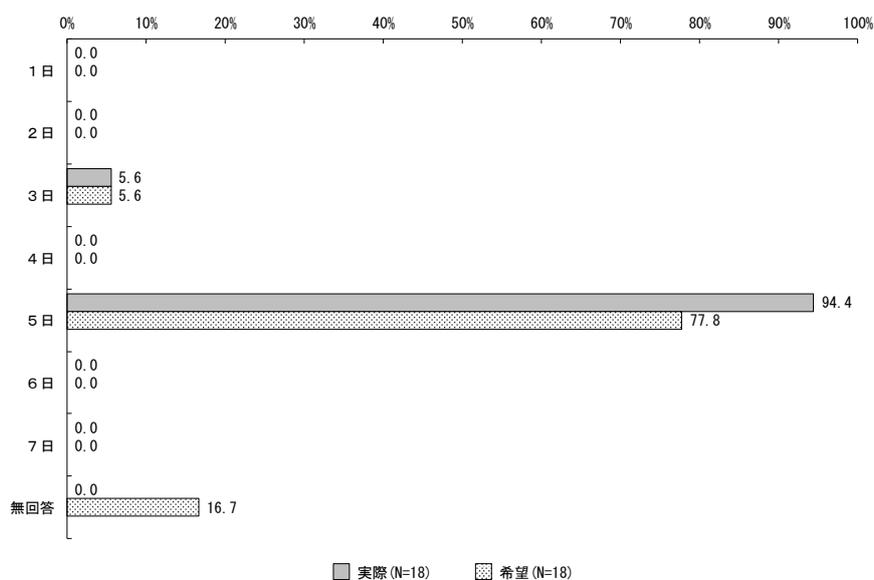
<認可保育所の実際の利用日数・希望日数>

認可保育所の実際・希望の利用日数は、「5日」が最も多く、それぞれ92.0%、61.5%となっています。



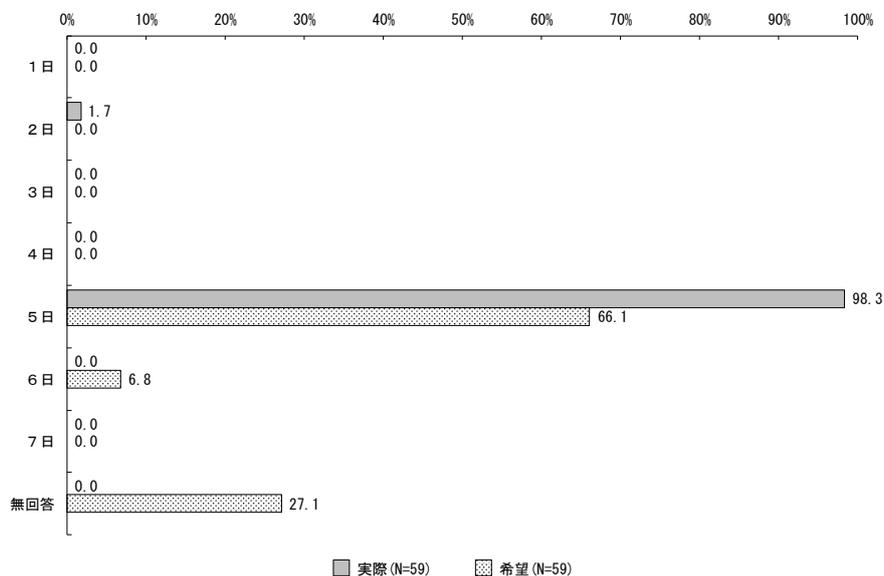
<小規模保育施設の実際の利用日数・希望日数>

小規模保育施設の実際・希望の利用日数は、「5日」が最も多く、それぞれ94.4%、77.8%となっています。



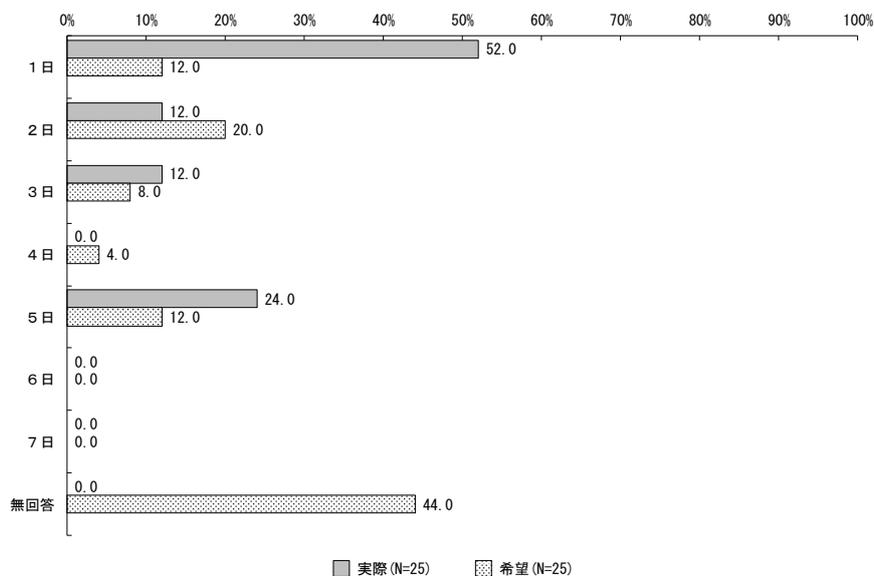
<東京都の認証保育所の実際の利用日数・希望日数>

東京都の認証保育所の実際・希望の利用日数は、「5日」が最も多く、それぞれ98.3%、66.1%となっています。



<民間のスクール（英語教室など）の実際の利用日数・希望日数>

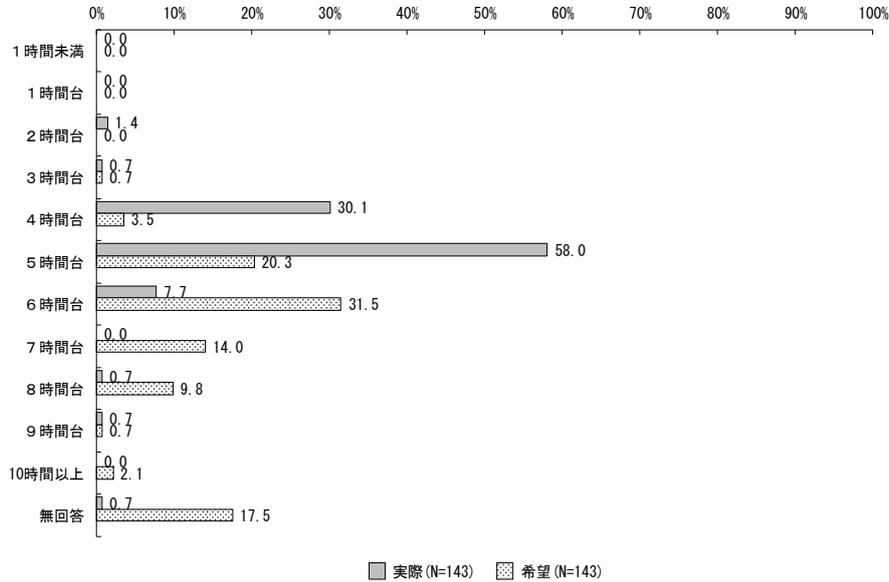
民間のスクール（英語教室など）の実際の利用日数は、「1日」が最も多く、52.0%となっています。一方、希望の利用日数は「2日」が最も多く、20.0%となっています。



④ 定期的な教育・保育事業の利用状況（1日あたりの時間）

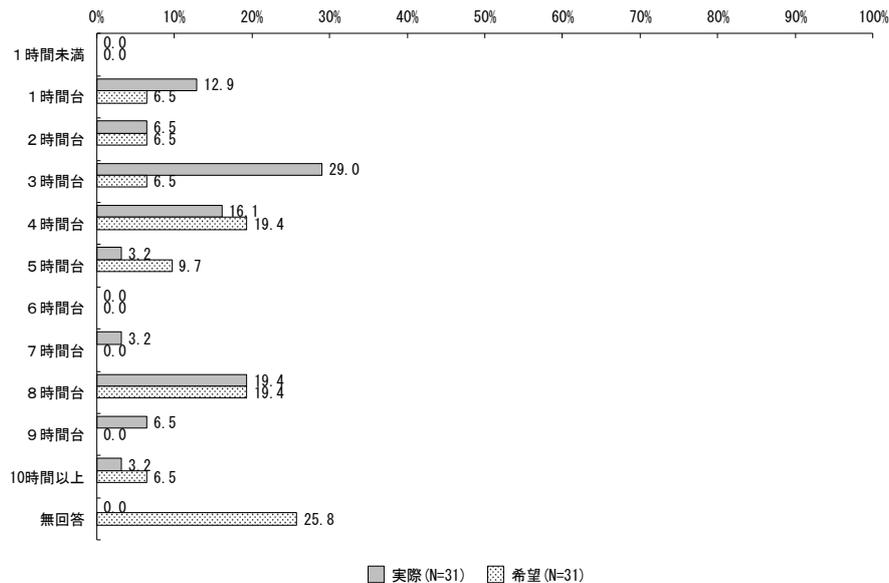
<幼稚園の1日あたりの実際の利用時間・希望時間>

幼稚園の実際の利用時間は、「5時間台」が最も多く、58.0%となっています。一方、希望の利用時間は「6時間台」が最も多く、31.5%となっています。



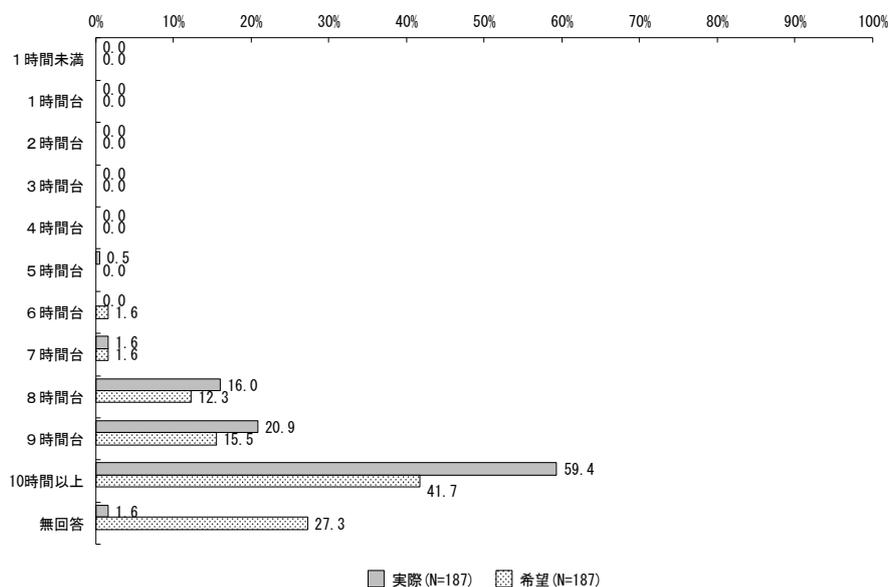
<幼稚園（預かり保育）の1日あたりの実際の利用時間・希望時間>

幼稚園（預かり保育）の実際の利用時間は、「3時間台」が最も多く、29.0%となっています。一方、希望の利用時間は「4時間台」および「8時間台」が最も多く、それぞれ19.4%となっています。



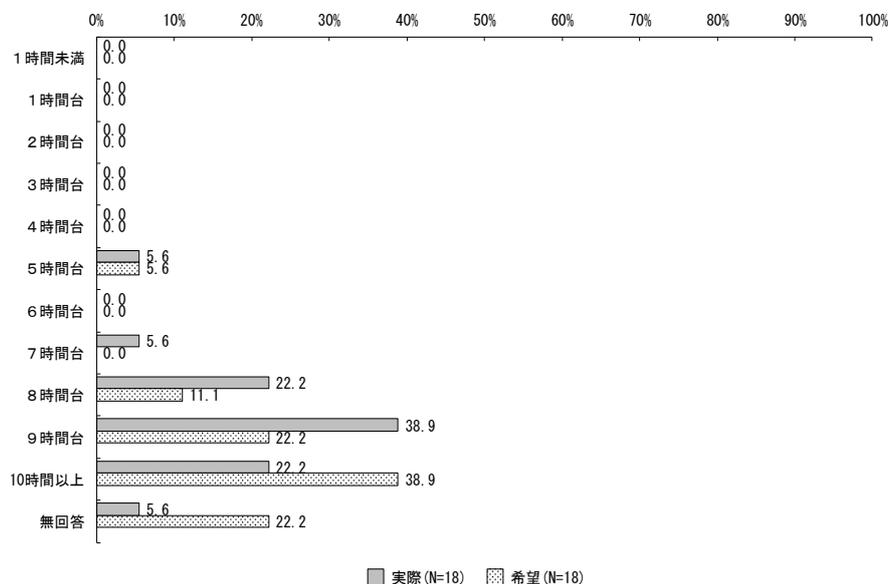
<認可保育所の1日あたりの実際の利用時間・希望時間>

認可保育所の実際の利用時間は、「10時間以上」が最も多く、59.4%となっています。また、希望の利用時間も「10時間以上」が最も多く、41.7%となっています。



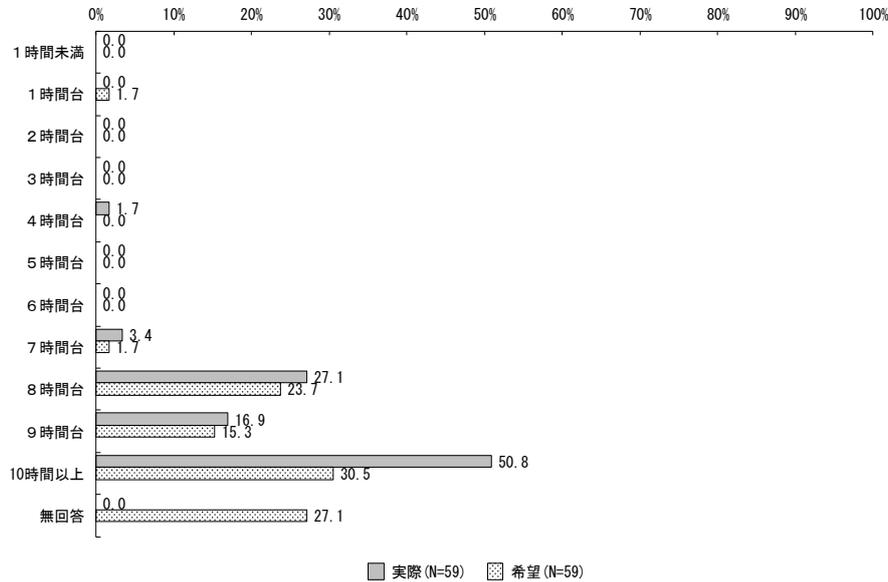
<小規模保育施設の1日あたりの実際の利用時間・希望時間>

小規模保育施設の実際の利用時間は、「9時間台」が最も多く、38.9%となっています。一方、希望の利用時間は「10時間以上」が最も多く、38.9%となっています。



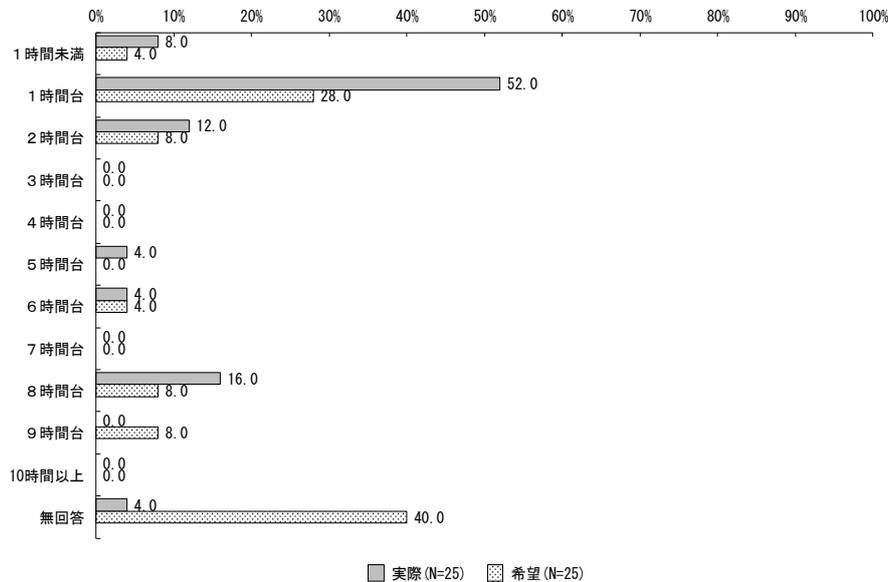
<東京都の認証保育所の1日あたりの実際の利用時間・希望時間>

東京都の認証保育所の実際の利用時間は、「10時間以上」が最も多く、50.8%となっています。また、希望の利用時間も「10時間以上」が最も多く、30.5%となっています。



<民間のスクール（英語教室など）の1日あたりの実際の利用時間・希望時間>

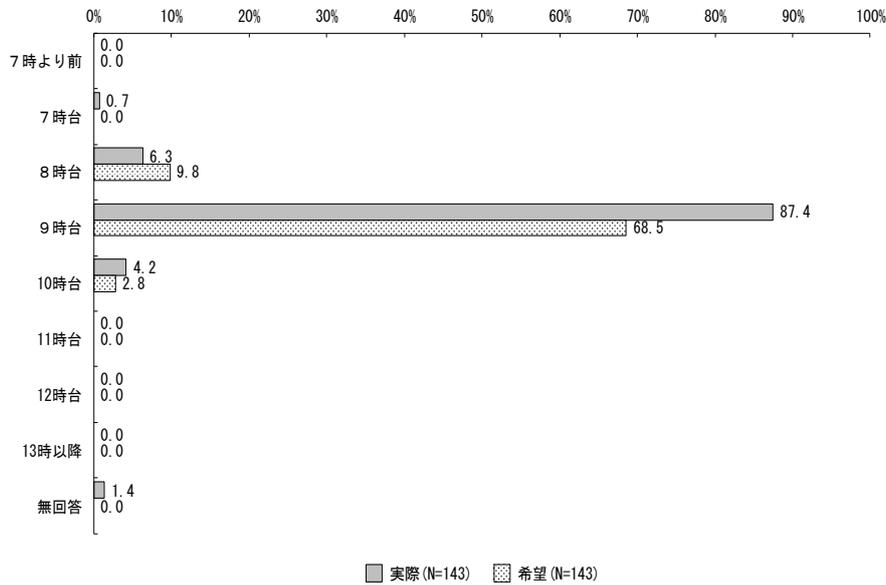
民間のスクール（英語教室など）の実際の利用時間は、「1時間台」が最も多く、52.0%となっています。また、希望の利用時間も「1時間台」が最も多く、28.0%となっています。



⑤ 定期的な教育・保育事業の利用状況（開始時刻）

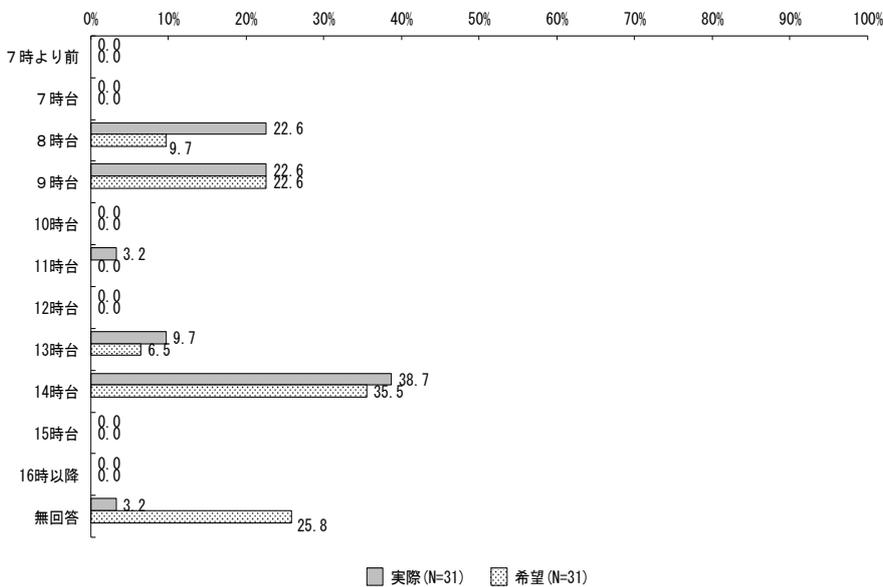
<幼稚園の実際の利用開始時刻・希望開始時刻>

幼稚園の利用開始時刻は実際・希望ともに「9時台」が最も多く、それぞれ87.4%、68.5%となっています。



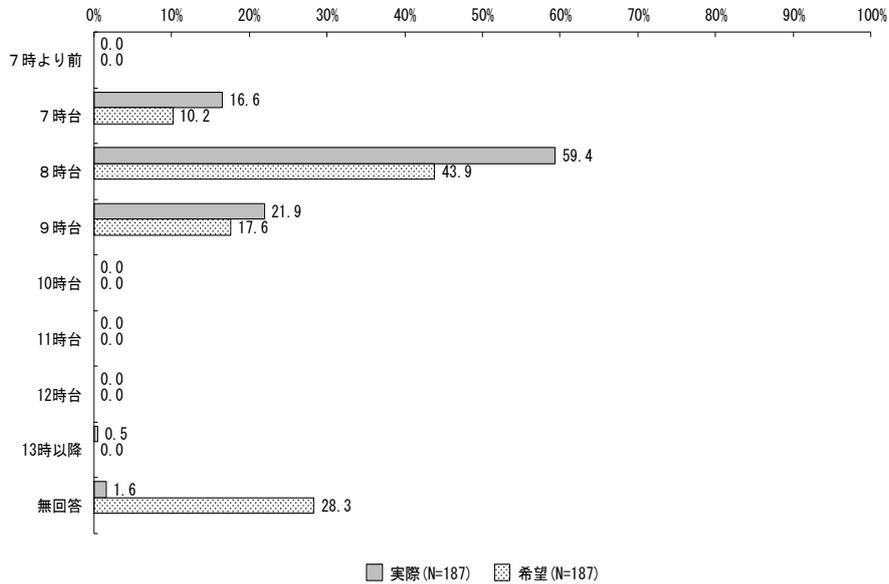
<幼稚園（預かり保育）の実際の利用開始時刻・希望開始時刻>

幼稚園（預かり保育）の利用開始時刻は実際・希望ともに「14時台」が最も多く、それぞれ38.7%、35.5%となっています。



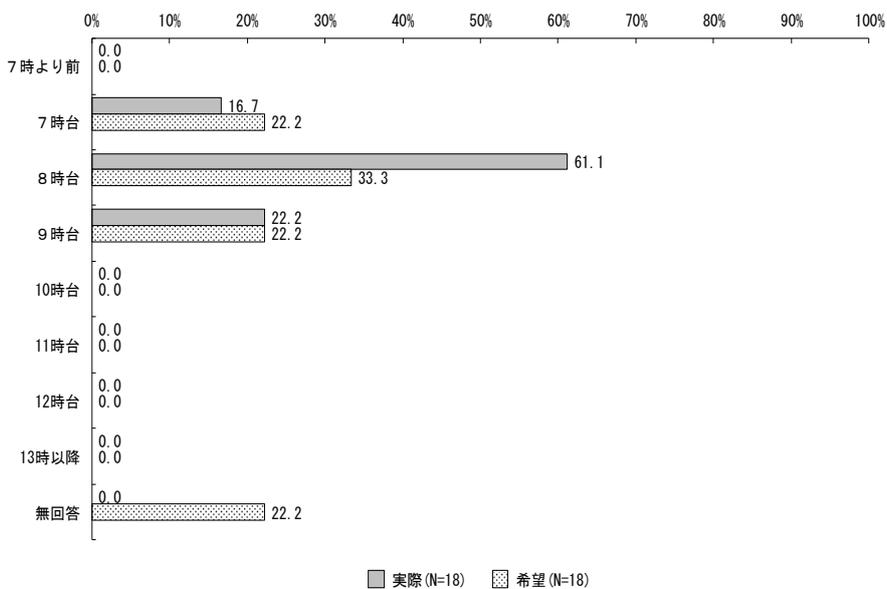
<認可保育所の実際の利用開始時刻・希望開始時刻>

認可保育所の利用開始時刻は実際・希望ともに「8時台」が最も多く、それぞれ59.4%、43.9%となっています。



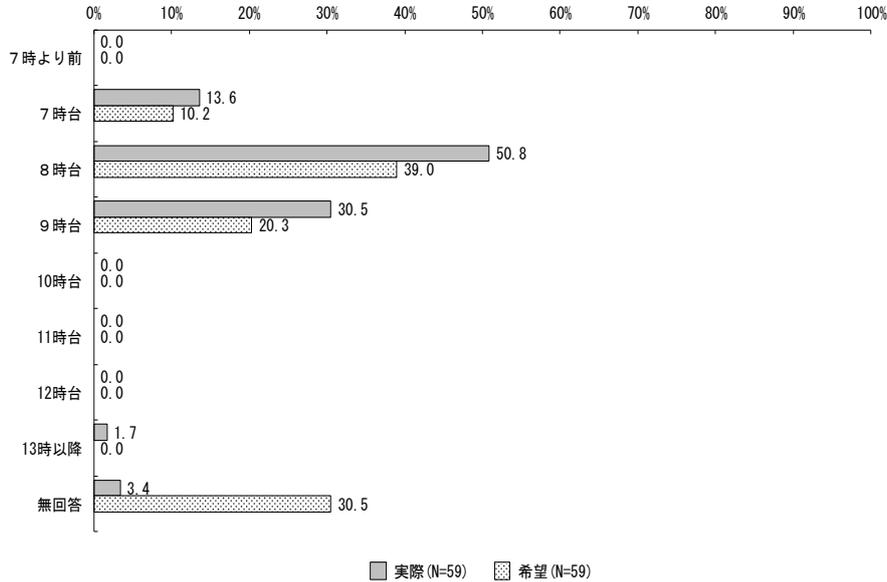
<小規模保育施設の実際の利用開始時刻・希望開始時刻>

認可保育所の利用開始時刻は実際・希望ともに「8時台」が最も多く、それぞれ61.1%、33.3%となっています。



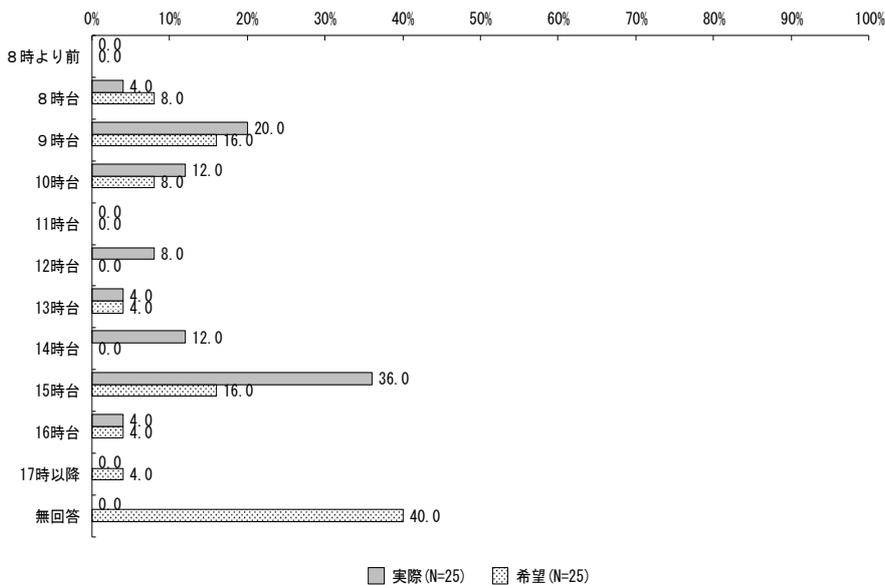
<東京都の認証保育所の実際の利用開始時刻・希望開始時刻>

東京都の認証保育所の利用開始時刻は実際・希望ともに「8時台」が最も多く、それぞれ50.8%、39.0%となっています。



<民間のスクール（英語教室など）の実際の利用開始時刻・希望開始時刻>

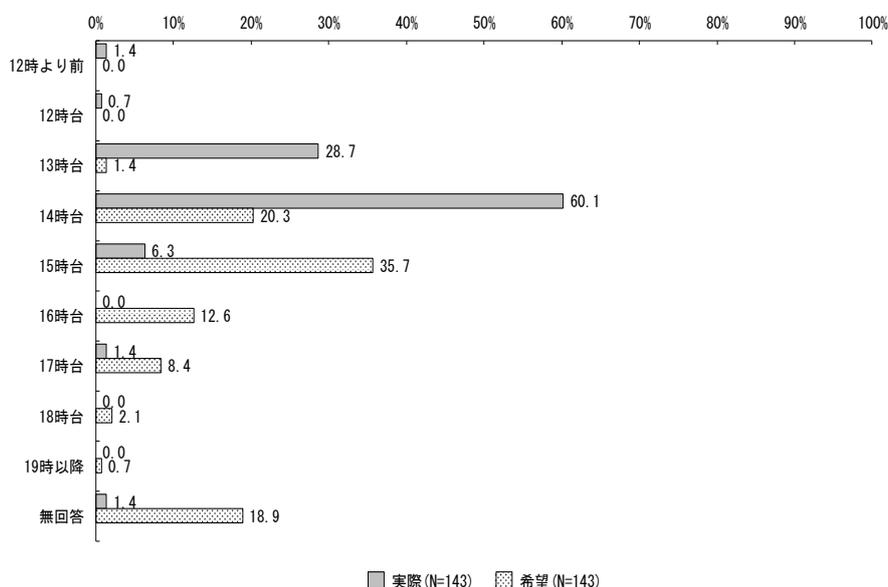
民間のスクール（英語教室など）の利用開始時刻は、実際では「15時台」が最も多く、36.0%となっています。一方、希望では「9時台」および「15時台」がそれぞれ16.0%となっています。



⑥ 定期的な教育・保育事業の利用状況（終了時刻）

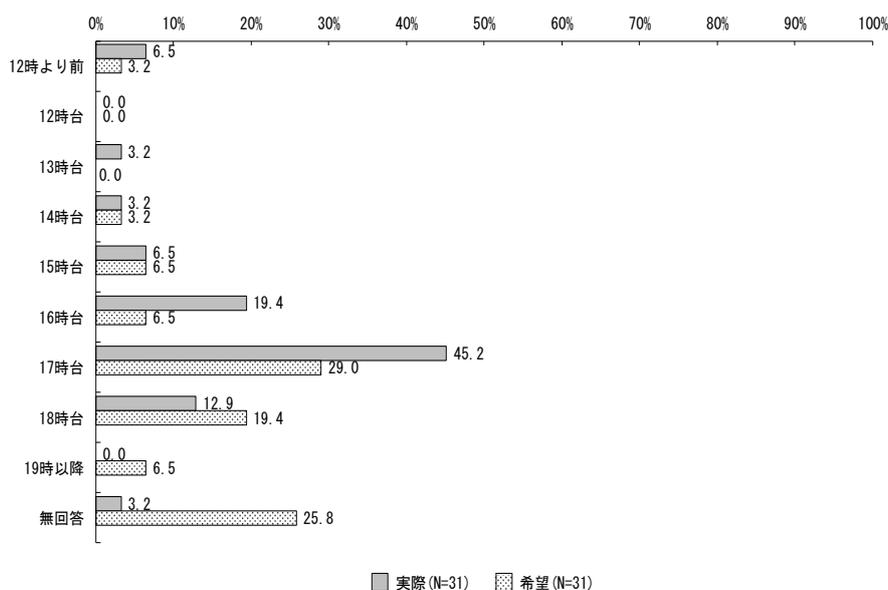
<幼稚園の実際の利用終了時刻・希望終了時刻>

幼稚園の利用終了時刻は実際では「14時台」が60.1%と最も多く、希望では「15時台」が35.7%と最も多くなっています。



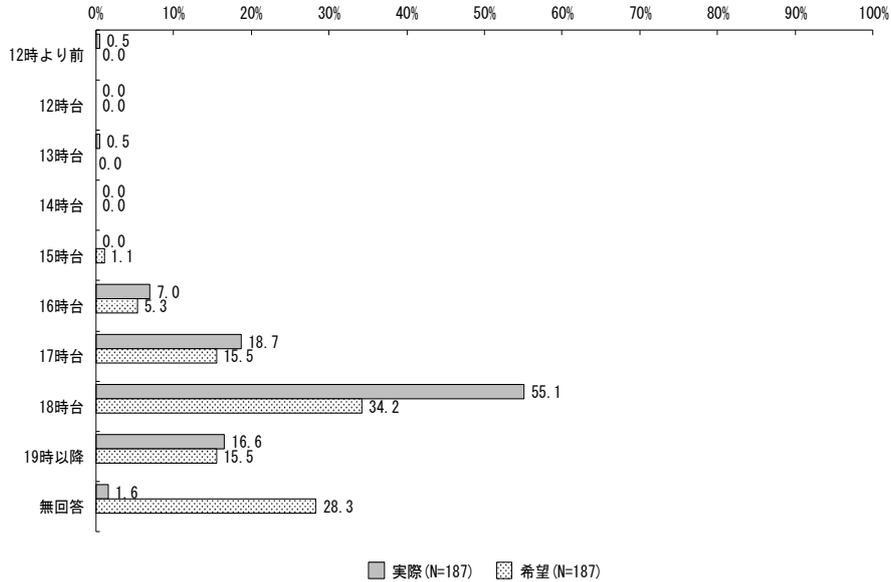
<幼稚園（預かり保育）の実際の利用終了時刻・希望終了時刻>

幼稚園（預かり保育）の利用終了時刻は実際・希望ともに「17時台」が最も多く、それぞれ45.2%、29.0%となっています。



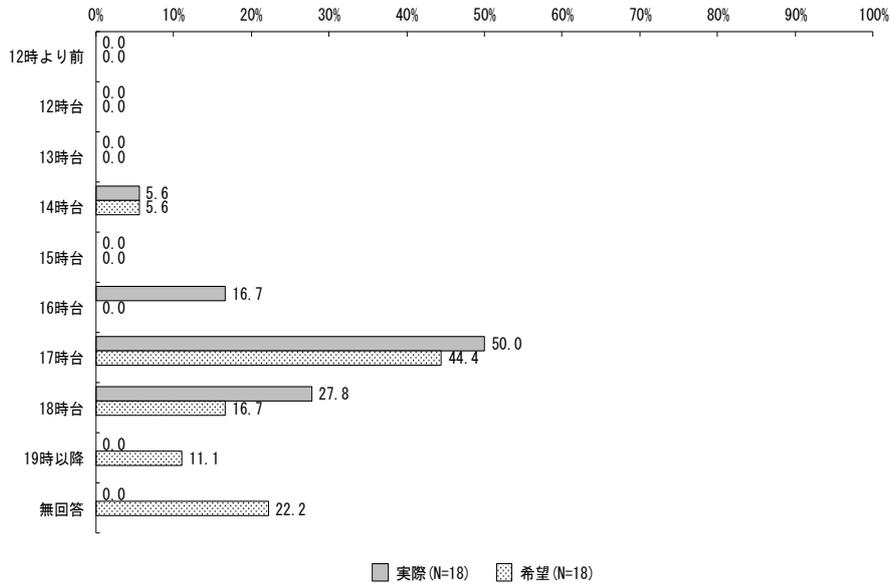
<認可保育所の実際の利用終了時刻・希望終了時刻>

認可保育所の利用終了時刻は実際・希望ともに「18 時台」が最も多く、それぞれ 55.1%、34.2%となっています。



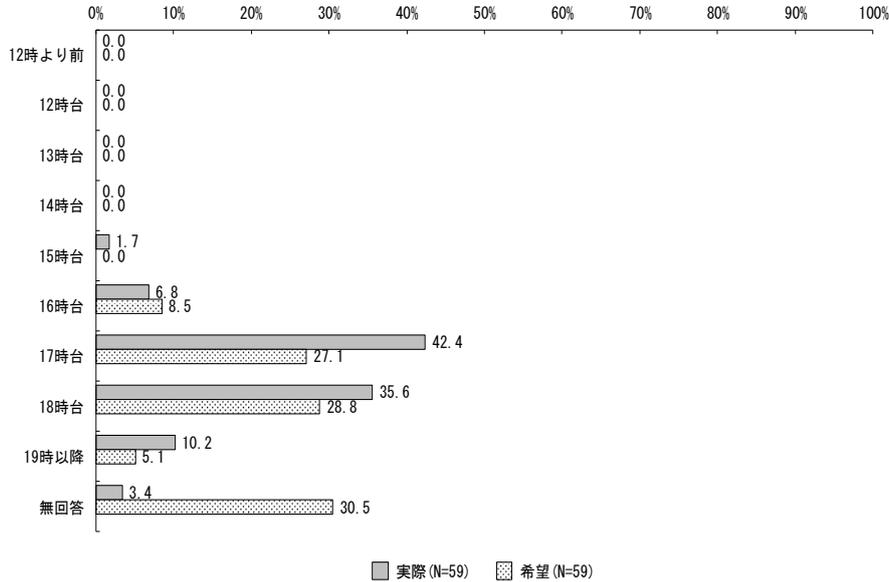
<小規模保育施設の実際の利用終了時刻・希望終了時刻>

小規模保育施設の利用終了時刻は実際・希望ともに「17 時台」が最も多く、それぞれ 50.0%、44.4%となっています。



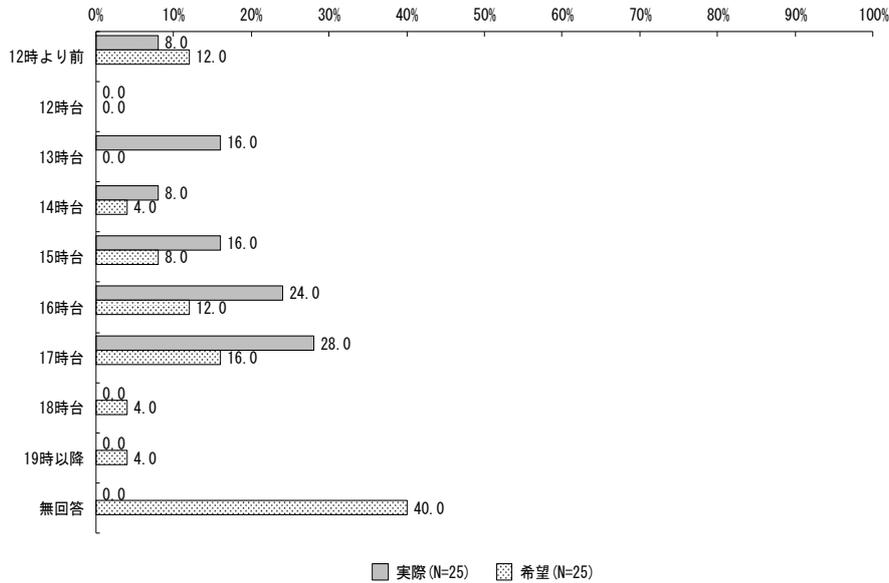
<東京都の認証保育所の実際の利用終了時刻・希望終了時刻>

東京都の認証保育所の利用終了時刻は実際では「17 時台」が 42.4%と最も多く、希望では「18 時台」が 28.8%と最も多くなっています。



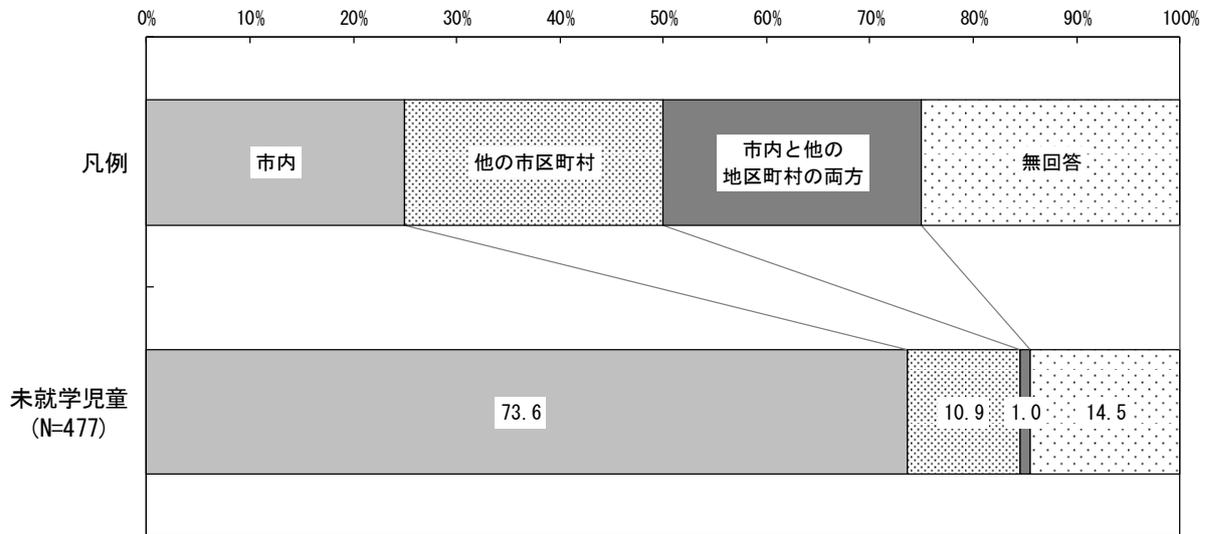
<民間スクール（英語教室など）の実際の利用終了時刻・希望終了時刻>

民間スクール（英語教室など）の利用終了時刻は実際・希望ともに「17 時台」が最も多く、それぞれ 28.0%、16.0%となっています。



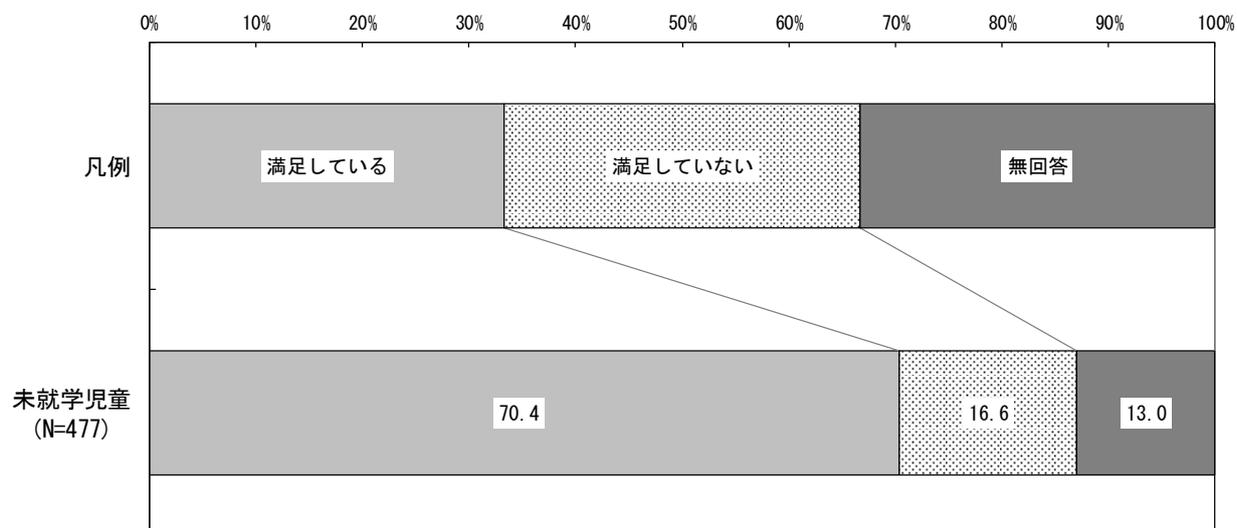
⑦ 現在利用している教育・保育事業の実施場所
 (単数回答) (未就学児童：問 30-3)

未就学児童全体の現在利用している教育・保育事業の実施場所は、「市内」が73.6%と最も多く、次いで「他の市区町村」が10.9%となっています。



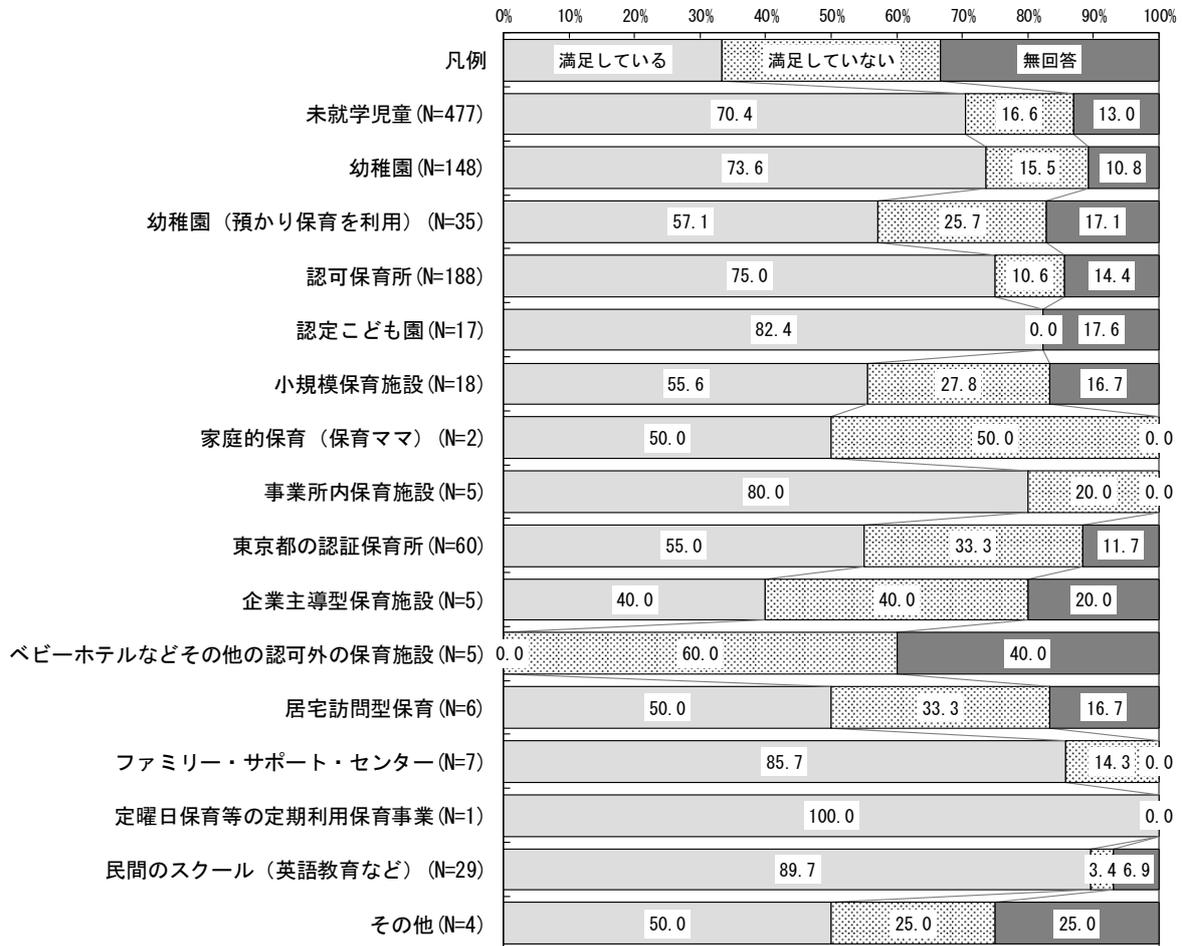
⑧ 現在利用している教育・保育事業の満足状況
 (単数回答) (未就学児童：問 30-4 定期的な教育・保育事業を「利用している」と回答した方のみ)

未就学児童全体の現在利用している教育・保育事業の満足状況は、「満足している」が70.4%、「満足していない」が16.6%となっています。



【教育・保育事業 × 現在利用している教育・保育事業の満足状況】

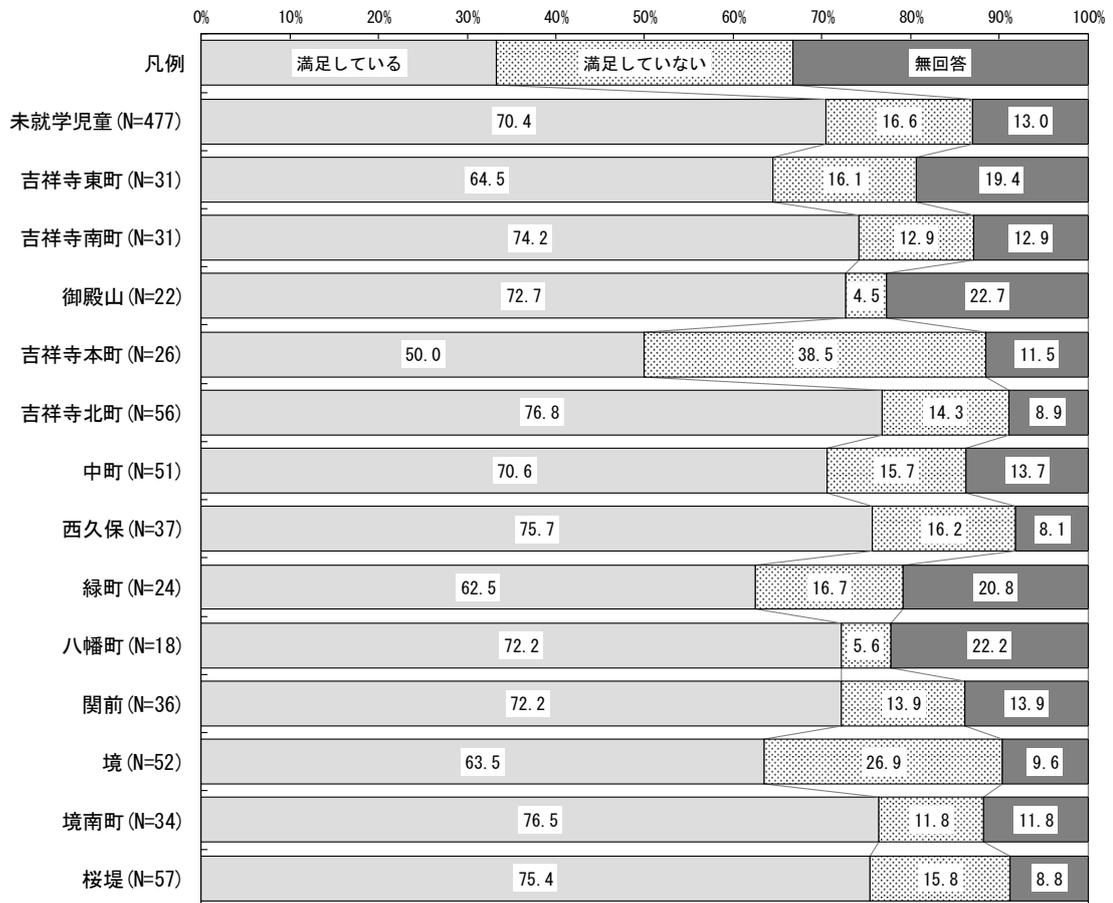
現在利用している教育・保育事業の満足状況を教育・保育事業別にみると、民間のスクール（英語教育など）が89.7%、認定こども園が82.4%と、ともに8割以上となっています。



※回答者数（N）が10未満の項目は分析の対象外。

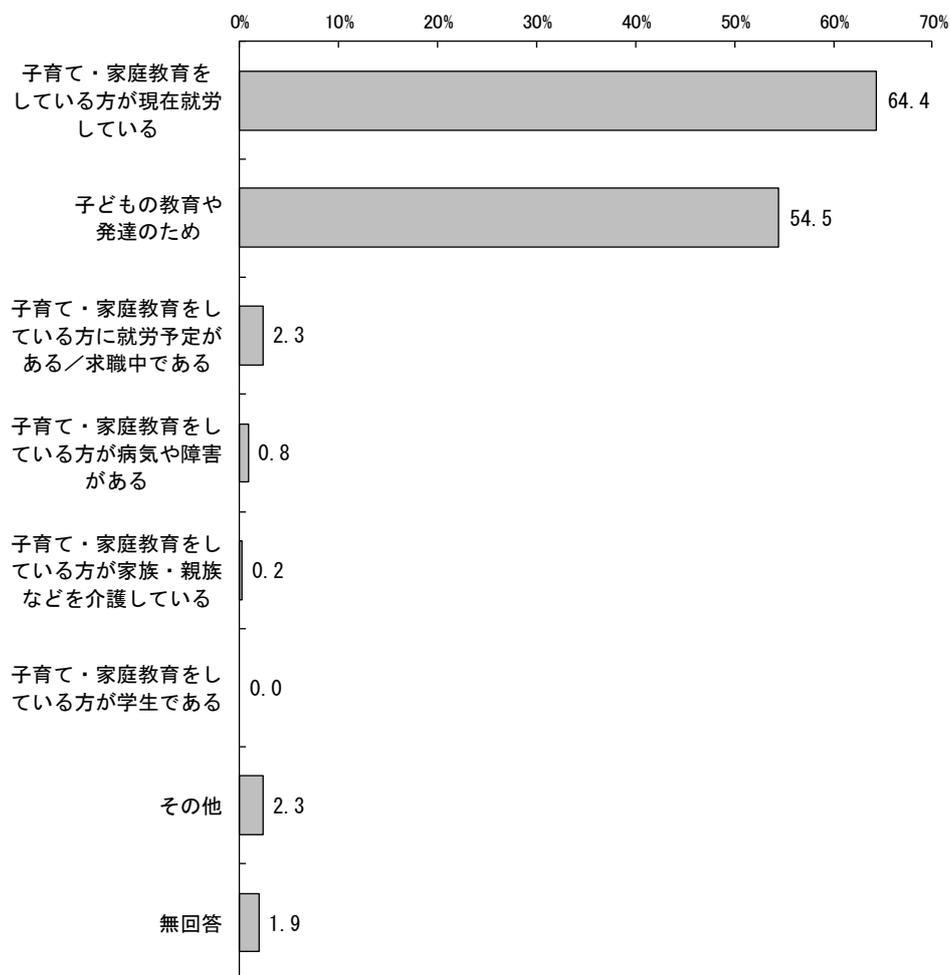
【居住地区 × 現在利用している教育・保育事業の満足状況】

現在利用している教育・保育事業の満足状況を居住地区別にみると、「満足している」は、概ね6～7割となっています。



⑨ 定期的に教育・保育事業を利用している主な理由
 (複数回答) (未就学児童：問 30-5 定期的な教育・保育事業を「利用している」と回答した方のみ)

未就学児童保護者が定期的に教育・保育事業を利用している主な理由をみると、「子育て・家庭教育をしている方が現在就労している」が64.4%と最も多く、次いで「子どもの教育や発達のため」が54.5%となっています。



未就学児童 (N=477)

【母親の就労状況 × 定期的に教育・保育事業を利用している主な理由】

定期的に利用している教育・保育事業を利用している主な理由を母親の就労状況別にみると、フルタイムでは「子育て・家庭教育をしている方が現在就労している」が多く、パート・アルバイトおよび就労していない状況では「子どもの教育や発達のため」が多い傾向にあり、母親の就労状況によって利用する目的に差がみられます。

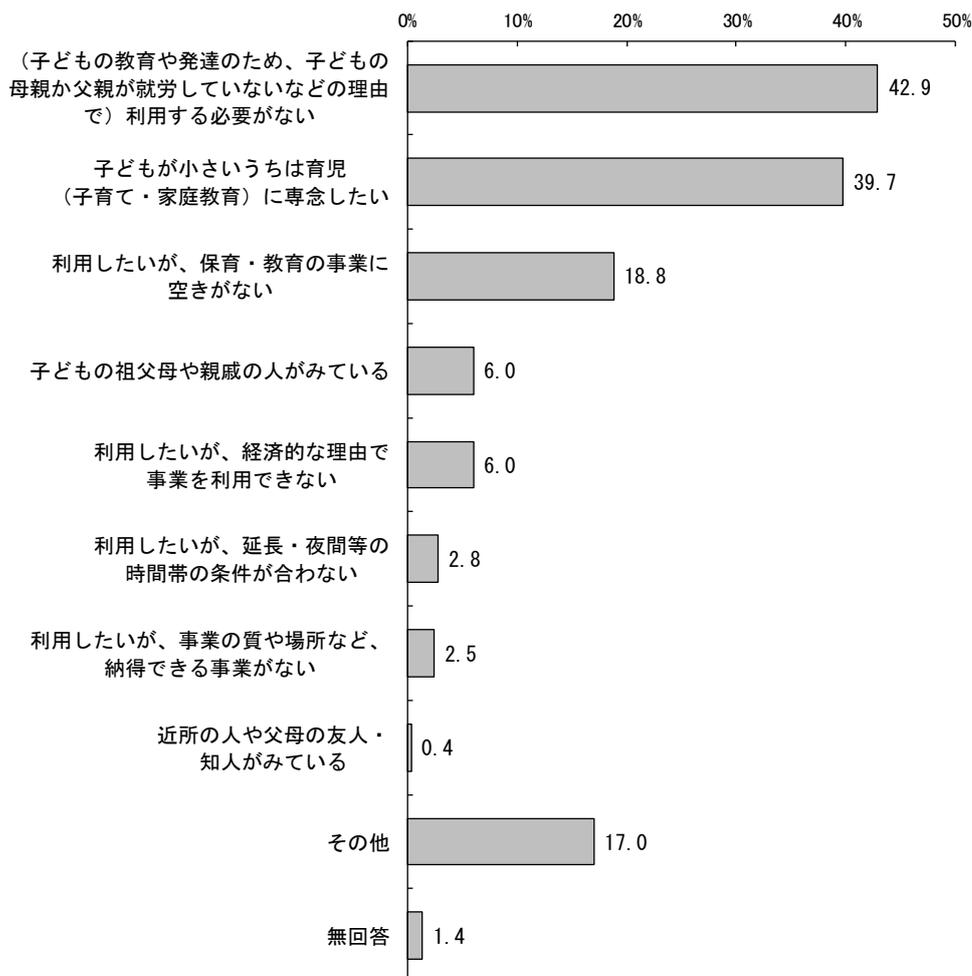
(%)

	子どもの教育や発達のため	子育て・家庭教育をしている方が現在就労している	子育て・家庭教育をしている方に就労予定がある／求職中である	子育て・家庭教育をしている方が家族・親族などを介護している	子育て・家庭教育をしている方が病気や障害がある	子育て・家庭教育をしている方が学生である	その他	無回答
未就学児童全体 (N=477)	54.5	64.4	2.3	0.2	0.8	0.0	2.3	1.9
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない (N=233)	33.5	94.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である (N=141)	5.7	17.7	4.3	0.0	0.7	0.0	0.7	77.3
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない (N=102)	53.9	57.8	1.0	1.0	0.0	0.0	1.0	17.6
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である (N=9)	22.2	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	77.8
以前は就労していたが、現在は就労していない (N=254)	41.3	0.4	1.6	0.0	1.2	0.0	3.5	56.7
これまで就労したことがない (N=16)	56.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	43.8

※回答者数 (N) が 10 未満の項目は分析の対象外。

⑩ 定期的に教育・保育事業を利用していない理由
 (複数回答)(未就学児童：問 30-6 定期的な教育・保育事業を「利用していない」と回答した方のみ)

未就学児童保護者が定期的に教育・保育事業を利用していない理由をみると、「(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない」が42.9%、「子どもが小さいうちは育児(子育て・家庭教育)に専念したい」が39.7%となっています。



未就学児童(N=477)

【母親の就労状況 × 定期的に教育・保育事業を利用していない理由】

定期的に教育・保育事業を利用していない理由を母親の就労状況別にみると、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」では、「子どもが小さいうちは育児（子育て・家庭教育）に専念したい」が多い傾向にあります。また、「以前は就労していたが、現在は就労していない」では、「(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない」が最も多くなっており、母親の就労状況により、利用しない理由に差がみられます。

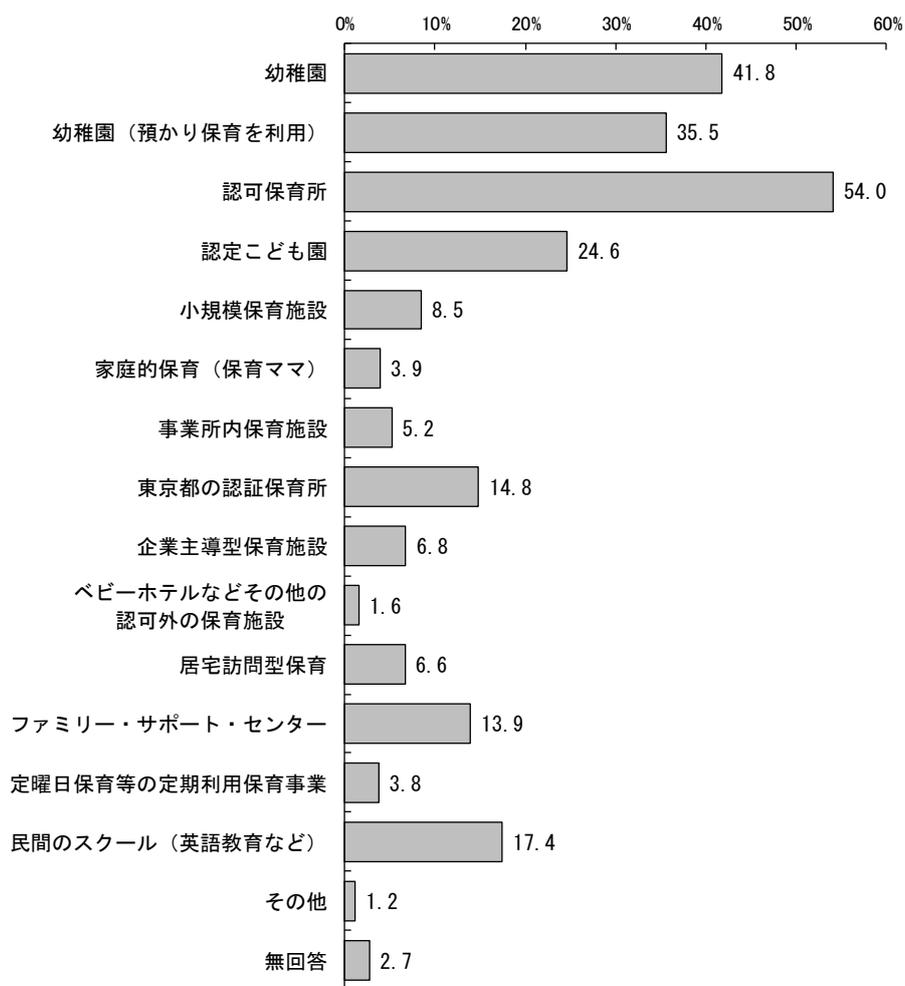
	(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない	子どもの祖父母や親戚の人がみている	近所の人や父母の友人・知人がみている	利用したいが、保育・教育の事業に空きがない	利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない	利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない	利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない	子どもが小さいうちは育児(子育て・家庭教育)に専念したい	その他	無回答
未就学児童全体 (N=282)	42.9	6.0	0.4	18.8	6.0	2.8	2.5	39.7	17.0	1.4
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない (N=4)	25.0	25.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である (N=108)	21.3	0.9	0.0	14.8	0.9	2.8	0.9	43.5	29.6	3.7
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない (N=16)	43.8	31.3	6.3	43.8	0.0	12.5	6.3	43.8	0.0	0.0
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である (N=7)	28.6	14.3	0.0	42.9	14.3	28.6	0.0	42.9	0.0	0.0
以前は就労していたが、現在は就労していない (N=138)	60.1	6.5	0.0	16.7	9.4	0.7	3.6	38.4	10.1	0.0
これまで就労したことがない (N=6)	33.3	0.0	0.0	16.7	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0

※回答者数 (N) が 10 未満の項目は分析の対象外。

(2) 定期的に利用したいと考えている教育・保育事業

① 定期的に利用したいと考えている教育・保育事業 (複数回答) (未就学児童：問 31)

未就学児童保護者が定期的にご利用したいと考えている教育・保育事業をみると、「認可保育所」が54.0%と最も多く、次いで「幼稚園」が41.8%、「幼稚園（預かり保育を利用）」が35.5%となっています。



未就学児童 (N=477)

【母親の就労状況 × 定期的にご利用したいと考えている教育・保育事業】

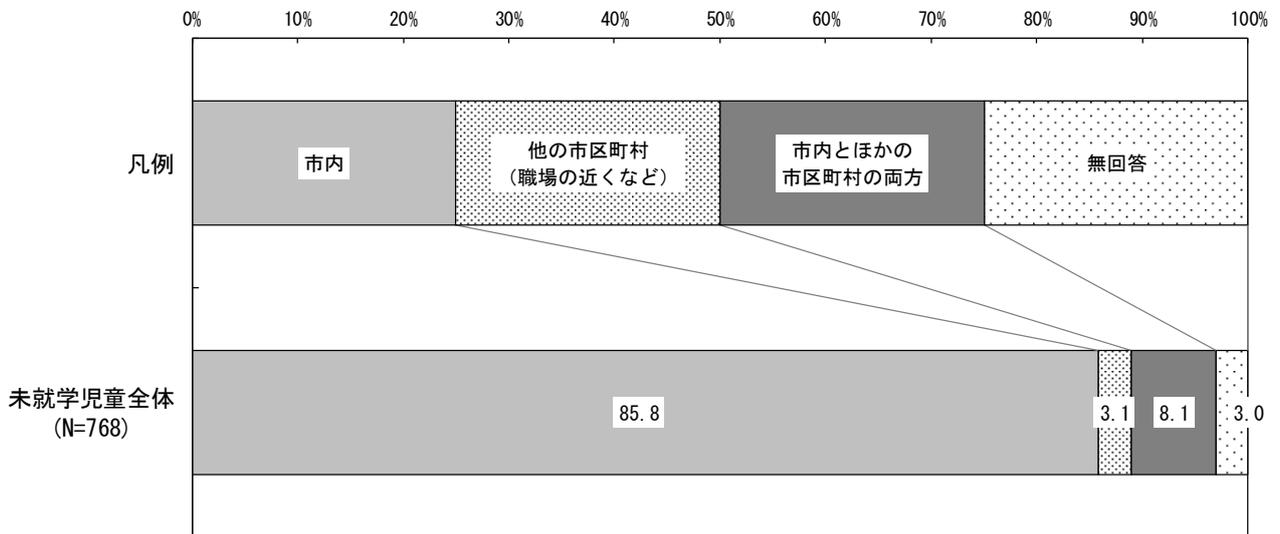
定期的にご利用したいと考える教育・保育事業を母親の就労状況別にみると、フルタイムでは「認可保育所」が多く、パート・アルバイトおよび就労していない状況では「幼稚園」が多い傾向にあります。

	幼稚園	幼稚園(預かり保育を利用)	認可保育所	認定こども園	小規模保育施設	家庭的保育(保育ママ)	事業所内保育施設	東京都認証保育所	企業主導型保育施設	ベビーホテルなどその他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリーサポート・センター	定曜日保育等の定期利用保育事業	民間のスクール(英語教育など)	その他	無回答
未就学児童全体 (N=768)	41.8	35.5	54.0	24.6	8.5	3.9	5.2	14.8	6.8	1.6	6.6	13.9	3.8	17.4	1.2	2.7
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない (N=233)	13.7	27.9	76.4	19.3	3.0	1.3	3.0	11.6	3.9	1.7	6.9	18.0	2.6	24.5	0.4	1.3
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である (N=141)	12.8	22.0	89.4	40.4	22.7	5.0	13.5	39.7	14.2	2.1	5.7	17.0	2.1	13.5	0.7	1.4
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない (N=102)	48.0	49.0	43.1	23.5	5.9	2.0	1.0	11.8	4.9	1.0	2.9	9.8	3.9	13.7	1.0	3.9
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である (N=9)	33.3	66.7	66.7	66.7	22.2	22.2	11.1	33.3	22.2	11.1	22.2	11.1	11.1	33.3	0.0	0.0
以前は就労していたが、現在は就労していない (N=254)	79.9	42.1	21.3	20.1	6.7	5.5	3.9	5.9	5.9	1.2	7.5	10.2	5.1	14.6	1.6	3.5
これまで就労したことがない (N=16)	75.0	43.8	18.8	25.0	6.3	12.5	12.5	6.3	6.3	0.0	12.5	18.8	12.5	6.3	6.3	0.0

※回答者数 (N) が 10 未満の項目は分析の対象外。

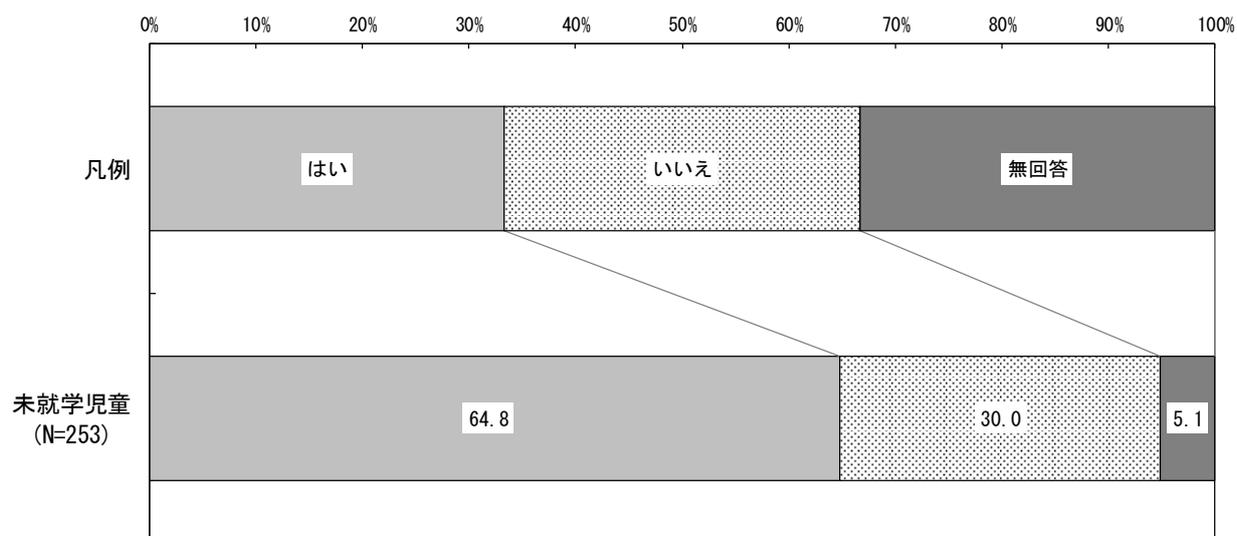
② 教育・保育事業を利用したい場所
 (単数回答) (未就学児童：問 31-1)

未就学児童全体の保護者で教育・保育事業を利用したい場所は、「市内」が85.8%と最も多く、次いで「市内とほかの市区町村の両方」が8.1%となっています。



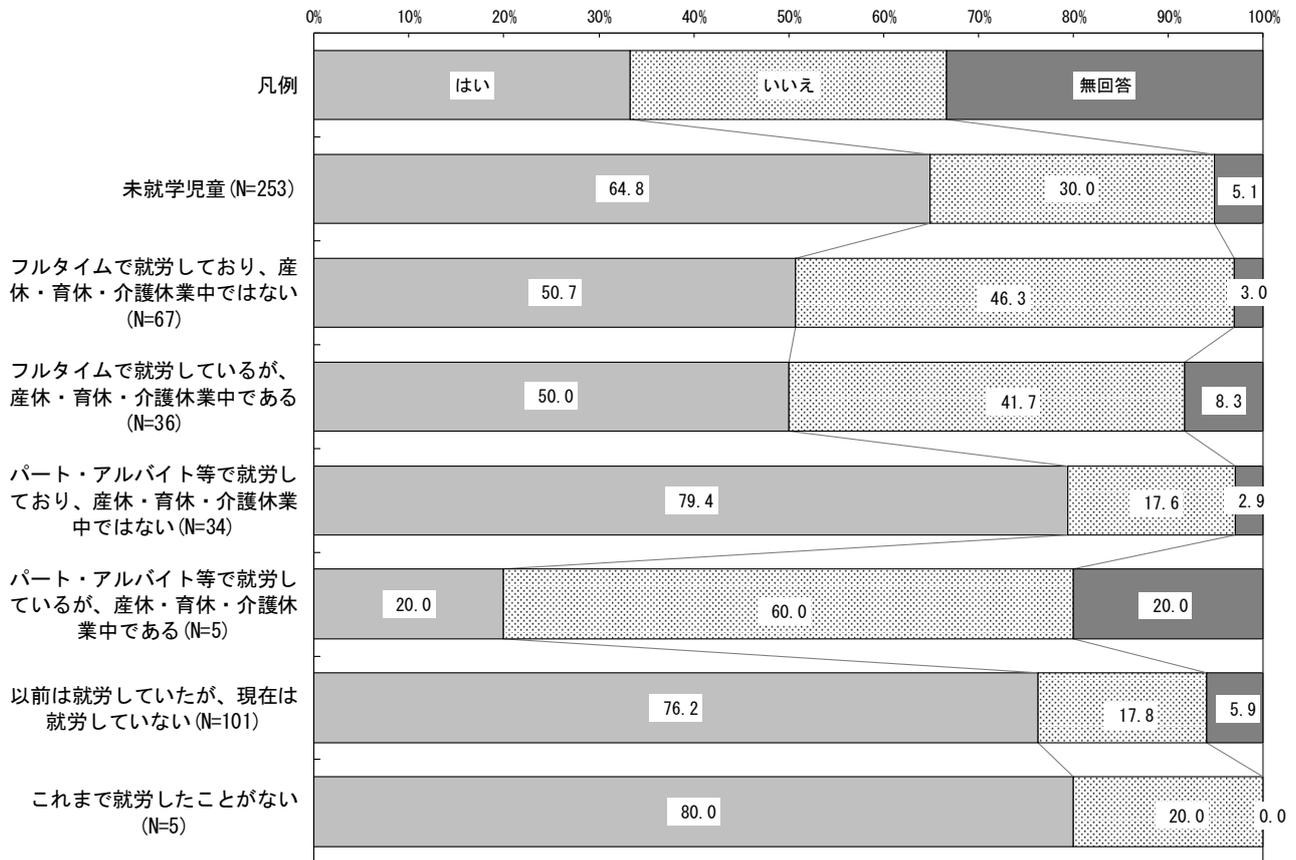
- ③ 問 31 で「1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ3～15（保育施設、預かり事業等）にも○をつけた方にうかがいます。特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。
（単数回答）（未就学児童：問 31-2）

幼稚園（幼稚園の預かり保育を合わせて利用する場合を含む）の利用希望についてみると、「はい」が64.8%、「いいえ」が30.0%となっています。



【母親の就労状況 × 幼稚園利用の強い希望】

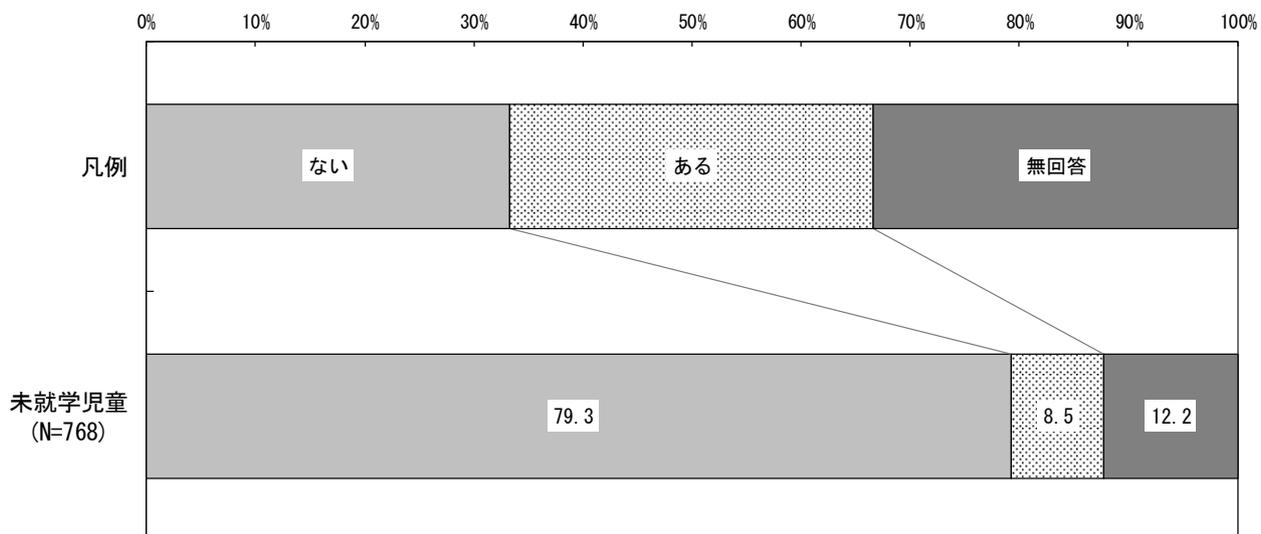
問 31 で「1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ3～15（保育施設、預かり事業等）にも○をつけた方について、幼稚園利用の強い希望を母親の就労状況別にみると、就労状況に関わらず幼稚園利用の強い希望が多い傾向にあります。



※回答者数（N）が10未満の項目は分析の対象外。

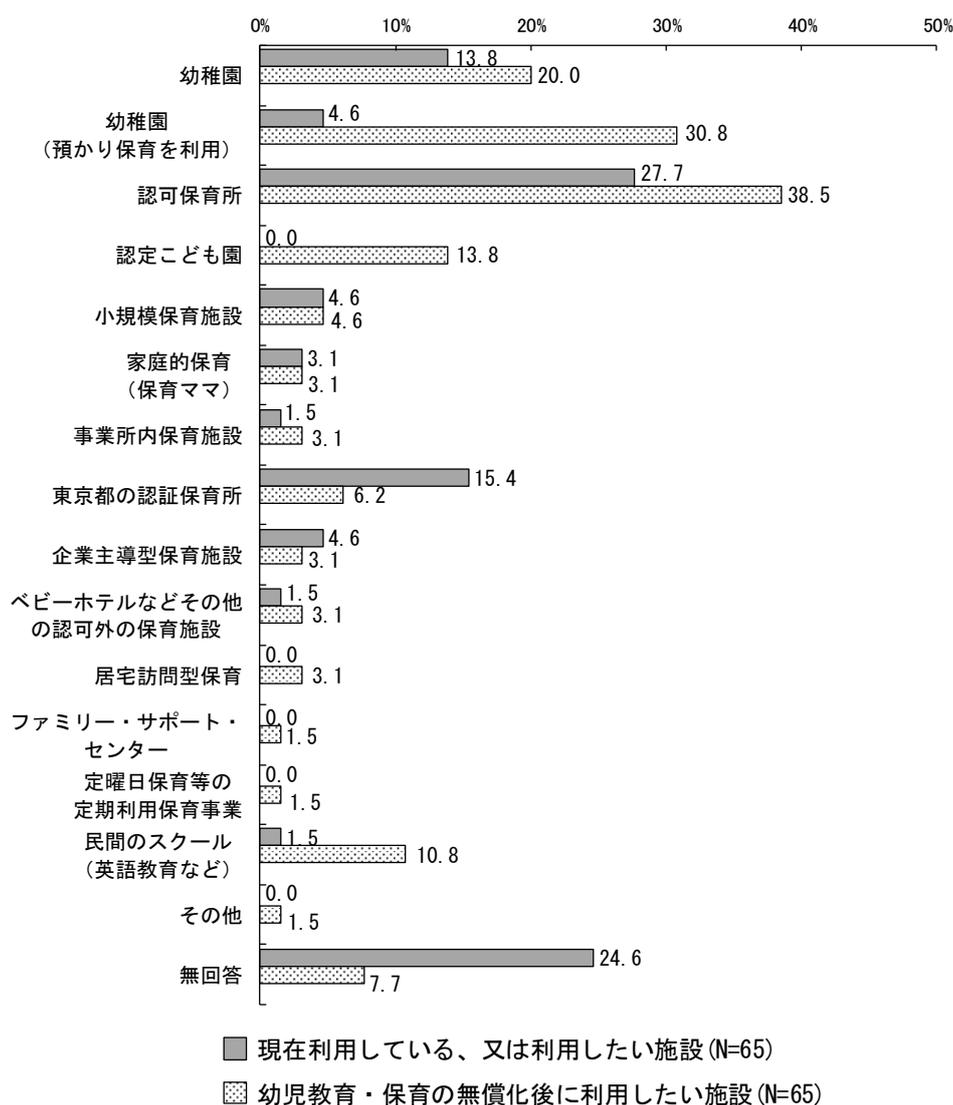
④ 幼児教育・保育の無償化実施に伴い、現在利用している、又は利用したい施設を変更する予定はありますか。
 (単数回答) (未就学児童：問 31-3)

幼児教育・保育の無償化実施に伴い、現在利用している、又は利用したい施設を変更する予定についてみると、「ない」が79.3%、「ある」が8.5%となっています。



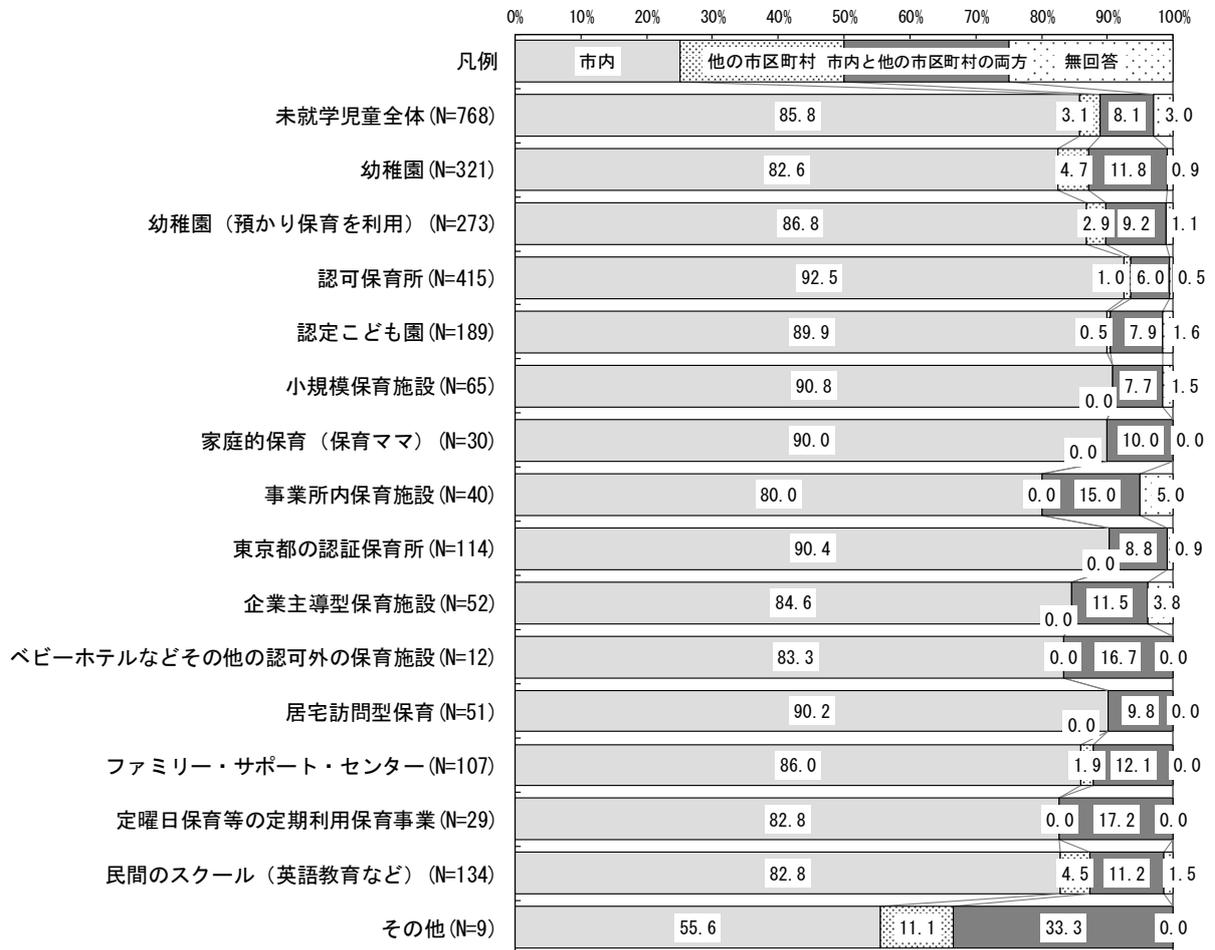
⑤ 幼児教育・保育の無償化後に利用したい施設
 (複数回答) (未就学児童：問 31-3 幼児教育・保育の無償化実施に伴い、現在利用している、又は利用したい施設を変更する予定が「ある」と回答した方のみ)

幼児教育・保育の無償化後に利用したい施設についてみると、「現在利用している、又は利用したい施設」では「認可保育所」が27.7%と最も多く、次いで「東京都の認証保育所」が15.4%となっています。また、「幼児教育・保育の無償化後に利用したい施設」では、「認可保育所」が38.5%と最も多く、次いで「幼稚園（預かり保育を利用）」が30.8%となっています。



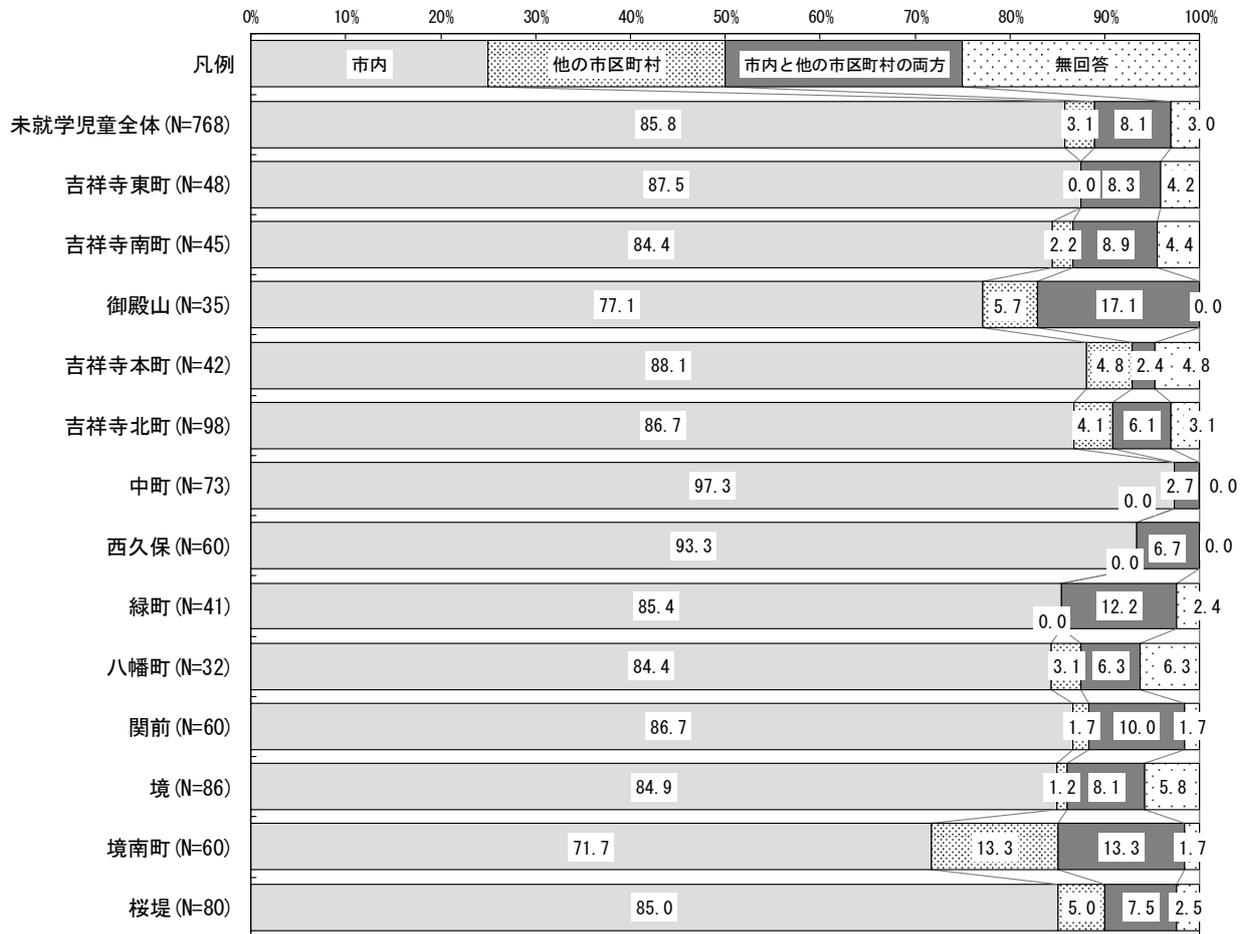
【教育・保育事業 × 教育・保育事業を利用したい場所】

教育・保育事業を利用したい場所別にみると、「認可保育所」「小規模保育施設」「家庭的保育（保育ママ）」「東京都の認証保育所」「居宅訪問型保育」は市内の割合がそれぞれ9割以上となっています。



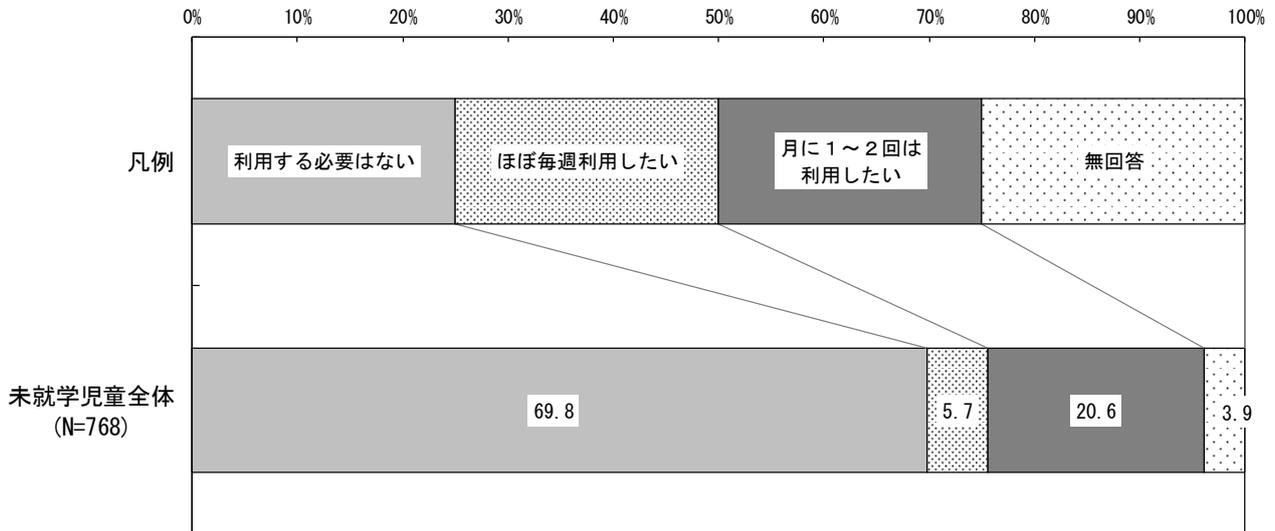
【居住地区 × 教育・保育事業を利用したい場所】

教育・保育事業を利用したい場所を居住地区別にみると、どの地区も市内の割合が多くなっています。



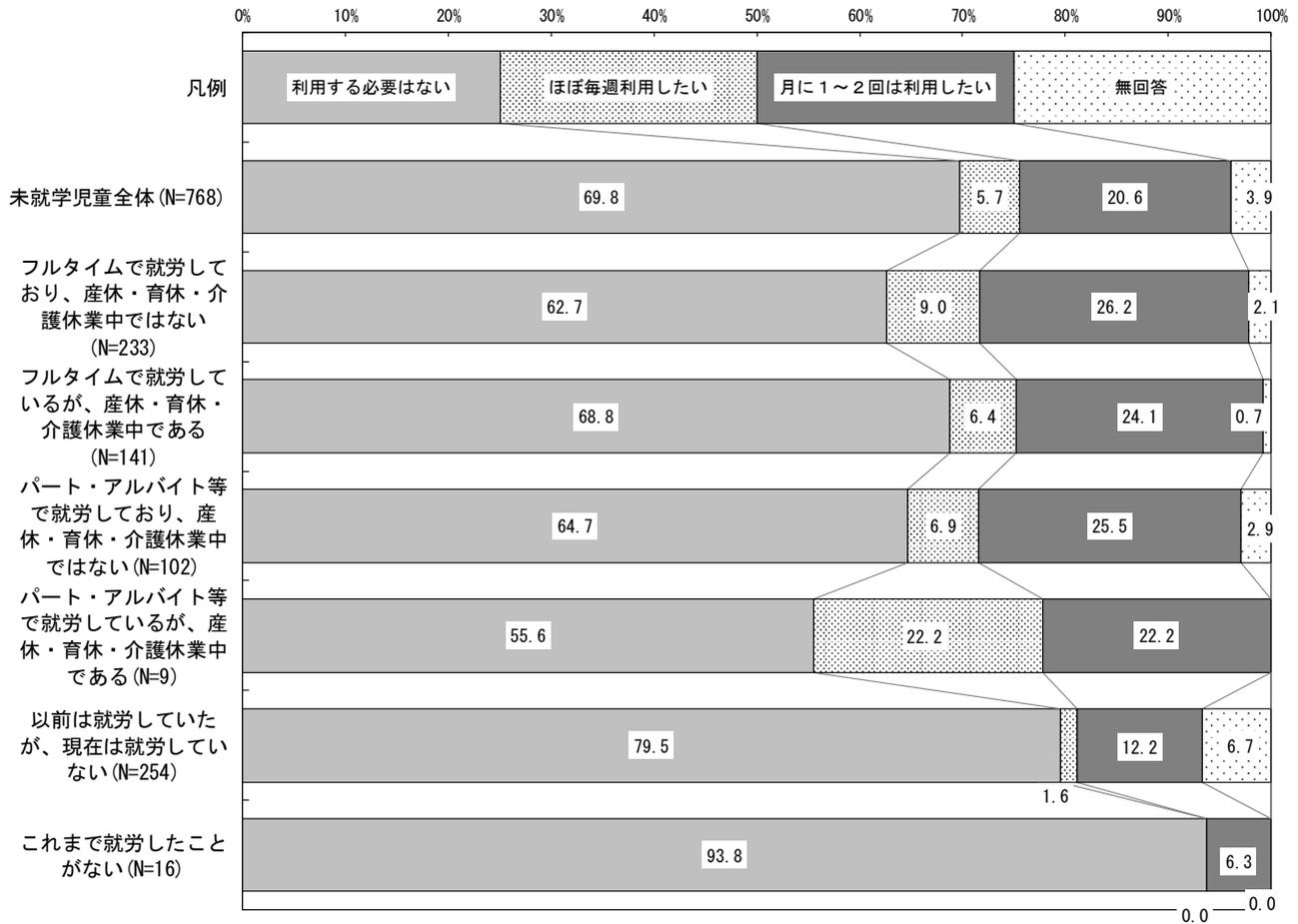
⑥ 土曜日の定期的な教育・保育事業の利用意向
 (単数回答) (未就学児童：問 32)

未就学児童全体の保護者で土曜日の定期的な教育・保育事業の利用意向をみると、「利用する必要はない」が69.8%と最も多く、次いで「月に1～2回は利用したい」が20.6%となっています。



【母親の就労状況 × 土曜日の定期的な教育・保育事業の利用意向】

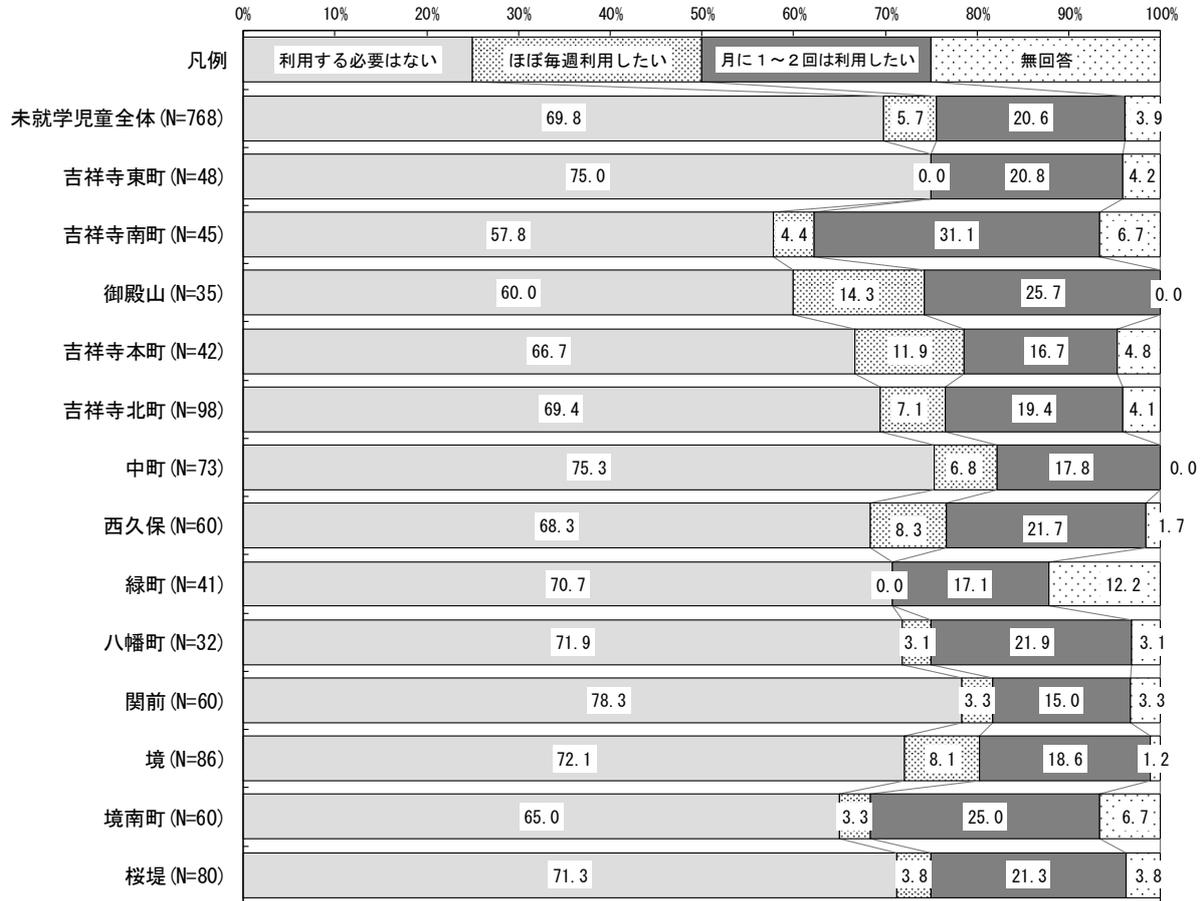
土曜日の定期的な教育・保育事業の利用意向を母親の就労状況別にみると、母親が就労していない状況では「利用する必要はない」が多い傾向にあります。フルタイムもしくはパート・アルバイトでは「ほぼ毎週利用したい」「月に1～2回は利用したい」の割合が多くなる傾向にあります。



※回答者数（N）が10未満の項目は分析の対象外。

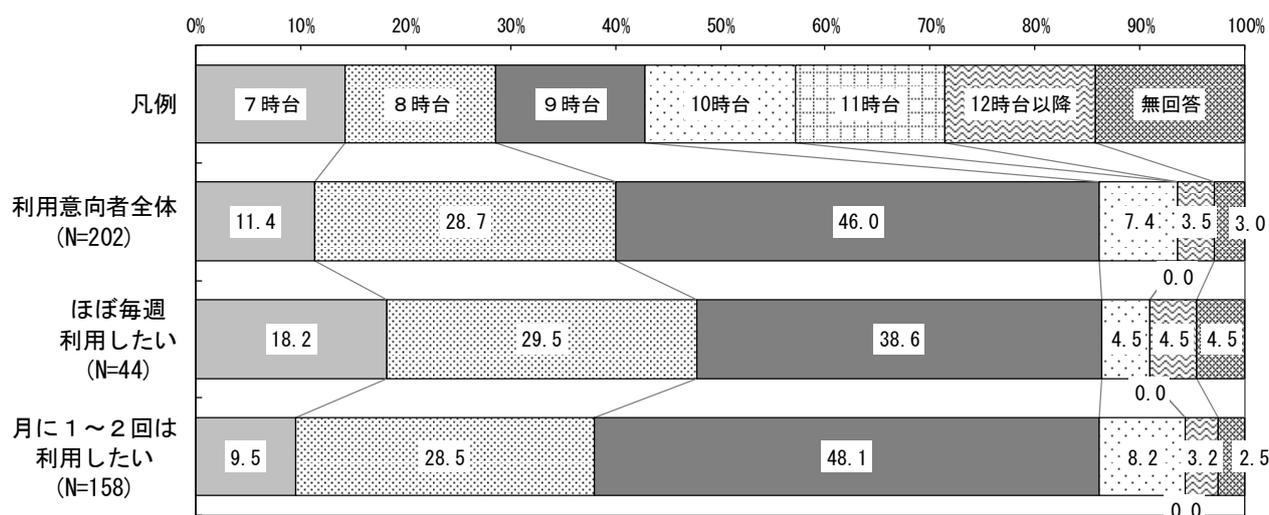
【居住地区 × 土曜日の定期的な教育・保育事業の利用意向】

土曜日の定期的な教育・保育事業の利用意向を居住地区別にみると、「利用する必要はない」が吉祥寺東町で75.0%、中町で75.3%、緑町で70.7%、八幡町で71.9%、関前で78.3%、境で72.1%、桜堤で71.3%と、7割を超えています。一方、吉祥寺南町では57.8%と6割を下回っています。



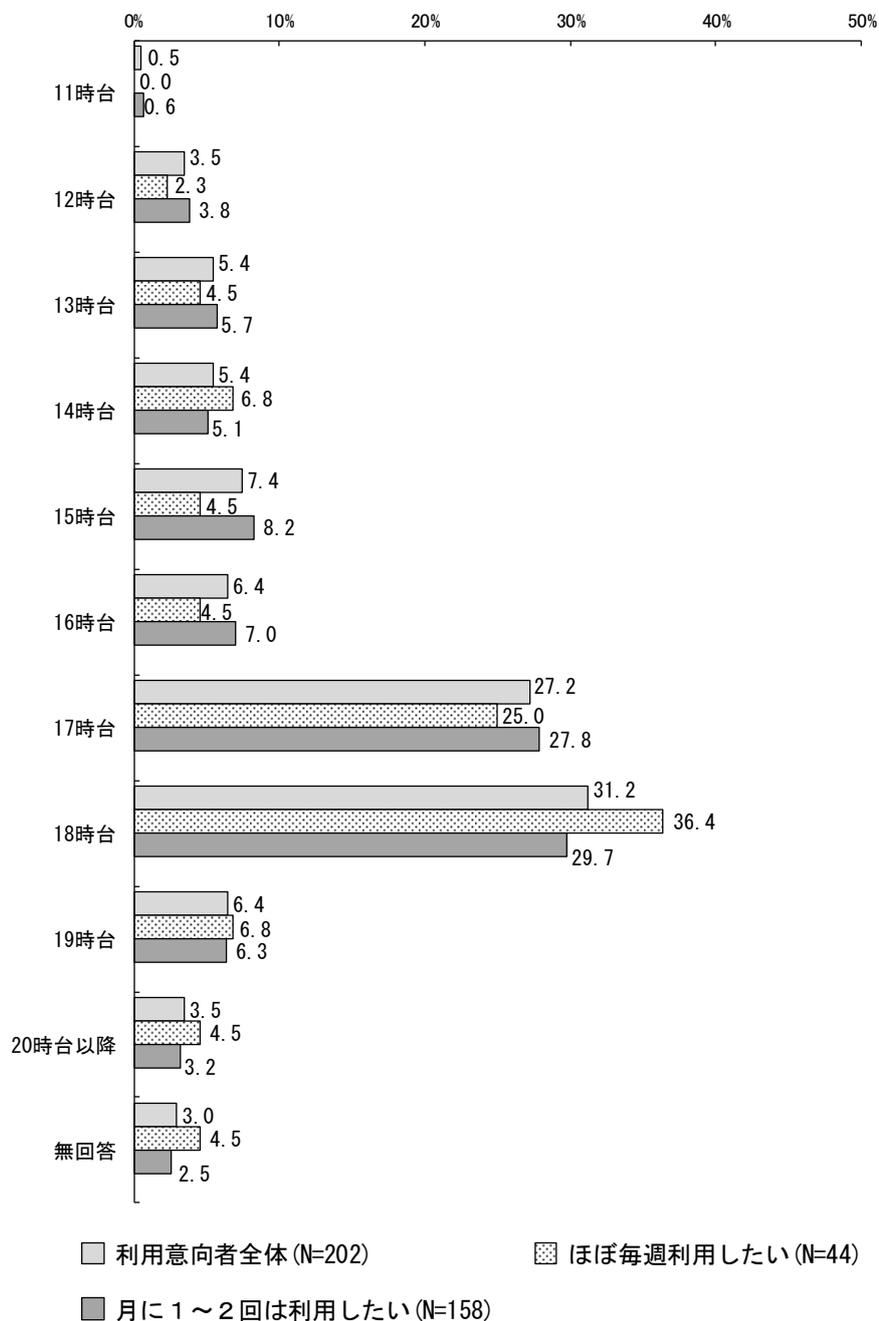
⑦ 土曜日の希望する利用開始時刻
(数量回答) (未就学児童：問 32)

土曜日の定期的な教育・保育事業で希望する利用開始時刻をみると、「利用意向者全体」では「9時台」が46.0%と最も多く、次いで「8時台」が28.7%となっています。「ほぼ毎週利用したい」および「月に1～2回は利用したい」においても同様の傾向がみられますが、「ほぼ毎週利用したい」では「7時台」の割合がやや多く、「月に1～2回は利用したい」では、「10時台」の割合がやや多くなっています。



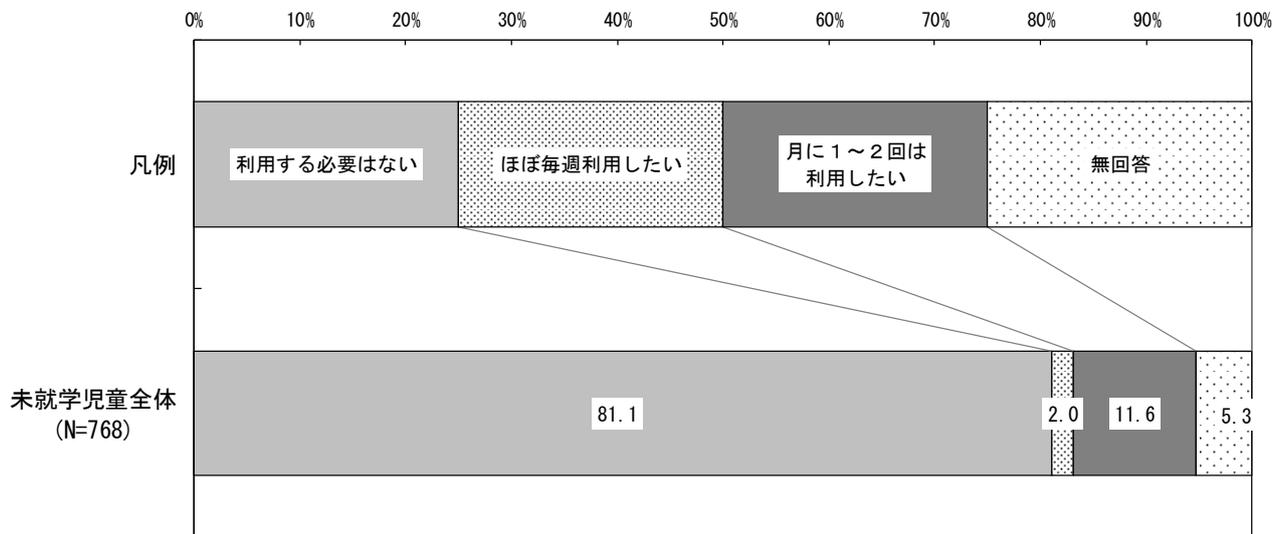
⑧ 土曜日の希望する利用終了時刻
(数量回答)(未就学児童：問32)

土曜日の定期的な教育・保育事業で希望する利用終了時刻をみると、「利用意向者全体」
「ほぼ毎週利用したい」「月に1～2回は利用したい」において「18時台」が最も多く、次
いで「17時台」となっています。



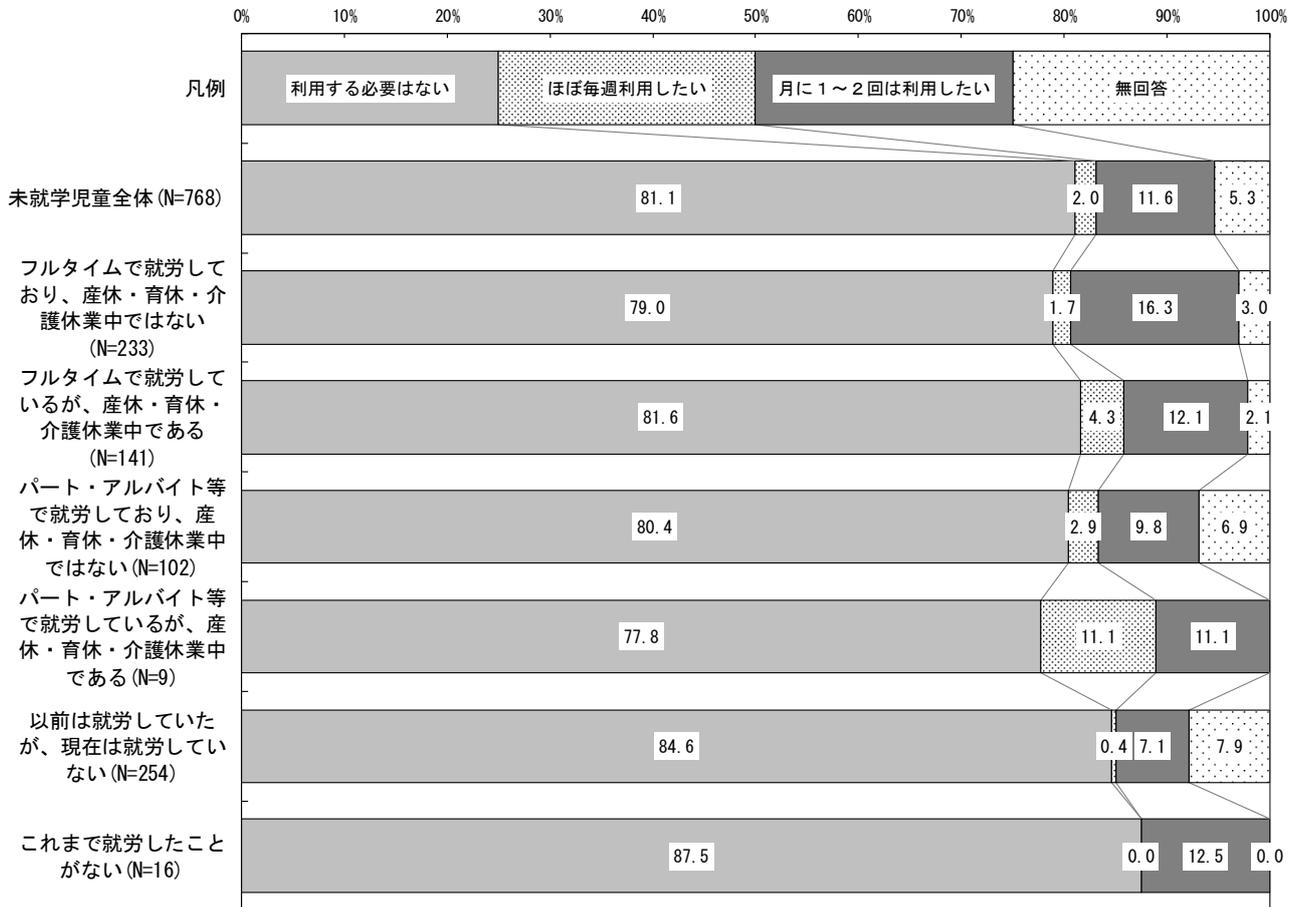
⑨ 日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用意向
 (単数回答) (未就学児童：問 32)

未就学児童全体の保護者で日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用意向をみると、「利用する必要はない」が81.1%と最も多く、次いで「月に1～2回は利用したい」が11.6%となっています。



【母親の就労状況 × 日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用意向】

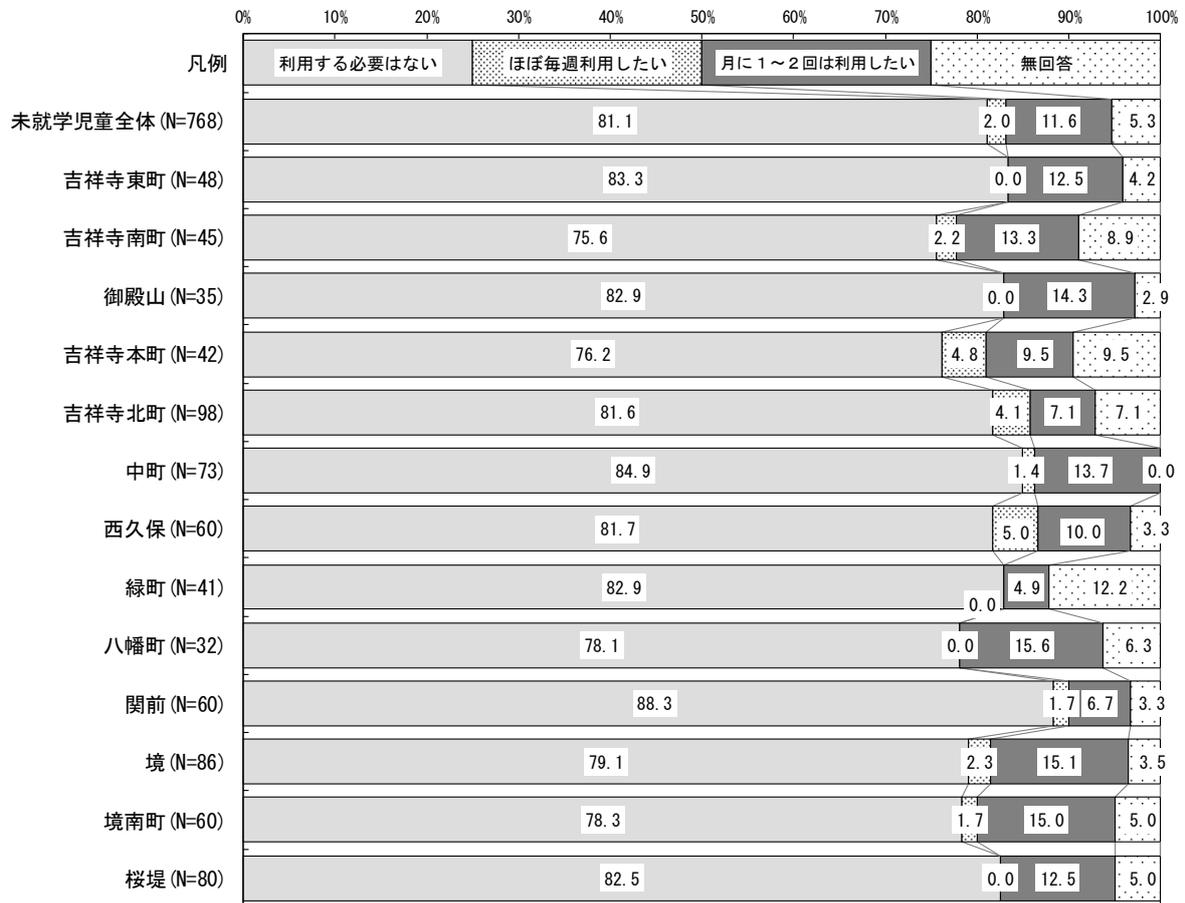
日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用意向を母親の就労状況別にみると、全体的に「利用する必要はない」が多い傾向にあります。



※回答者数（N）が10未満の項目は分析の対象外。

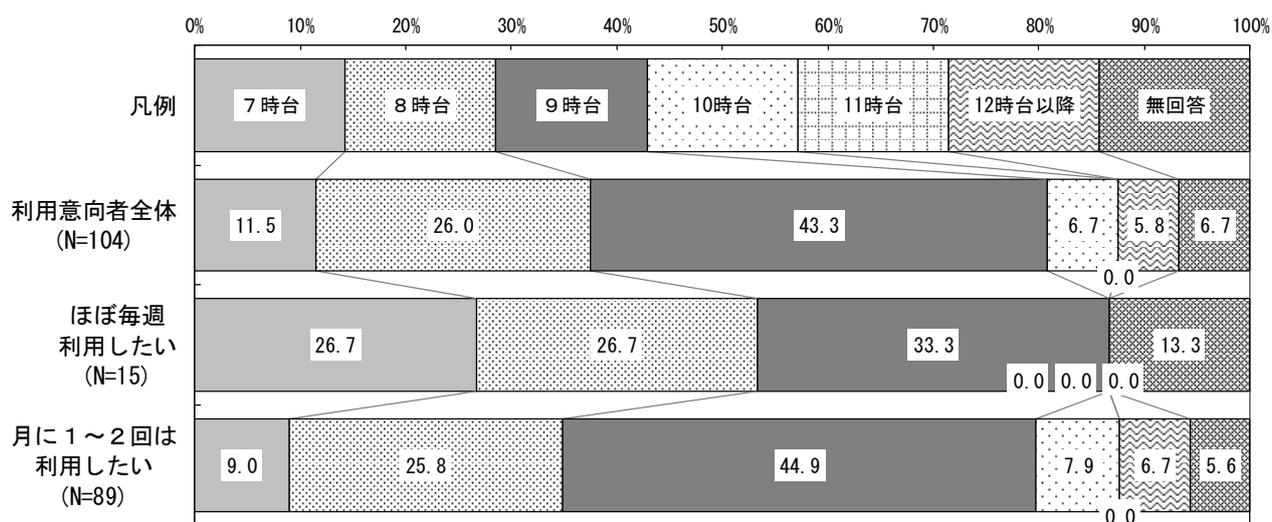
【居住地区 × 日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用意向】

日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用意向を居住地区別にみると、「利用する必要はない」が概ね7割以上となっています。特に関前では、88.3%と、他の地区に比べて多くなっています。



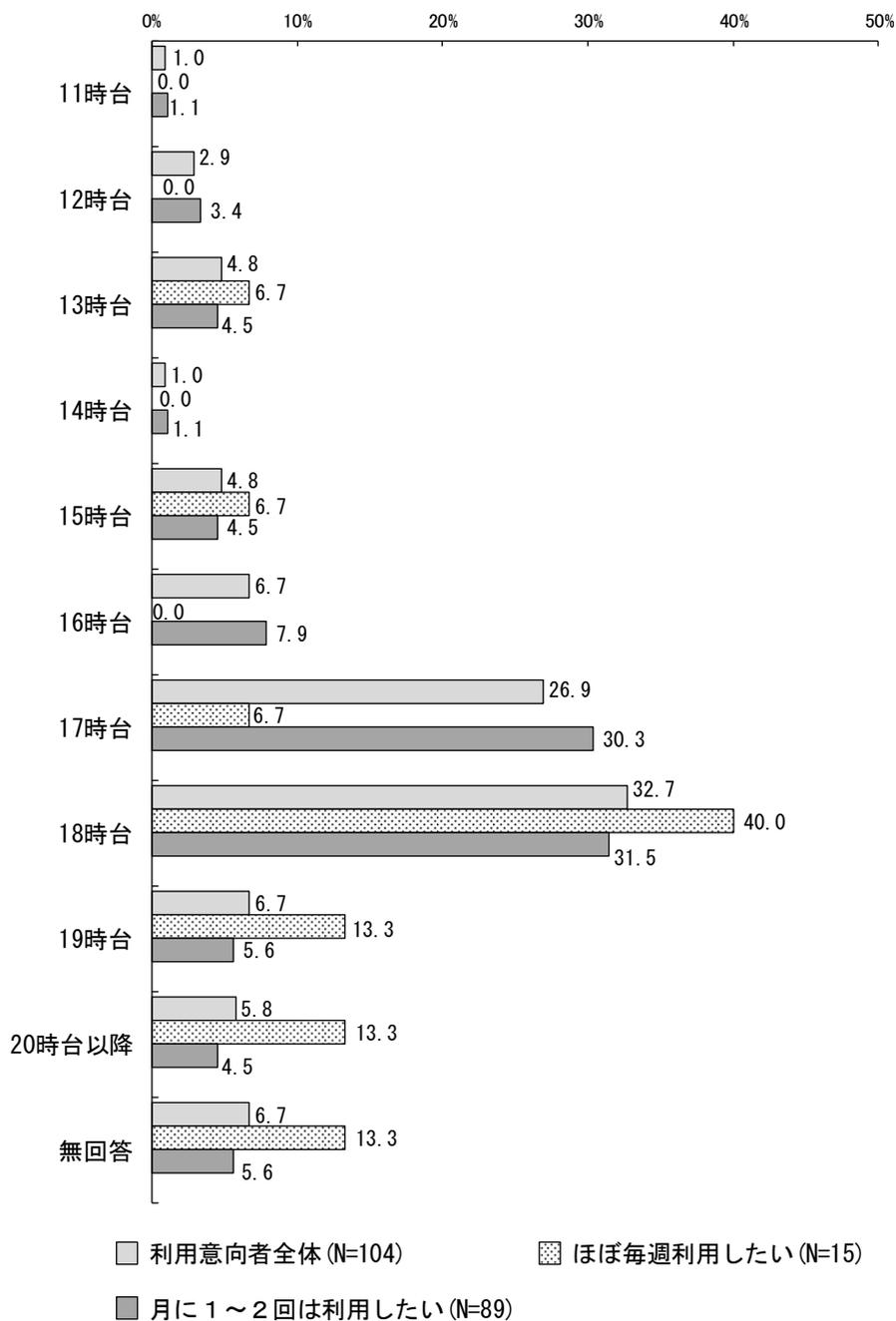
⑩ 日曜日・祝日の希望する利用開始時刻
(数量回答) (未就学児童：問 32)

日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業で希望する利用開始時刻をみると、「利用意向者全体」では「9時台」が43.3%と最も多く、次いで「8時台」が26.0%となっています。「ほぼ毎週利用したい」および「月に1～2回は利用したい」においても同様の傾向がみられますが、「ほぼ毎週利用したい」では「7時台」の割合がやや多く、「月に1～2回は利用したい」では、「10時台」の割合がやや多くなっています。



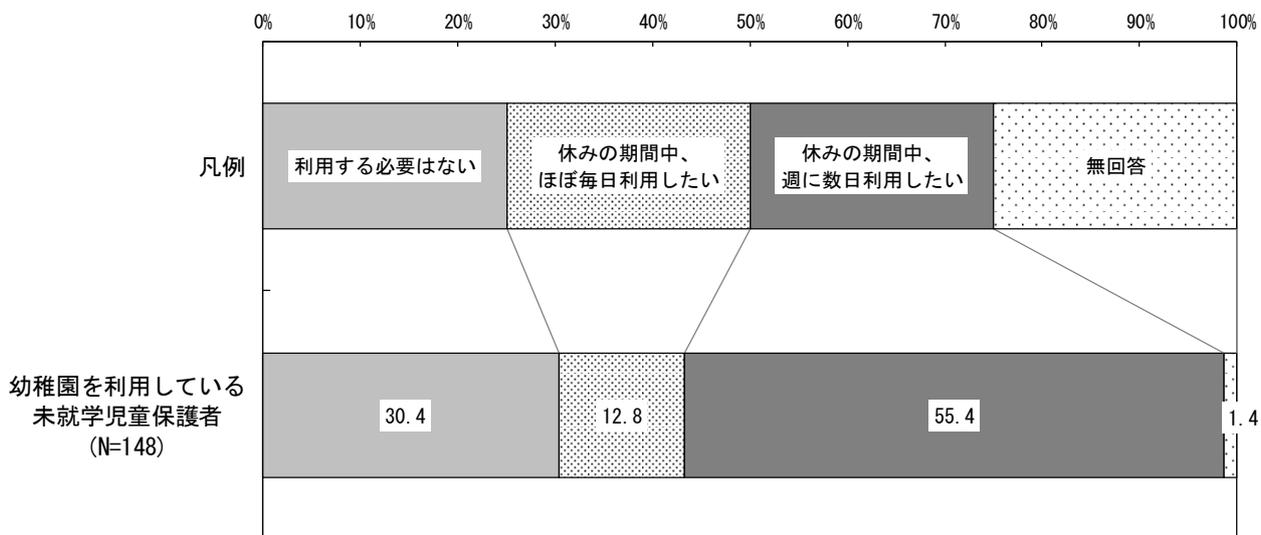
⑪ 日曜日・祝日の希望する利用終了時刻
(数量回答) (未就学児童：問 32)

日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業で希望する利用終了時刻をみると、「利用意向者全体」「ほぼ毎週利用したい」「月に1～2回は利用したい」において「18時台」が最も多くなっています。



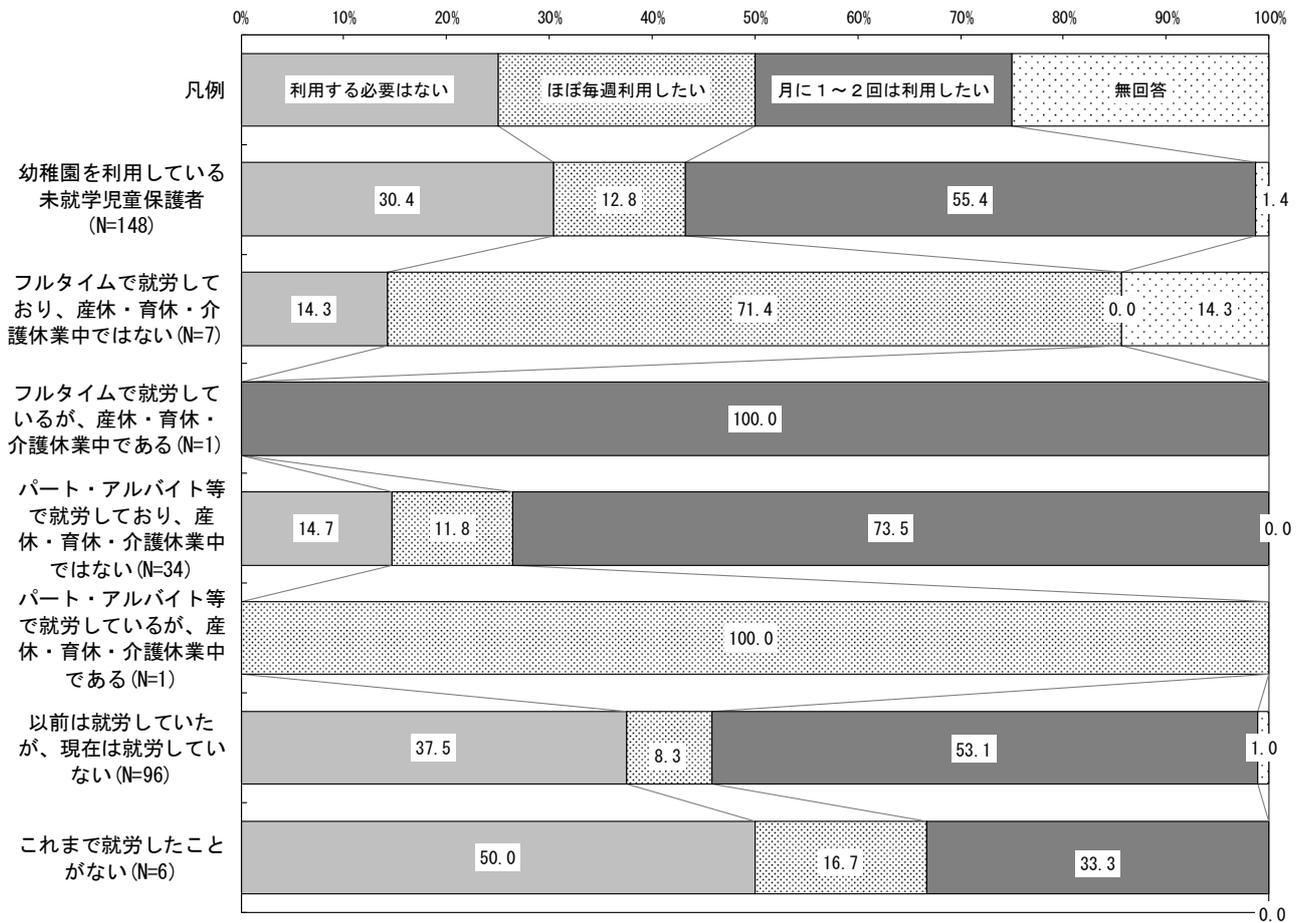
⑫ 夏休み・冬休み等長期休業期間中の教育・保育事業の利用意向
 (単数回答) (未就学児童：問 33 平日の教育・保育事業で「幼稚園」と回答した方のみ)

幼稚園を利用している未就学児童保護者における夏休み・冬休み等長期休業期間中の教育・保育事業の利用意向をみると、「休みの期間中、週に数日利用したい」が 55.4%と最も多く、次いで「利用する必要はない」が 30.4%となっています。



【母親の就労状況 × 夏休み・冬休み等長期休業期間中の教育・保育事業の利用意向】

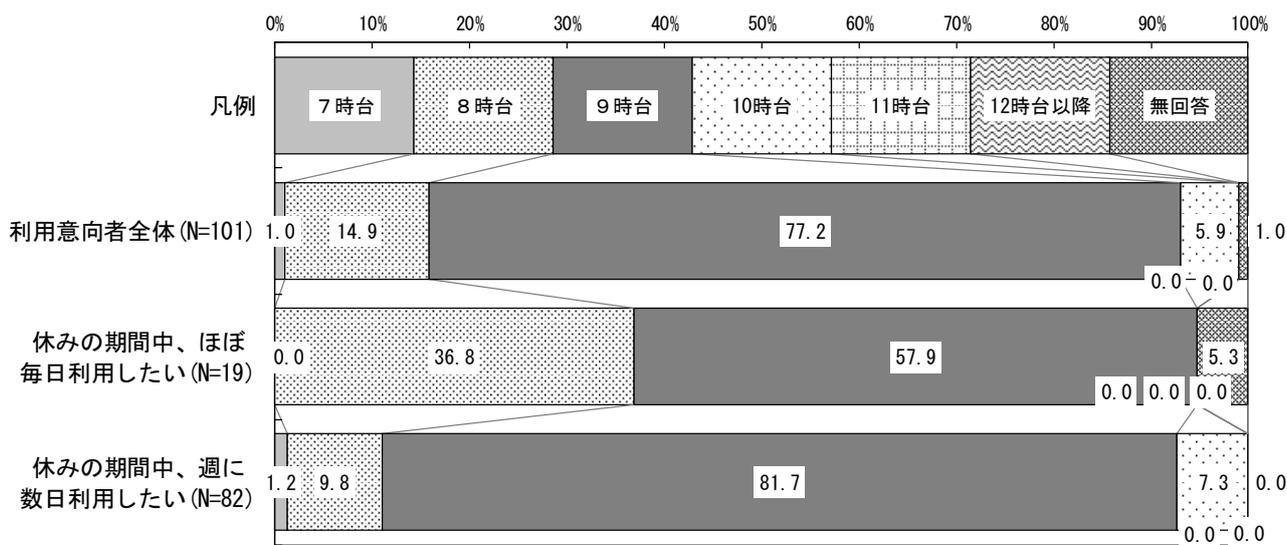
夏休み・冬休み等長期休業期間中の教育・保育事業の利用意向を母親の就労状況別にみると、母親が就労していない状況では「利用する必要はない」が他の就労状況に比べて多くなっていますが、土曜日の利用意向および日曜日・祝日の利用意向に比べて「ほぼ毎週利用したい」「月に1～2回利用したい」の割合が多くなっています。



※回答者数（N）が10未満の項目は分析の対象外。

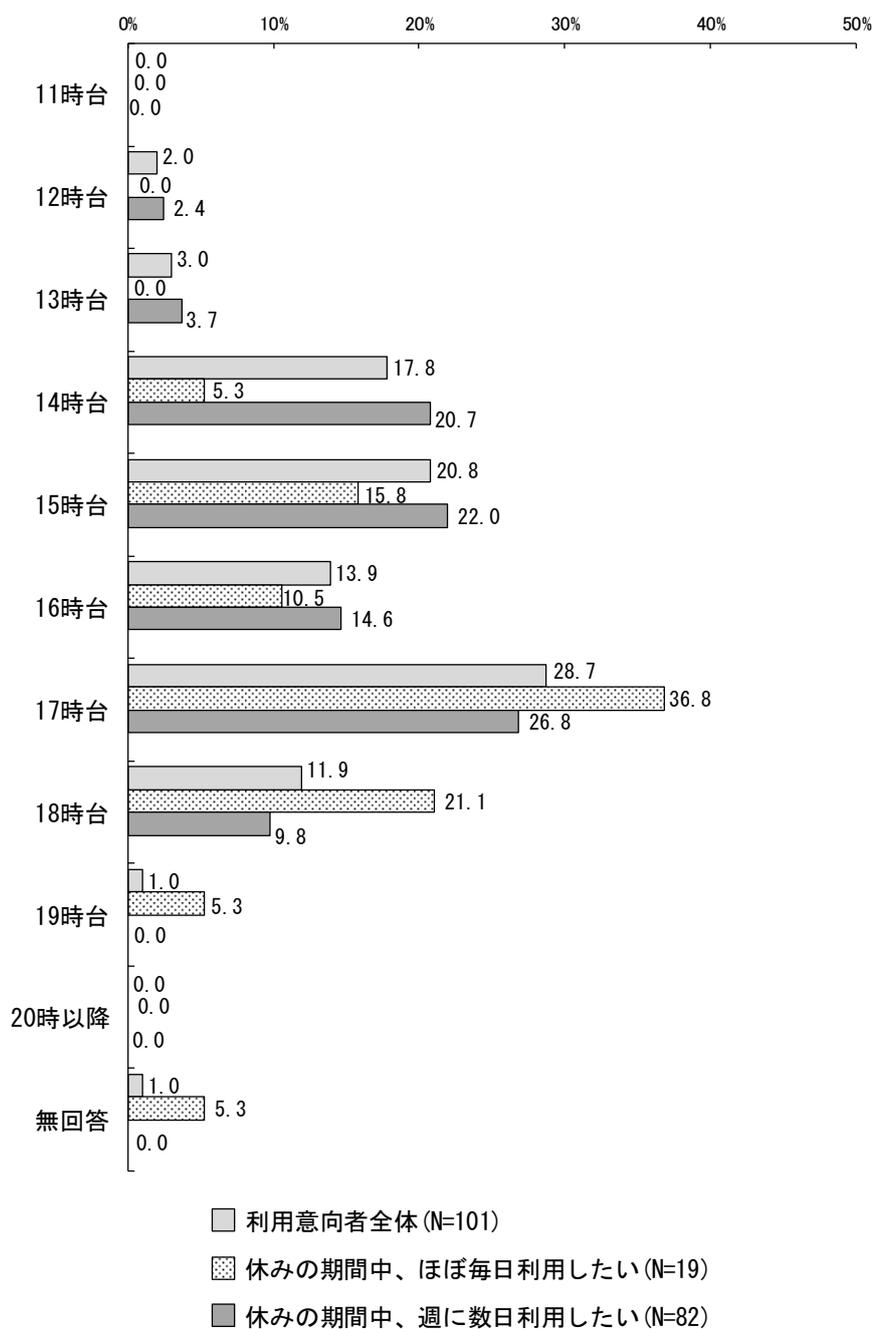
⑬ 夏休み・冬休み等長期休業期間中の希望する利用開始時刻
 (数量回答) (未就学児童：問 33 平日の教育・保育事業で「幼稚園」と回答した方のみ)

夏休み・冬休み等長期休業期間中の教育・保育事業で希望する利用開始時刻をみると、利用意向者全体では「9時台」が77.2%と最も多く、次いで「8時台」が14.9%となっています。「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」や「休みの期間中、週に数日利用したい」でも同様の傾向がみられますが、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」では「8時台」の割合が36.8%と多くなっています。



⑭ 夏休み・冬休み等長期休業期間中の希望する利用終了時刻
 (数量回答) (未就学児童：問 33 平日の教育・保育事業で「幼稚園」と回答した方のみ)

夏休み・冬休み等長期休業期間中の定期的な教育・保育事業で希望する利用終了時刻をみると、「利用意向者全体」「休みの期間中、ほぼ毎週利用したい」「休みの期間中、週に数日利用したい」において「17時台」が最も多くなっています。

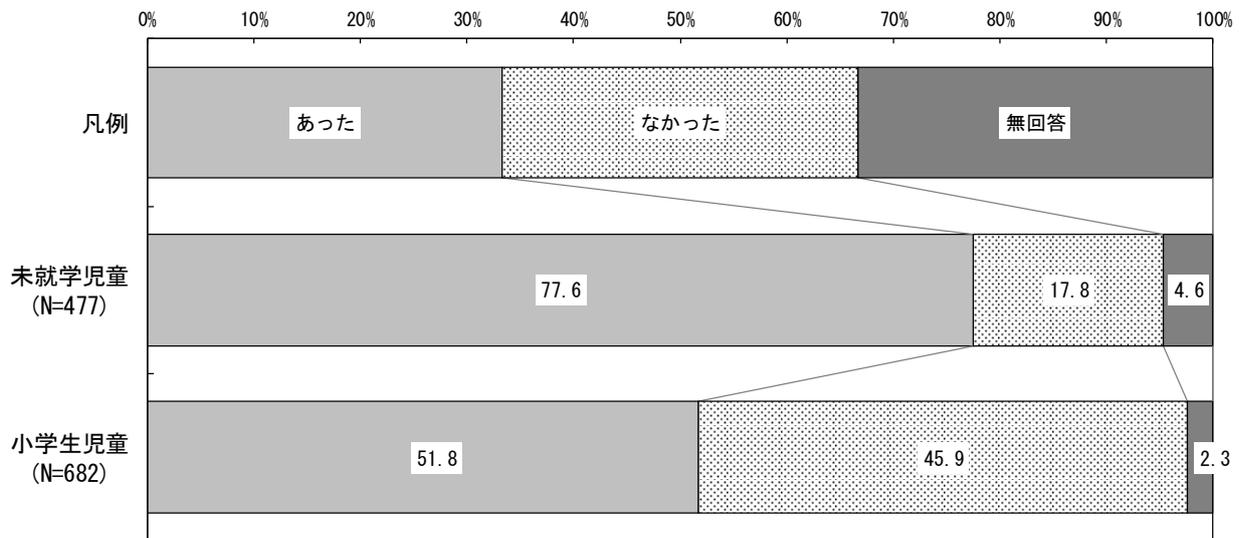


6. 子どもの病気の際の対応や一時預かり等の状況

(1) 病気の際の対応と病児・病後児施設の利用状況

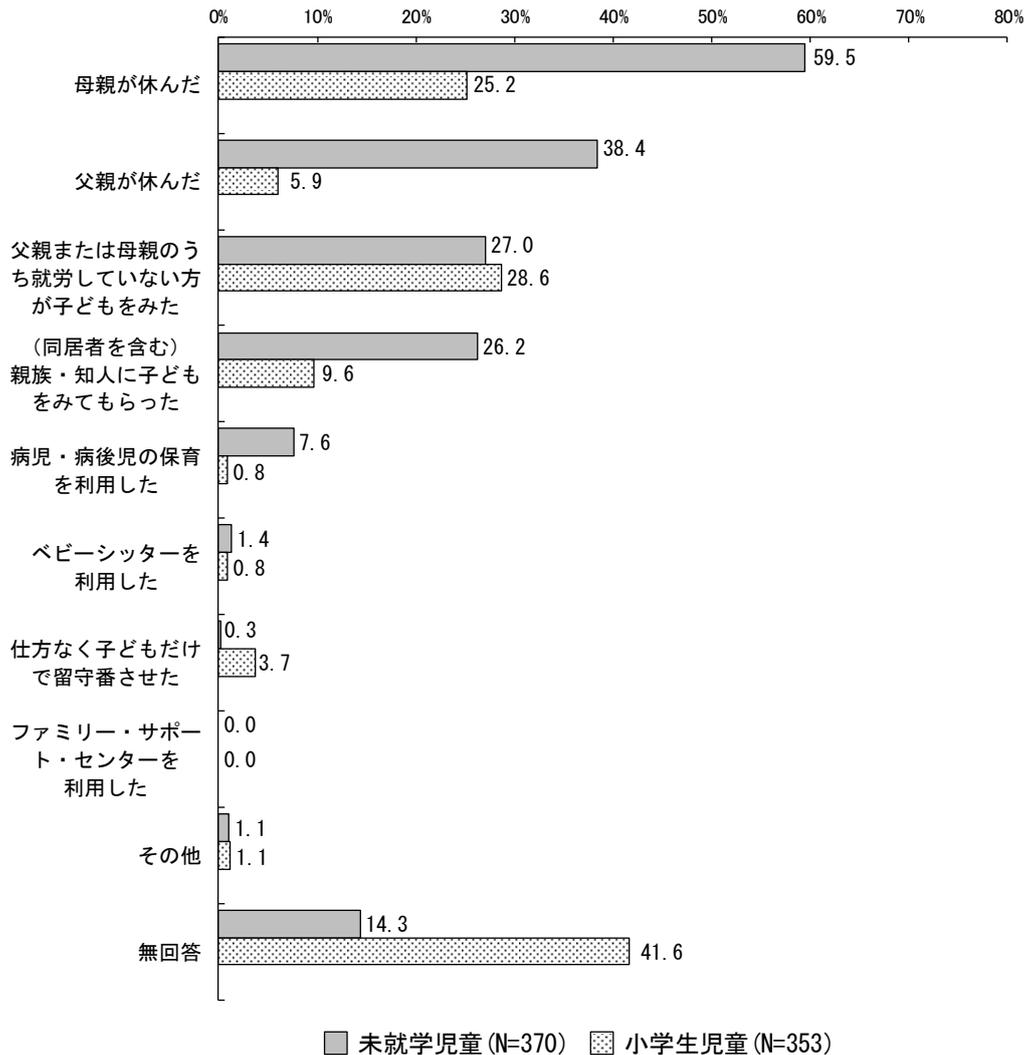
① 病気やけがで教育・保育が利用できなかったことの有無 (単数回答) (未就学児童：問 34 小学生児童：問 26)

病気やけがで教育・保育が利用できなかったことの有無をみると、未就学児童保護者では、「あった」が77.6%、「なかった」が17.8%となっています。また、小学生児童保護者では、「あった」が51.8%、「なかった」が45.9%と、未就学児童保護者に比べて「あった」の割合が少なくなっています。



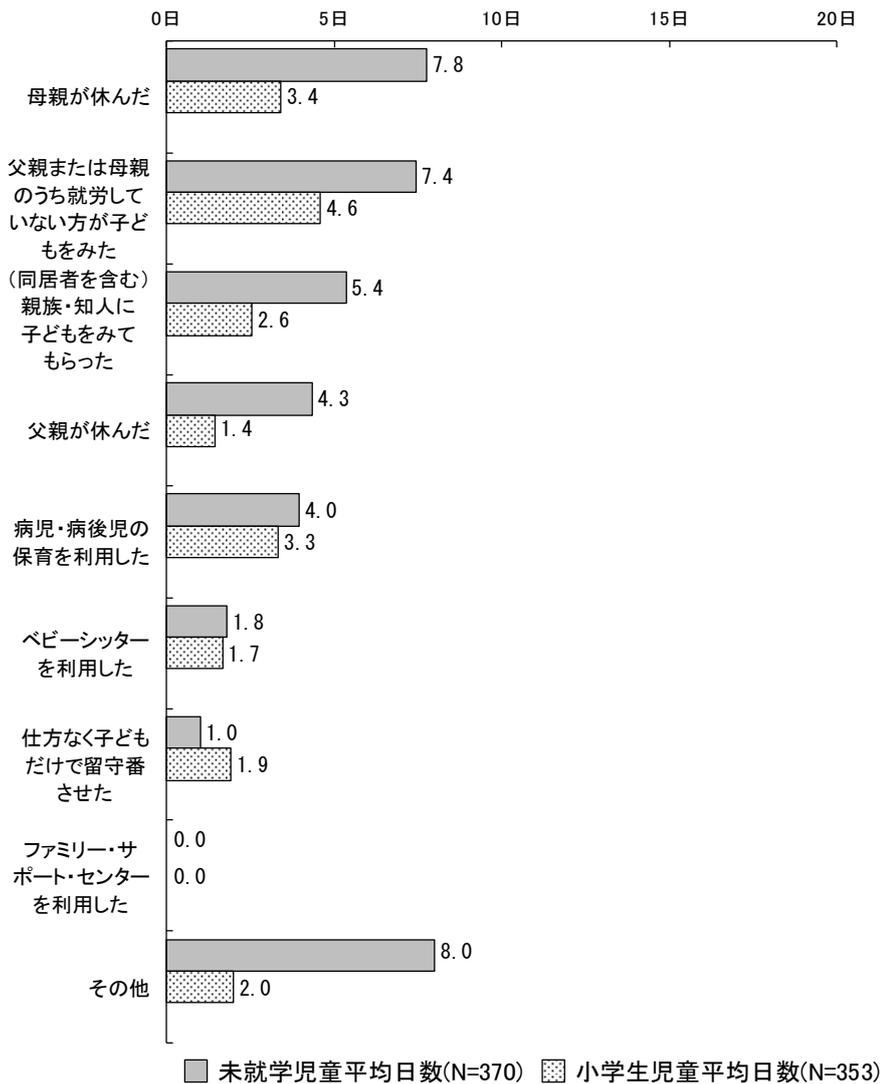
② 病気やけがで教育・保育を利用できなかった時の対処方法
 (複数回答) (未就学児童：問 34- 1 小学生児童：問 26- 1 病気やけがで
 教育・保育が利用できなかったことが「あった」と回答した方のみ)

この1年間の子どもの病気やけが等で普段利用している教育・保育事業が利用できなかった時の対処方法についてみると、未就学児童保護者では「母親が休んだ」が59.5%と最も多く、次いで「父親が休んだ」が38.4%となっています。小学生児童保護者では、「父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた」が28.6%と最も多く、次いで「母親が休んだ」が25.2%となっています。



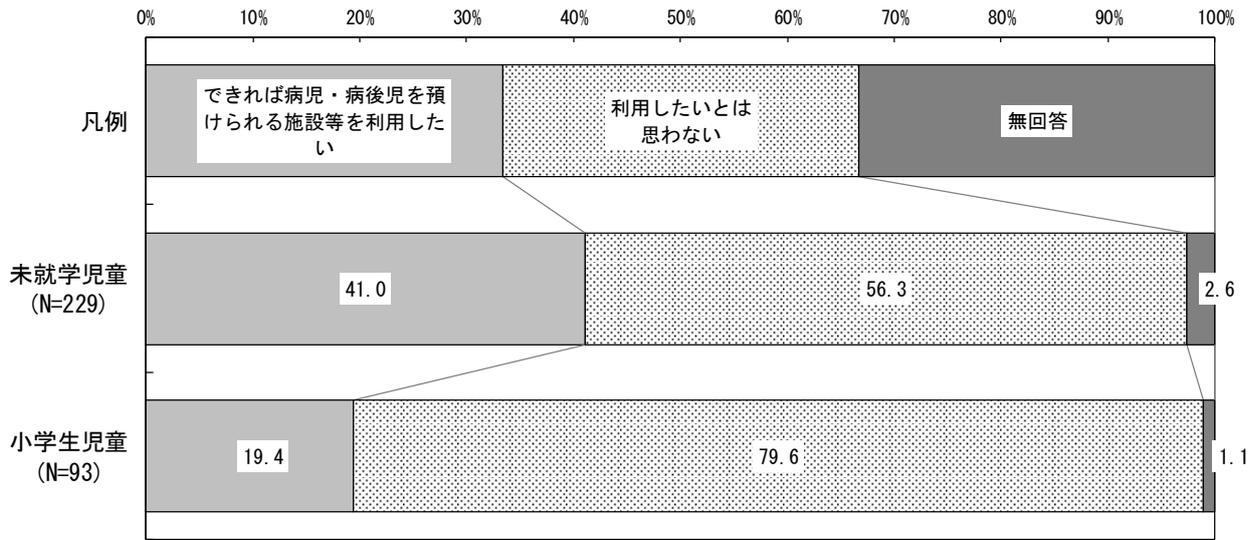
③ 病気やけがで教育・保育を利用できなかった時の対処日数
 (数量回答) (未就学児童：問 34-1 小学生児童：問 26-1 病気やけがで
 教育・保育が利用できなかったことが「あった」と回答した方のみ)

この1年間の子どもの病気やけが等で普段利用している教育・保育が利用できなかった時の対処日数についてみると、未就学児童保護者では、「母親が休んだ」が7.8日、「父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた」が7.4日となっています。小学生児童保護者では、「父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた」が4.6日、「母親が休んだ」が3.4日となっています。

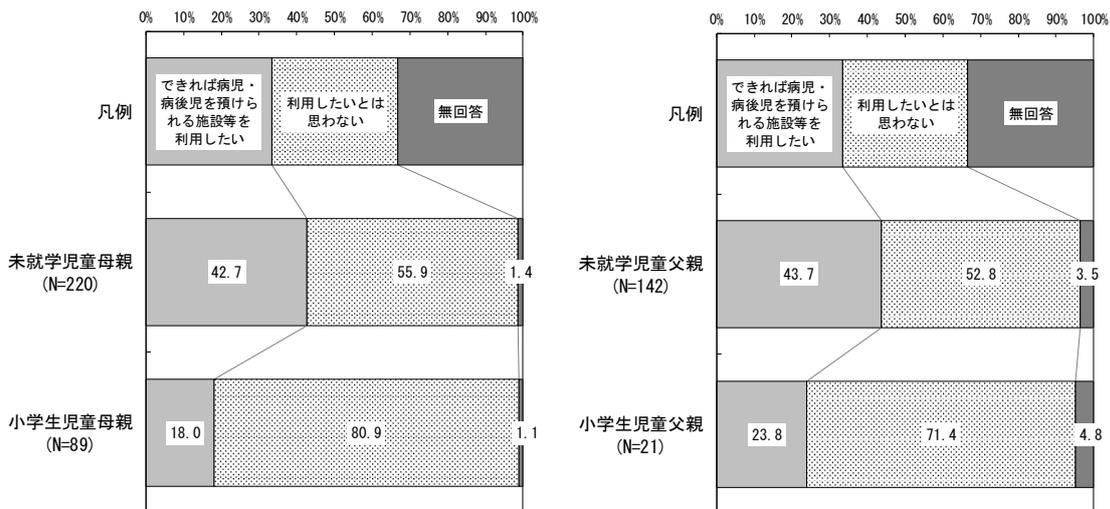


④ 病児・病後児を預けられる施設等の利用意向
 (単数回答) (未就学児童：問 34-2 小学生児童：問 26-2 「父親が休んだ」「母親が休んだ」のいずれかを回答した方のみ)

病児・病後児を預けられる施設等の利用意向についてみると、未就学児童保護者、小学生児童保護者ともに「利用したいとは思わない」が56.3%、79.6%と最も多く、次いで「できれば病児・病後児を預けられる施設等を利用したい」が41.0%、19.4%となっています。小学生児童保護者は、未就学児童保護者に比べて「できれば病児・病後児を預けられる施設等を利用したい」の割合が少なくなっています。



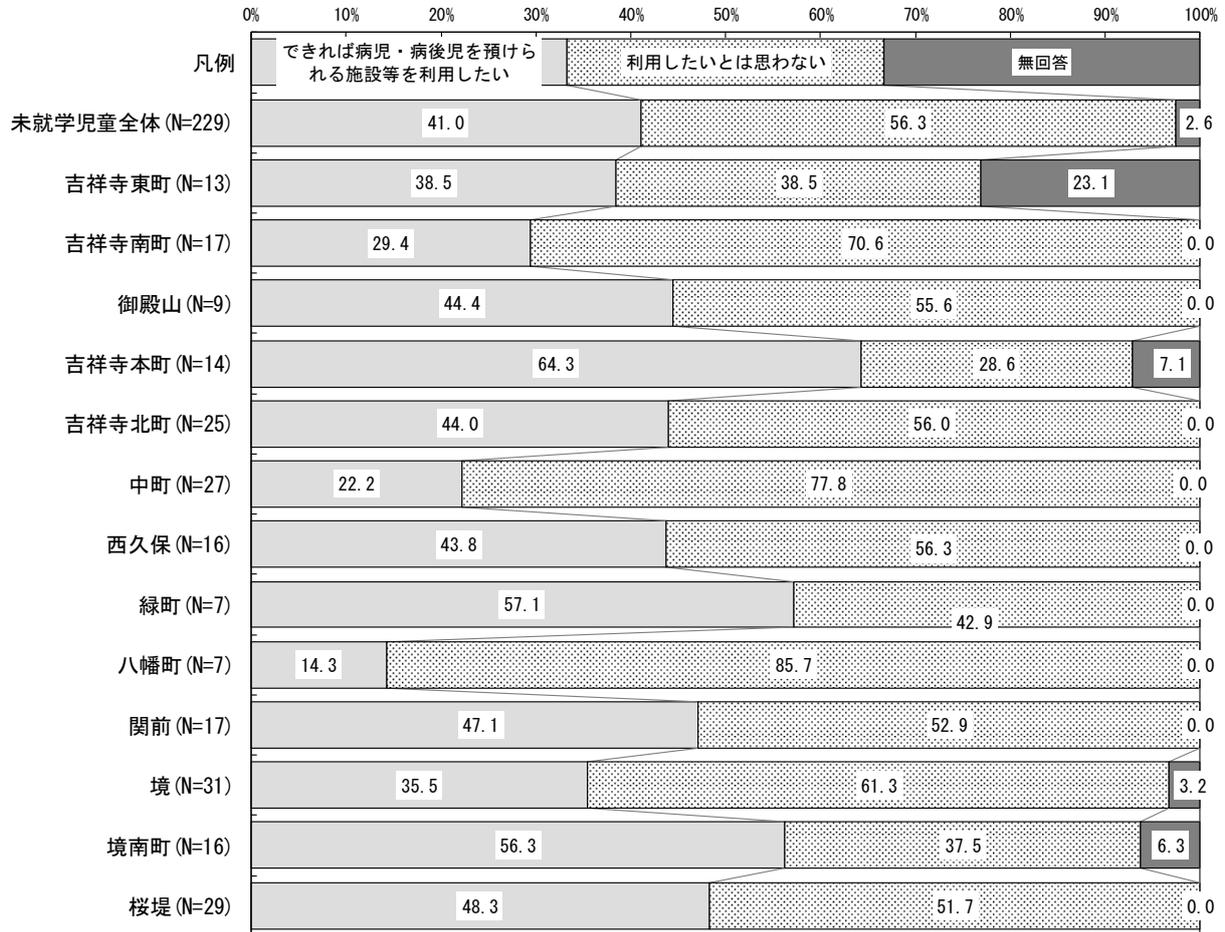
<参考> 父親・母親別の病児・病後児施設の利用意向



※上グラフは、「父親が休んだ」または「母親が休んだ」を選択した回答数の合計をNとしているため、実際の回答者数とは一致しません。

【居住地区 × 病児・病後児を預けられる施設等の利用意向（未就学児童）】

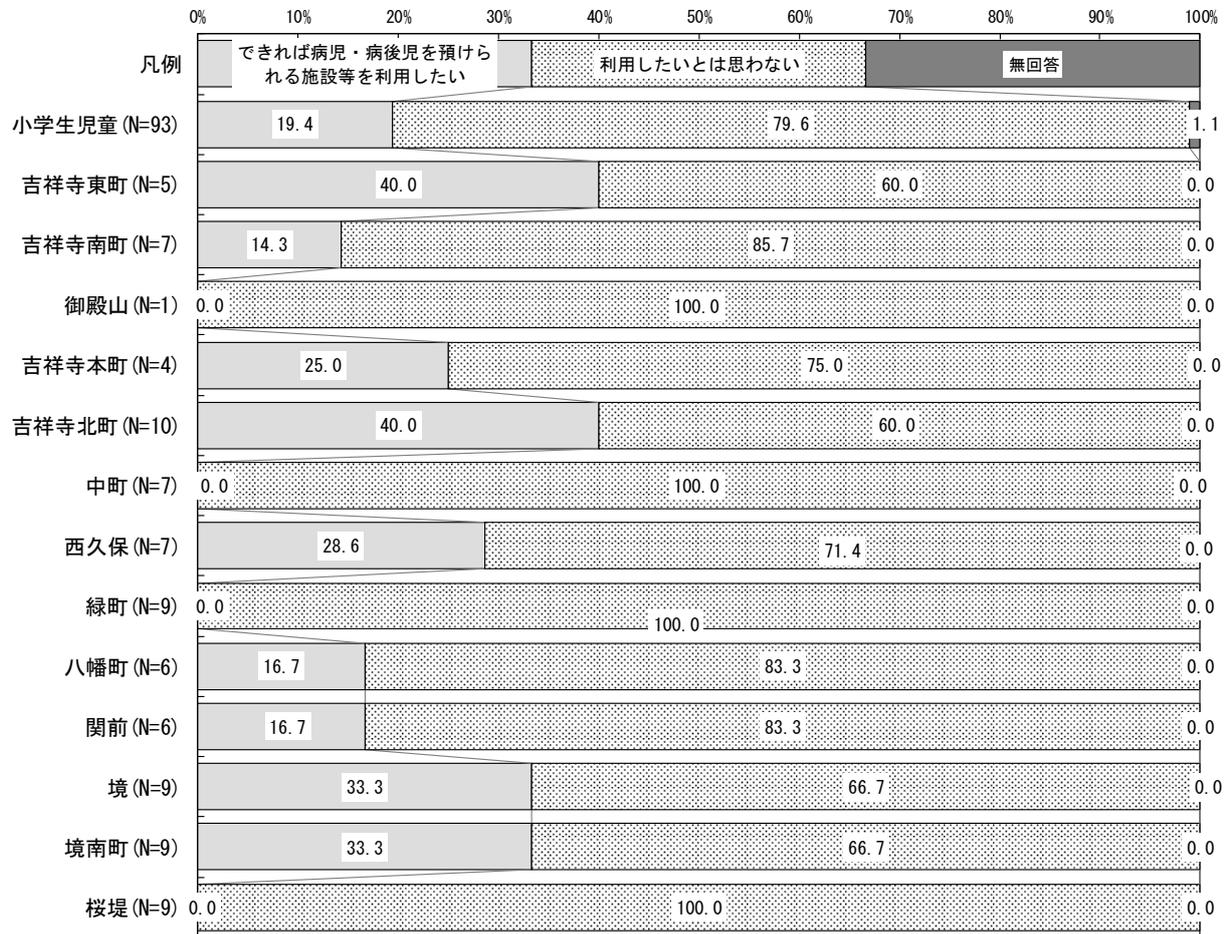
病児・病後児を預けられる施設等の利用意向を未就学児童保護者の居住地区別にみると、「できれば病児・病後児を預けられる施設等を利用したい」の割合が吉祥寺本町で64.3%と、他の地区に比べて多くなっています。



※回答者数（N）が10未満の項目は分析の対象外。

【居住地区 × 病児・病後児を預けられる施設等の利用意向（小学生児童）】

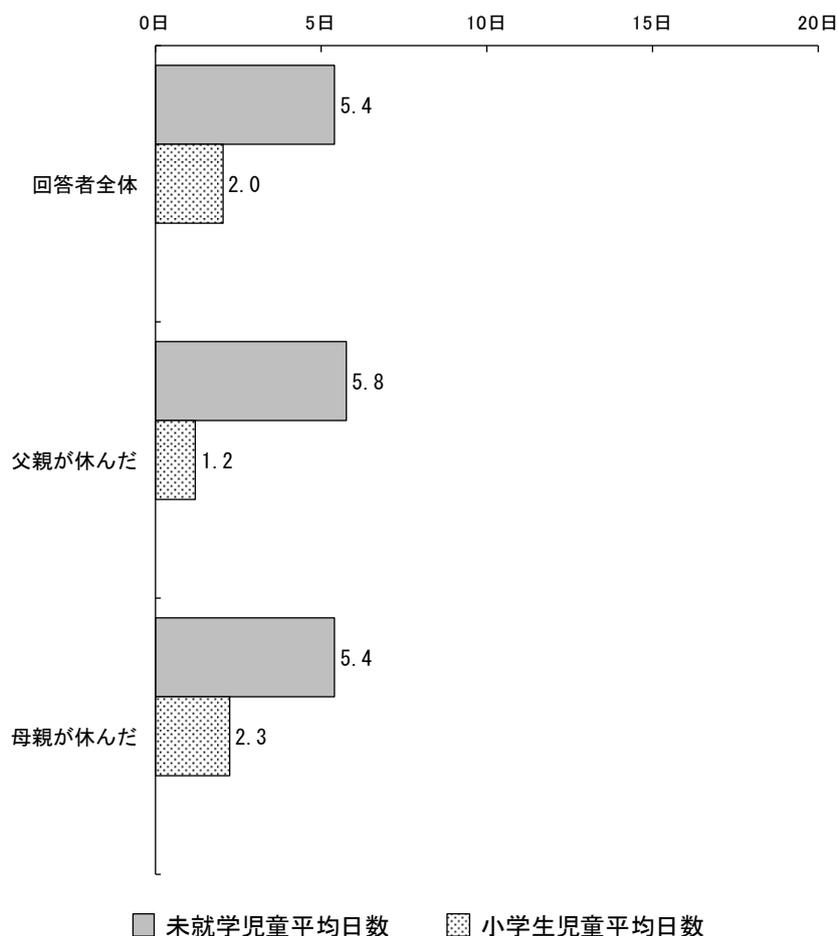
病児・病後児を預けられる施設等の利用意向を小学生児童保護者の居住地区別にみると、「利用したいとは思わない」の割合が概ね6割以上となっています。



※回答者数（N）が10未満の項目は分析の対象外。

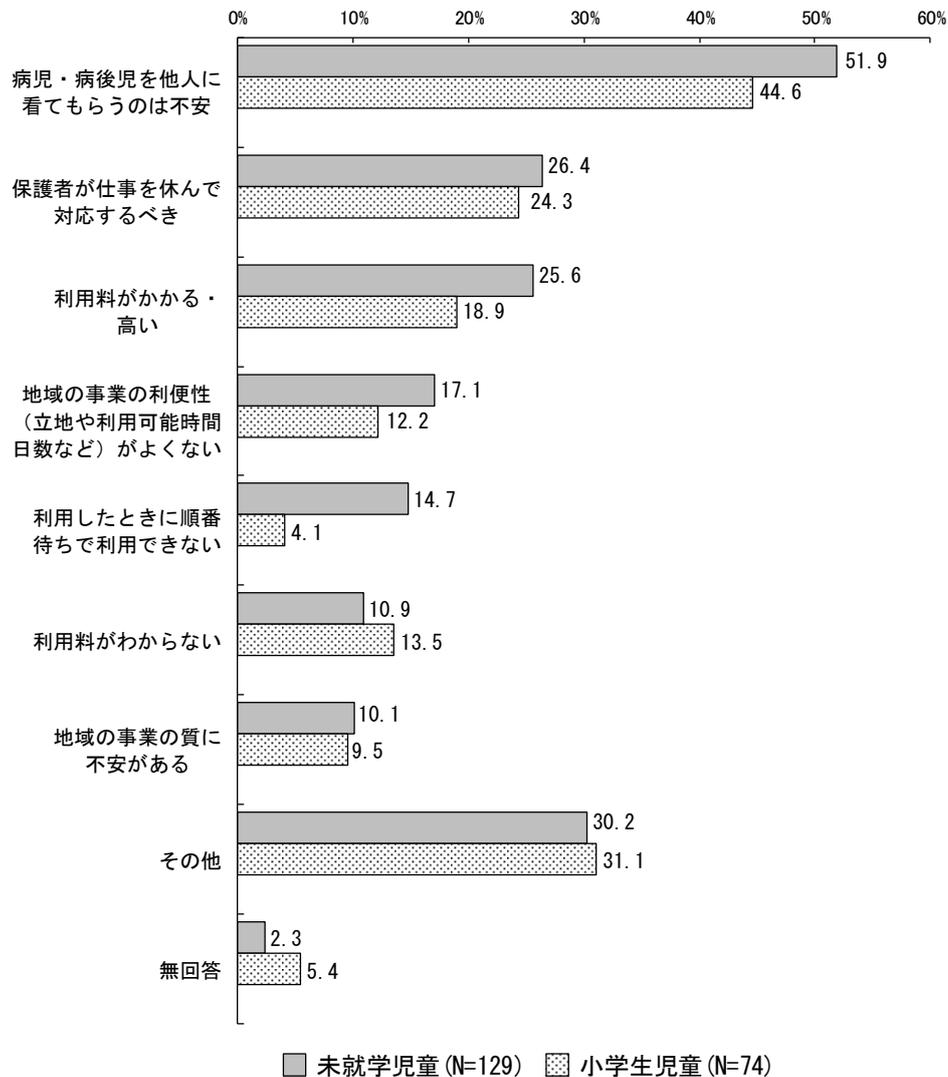
⑤ 病後児を預けられる施設等の利用意向日数
 (数量回答) (未就学児童：問 34-2 小学生児童：問 26-2 「父親が休んだ」、「母親が休んだ」のいずれかを回答した方のみ)

病後児を預けられる施設等の利用意向日数についてみると、未就学児童保護者の回答者全体で 5.4 日、小学生児童保護者の回答者全体で 2.0 日となっており、未就学児童保護者の方が小学生児童保護者に比べて利用意向日数が長くなっています。



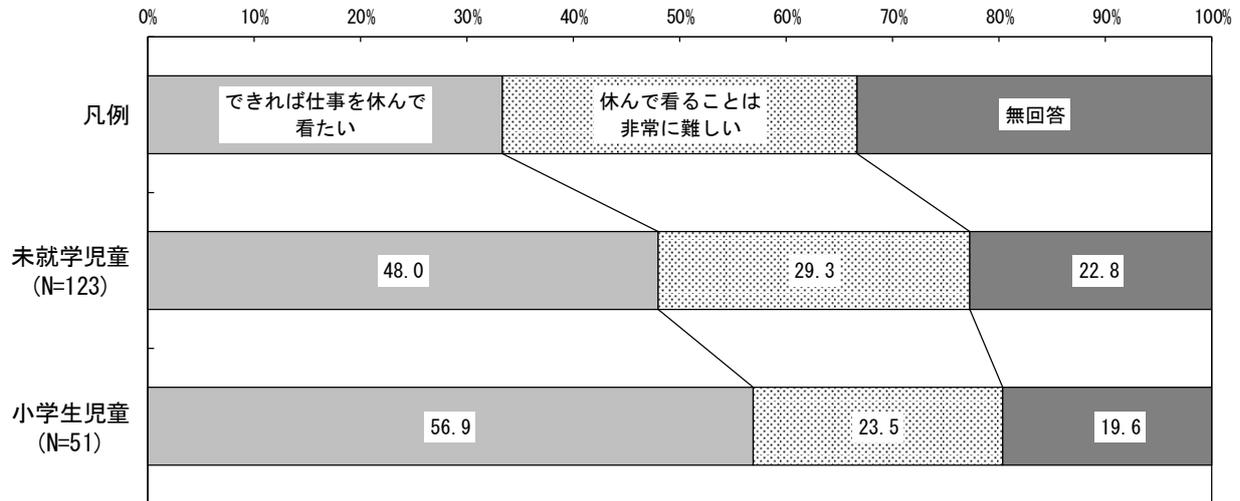
⑥ 病児・病後児を預けられる施設等を利用したいと思わない理由
 (複数回答) (未就学児童：問 34-3 小学生児童：問 26-3 病児・病後児
 を預けられる施設等を「利用したいと思わない」と回答した方のみ)

病児・病後児を預けられる施設等を利用したいと思わない理由についてみると、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が未就学児童保護者、小学生児童保護者ともに最も多く、それぞれ51.9%、44.6%となっています。



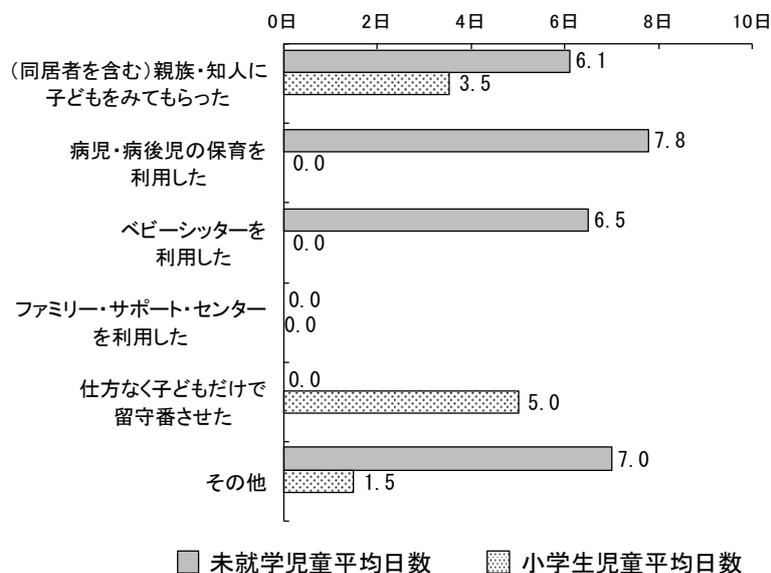
⑦ 父母のいずれかが仕事を休んで子どもの看病をする希望・実現性
 (単数回答) (未就学児童：問 34-4 小学生児童：問 26-4 父親もしくは母親以外の人や施設等に子どもを「見てもらった」と回答した方のみ)

父母のいずれかが仕事を休んで子どもの看病をする希望・実現性をみると、「できれば仕事を休んで看たい」が未就学児童保護者では48.0%、小学生児童保護者では56.9%となっています。



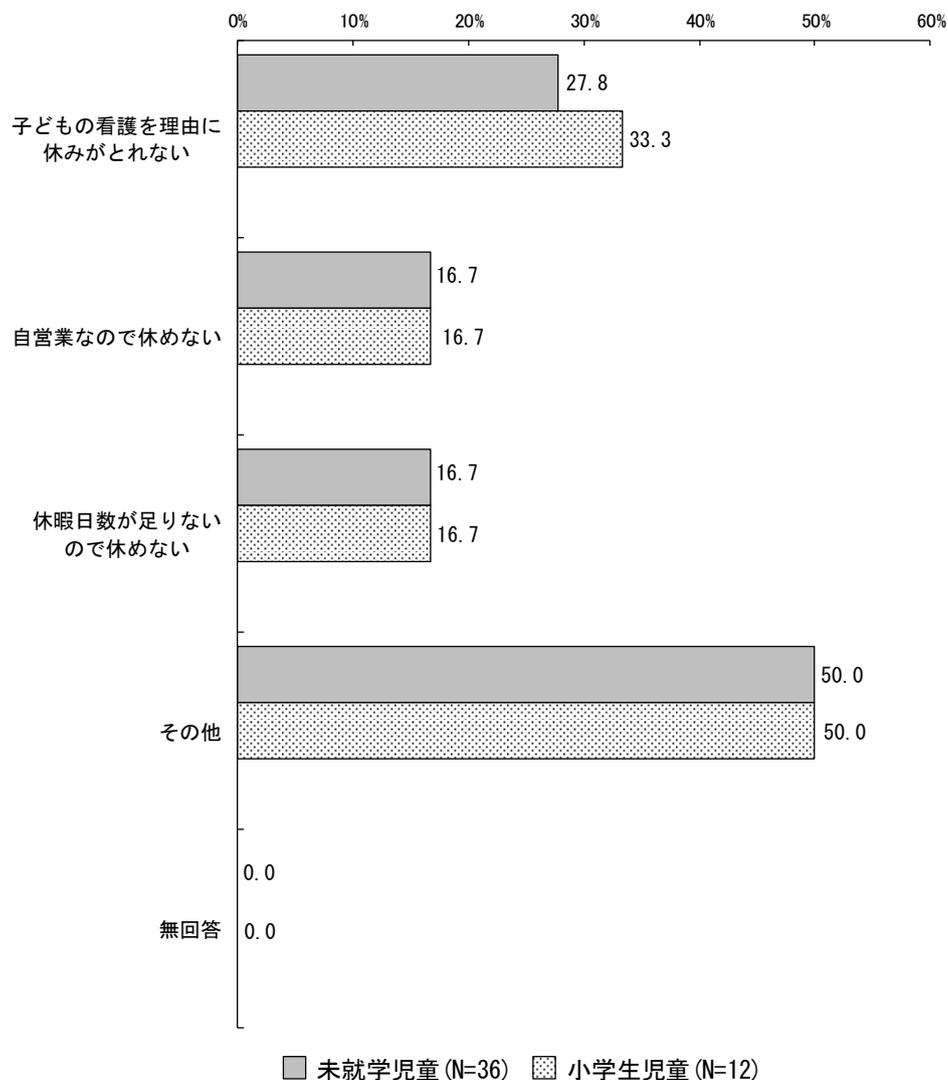
⑧ 仕事を休んで看病をしたかった日数
 (数量回答) (未就学児童：問 34-4 小学生児童：問 26-4 「できれば仕事を休んで看たい」と回答した方のみ)

仕事を休んで看病をしたかった日数についてみると、未就学児童保護者では「病児・病後児の保育を利用した」で7.8日、小学生児童保護者では「仕方なく子どもだけで留守番させた」で5.0日となっています。



⑨ 仕事を休んで看ることが非常に難しいと思う理由
 (複数回答) (未就学児童：問 34-5 小学生児童：問 26-5 「休んで看
 ることは非常に難しい」と回答した方のみ)

仕事を休んで看ることが非常に難しいと思う理由についてみると、未就学児童保護者、小学生児童保護者ともに「子どもの看護を理由に休みがとれない」が最も多く、それぞれ27.8%、33.3%となっています。

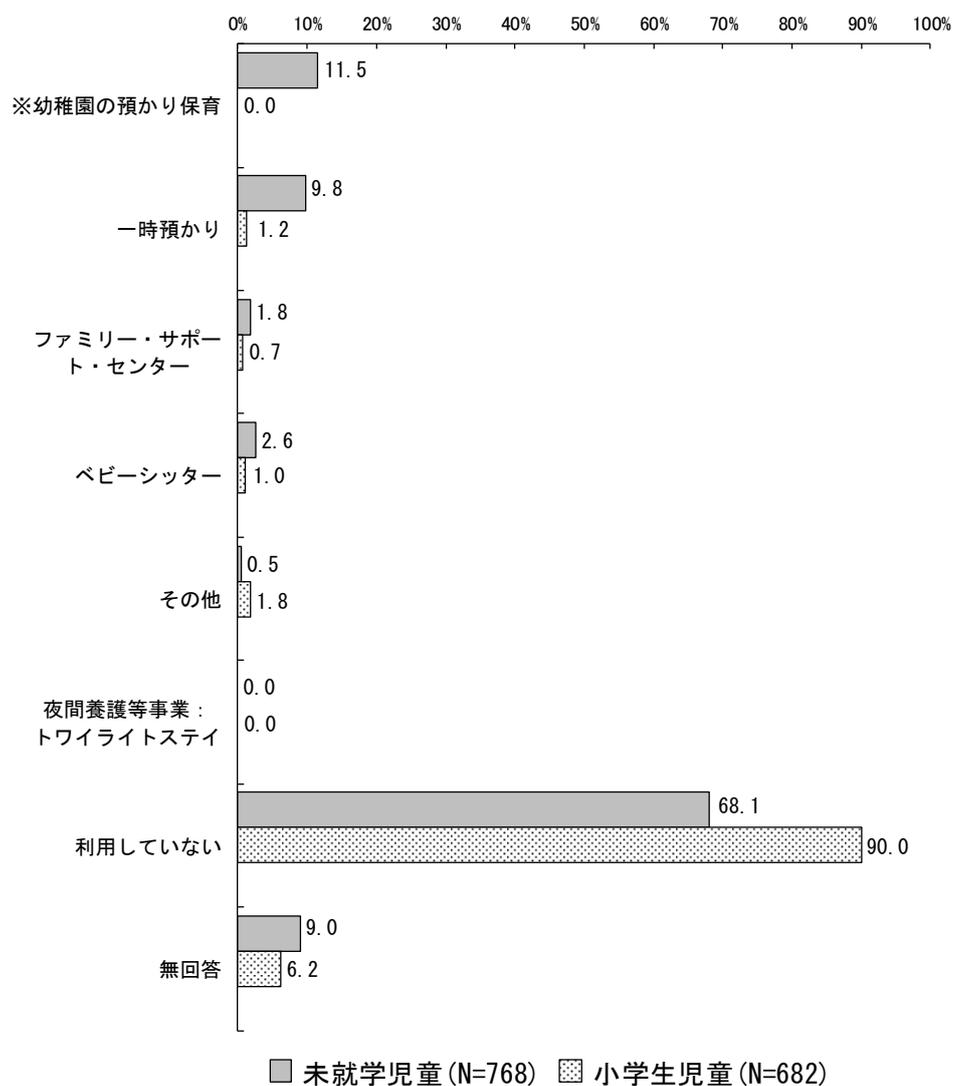


(2) 一時預かり等の利用

① 不定期に利用している事業

(複数回答) (未就学児童：問 35 小学生児童：問 27)

保護者の通院、不定期の就労、その他私用のために不定期に利用している事業についてみると、未就学児童保護者、小学生児童保護者ともに「利用していない」が最も多く、それぞれ68.1%、90.0%となっています。



※印の「幼稚園の預かり保育」は、未就学児童のみ。

【母親の就労状況 × 一時預かり等の利用（未就学児童）】

不定期に利用している事業を母親の就労状況別にみると、「利用していない」が最も多くなっています。

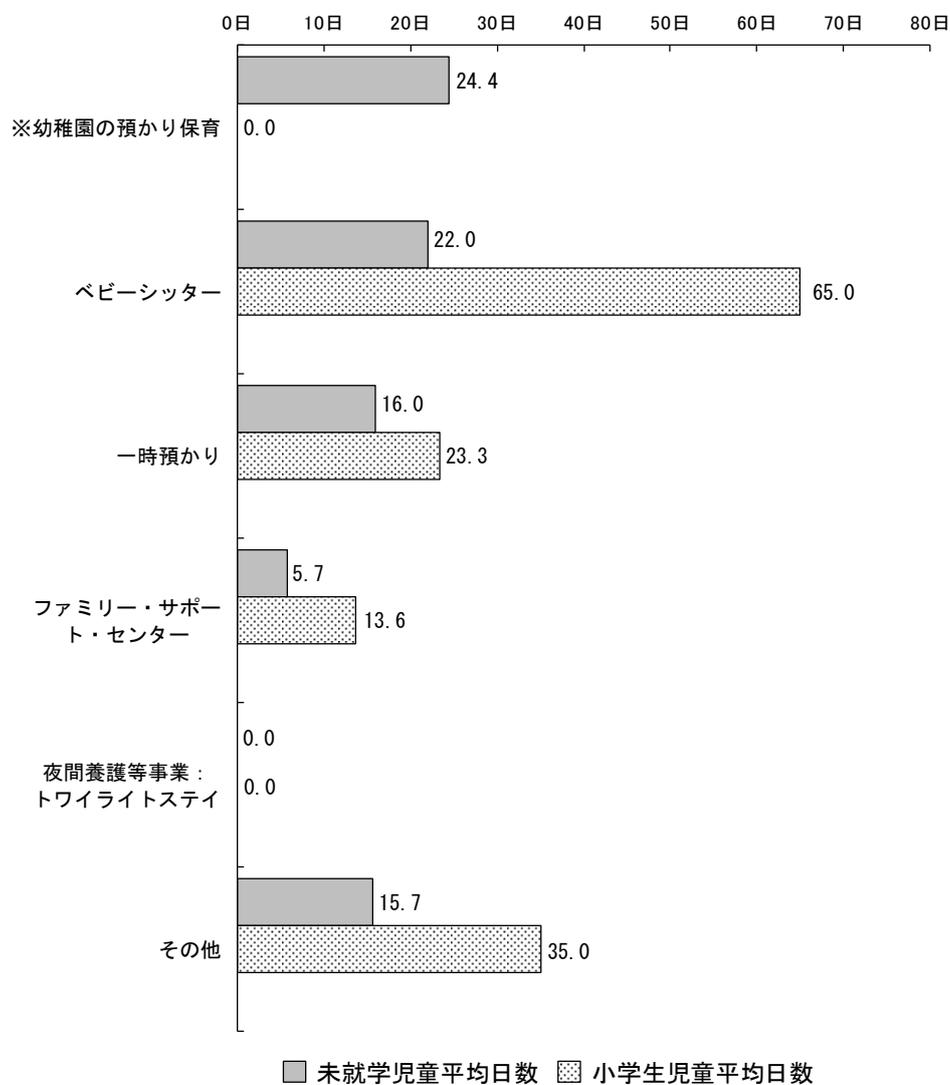
(%)

	一時預かり	幼稚園の預かり保育	ファミリー・サポート・センター	夜間養護等事業：トワイライトステイ	ベビーシッター	その他	利用していない	無回答
未就学児童全体 (N=768)	9.8	11.5	1.8	0.0	2.6	0.5	68.1	9.0
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない (N=233)	5.2	0.9	3.0	0.0	3.4	0.4	82.8	6.0
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である (N=141)	5.0	0.0	0.7	0.0	1.4	0.7	81.6	11.3
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない (N=102)	16.7	25.5	2.0	0.0	3.9	0.0	52.0	8.8
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である (N=9)	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	11.1
以前は就労していたが、現在は就労していない (N=254)	13.4	21.7	1.6	0.0	2.0	0.8	54.7	10.2
これまで就労したことがない (N=16)	6.3	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	68.8	0.0

※回答者数（N）が10未満の項目は分析の対象外。

② 不定期に利用している事業を利用した年間の日数
 (数量回答) (未就学児童：問 35 小学生児童：問 27)

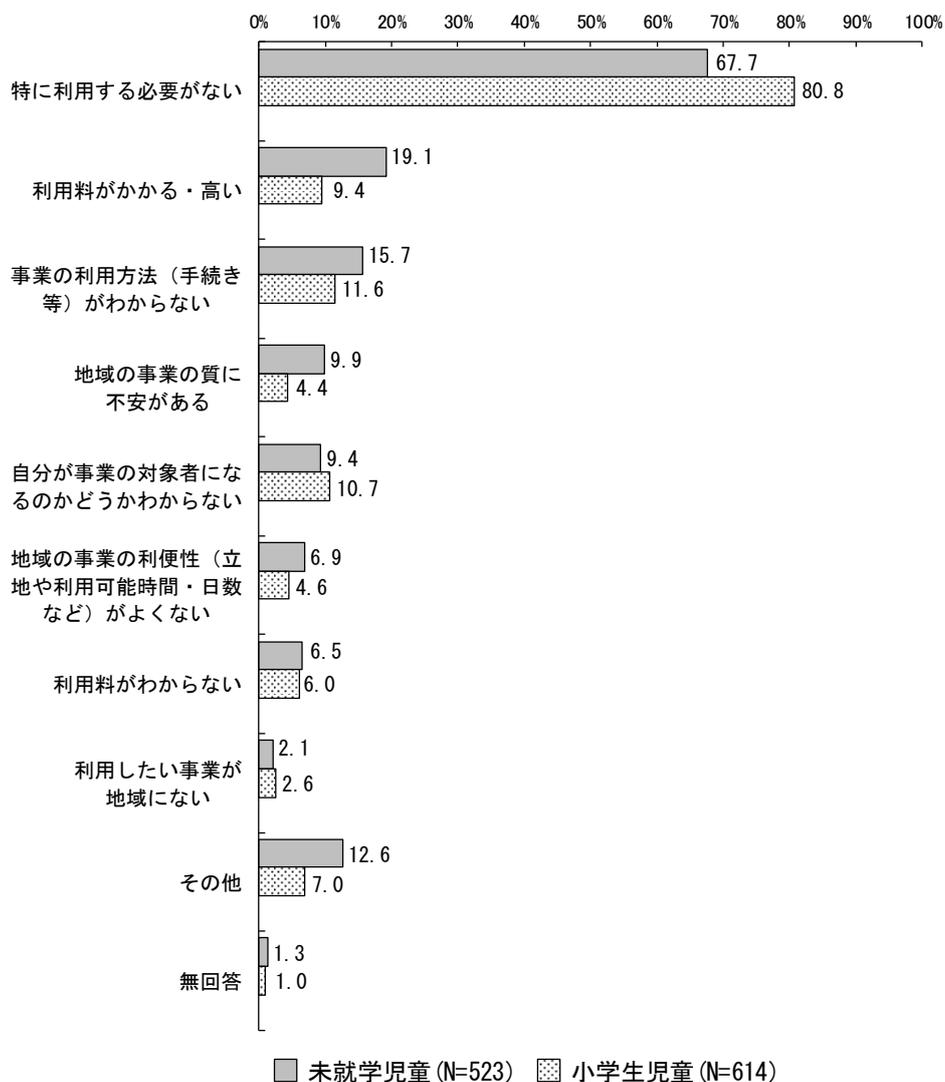
不定期に利用している事業を利用した年間の平均日数をみると、未就学児童保護者では「幼稚園の預かり保育」が24.4日となっています。また、小学生児童保護者では「ベビーシッター」が65.0日となっています。



※印の「幼稚園の預かり保育」は、未就学児童のみ。

③ 不定期事業を利用していない理由
 (複数回答) (未就学児童：問 35-1 小学生児童：問 27-1 不定期の教育・保育事業等を「利用していない」と回答した方のみ)

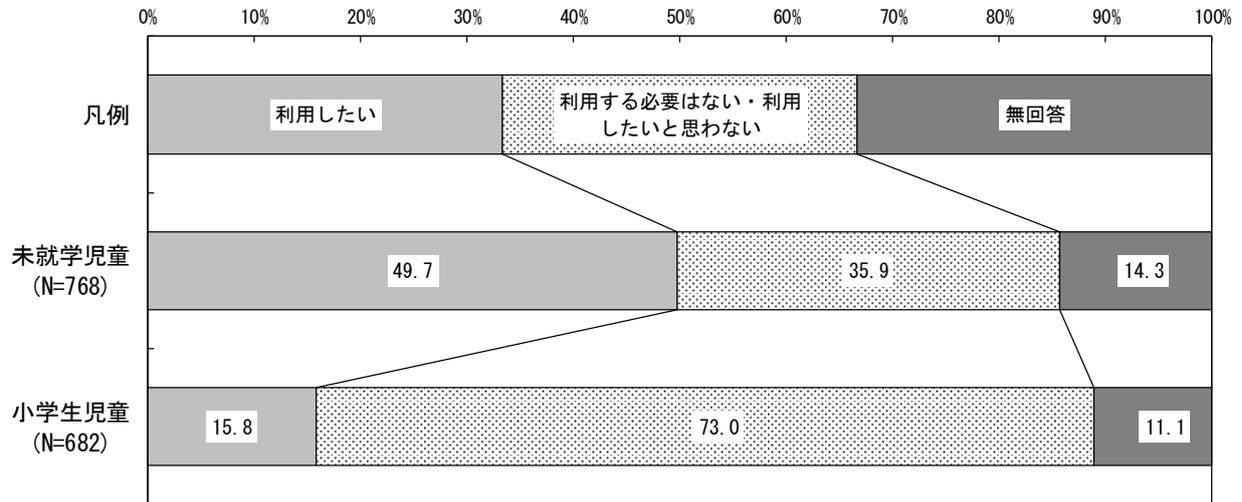
この1年間で不定期事業を利用していない理由についてみると、「特に利用する必要はない」が未就学児童保護者、小学生児童保護者ともに最も多く、それぞれ67.7%、80.8%となっています。



④ 一時預かり事業の利用意向

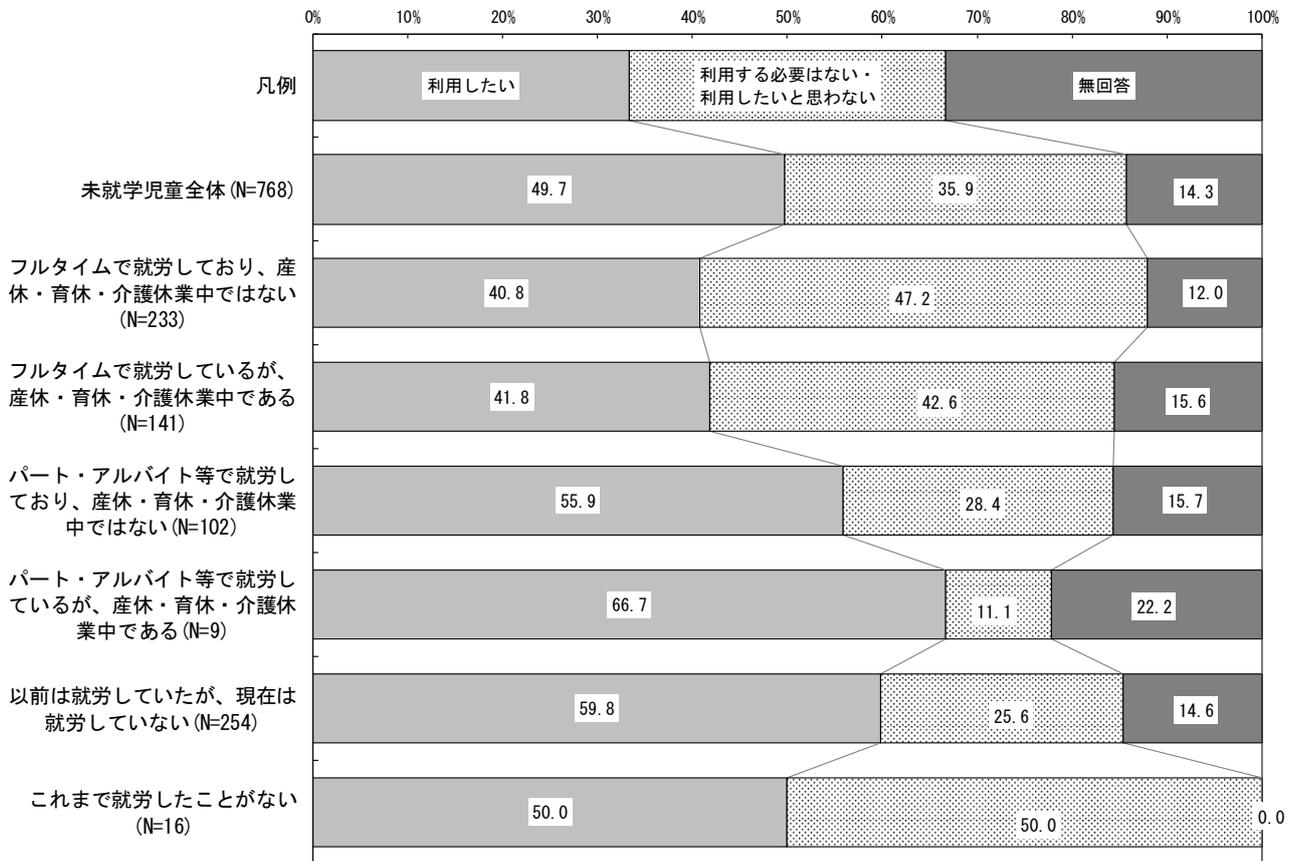
(単数回答) (未就学児童：問 36 小学生児童：問 28)

私用、保護者の通院、不定期の就労等の目的で一時預かり事業の利用希望の有無についてみると、未就学児童保護者では「利用したい」が49.7%と最も多く、小学生児童保護者では「利用する必要はない・利用したいと思わない」が73.0%と最も多くなっています。



【母親の就労状況 × 一時預かり事業の利用意向（未就学児童）】

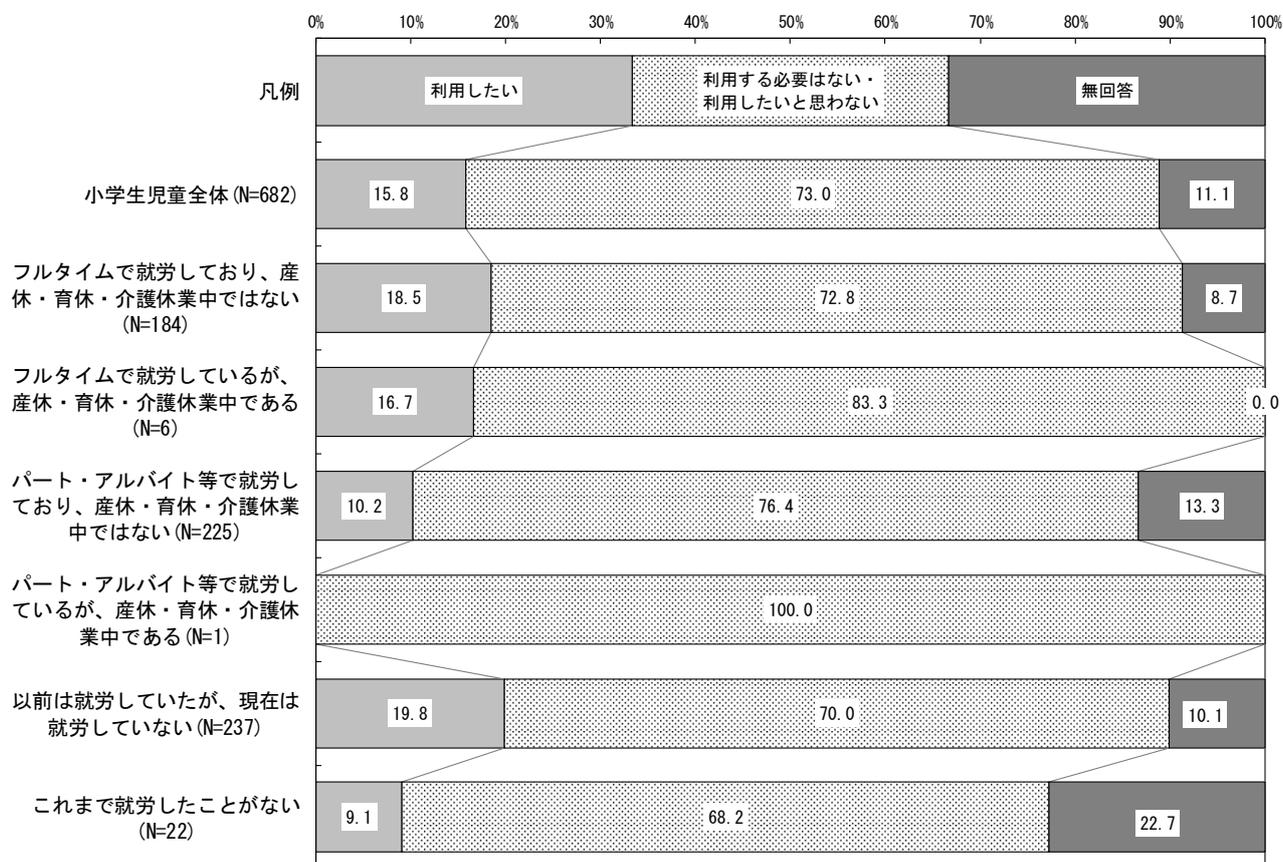
一時預かり事業の利用意向を母親の就労状況別にみると、フルタイム以外の就労状況において「利用したい」が多い傾向にあります。



※回答者数（N）が10未満の項目は分析の対象外。

【母親の就労状況 × 一時預かり事業の利用意向（小学生児童）】

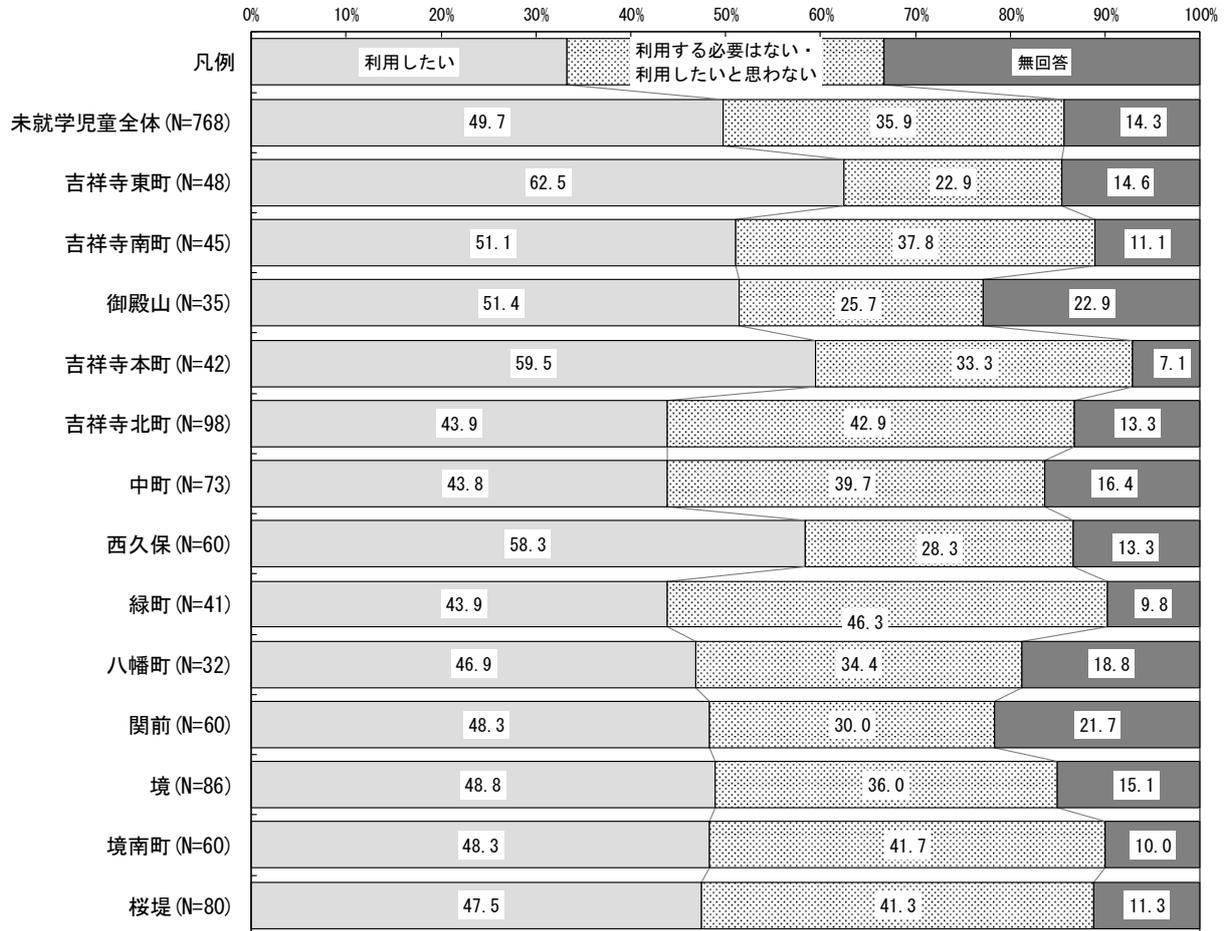
一時預かり事業の利用意向を母親の就労状況別にみると、「以前は就労していたが、現在は就労していない」では「利用したい」が他の就労状況に比べて多くなっています。



※回答者数（N）が10未満の項目は分析の対象外。

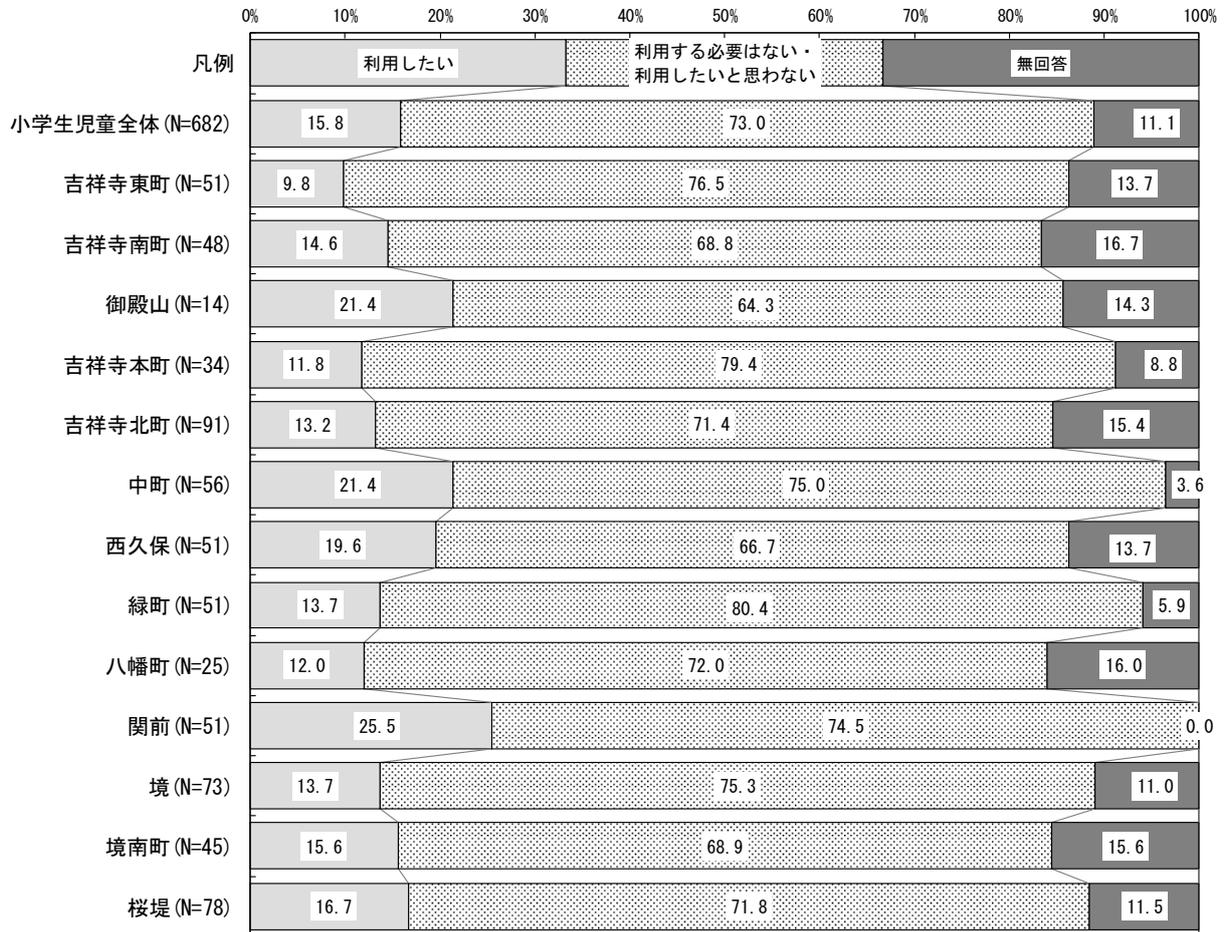
【居住地区 × 一時預かり事業の利用意向（未就学児童）】

一時預かり事業の利用意向を未就学児童保護者の居住地区別にみると、吉祥寺東町、吉祥寺本町、西久保においてそれぞれ62.5%、59.5%、58.3%となっており、他の地区に比べて多くなっています。



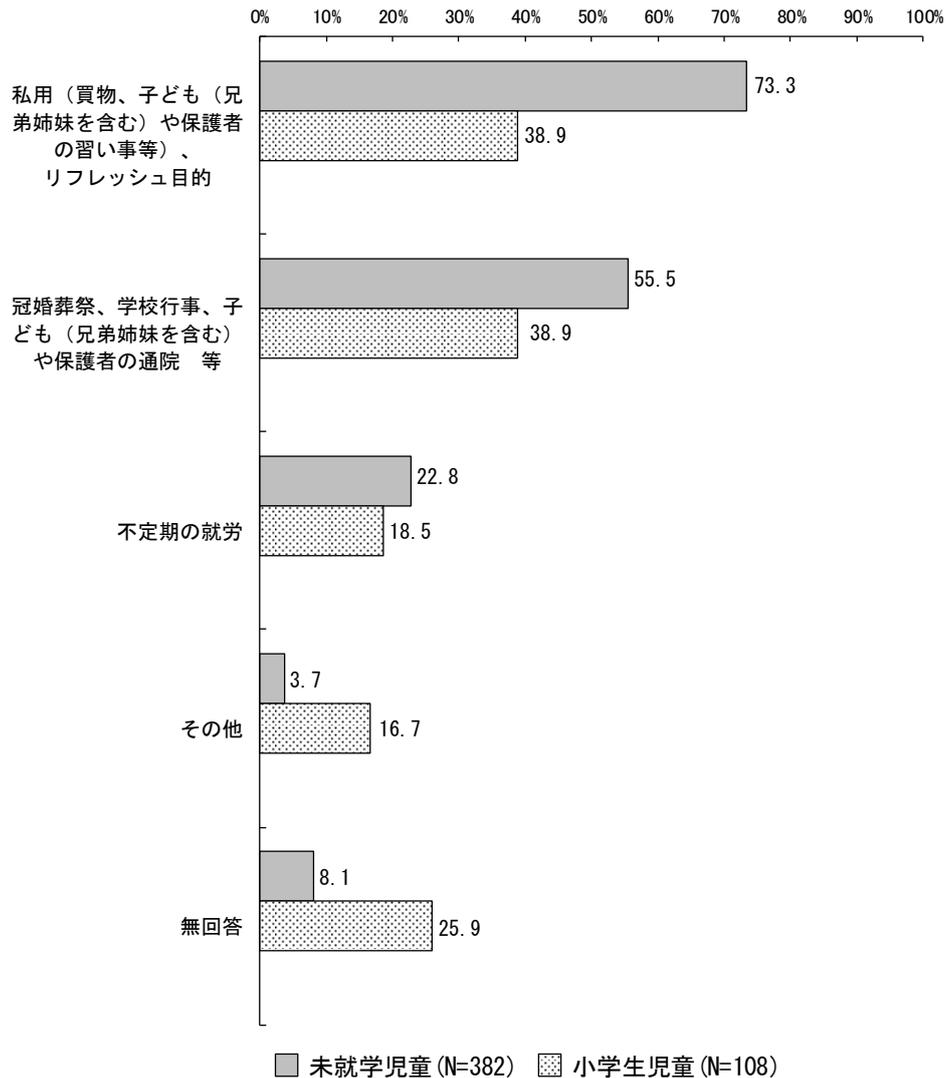
【居住地区 × 一時預かり事業の利用意向（小学生児童）】

一時預かり事業の利用意向を小学生児童保護者の居住地区別にみると、御殿山、中町、関前においてそれぞれ21.4%、21.4%、25.5%と2割を超えています。



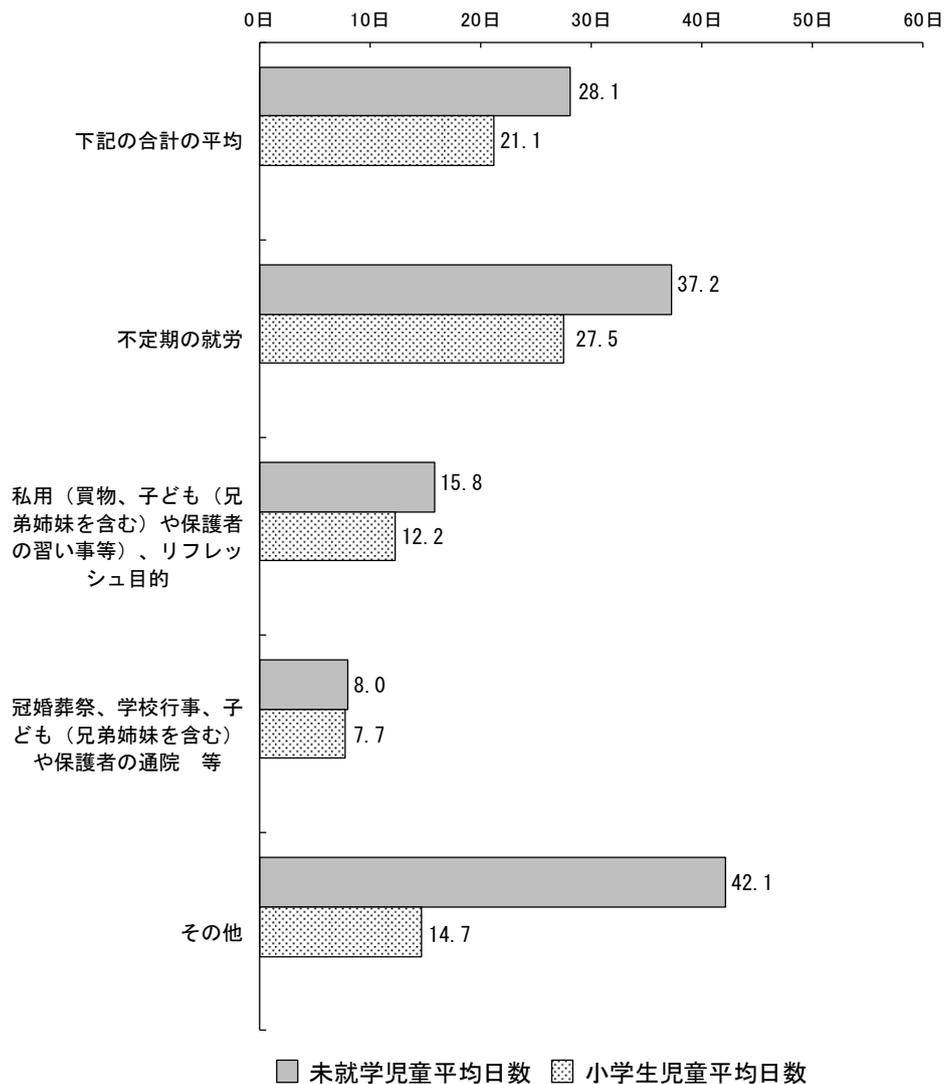
⑤ 一時預かり事業を利用したい目的
 (複数回答) (未就学児童：問 36 小学生児童：問 28 一時預かり等の事業を「利用したい」と回答した方のみ)

一時預かり等の事業を利用したい目的についてみると、未就学児童保護者では「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や保護者の習い事等）、リフレッシュ目的」が73.3%と最も多く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や保護者の通院等」が55.5%となっています。小学生児童保護者では、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や保護者の習い事等）、リフレッシュ目的」および「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や保護者の通院等」がともに38.9%と最も多くなっています。



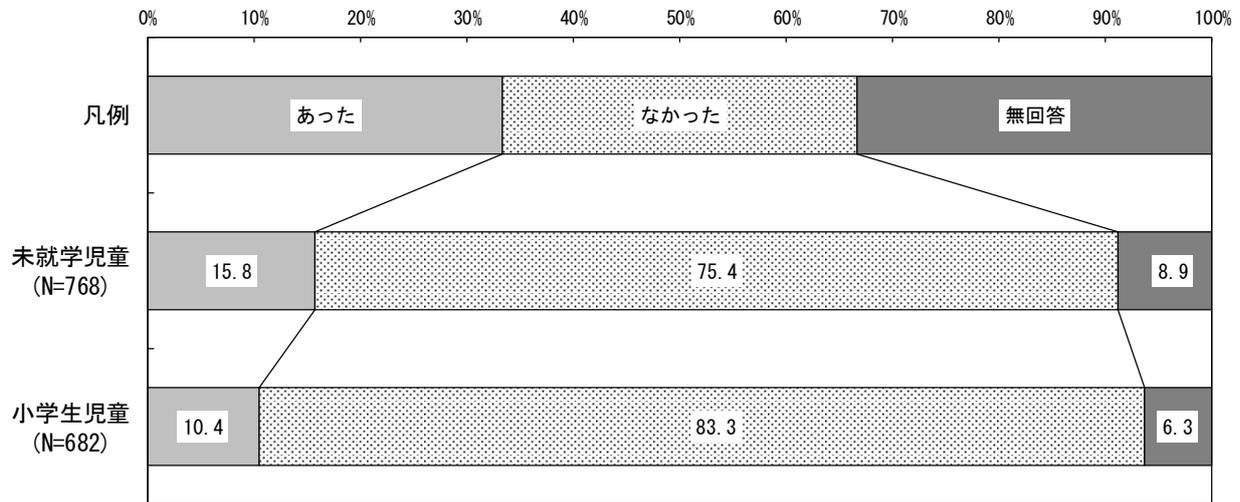
⑥ 一時預かり事業を利用したい年間の日数
 (数量回答) (未就学児童：問 36 小学生児童：問 28 一時預かり等の事業を「利用したい」と回答した方のみ)

一時預かり等の事業を利用したい年間の平均日数をみると、未就学児童保護者では合計の平均日数が 28.1 日、小学生児童保護者では 21.1 日と、未就学児童保護者は平均日数が長くなっています。また、未就学児童保護者では「不規則の就労」で 37.2 日、小学生児童保護者も「不規則の就労」で 27.5 日となっています。



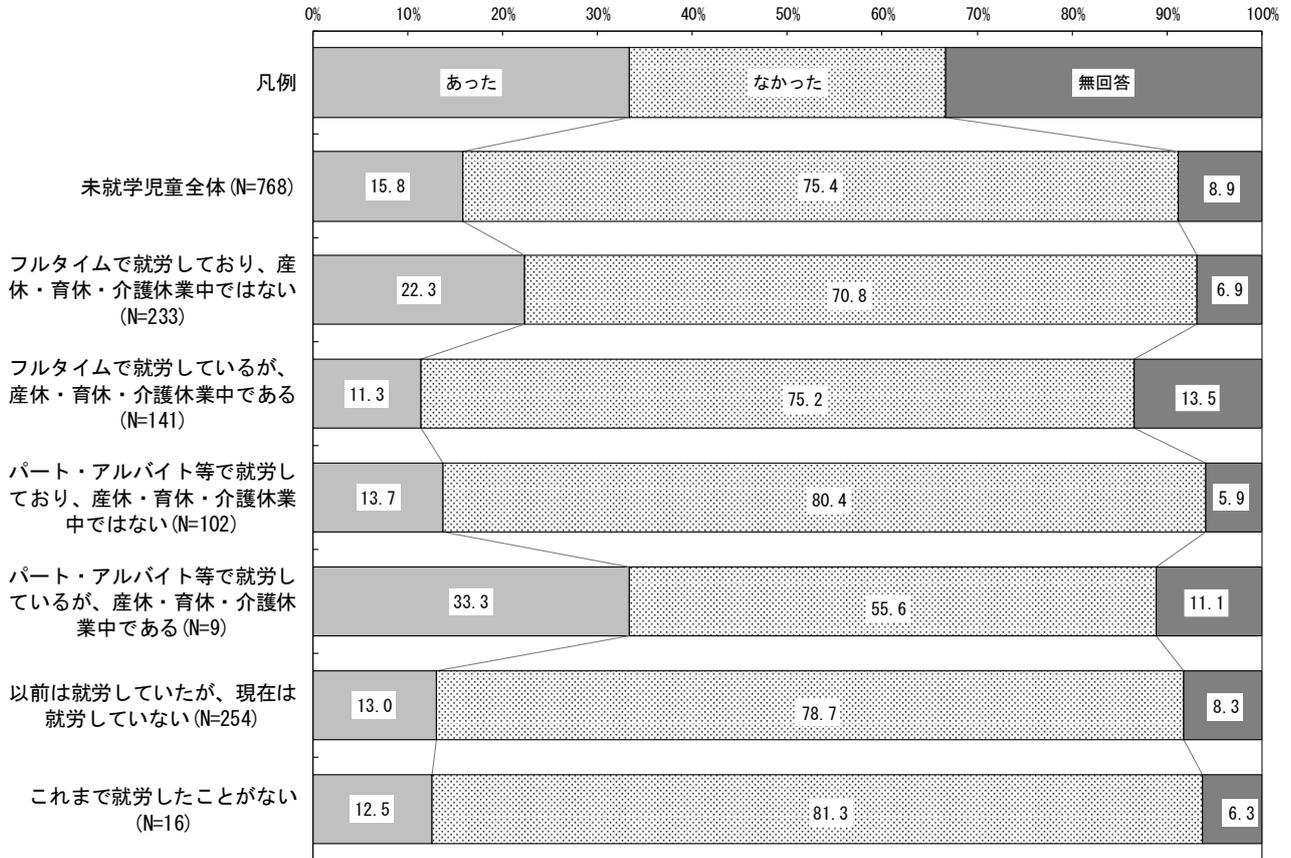
⑦ 宿泊を伴う一時預かり等の有無
 (単数回答) (未就学児童：問 37 小学生児童：問 29)

この1年間に、保護者の用事により子どもを泊りがけで家族以外に預けなければならなかったことの有無についてみると、未就学児童保護者、小学生児童保護者ともに「あった」が1割台となっています。



【母親の就労状況 × 宿泊を伴う一時預かり等の有無（未就学児童）】

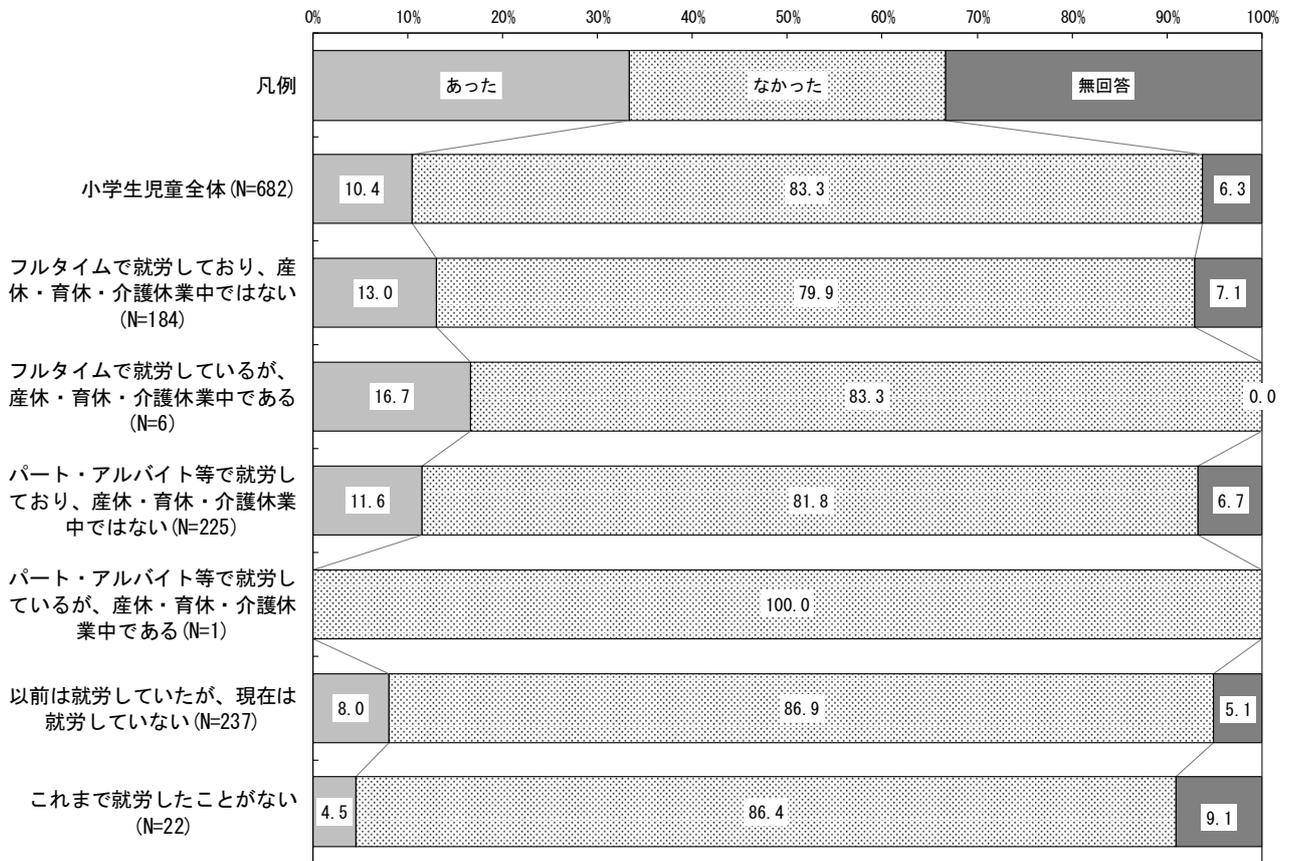
宿泊を伴う一時預かり等の有無を母親の就労状況別にみると、全ての母親の就労状況において「なかった」が最も多くなっています。



※回答者数（N）が10未満の項目は分析の対象外。

【母親の就労状況 × 宿泊を伴う一時預かり等の有無（小学生児童）】

宿泊を伴う一時預かり等の有無を母親の就労状況別にみると、全ての母親の就労状況において「なかった」が最も多くなっています。

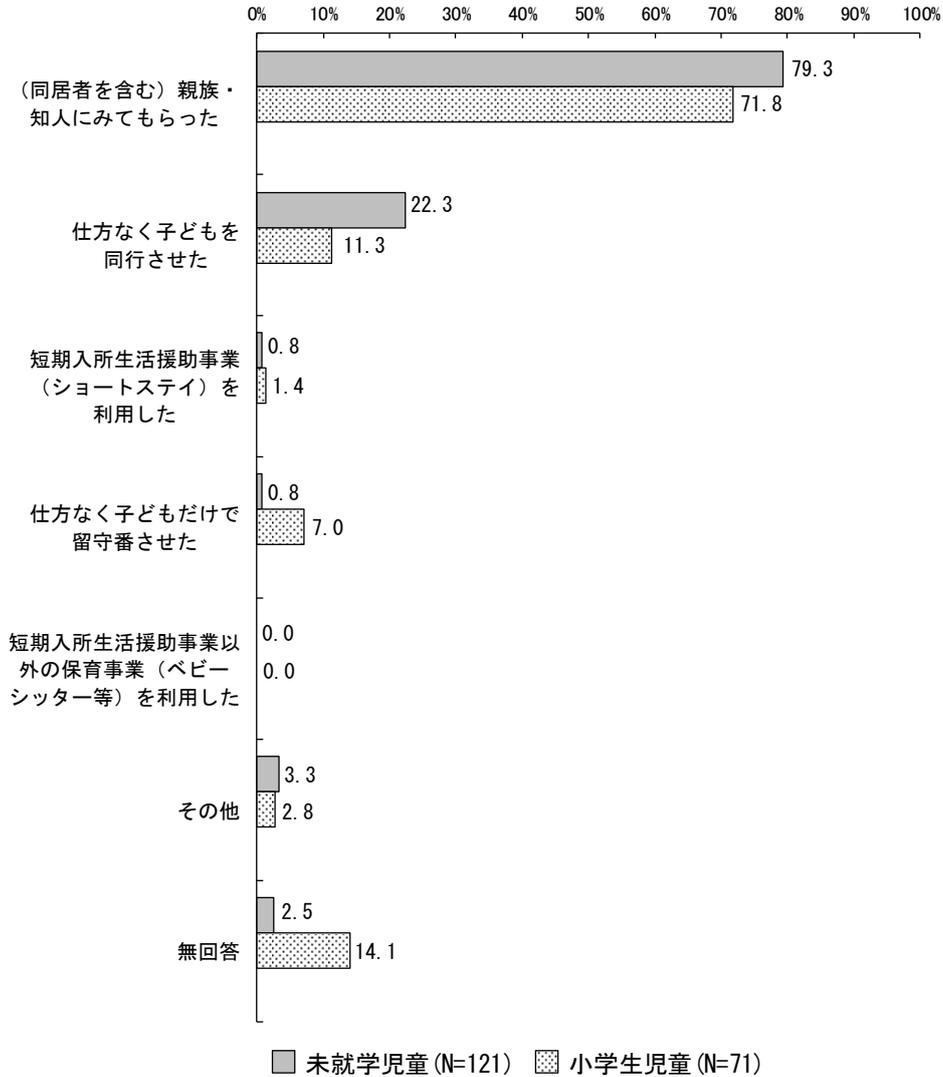


※回答者数（N）が10未満の項目は分析の対象外。

⑧ 宿泊を伴う一時預かりの対処方法

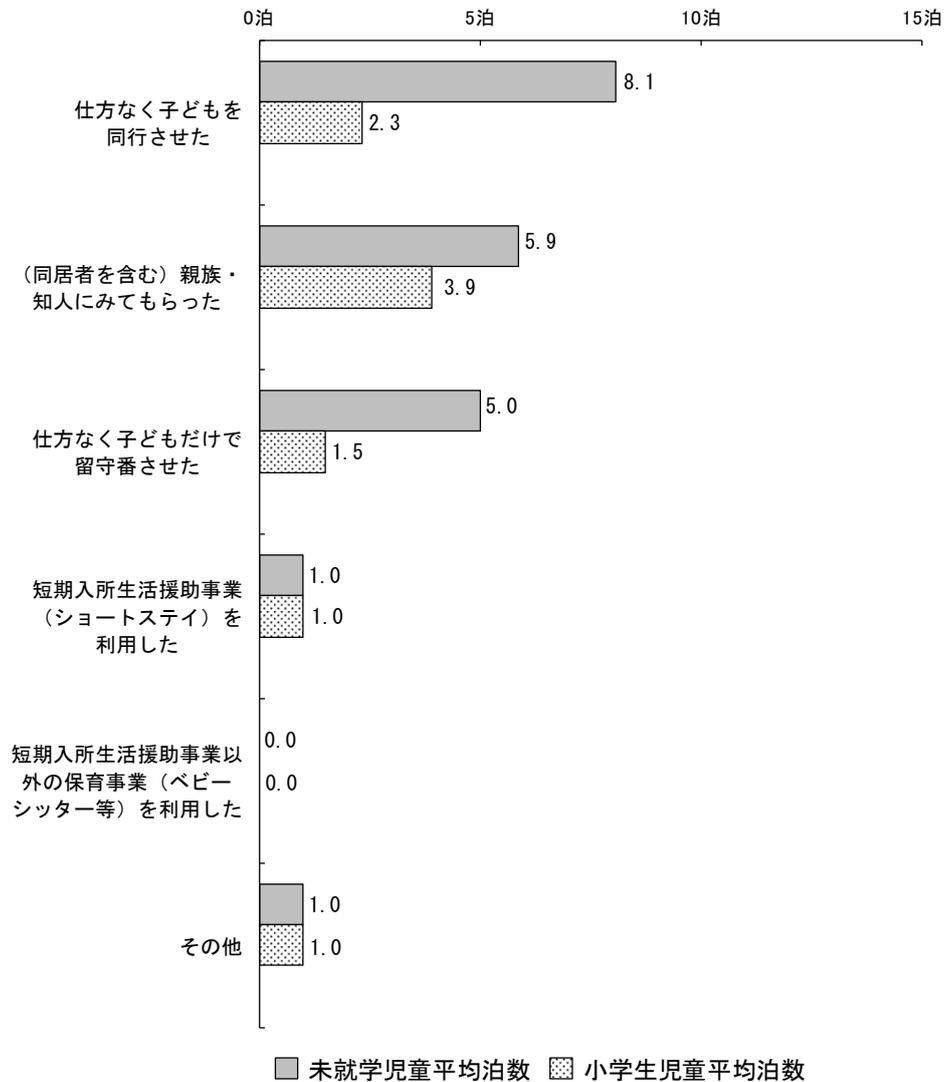
(複数回答) (未就学児童：問 37 小学生児童：問 29 宿泊を伴う一時預かり等が「あった」と回答した方のみ)

宿泊を伴う一時預かりの対処方法についてみると、未就学児童保護者、小学生児童保護者ともに「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」が最も多く、それぞれ 79.3%、71.8%となっています。



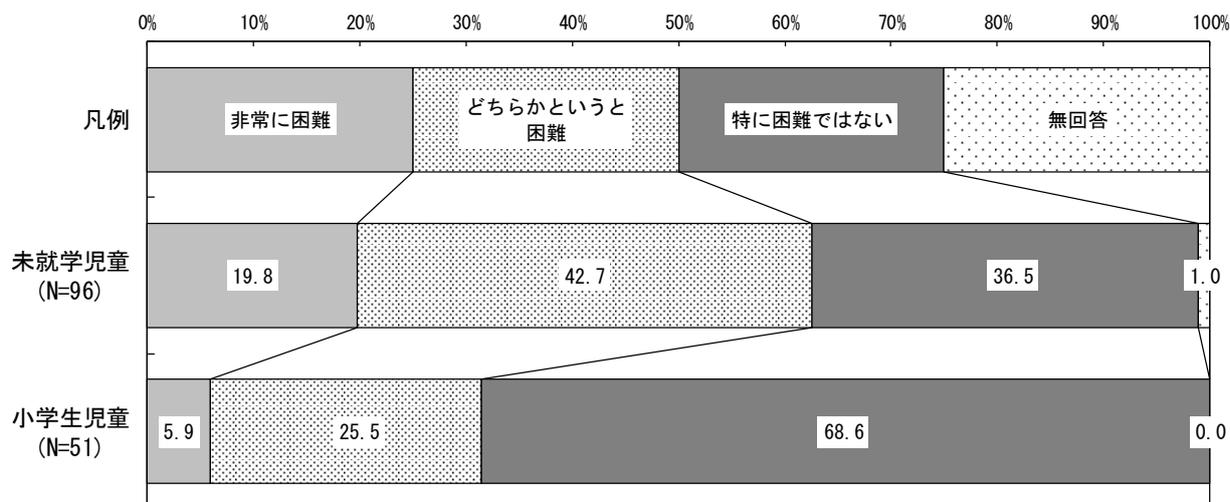
⑨ 宿泊を伴う一時預かりの泊数
 (数量回答) (未就学児童：問 37 小学生児童：問 29 宿泊を伴う一時預かり等が「あった」と回答した方のみ)

宿泊を伴う一時預かりの平均の泊数についてみると、未就学児童保護者では「仕方なく子どもを同行させた」で 8.1 日、小学生児童保護者では「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」で 3.9 日となっています。



⑩ 親族・知人にみてもらった場合の困難度
 (単数回答) (未就学児童：問 37-1 小学生児童：問 29-1 この1年間に親族・知人に子どもを泊りがけでみてもらったことが「ある」と回答した方のみ)

この1年間に宿泊を伴う一時預かりにおいて、親族・知人に見てもらった場合の困難度をみると、未就学児童保護者では「どちらかという困難」が42.7%と最も多くなっています。一方、小学生児童保護者では「特に困難ではない」が68.6%となっており、未就学児童保護者の方が子どもを預けることを困難に感じています。

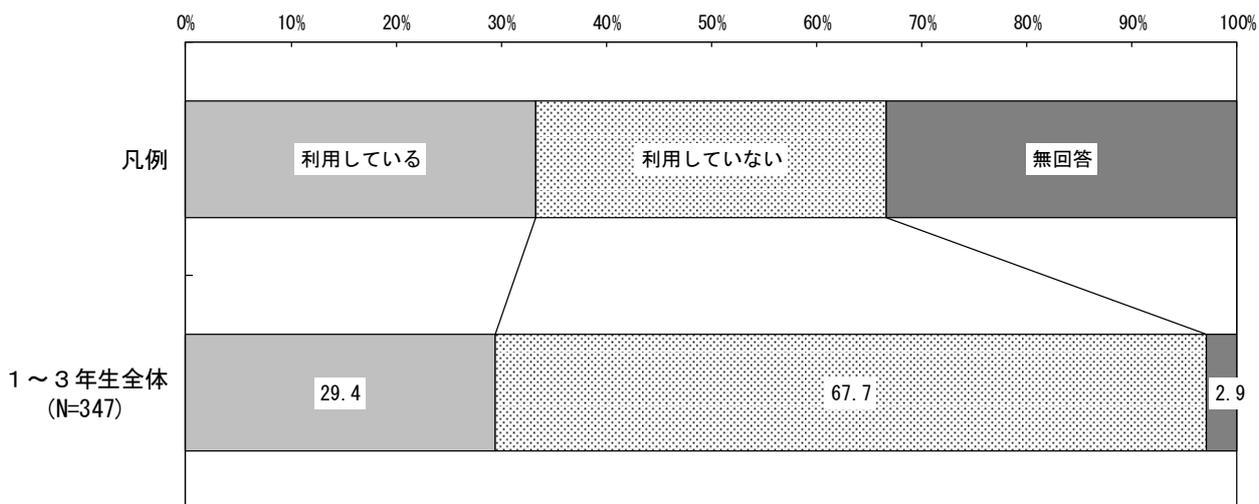


7. 児童の放課後の過ごし方

(1) 学童クラブの利用状況

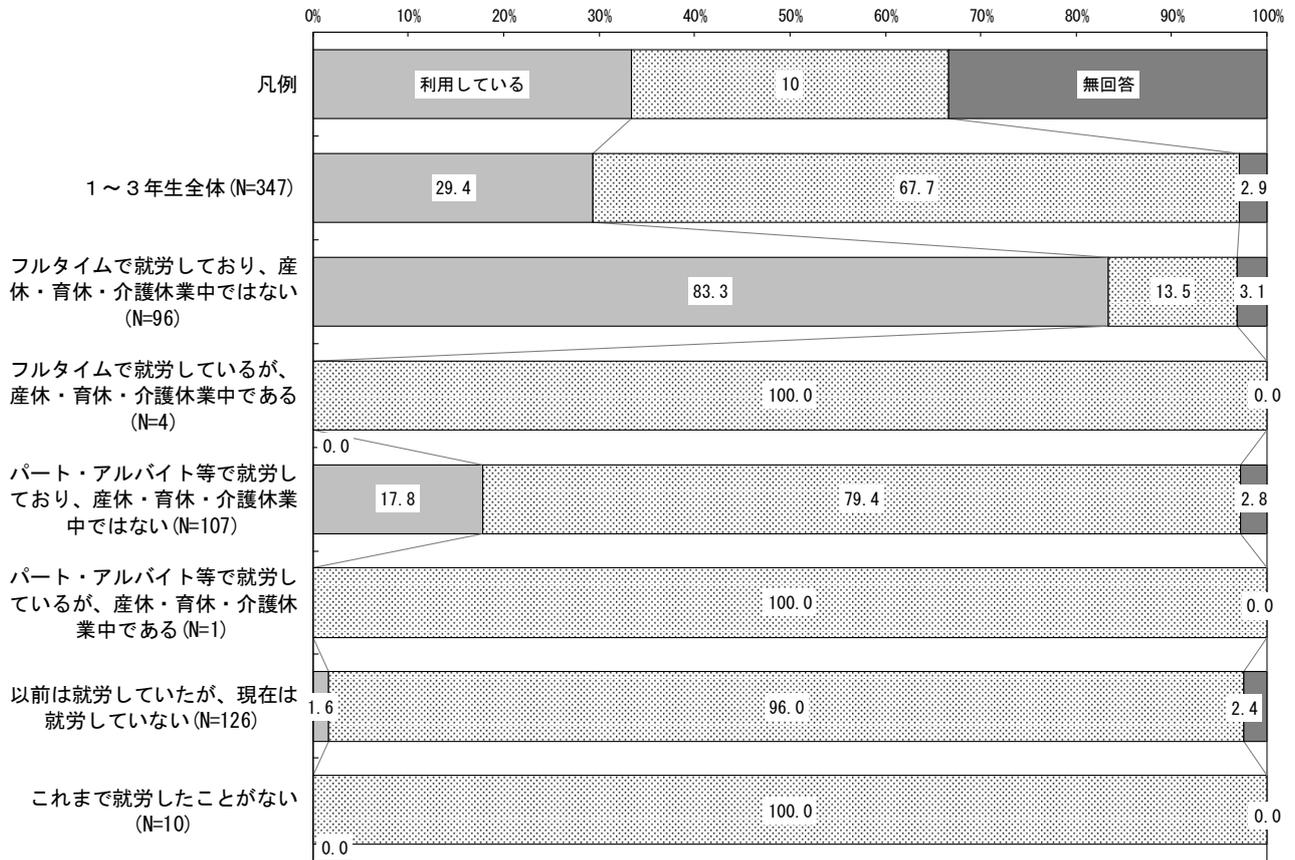
① 学童クラブの利用状況 (単数回答) (小学生児童：問 18)

学童クラブの利用状況を見ると、「利用している」が29.4%、「利用していない」が67.7%となっています。



【母親の就労状況 × 学童クラブの利用状況】

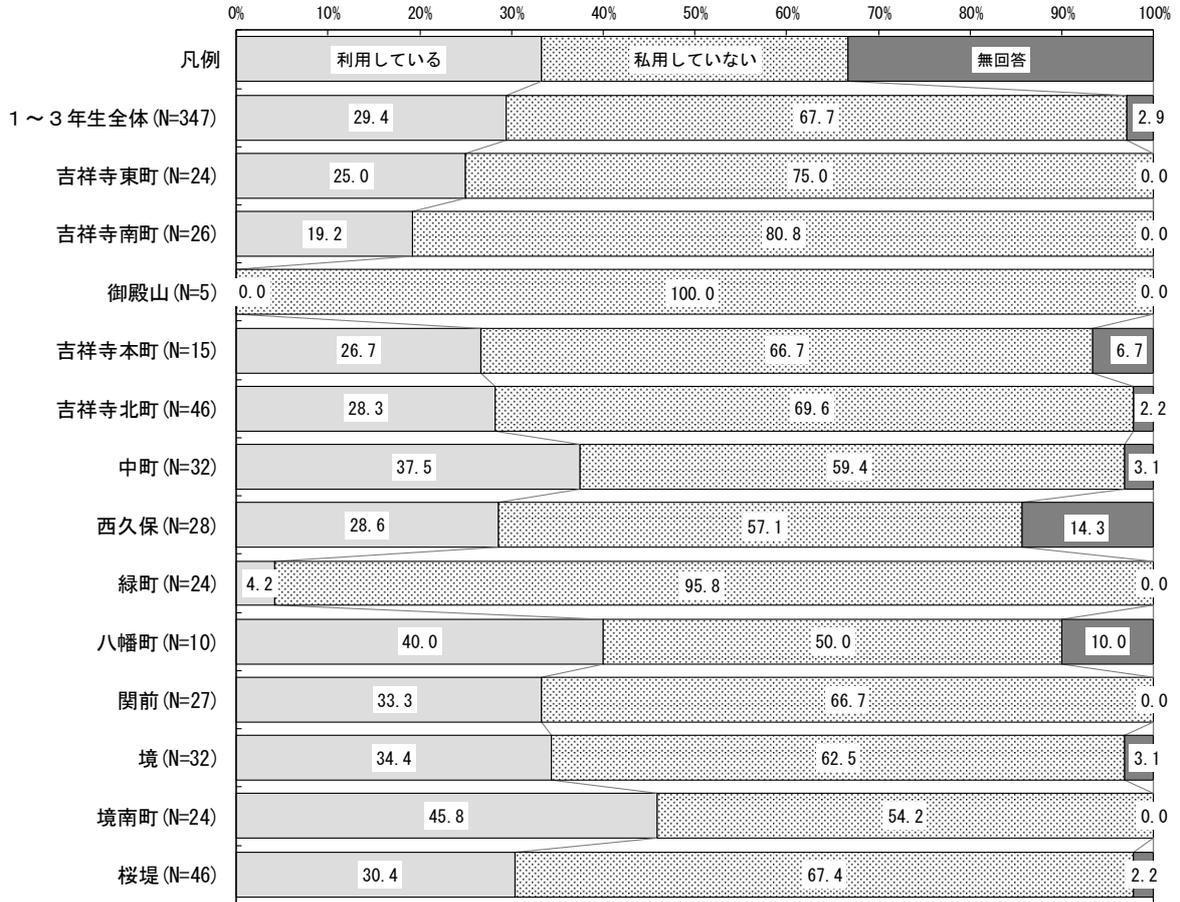
学童クラブの利用状況を母親の就労状況別にみると、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」では「利用している」が他の就労状況に比べて多い傾向にあります。



※回答者数（N）が10未満の項目は分析の対象外。

【居住地区 × 学童クラブの利用状況】

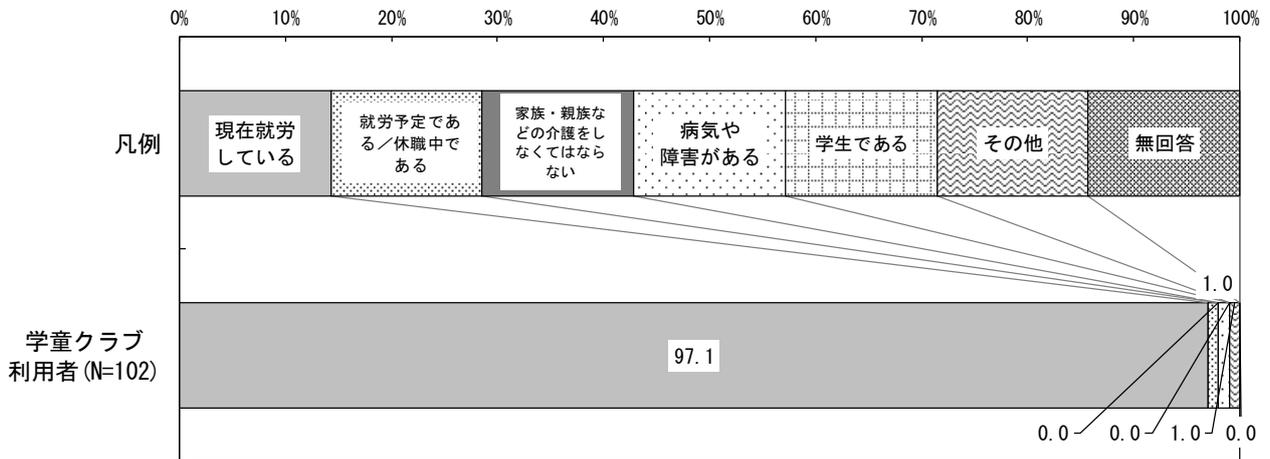
学童クラブの利用状況を居住地区別にみると、八幡町、境南町においてそれぞれ40.0%、45.8%となっており、他の地区に比べてやや多くなっています。



※回答者数（N）が10未満の項目は分析の対象外。

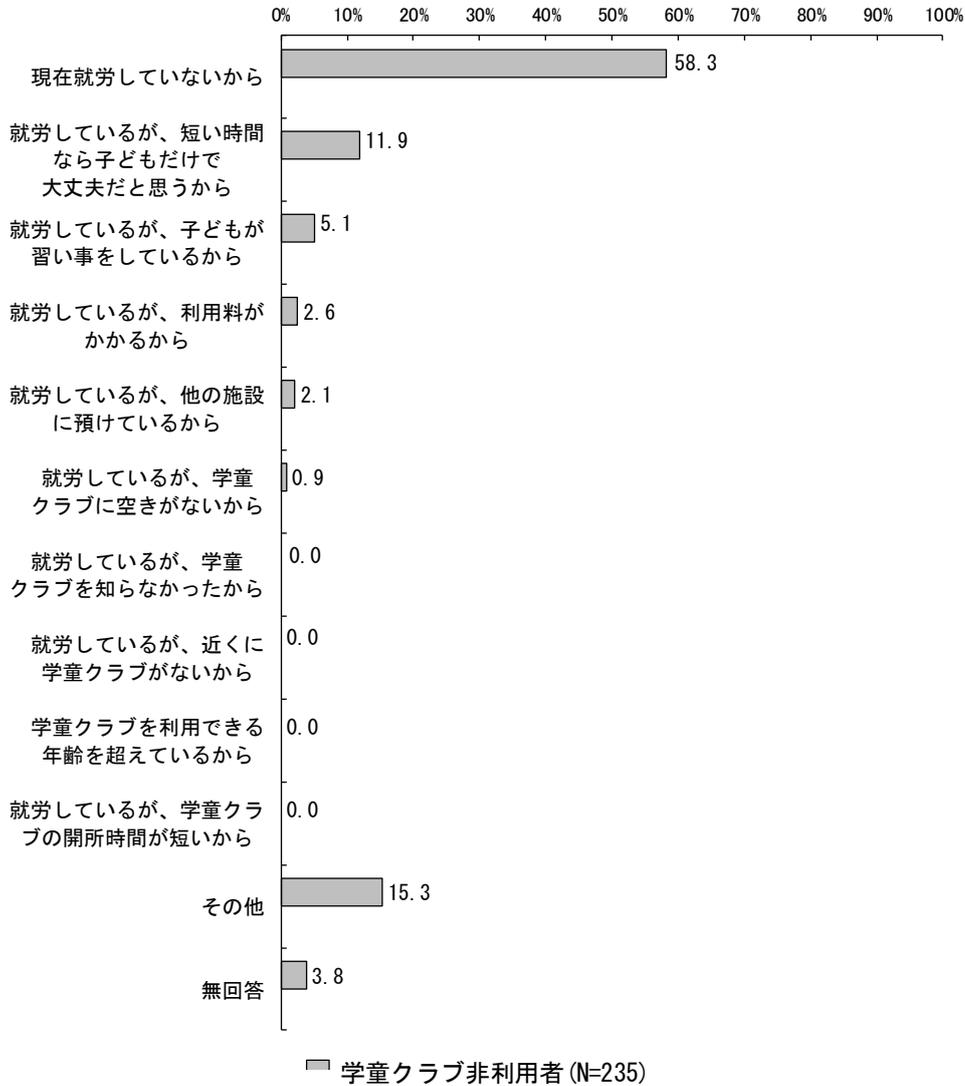
② 学童クラブを利用している理由
 (単数回答) (小学生児童：問 18-1 学童クラブを「利用している」と回答した方のみ)

学童クラブを利用している理由をみると、「現在就労している」が97.1%となっています。



③ 学童クラブを利用していない理由
 (単数回答) (小学生児童：問 18-2 学童クラブを「利用していない」と回答した方のみ)

学童クラブを利用していない理由をみると、「現在就労していないから」が58.3%と最も多くなっています。学童クラブの利用は、保護者の就労状況が最も大きな理由になっています。



【母親の就労状況 × 学童クラブを利用していない理由】

学童クラブを利用していない理由を母親の就労状況別にみると、「以前は就労していたが、現在は就労していない」では「現在就労していないから」が多い傾向にあります。

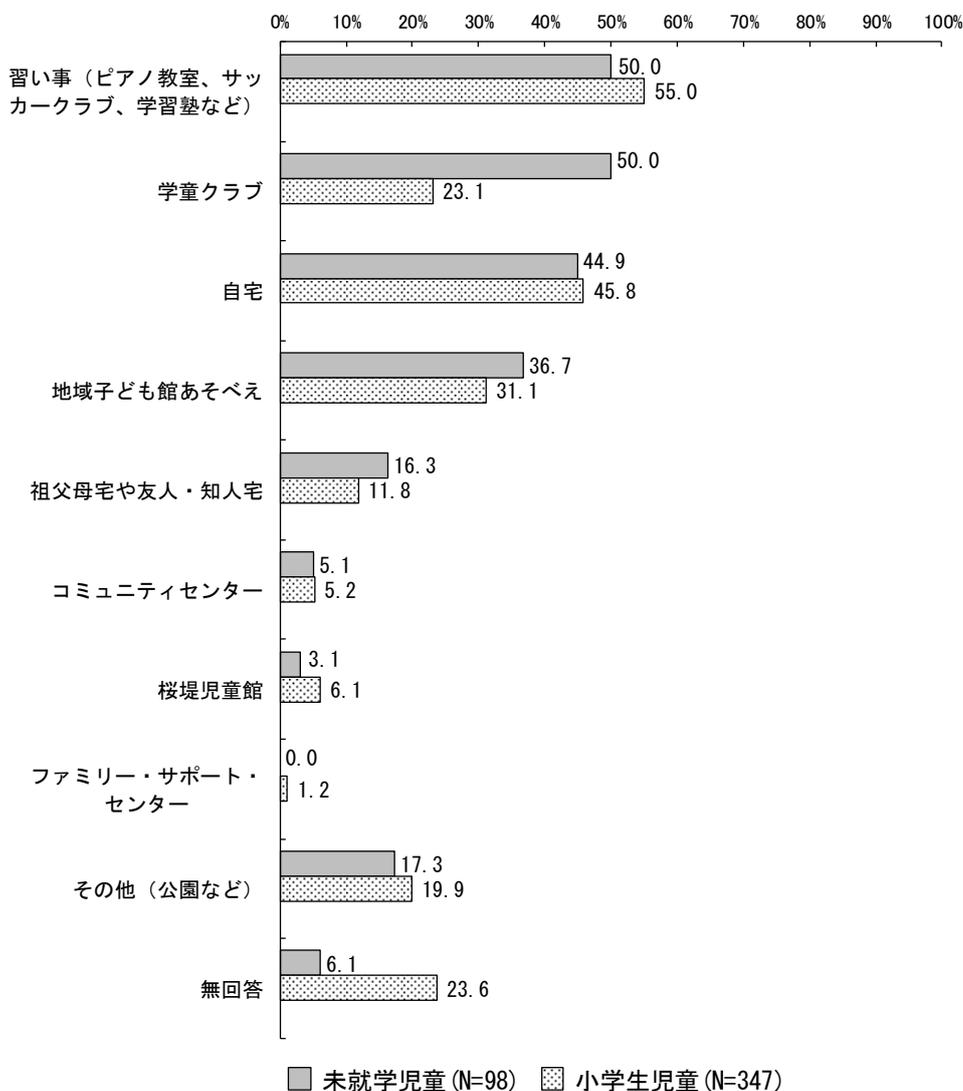
(%)

	現在就労していないから	就労しているが、学童クラブを知らなかったから	就労しているが、近くに学童クラブがないから	就労しているが、学童クラブに空きがないから	学童クラブを利用できない年齢を超えているから	就労しているが、学童クラブの開所時間が短いから	就労しているが、利用料がかかるから	就労しているが、子どもが習い事をしていないから	就労しているが、短い時間なら子どもだけで大丈夫だと思うから	就労しているが、他の施設に預けているから	その他	無回答
学童クラブ非利用者 (N=235)	58.3	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0	2.6	5.1	11.9	2.1	15.3	3.8
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない (N=13)	7.7	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	7.7	15.4	15.4	46.2	0.0
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である (N=4)	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない (N=85)	8.2	0.0	0.0	1.2	0.0	0.0	5.9	12.9	29.4	3.5	29.4	9.4
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である (N=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
以前は就労していたが、現在は就労していない (N=121)	95.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	3.3	0.8
これまで就労したことがない (N=10)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※回答者数 (N) が 10 未満の項目は分析の対象外。

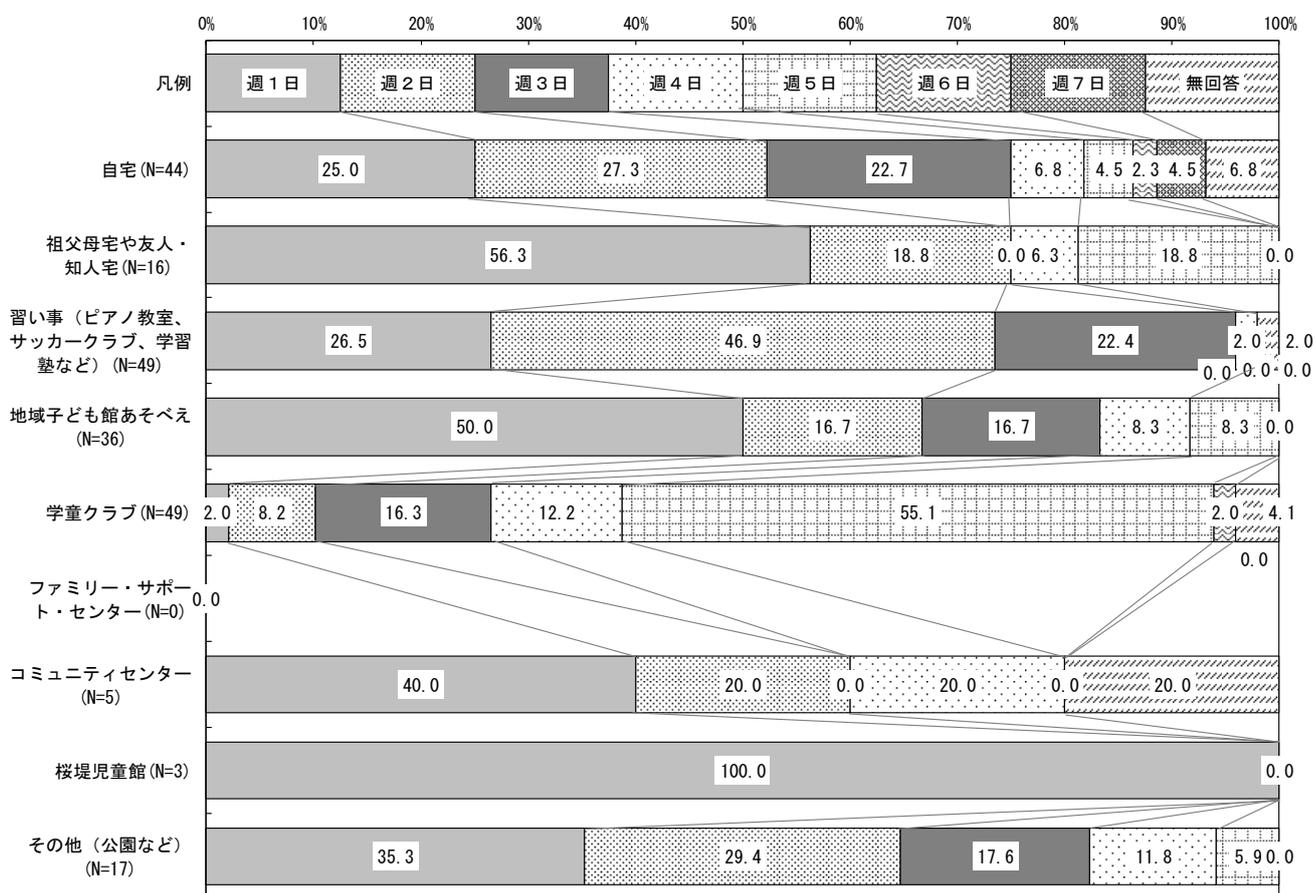
④ 小学校低学年の放課後の過ごし方
 (複数回答) (未就学児童：問 38 小学生児童：問 19)

小学校低学年(1～3年生)の放課後の過ごし方について、来年4月に小学校へ入学する予定の子どもを持つ保護者(未就学児童保護者)、子どもが小学校低学年(1～3年生)の保護者(小学生児童保護者)ともに「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」が最も多くなっています。



⑤ 小学校低学年時に放課後過ごさせたい場所の週あたりの希望日数
【未就学児童】

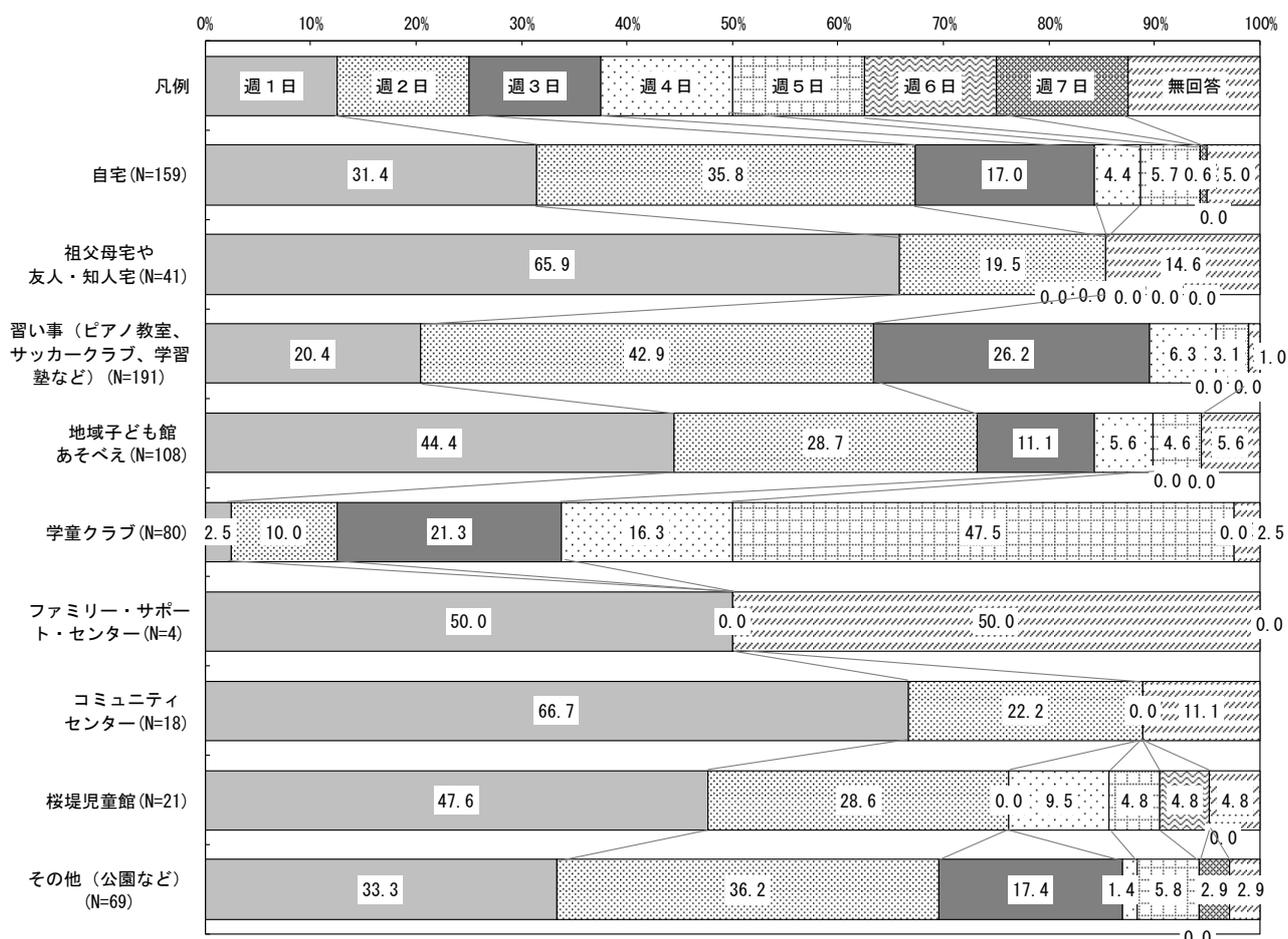
小学校低学年（1～3年生）に放課後過ごさせたい場所の週あたりの希望日数をみると、来年4月に小学校へ入学する予定の子どもを持つ保護者（未就学児童保護者）は、学童クラブで「週5日」が55.1%となっています。



※回答者数（N）が10未満の項目は分析の対象外。

⑥ 小学校低学年時に放課後過ごさせたい場所の週あたりの希望日数
【小学生児童】

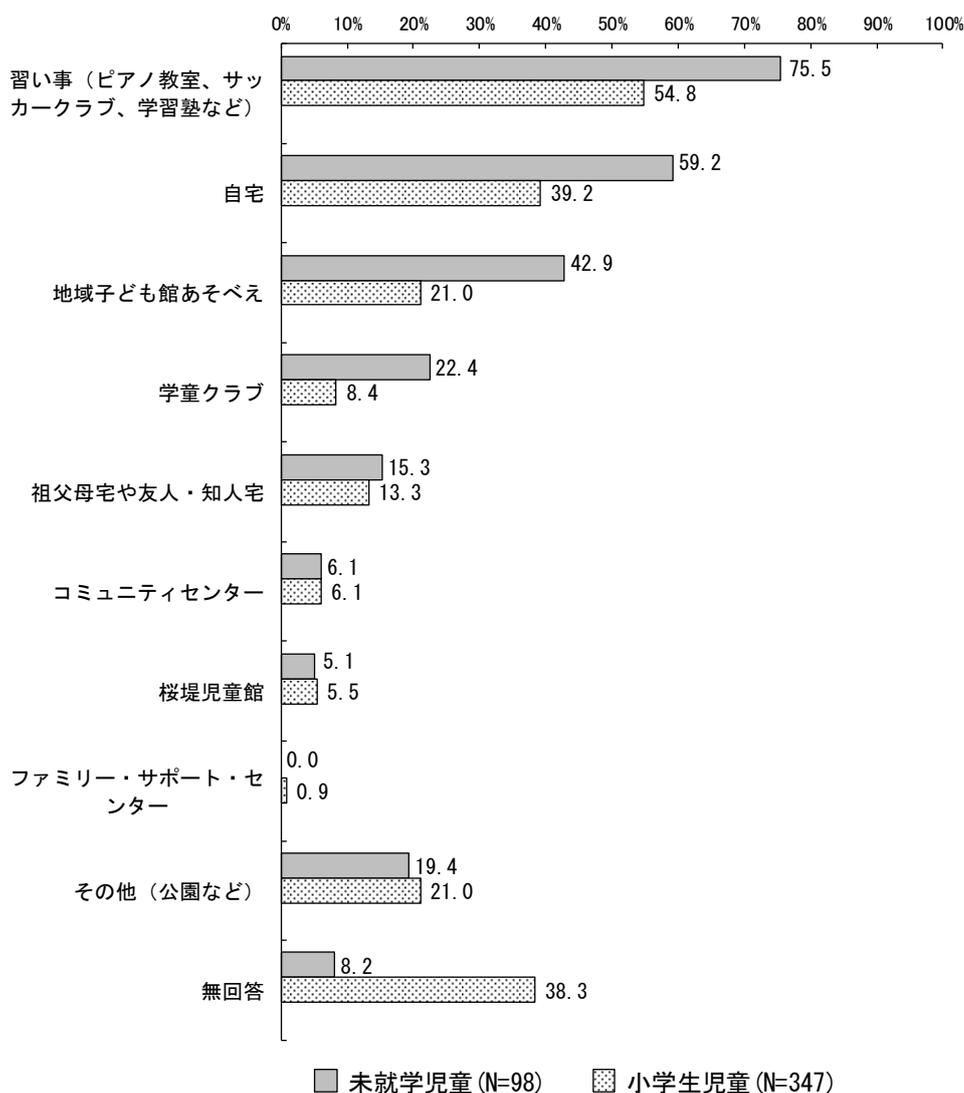
小学校低学年（1～3年生）に放課後過ごさせたい場所の週あたりの希望日数をみると、子どもが低学年（1～3年生）の保護者（小学生児童保護者）は、学童クラブで「週5日」が47.5%と、他の場所に比べて多くなっています。



※回答者数（N）が10未満の項目は分析の対象外。

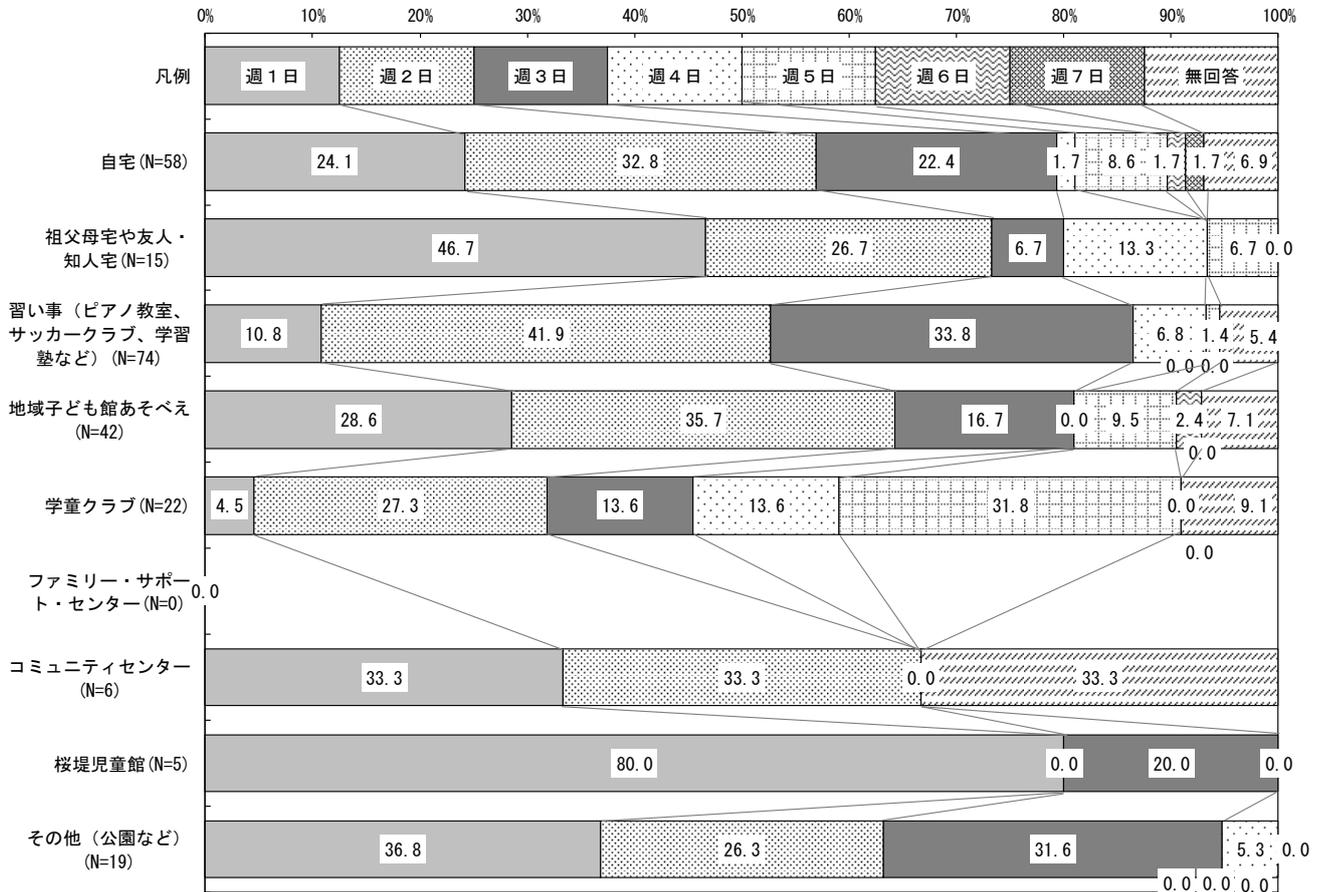
⑦ 小学校高学年の放課後の過ごし方
 (複数回答) (未就学児童：問 39 小学生児童：問 20)

小学校高学年(4～6年生)になったら、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいか尋ねたところ、来年4月に小学校へ入学する予定の子どもを持つ保護者(未就学児童保護者)、子どもが小学校低学年(1～3年生)の保護者(小学生児童保護者)ともに「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」が最も多く、それぞれ75.5%、54.8%となっています。



⑧ 小学校高学年時に放課後過ごさせたい場所の週あたりの希望日数
【未就学児童】

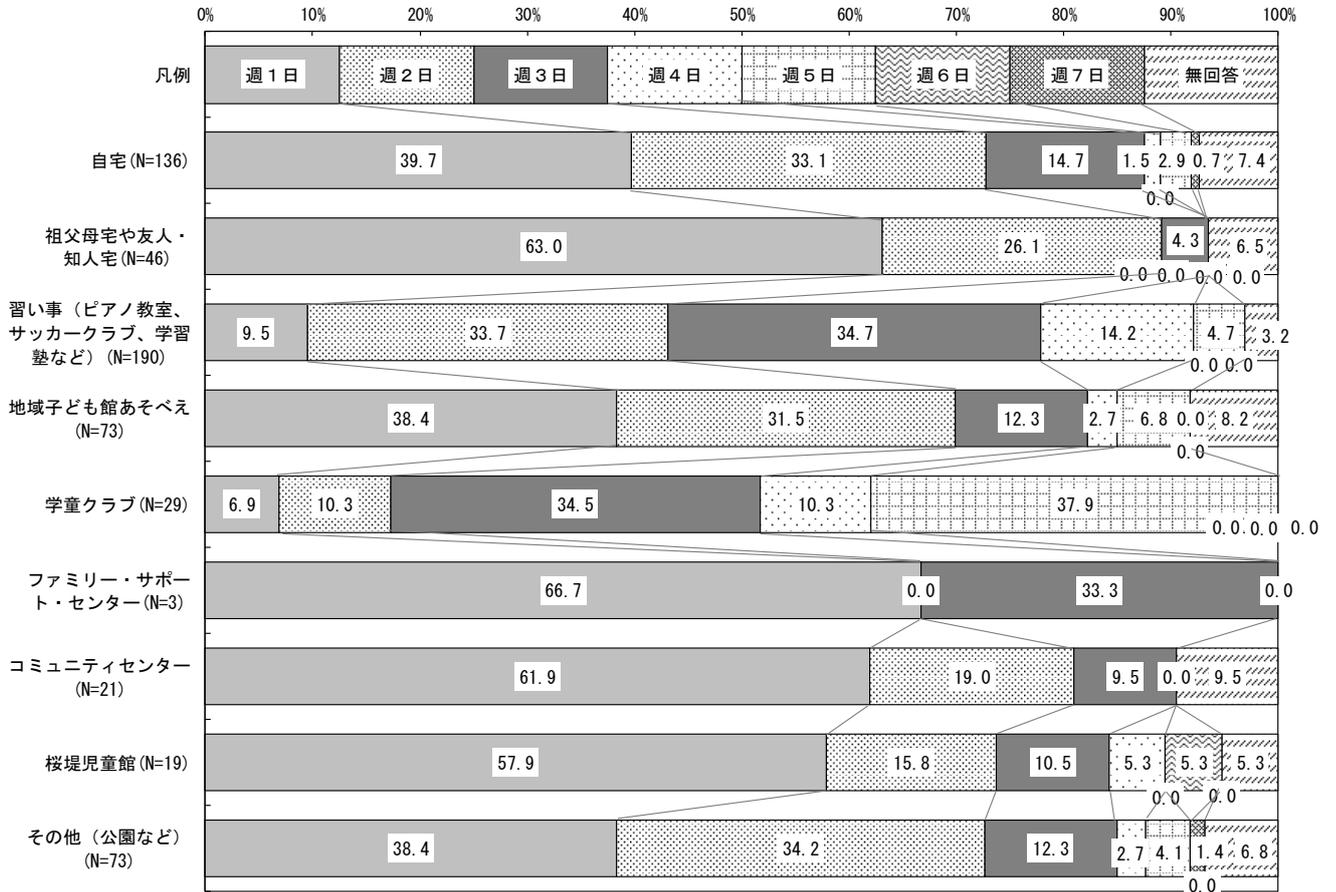
小学校高学年時（４～６年生）に放課後過ごさせたい場所の週あたりの希望日数をみると、地域子ども館あそべえでは「週１日」「週２日」がそれぞれ28.6%、35.7%となっています。



※回答者数（N）が10未満の項目は分析の対象外。

⑨ 小学校高学年時に放課後過ごさせたい場所の週あたりの希望日数
【小学生児童】

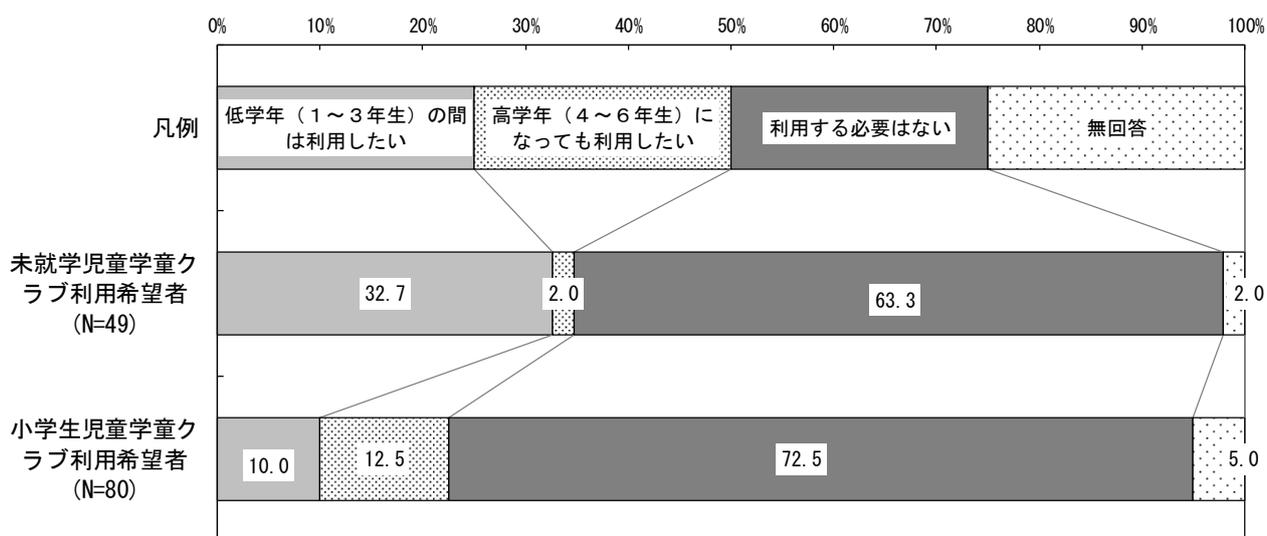
小学校高学年時（４～６年生）に放課後過ごさせたい場所の週あたりの希望日数をみると、地域子ども館あそべえでは「週１日」が38.4%となっています。また、祖父母宅や友人・知人宅では「週１日」が63.0%となっています。



※回答者数（N）が10未満の項目は分析の対象外。

⑩ 土曜日の学童クラブの利用意向
 (単数回答) (未就学児童：問 40 小学生児童：問 21 子どもを過ごさせたい場所で「学童クラブ」と回答した方のみ)

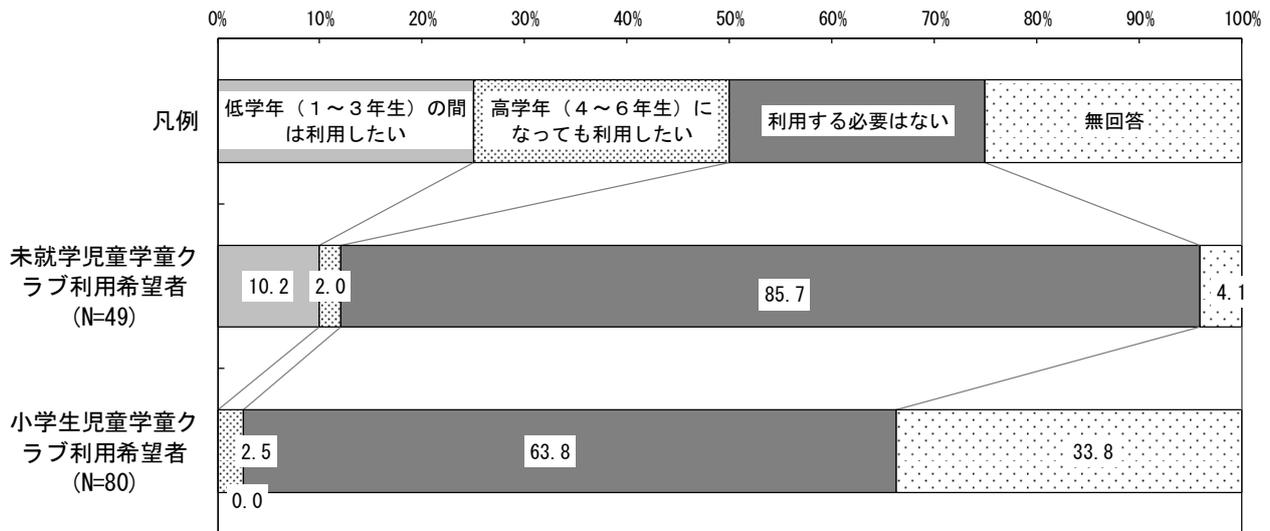
土曜日の学童クラブの利用意向についてみると、未就学児童保護者、小学生児童保護者ともに「利用する必要はない」が最も多く、それぞれ63.3%、72.5%となっていますが、未就学児童保護者では「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が32.7%と小学生児童保護者に比べて多くなっています。



⑪ 日曜日・祝日の学童クラブの利用意向

(単数回答) (未就学児童：問 40 小学生児童：問 21 子どもを過ごさせたい場所で「学童クラブ」と回答した方のみ)

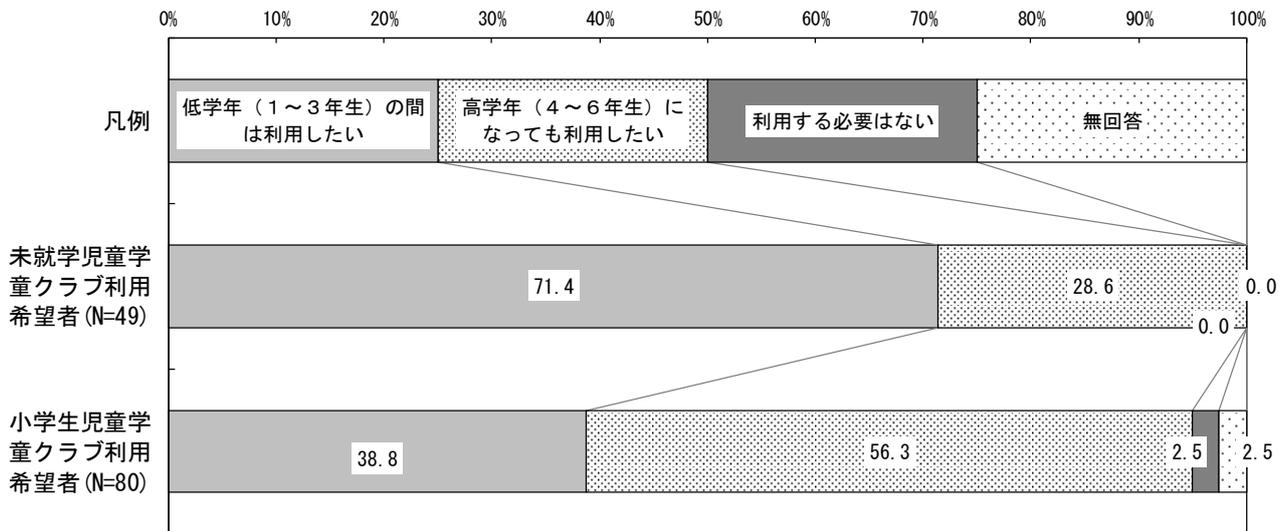
日曜日・祝日の学童クラブの利用意向についてみると、未就学児童保護者、小学生児童保護者ともに「利用する必要はない」が最も多く、それぞれ85.7%、63.8%となっていますが、未就学児童保護者では「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が10.2%と小学生児童保護者に比べて多くなっています。



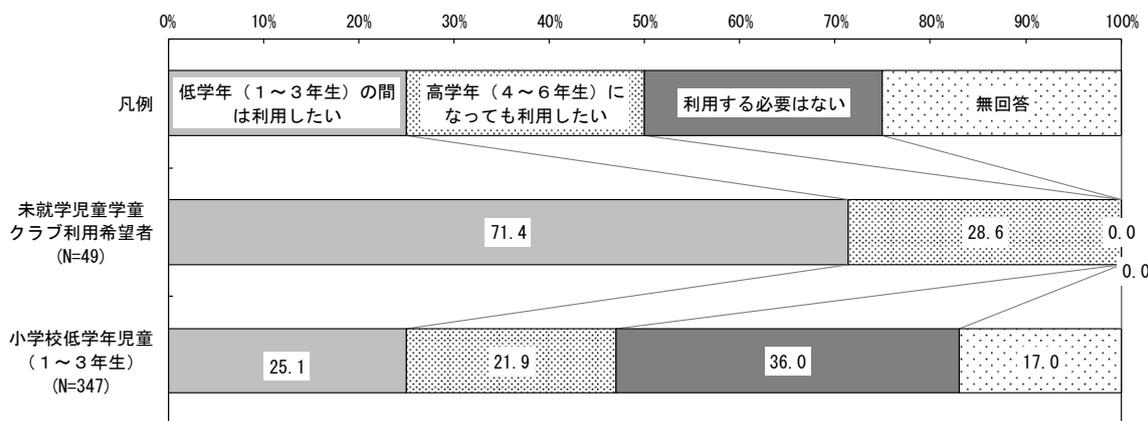
⑫ 夏休み・冬休み等長期休業期間中の学童クラブの利用意向
 (単数回答) (未就学児童：問 41 小学生児童：問 22)

夏休み・冬休み等長期休業期間中の学童クラブの利用意向についてみると、未就学児童保護者では「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が71.4%と最も多くなっています。

一方、小学生児童保護者では「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が56.3%となっています。



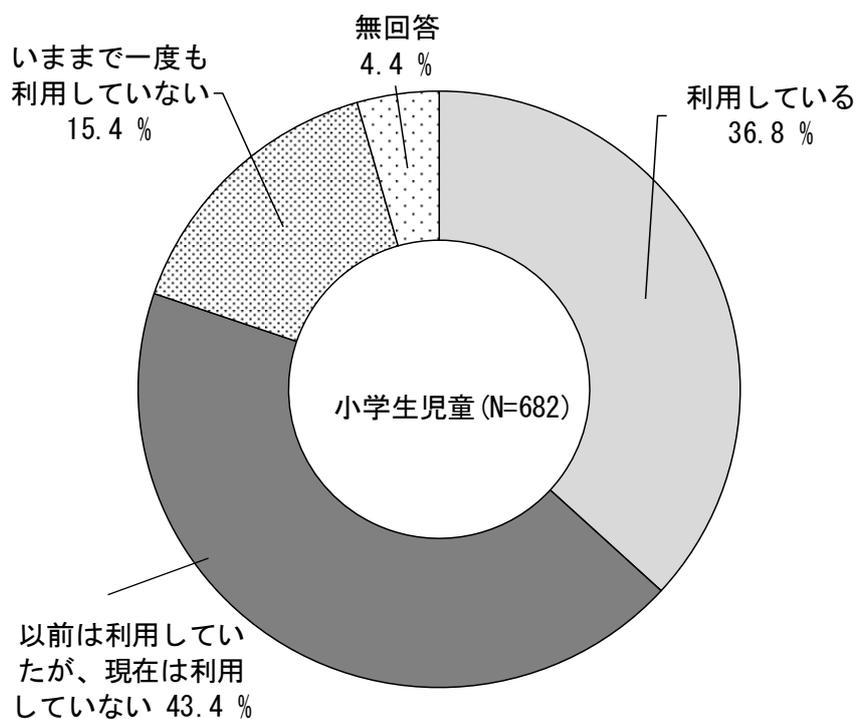
＜参考＞ 未就学児童および小学校低学年児童全体



(2) 『地域子ども館あそべえ』の利用状況

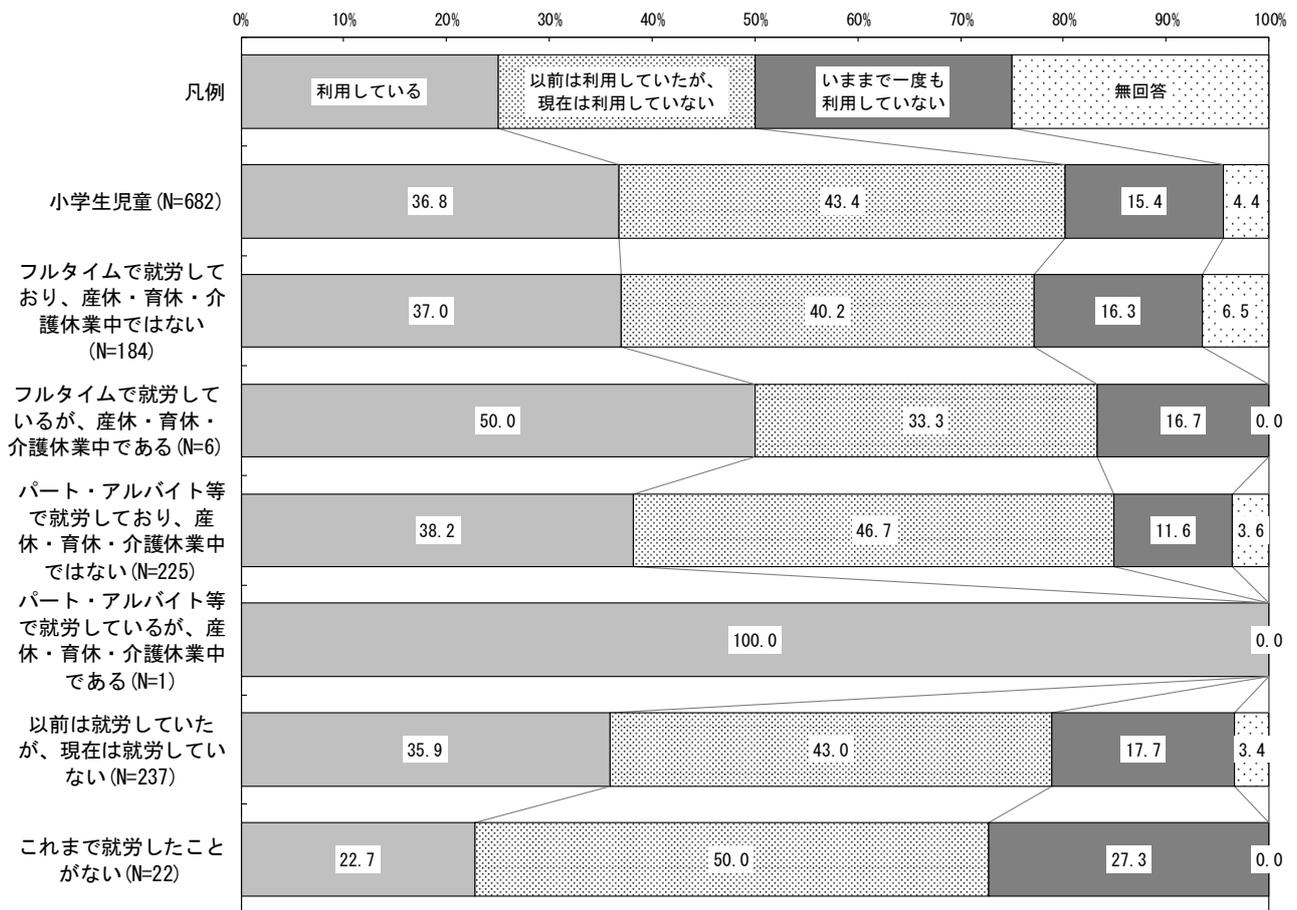
① 『地域子ども館あそべえ』の利用状況 (単数回答) (小学生児童：問 23)

『地域子ども館あそべえ』の利用状況についてみると、「以前は利用していたが、現在は利用していない」が43.4%と最も多く、次いで「利用している」が36.8%となっています。



【母親の就労状況 × 『地域子ども館あそべえ』の利用状況】

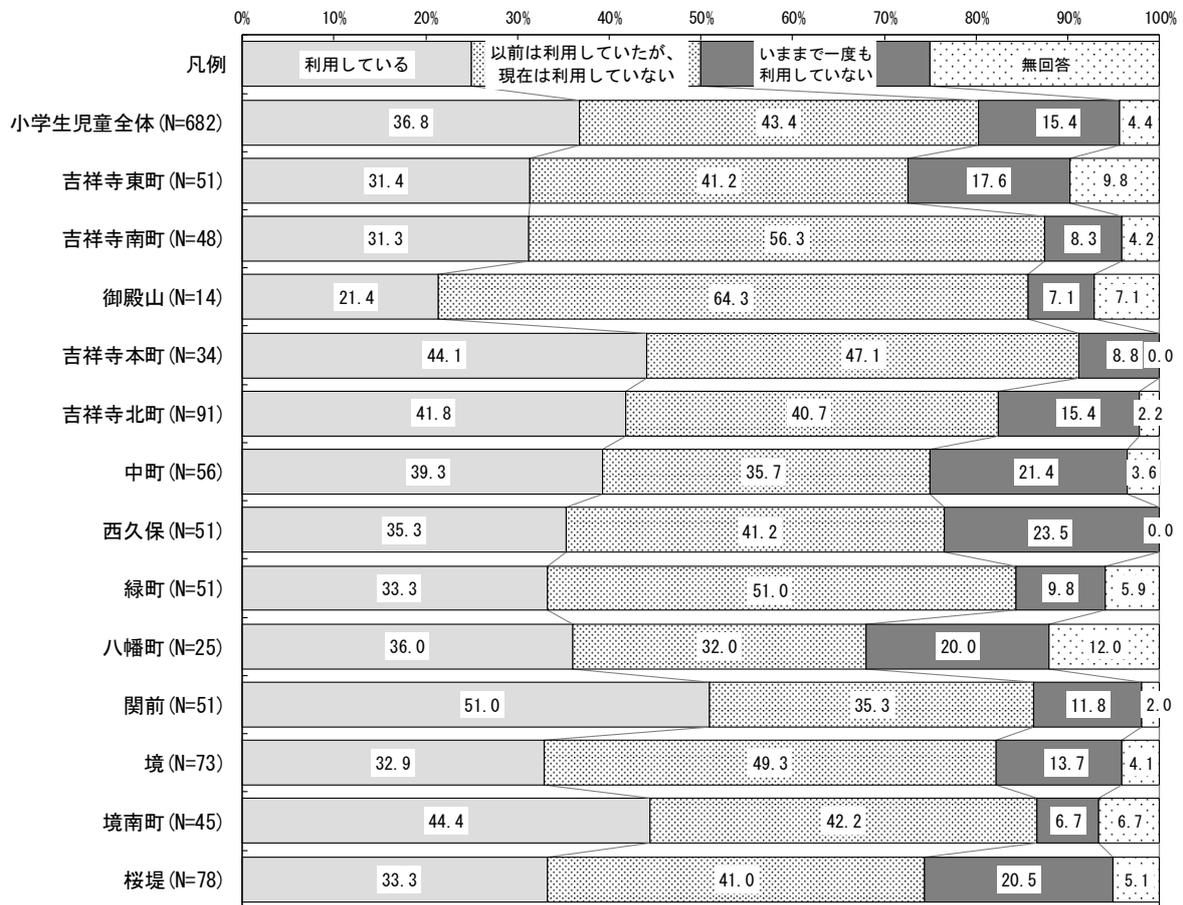
『地域子ども館あそべえ』の利用状況を母親の就労状況別にみると、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」および「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」、「以前は就労していたが、現在は就労していない」における利用状況は、それぞれ37.0%、38.2%、35.9%と3割台半ば～4割近くが利用しています。



※回答者数 (N) が 10 未満の項目は分析の対象外。

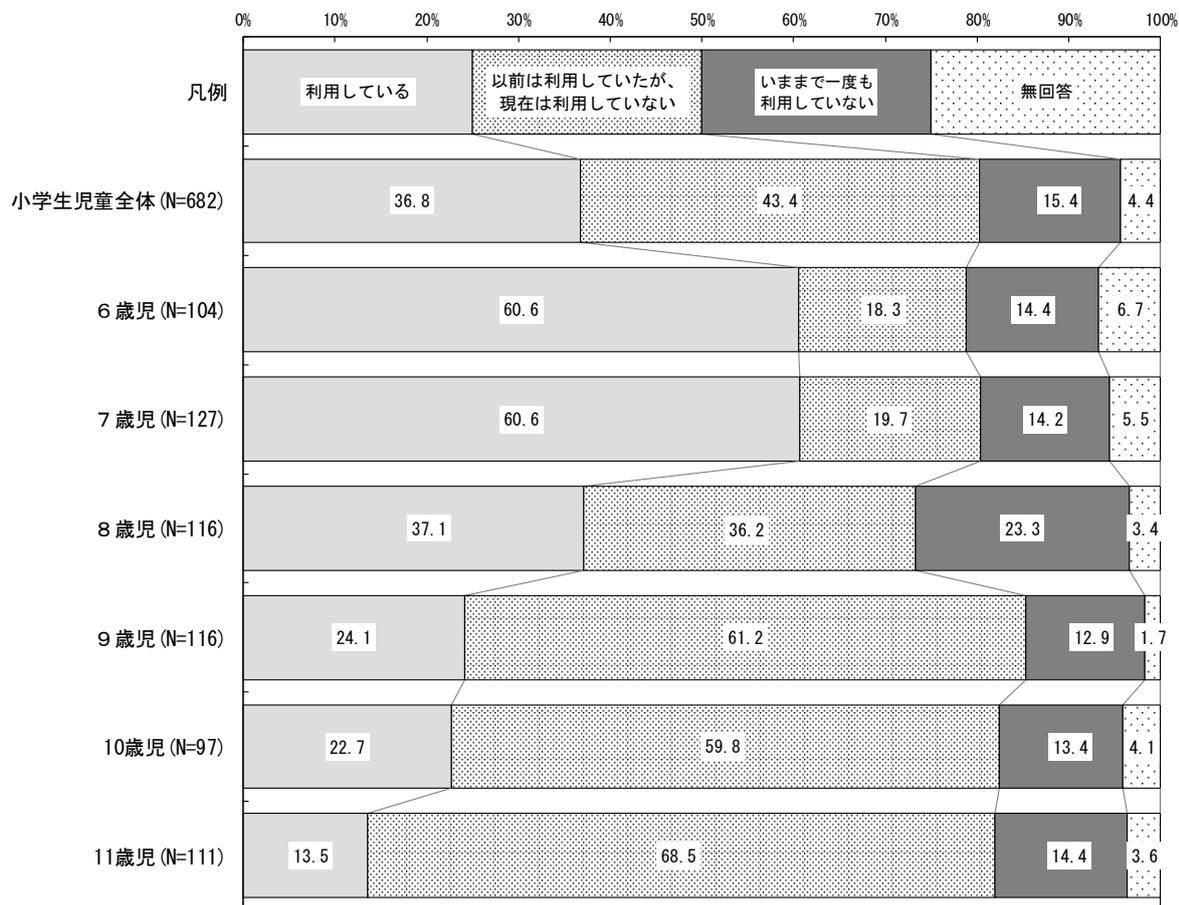
【居住地区 × 『地域子ども館あそべえ』の利用状況】

『地域子ども館あそべえ』の利用状況を居住地区別にみると、関前では「利用している」が51.0%と他の地区に比べて多くなっています。一方、御殿山では21.4%と、他の地区に比べて少なくなっています。



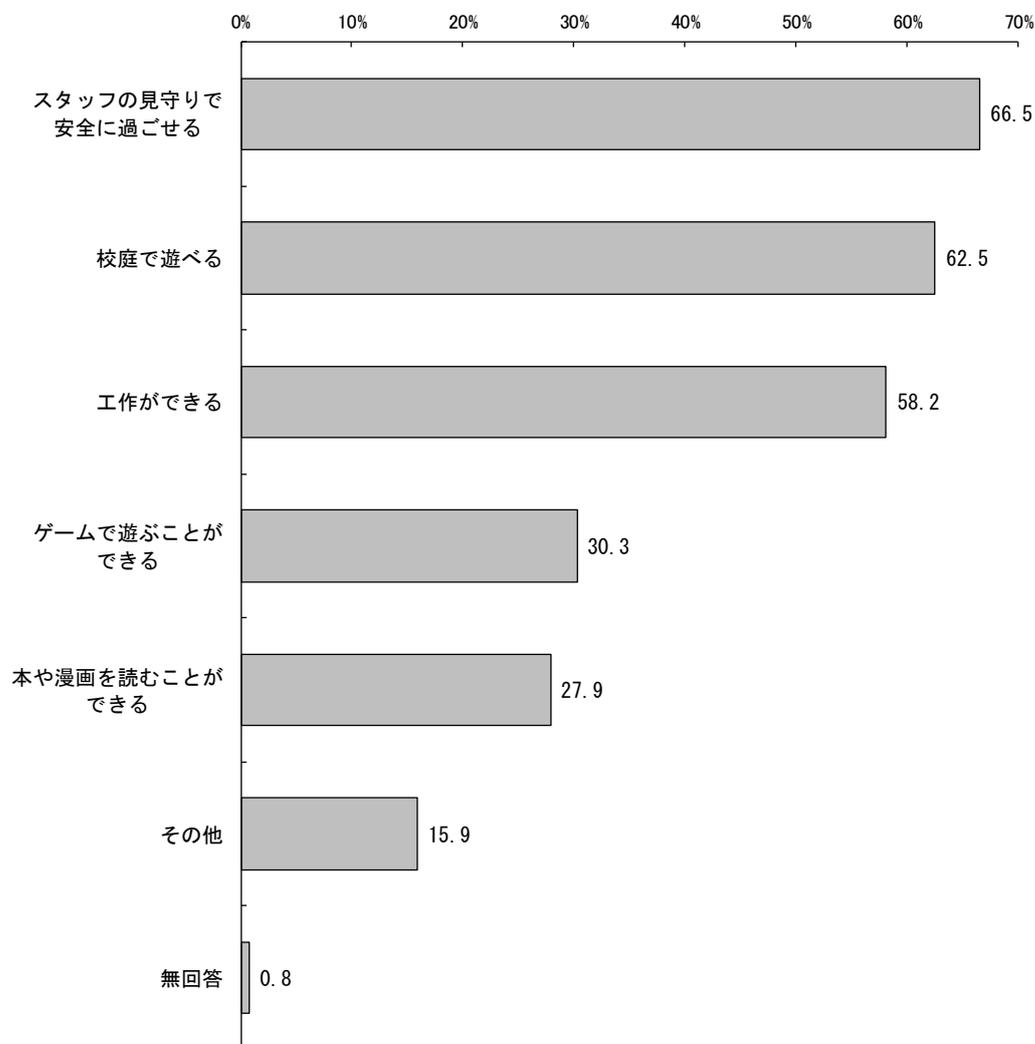
【学年年齢 × 『地域子ども館あそべえ』の利用状況】

『地域子ども館あそべえ』の利用状況を学年年齢別にみると、「利用している」は「6歳児」「7歳児」においてそれぞれ6割超となっています。学年年齢が高くなるにつれて利用状況が少なくなっています。



② 『地域子ども館あそべえ』を利用する理由
(複数回答)(小学生児童：問 23-1 地域子ども館あそべえを「利用している」と回答した方のみ)

『地域子ども館あそべえ』を利用する理由についてみると、「スタッフの見守りで安全に過ごせる」が66.5%と最も多く、次いで「校庭で遊べる」が62.5%となっています。



小学生児童 (N=251)

『地域子ども館あそべえ』を利用する「その他」の理由

フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	件数
学童から直接行けるから	7
友だちと遊べるから	3
下校後直接行けるから	1
イベントがあるから	1
学童より自由に遊べるから	1

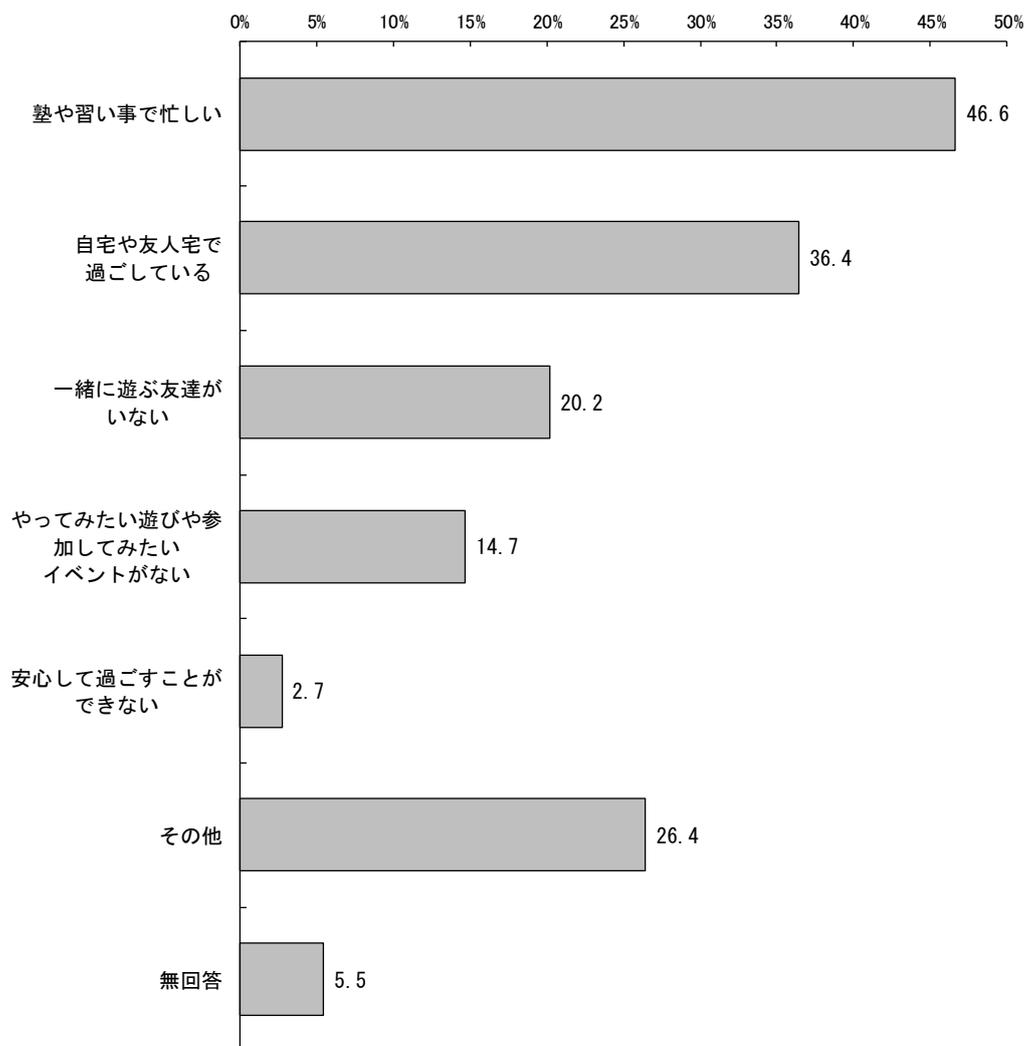
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	件数
学童の一環として	5
友だちと遊べるから	3
安心して行かせられるから	2
クラブ開始までの時間調整として	1
留守番を嫌がるから	1
親が仕事で遅くなる時に利用できるから	1

以前は就労していたが、現在は就労していない	件数
友だちと遊べるから	5
イベントや企画があるから	2
兄弟姉妹の用事がある時に利用できるから	2
学校終わりにすぐ行けるから	1
宿題ができるから	1

これまで就労したことがない	件数
友だちと遊べるから	1

③ 『地域子ども館あそべえ』を利用しない理由
(複数回答)(小学生児童：問 23-2 地域子ども館あそべえを「以前は利用していたが、現在は利用していない」「いままで一度も利用していない」と回答した方のみ)

『地域子ども館あそべえ』を利用しない理由をみると、「塾や習い事で忙しい」が46.6%と最も多く、次いで「自宅や友人宅で過ごしている」が36.4%となっています。



小学生児童 (N=401)

『地域子ども館あそべえ』を利用しない「その他」の理由

フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	件数
学童を利用しているから	16
知らなかったから	5
対象年齢に合わない／合わなくなったから	3
他の場所で遊んでいるから	3
本人が行きたがらないから	2
利用方法が分からないから	2
たまには利用している	2
特に理由はない	1
その他	3

フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	件数
私立に通っているから	1

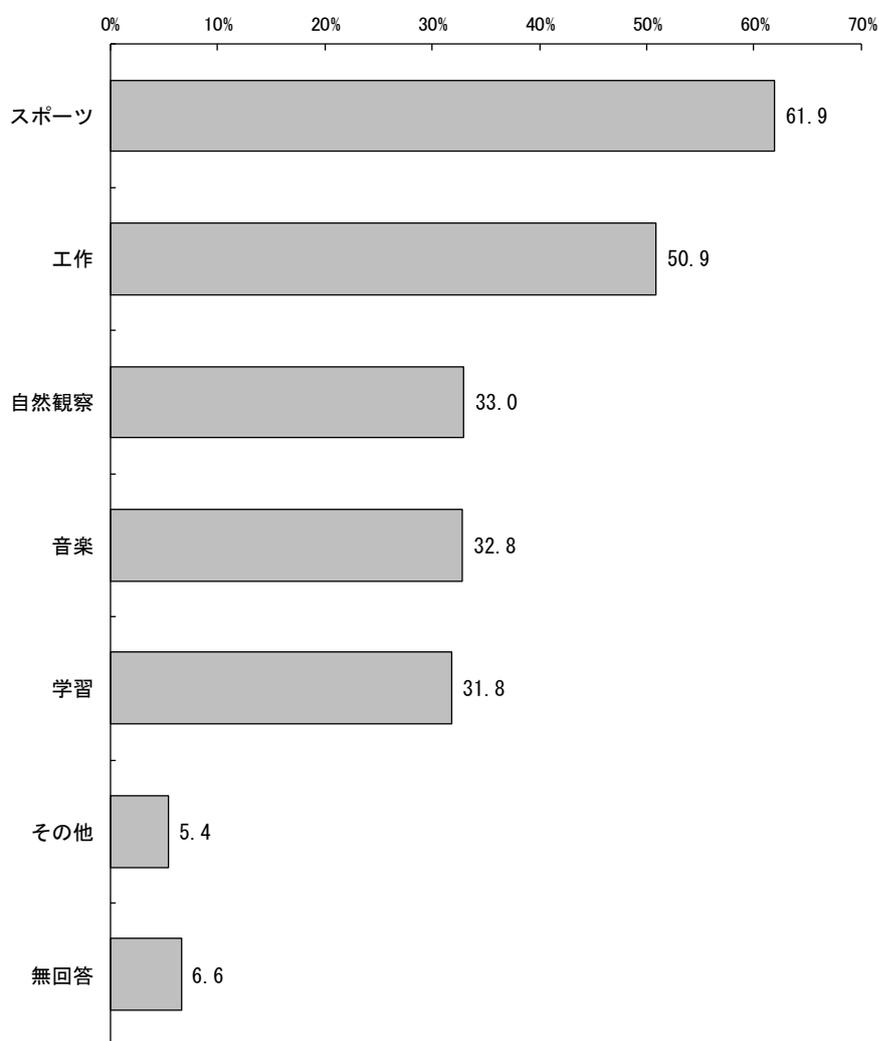
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	件数
他の場所で遊んでいるから	7
学童を利用しているから	4
本人が行きたがらないから	4
私立に通っているから	4
対象年齢に合わない／合わなくなったから	3
知らなかった	2
その他	3

以前は就労していたが、現在は就労していない	件数
私立に通っているから	7
子どもが障がいを抱えているから	5
場所が遠い・利用制限があるから	4
他の場所で遊んでいるから	3
対象年齢に合わない／合わなくなったから	3
知らなかったから	3
本人が行きたがらないから	3
学童を利用しているから	1
利用方法が分からないから	1
その他	5

これまで就労したことがない	件数
私立に通っているから	1
利用方法が分からないから	1
知らなかったから	1

④ 『地域子ども館あそべえ』で実施してほしいプログラム
(複数回答) (小学生児童：問 24)

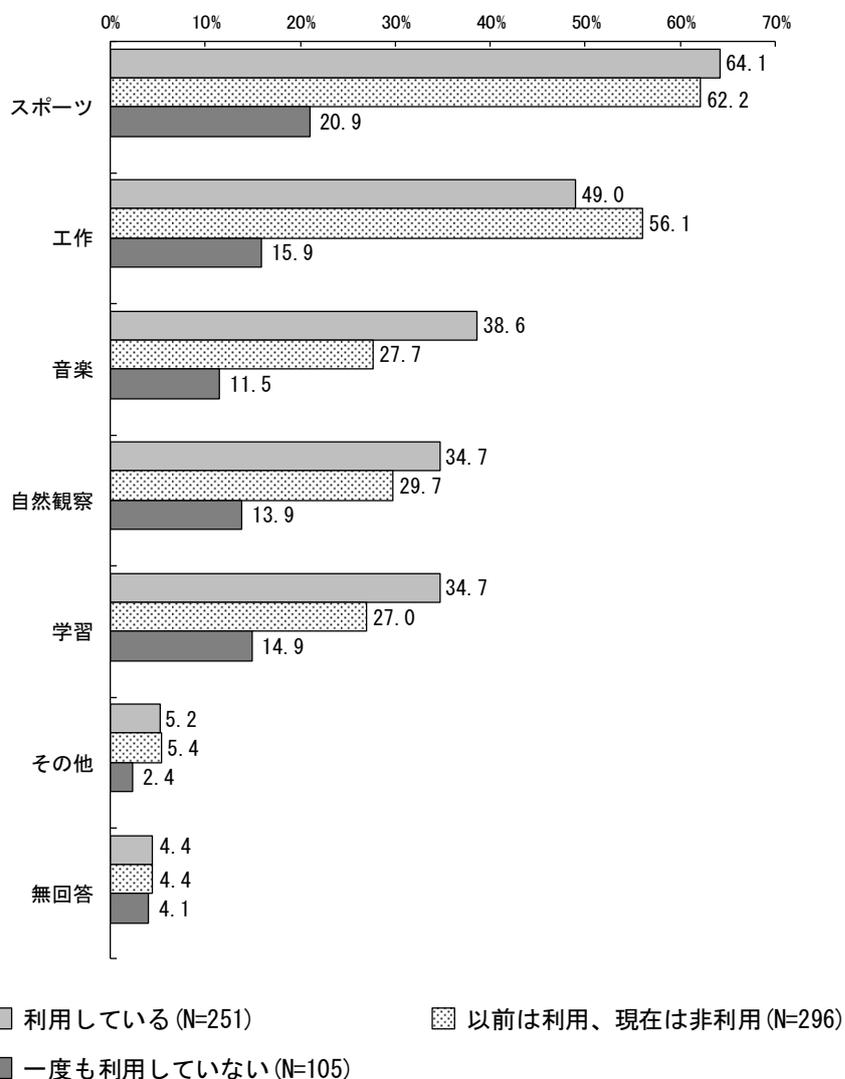
『地域子ども館あそべえ』で実施してほしいプログラムについてみると、「スポーツ」が61.9%と最も多く、次いで「工作」が50.9%となっています。



小学生児童 (N=401)

⑤ 『地域子ども館あそべえ』で実施してほしいプログラム
 (複数回答) (小学生児童：問 24 利用状況別)

『地域子ども館あそべえ』で実施してほしいプログラムを利用状況別にみると、いずれの層でも「スポーツ」の割合が最も多くなっています。

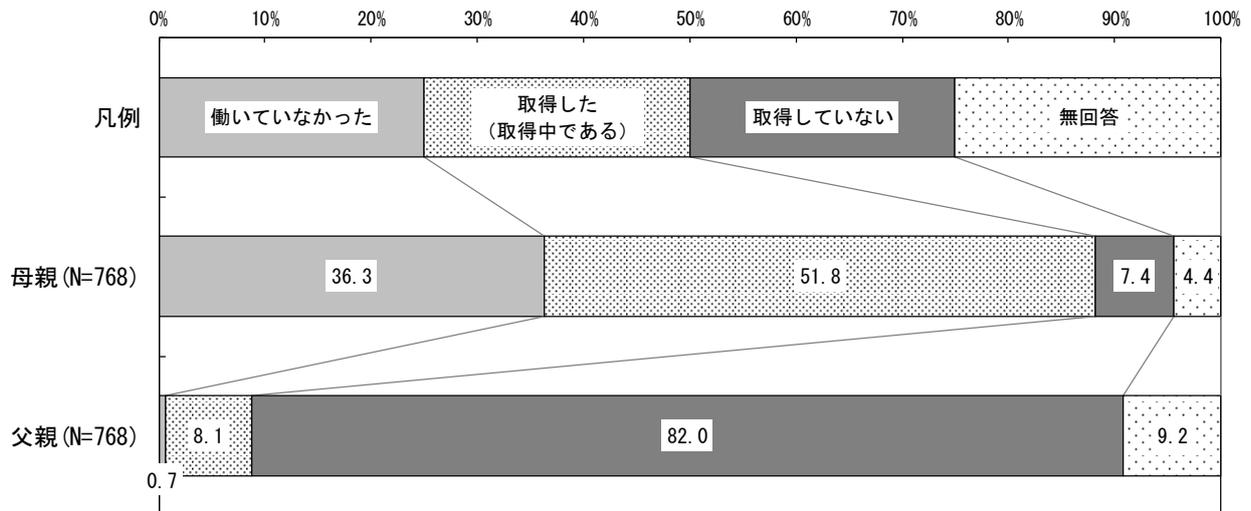


8. 育児休業などの仕事と子育ての両立支援制度

(1) 育児休業の取得状況

(単数回答) (未就学児童：問 42)

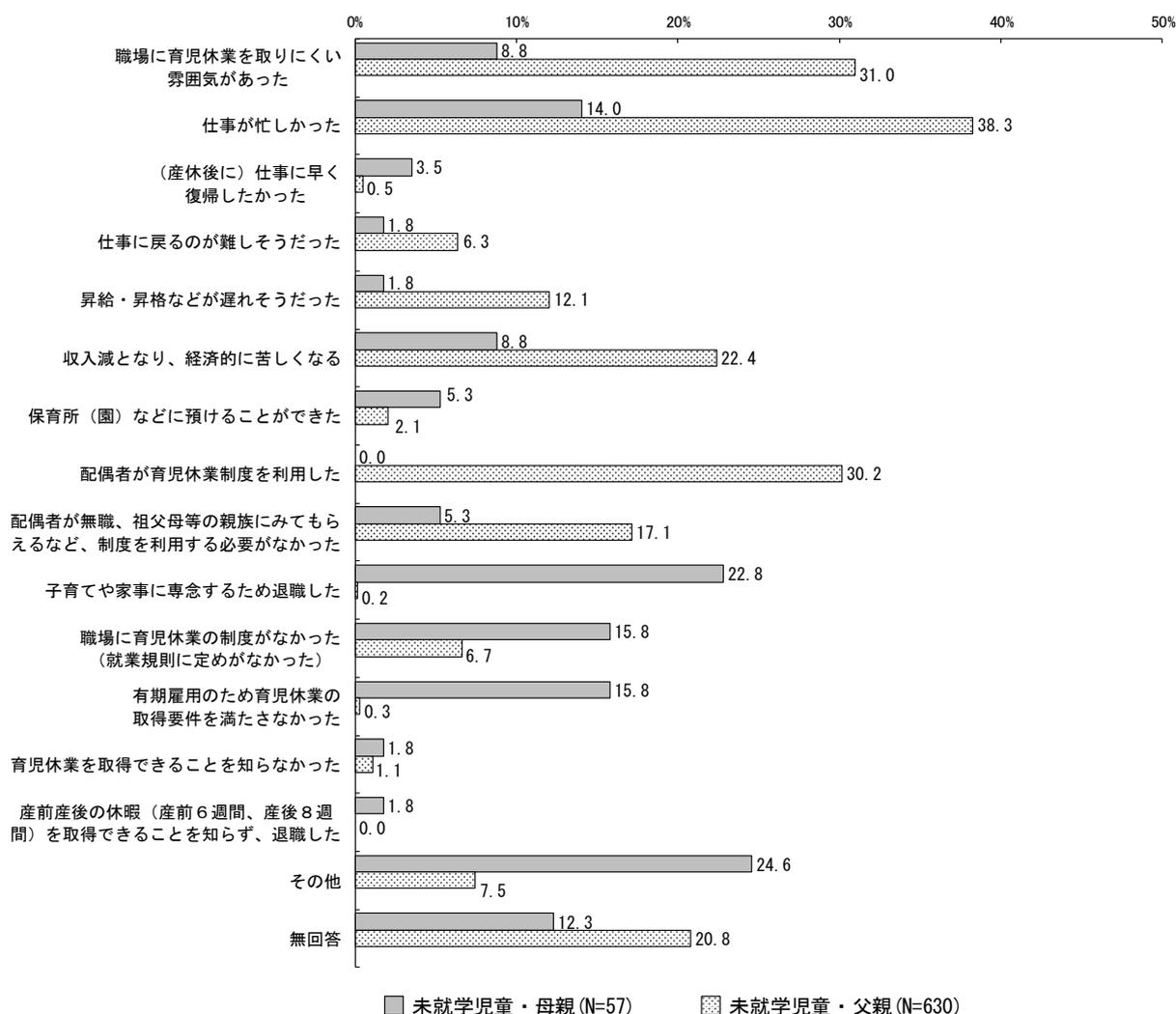
母親の育児休業の取得状況は、「取得した（取得中である）」が51.8%と最も多く、次いで「働いていなかった」が36.3%となっています。一方、父親は「取得していない」が82.0%と最も多く、父母において大きな差がみられます。



(2) 育児休業を取得していない理由 (複数回答) (未就学児童：問 42)

育児休業を取得していない理由についてみると、母親では「子育てや家事に専念するため退職した」が22.8%と最も多く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった」「有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった」がそれぞれ15.8%となっています。

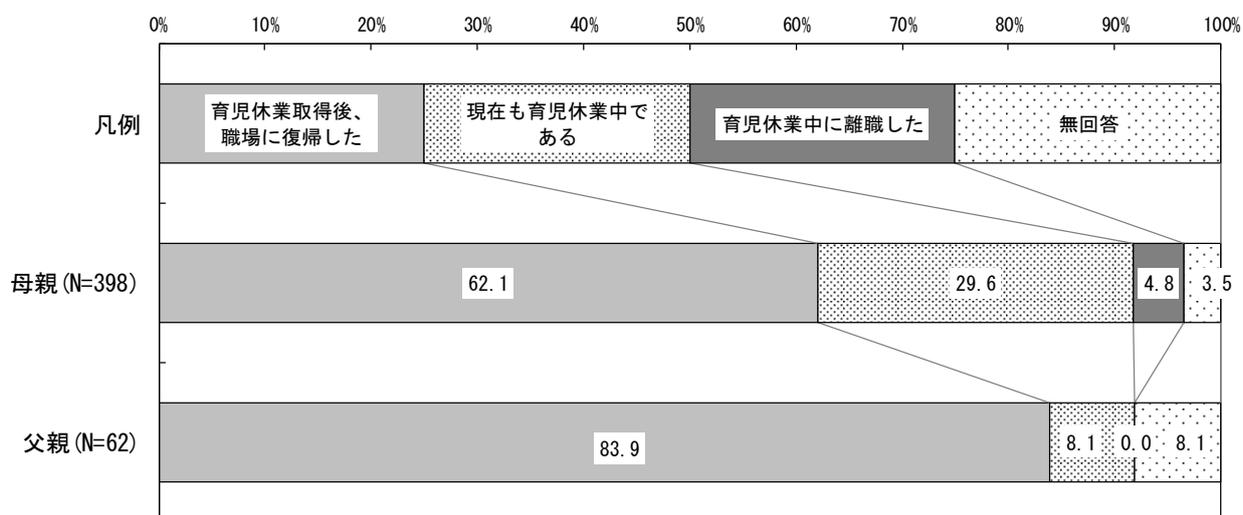
父親では「仕事が忙しかった」が38.3%と最も多く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が31.0%となっています。



(3) 育児休業取得後の職場復帰状況

(単数回答) (未就学児童：問 42-1 育児休業を「取得した(取得中である)」と回答した方のみ)

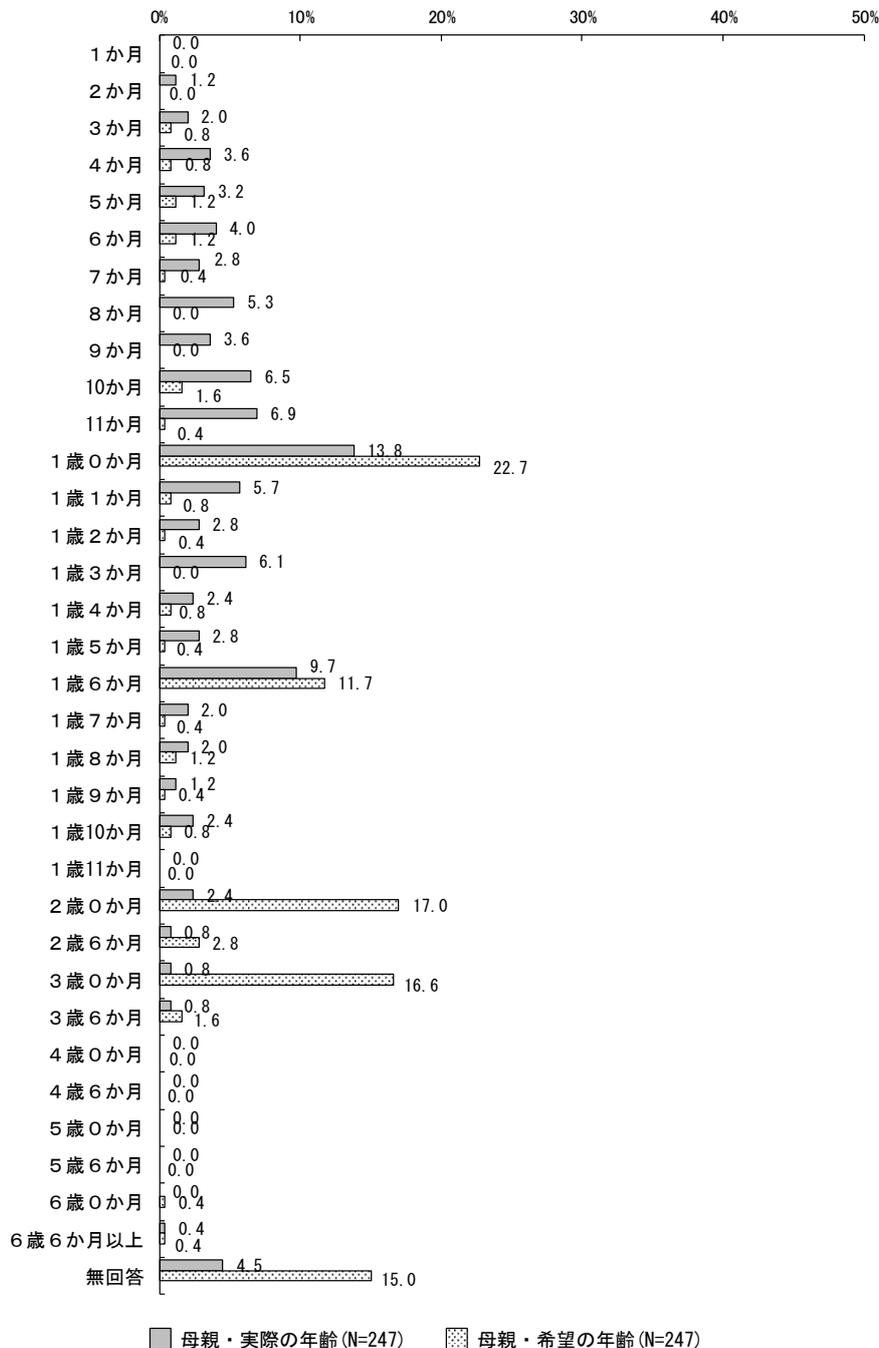
育児休業取得後の職場復帰状況をみると、父母ともに「育児休業取得後、職場に復帰した」が最も多く、それぞれ62.1%、83.9%となっています。また、母親は「現在も育児休業中である」が29.6%、「育児休業中に離職した」が4.8%となっています。



(4) 育児休業から職場復帰した時の子どもの年齢と職場復帰を希望する子どもの年齢
(数量回答)

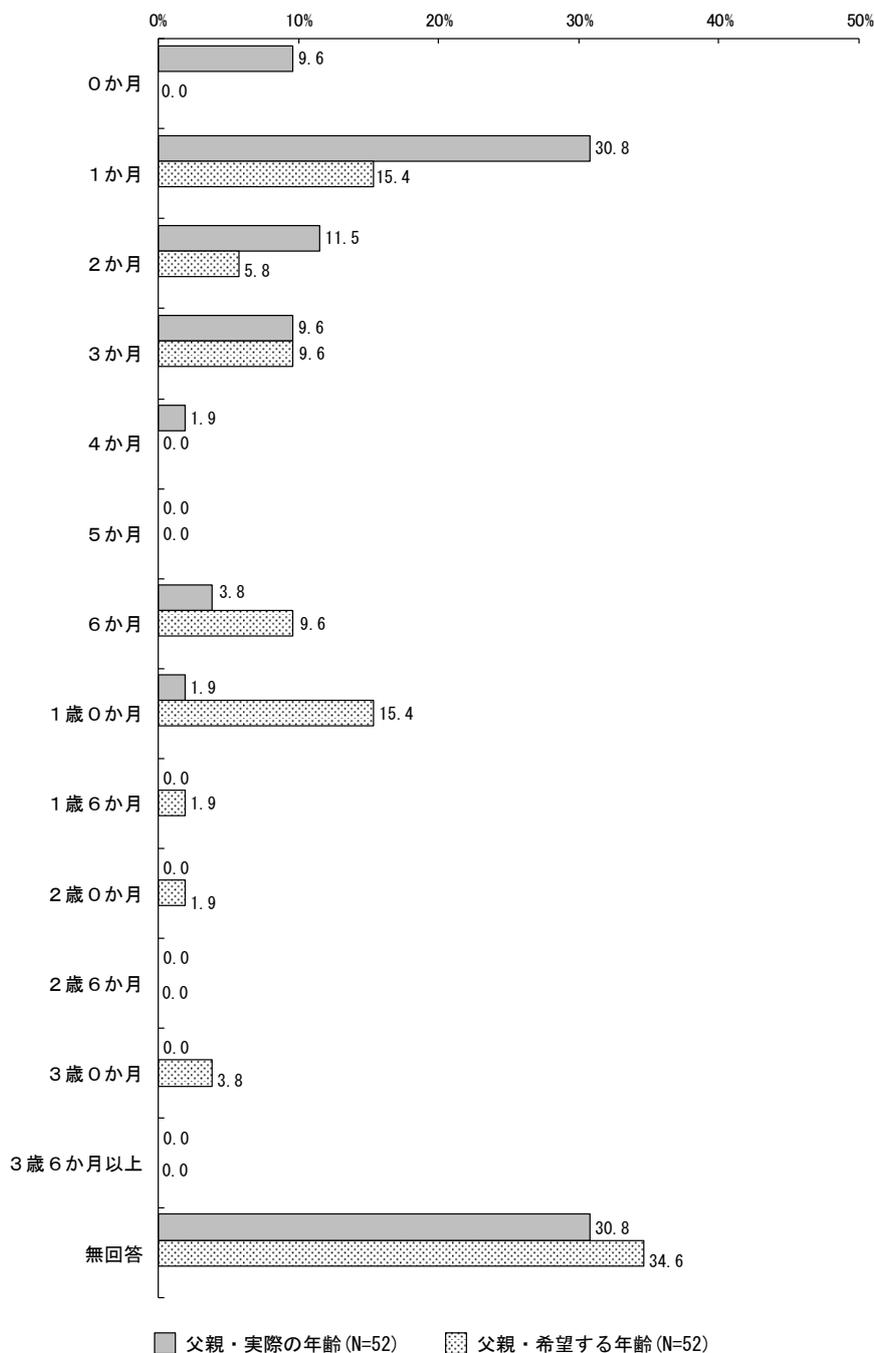
① 母親が育児休業から職場復帰した時の子どもの年齢と職場復帰を希望する子どもの年齢 (未就学児童：問 42-2)

母親が育児休業から職場復帰した時の子どもの年齢をみると、「1歳0か月」が13.8%と最も多くなっています。また、職場復帰を希望する年齢も「1歳0か月」が22.7%となっています。



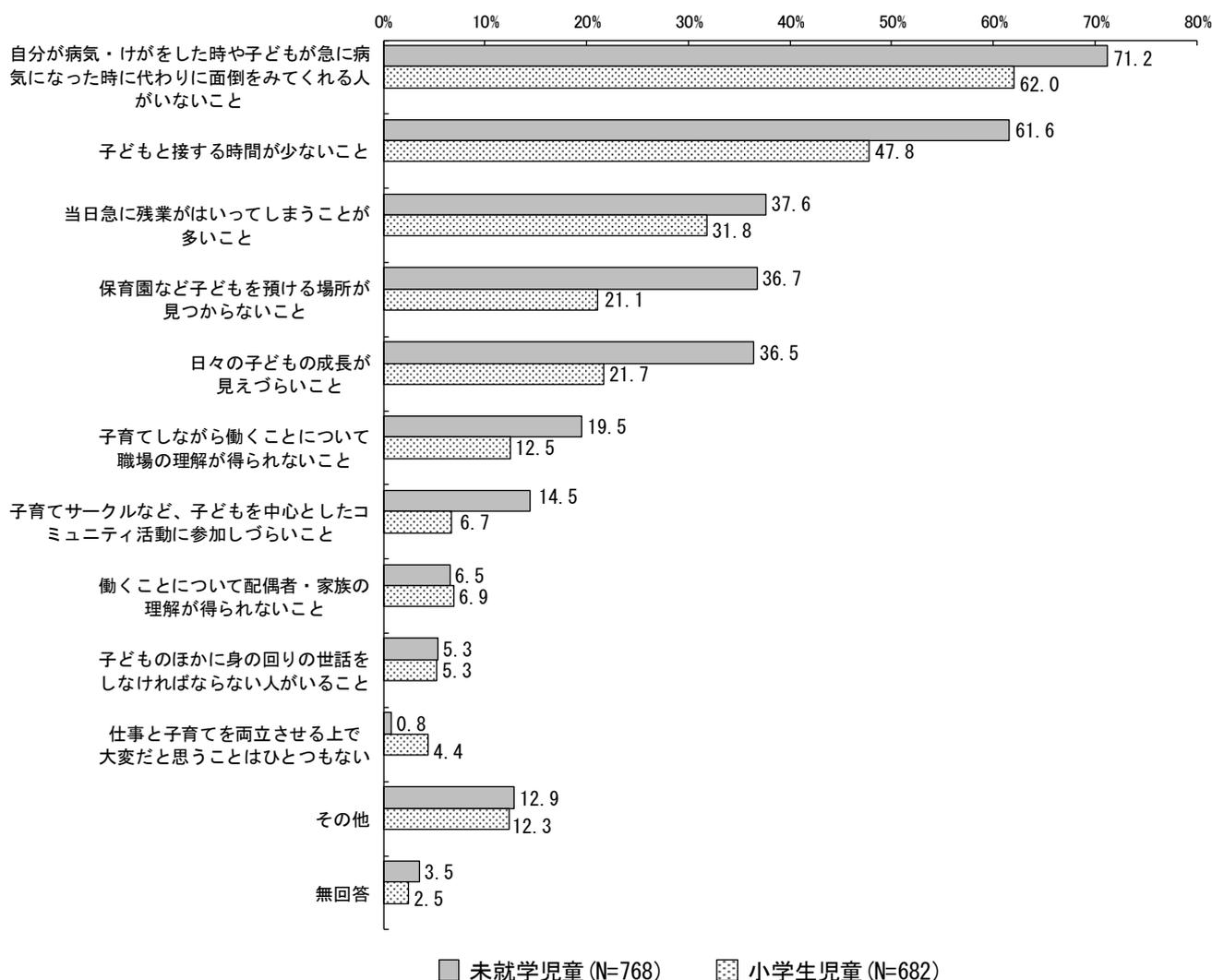
② 父親が育児休業から職場復帰した時の子どもの年齢と職場復帰を希望する子どもの年齢
 (未就学児童：問 42-2)

父親が育児休業から職場復帰した時の子どもの年齢をみると、「1か月」が30.8%と最も多くなっています。また、職場復帰を希望する年齢では「1か月」および「1歳0か月」がそれぞれ15.4%となっています。



**(5) 仕事と子育てを両立させる上で大変だと思うこと
(複数回答) (未就学児童：問 43 小学生児童：問 30)**

仕事と子育てを両立させる上で大変だと思うことについてみると、未就学児童保護者、小学生児童保護者ともに「自分が病気・けがをした時や子どもが急に病気になった時に代わりに面倒をみてくれる人がいないこと」が最も多く、それぞれ 71.2%、62.0%となっています。次いで「子どもと接する時間が少ないこと」がそれぞれ 61.6%、47.8%となっています。



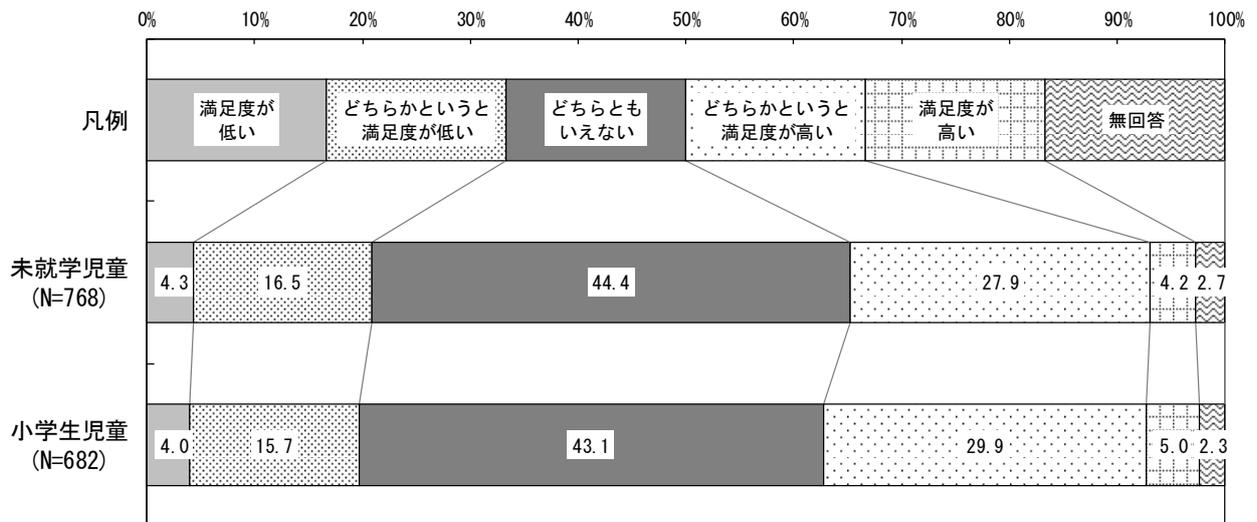
9. 市の子育て環境や支援への満足度、意見等

(1) 市の子育て環境や支援への満足度

① 市の子育て環境や支援への満足度

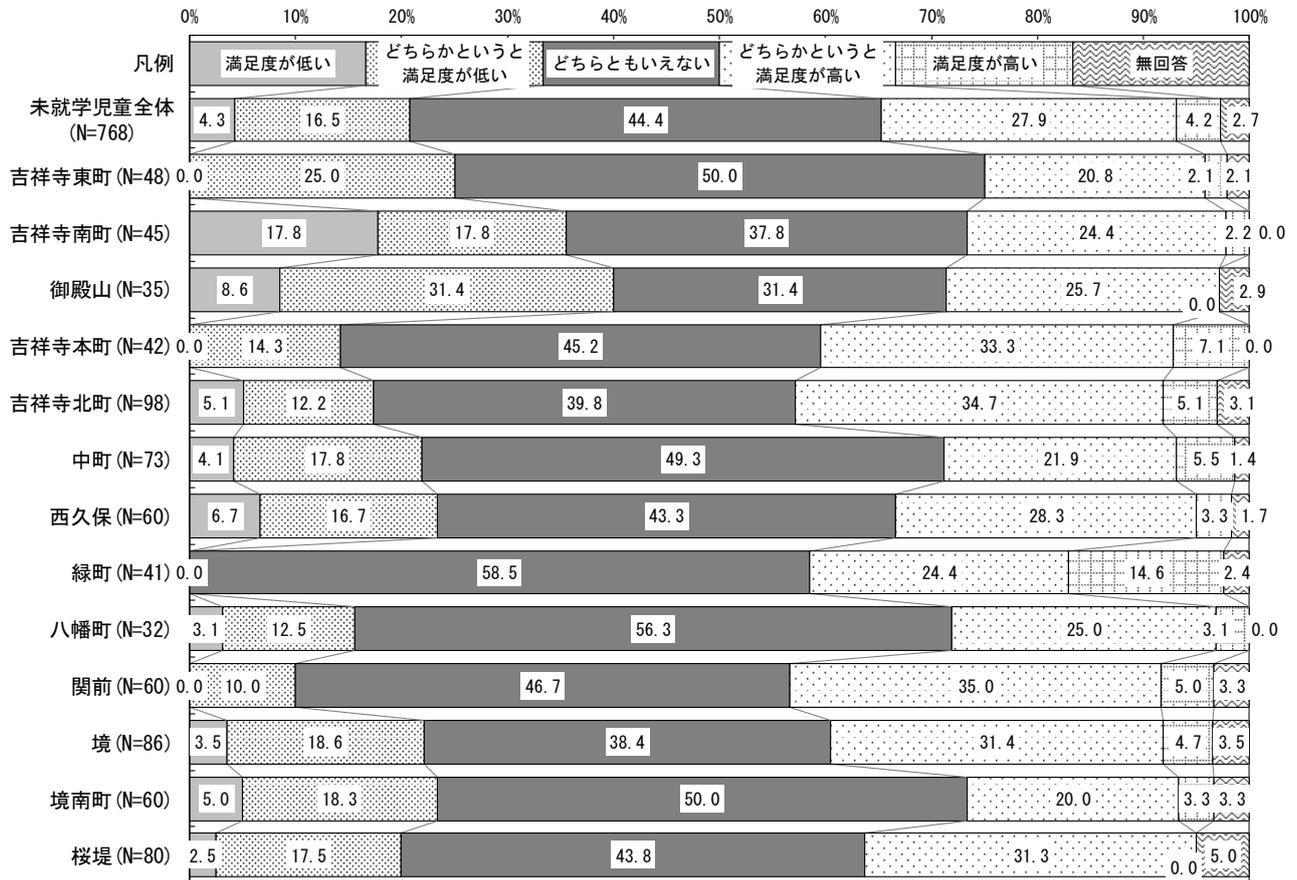
(単数回答) (未就学児童：問 44 小学生児童：問 31)

市の子育て環境や支援への満足度についてみると、「満足度が高い」と「どちらかという満足度が高い」を合計した「満足している傾向」は、未就学児童保護者では32.1%、小学生児童保護者では34.9%と、ともに3割超となっています。



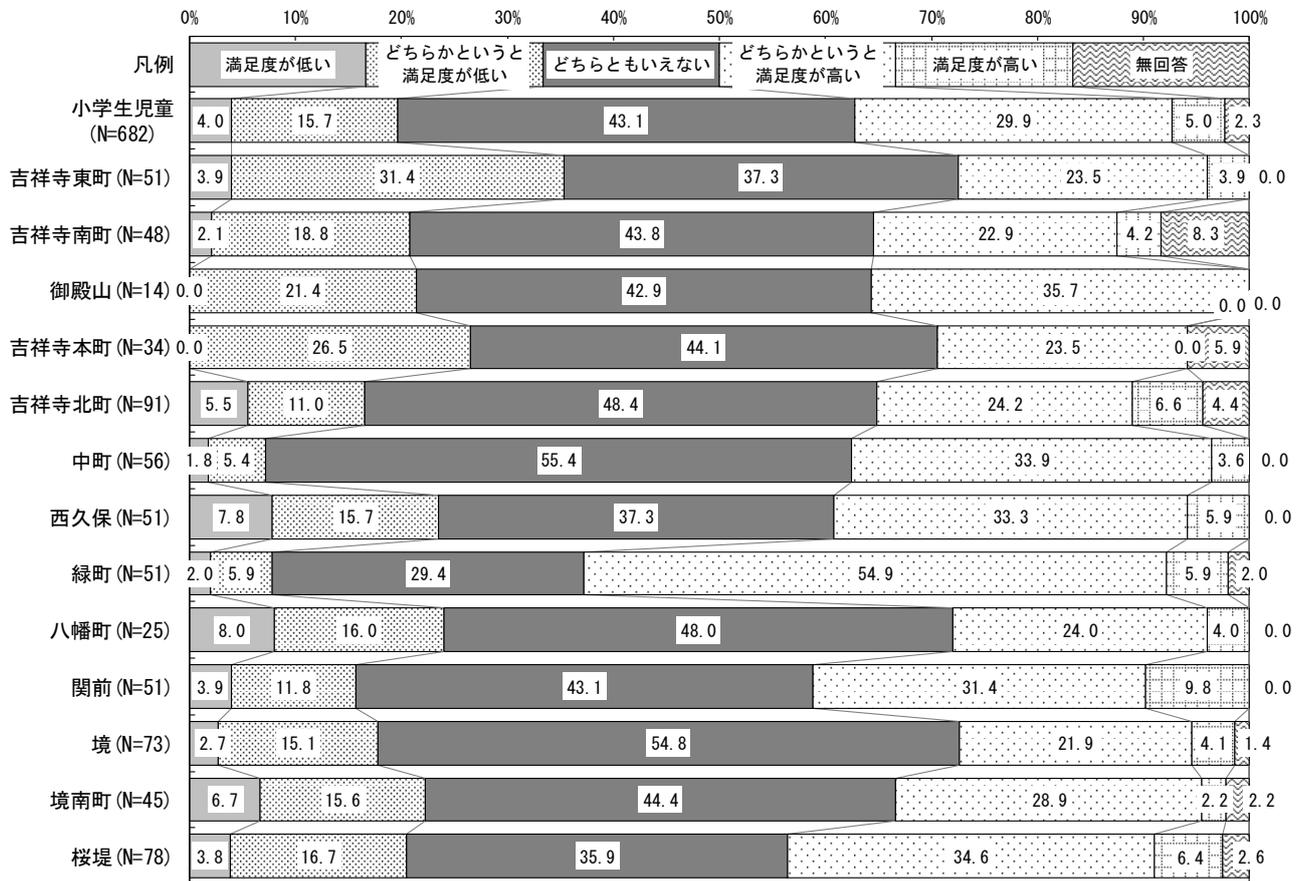
【居住地区 × 市の子育て環境や支援への満足度（未就学児童）】

市の子育て環境や支援への満足度について未就学児童保護者の居住地区別にみると、「満足度が高い」と「どちらかという満足度が高い」を合計した「満足している傾向」は、吉祥寺本町で40.4%、関前で40.0%と、ともに4割台となっており、他地区に比べて多くなっています。



【居住地区× 市の子育て環境や支援への満足度（小学生児童）】

市の子育て環境や支援への満足度について小学生児童保護者の居住地区別にみると、「満足度が高い」と「どちらかという満足度が高い」を合計した「満足している傾向」は、緑町で60.8%と、他地区に比べて多くなっています。



(2) 市の子育て環境や支援に関する意見
(自由記述)

① 未就学児童保護者の子育て環境や支援に関する意見
(未就学児童：問 45)

育児・保育・学童に関する支援	件数
助成金や補助金について	32
保育園の整備について	24
学童について	16
入園料・保育料について	16
待機児童について	15
幼稚園・保育園の無償化について	15
保育園の利用時間延長について	14
病児保育の充実について	10
「保活」について	10
兄弟・姉妹同園について	10
要保護（障がい・虐待児）対策について	7
一時預り事業の充実について	5
P T Aについて	4
出産時の助成について	2

日常生活に関する支援	件数
医療費の助成について	9
道路の整備・ムーブスの拡充について	8
子育て応援券の導入について	3
住宅の助成について	1

交流・行事・遊び場に関する支援	件数
公園について	47
0 1 2 3について	24
あそべえ・コミセンについて	18
行事・講演・講座について	13
室内の遊び場について	8
図書館について	6
プレイスについて	6
交流について	3
市のスポーツ事業について	1

相談・知識・情報に関する支援	件数
子育て情報の提供方法の充実について	13
相談機関や場所の情報について	11
仕事と家庭生活の両立相談について	7

健康に関する支援	件数
健診について	6
予防接種について	4

行政・社会に関する支援	件数
子育て支援全般の充実について	47
助成・補助・手当など金銭的支援について	35
地域環境について	22
市職員の対応改善について	8

その他	件数
アンケートについて	27
その他	10

② 小学生児童保護者の子育て環境や支援に関する意見
(小学生児童：問 32)

放課後児童対策に関する支援	件数
学童について	67
あそべえ・コミセンについて	59
子どもの預け先について	34
塾・習い事について	9
プレイスについて	8

保育・教育の推進	件数
保育園について	34
P T A・学校行事について	13
子育て支援の充実について	12
教育費について	3
受験について	2
不登校対策について	1

子育て環境の充実、その他	件数
公園・遊び場について	30
プールについて	7
図書館について	5
講演・行事について	3

Ⅲ. 調査票

- ・「武蔵野市子ども・子育て支援に関するアンケート調査（未就学児童保護者用）」
- ・「武蔵野市子ども・子育て支援に関するアンケート調査（小学生児童保護者用）」

未就学児童保護者用

武蔵野市子ども・子育て支援に関する アンケート調査

調査へのご協力をお願い

現在、武蔵野市では、平成 28 年度に一部見直しを実施した「第四次子どもプラン武蔵野」に基づき、子ども施策を計画的に進めています。この計画は、子ども・子育て支援法に基づく、「市町村子ども・子育て支援事業計画」を包含したものです。今年度より、次期「第五次子どもプラン武蔵野」の策定に着手するにあたり、新たにニーズ調査を行います。

この調査は、市内の就学前のお子さんのいる世帯を対象に、子ども・子育てに関する意識やニーズ等を把握するもので、就学前のお子さんのうち 1,400 人を無作為に選ばせていただきました。調査結果につきましては統計的に処理し、回答内容で個人が特定されるようなことは一切ありませんので、率直なご意見、お考えをお聞かせください。

子育て支援に関するニーズを把握するための、非常に重要な調査です。

お忙しいところ分量が多い調査で大変恐縮ですが、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成 30 年 10 月

武蔵野市長

松下 玲子

【ご記入にあたってのお願い】

- アンケートは、**お子さんの保護者の方が**記入してください。(無記名ですので、氏名・住所を記入する必要はありません)
- 特にことわりのある場合以外は、**封筒のあて名のお子さん**について記入してください。
- 回答は、**選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、数字などを記入していただく場合があります。**○をつけていただく場合は、該当する番号に○をつけてください。
- 回答くださる際に「**その他**」をお選びいただいた場合は、その後にある()内に**具体的な内容**を記入してください。
- 前の設問への回答によっては、次の設問に回答していただく必要がなくなる場合がありますので、**ことわり書き**に従って回答してください。特にことわりのない場合は次の設問にお進みください。
- 全ての設問への記入が済みましたら、お手数ですが、同封の返信用封筒に入れて、**10月29日(月)**までに郵便ポストに入れてください。切手は不要です。
- ご不明な点がございましたら、お手数ですが下記までお問い合わせ下さい。

武蔵野市子ども家庭部子ども政策課 担当:金子・平塚・長坂 電話0422-60-1851

お住まいの地域についておうかがいします。

問1 お住まいの地区はどこですか。(〇は1つ)

- | | | | |
|---------|---------|--------|-------|
| 1 吉祥寺東町 | 5 吉祥寺北町 | 9 八幡町 | 13 桜堤 |
| 2 吉祥寺南町 | 6 中町 | 10 関前 | |
| 3 御殿山 | 7 西久保 | 11 境 | |
| 4 吉祥寺本町 | 8 緑町 | 12 境南町 | |

封筒の宛名のお子さんご家族の状況についておうかがいします。

問2 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。

平成 _____ 年 _____ 月生まれ

問3 宛名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子のお子さんの生年月月をご記入ください。

お子さんの数 _____ 人 末子の生年月月 平成 _____ 年 _____ 月生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。(〇は1つ)

- | | | |
|------|------|-----------|
| 1 母親 | 2 父親 | 3 その他 () |
|------|------|-----------|

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(〇は1つ)

- | | |
|----------|-----------|
| 1 配偶者がいる | 2 配偶者がいない |
|----------|-----------|

問6 宛名のお子さんの身の回りの世話や子育て・家庭教育を主に行なっているのはどなたですか。宛名のお子さんから見た関係でお答えください。(〇は1つ)

- | | | |
|---------|---------|-----------|
| 1 父母ともに | 3 主に父親 | 5 その他 () |
| 2 主に母親 | 4 主に祖父母 | |

問7 宛名のお子さんとの居住の状況(同居・近居(1km以内)の別)についておうかがいします。宛名のお子さんから見た関係でお答えください。(当てはまるものすべてに〇)

- | | | |
|---------------|---------|---------------|
| 1 父母同居 | 4 祖父母同居 | 7 祖父近居(1km以内) |
| 2 父同居(ひとり親家庭) | 5 祖父同居 | 8 祖母近居(1km以内) |
| 3 母同居(ひとり親家庭) | 6 祖母同居 | 9 その他 () |

問9 日頃、宛名のお子さんを預かってもらえる親族・知人はいらっしゃいますか。
(当てはまるものすべてに○)

- 1 日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる
- 2 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる
- 3 日常的に子どもを預かってもらえる友人・知人がいる
- 4 緊急時もしくは用事の際には子どもを預かってもらえる友人・知人がいる
- 5 いずれもない

問10 今現在、宛名のお子さんについて、子育てに関して悩んでいることや気になることはありますか。
それはどのようなことですか。(当てはまるものすべてに○)

- 1 子どもとの時間が十分にとれないこと
- 2 子どものために必要なお金をかけてあげられないこと
- 3 子どもの育ち(健康・病気・発達・発育)に関すること
- 4 子どものしつけ、接し方に関すること
- 5 話し相手や相談相手がいないこと
- 6 仕事や自分のやりたいことが十分できないこと
- 7 子育てに関しての配偶者・パートナーの協力が少ないこと
- 8 配偶者・パートナーと子育てに関して意見が合わないこと
- 9 配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
- 10 子育てサークルや保育園、幼稚園での保護者同士の間関係に関すること
- 11 子育てによる疲れ(身体面・精神面)が大きいこと
- 12 その他()
- 13 悩んでいることはない

問11 宛名のお子さんの子育て・家庭教育をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------------------|-----------|
| 1 相談できる人も、相談できる場所もある | |
| 2 相談できる人はいないが、相談できる場所はある | ⇒ 問11-1 へ |
| 3 相談できる場所はないが、相談できる人はいる | |
| 4 相談できる人も、相談できる場所もない | ⇒ 問12 へ |

問11-1 問11で「1、2、3のいずれか」に○をつけた方におうかがいします。お子さんの子育て・家庭教育に関する相談先は誰(どこ)ですか。(当てはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|--------------------------|
| 1 配偶者・パートナー | 9 教育支援センター |
| 2 その他の親族(両親、兄弟など) | 10 地域療育相談室ハピットのスタッフ |
| 3 地域の知人・友人 | 11 コミセン親子ひろばのスタッフ |
| 4 職場の人 | 12 民生・児童委員、主任児童委員 |
| 5 地域の子育て支援施設等のスタッフ※ | 13 かかりつけ医 |
| 6 保育園・幼稚園の先生、職員 | 14 インターネット(掲示板・SNS・ブログ等) |
| 7 保健センター | 15 その他 [] |
| 8 子ども家庭支援センター | |

※地域の子育て支援施設等とは、0123施設、いこっと、すくすく泉、桜堤児童館、おもちゃのぐるりん、みずきっこ、みんなのとことこなどです。

問15 妊娠中、どのタイミングで（病院以外で）ちょっとした気持ちや不安、分からないことなどを相談できると良かったと思いましたか。（当てはまるものすべてに○）

- | | |
|---------------------------|---|
| 1 妊娠がわかったとき | |
| 2 母子健康手帳発行時 | |
| 3 産休に入る頃 | |
| 4 いつでも | |
| 5 その他（具体的に | ） |
| 6 妊娠中、相談できるとよかったと思ったことはない | |

問16 出産後、どのタイミングで（病院以外で）ちょっとした気持ちや不安、分からないことなどを相談できると良かったと思いましたか。（当てはまるものすべてに○）

- | | | |
|----------|---------------------------|-------|
| 1 出産退院後 | 6 いつでも | |
| 2 1か月健診後 | 7 その他 | （具体的に |
| 3 3～4か月頃 | | |
| 4 1歳 | | |
| 5 3歳 | 8 出産後、相談できるとよかったと思ったことはない | ） |

子育て支援サービスや地域子育て支援事業の利用状況についておうかがいします。

問17 武蔵野市で行なっている下記のサービスのうち、知っているものは次のうちどれですか。（当てはまるものすべてに○）

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 1 母親（父親）学級、両親学級、育児学級 | 6 境こども園 いこっこの相談事業 |
| 2 保健センターの相談事業 | 7 地域療育相談室ハビットの相談事業 |
| 3 子ども家庭支援センターの相談事業 | 8 子育て支援情報誌「すくすく」 |
| 4 0123施設の相談事業 | 9 子育て応援サイト「むさしのすくすくナビ」 |
| 5 すくすく泉の相談事業 | 10 ひとつも知らない |

問18 武蔵野市で行なっている下記のサービスのうち、今までに利用したことがあるものは次のうちどれですか。（当てはまるものすべてに○）

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 1 母親（父親）学級、両親学級、育児学級 | 6 境こども園 いこっこの相談事業 |
| 2 保健センターの相談事業 | 7 地域療育相談室ハビットの相談事業 |
| 3 子ども家庭支援センターの相談事業 | 8 子育て支援情報誌「すくすく」 |
| 4 0123施設の相談事業 | 9 子育て応援サイト「むさしのすくすくナビ」 |
| 5 すくすく泉の相談事業 | 10 ひとつも利用したことがない |

問18-1 問18で「10」（ひとつも利用したことがない）に○をつけた方におうかがいします。
今までに利用したことがない理由を具体的にお聞かせください。

（サービスの番号）	（理由）

問19 武蔵野市で行なっている下記のサービスのうち、今後、利用したいと思うものは次のうちどれですか。（当てはまるものすべてに○）

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 1 母親（父親）学級、両親学級、育児学級 | 6 境こども園 いこっこの相談事業 |
| 2 保健センターの相談事業 | 7 地域療育相談室ハビットの相談事業 |
| 3 子ども家庭支援センターの相談事業 | 8 子育て支援情報誌「すくすく」 |
| 4 0123施設の相談事業 | 9 子育て応援サイト「むさしのすくすくナビ」 |
| 5 すくすく泉の相談事業 | 10 ひとつも利用したいと思わない |

問19-1 問19で「1～9」に○をつけた方におうかがいします。
今後利用したい内容を具体的にお聞かせください。

（サービスの番号）	（理由）

問19-2 問19で「10」（ひとつも利用したいと思わない）に○をつけた方におうかがいします。
今後、利用したいと思わない理由を具体的にお聞かせください。

（サービスの番号）	（理由）

問20 宛名のお子さんは、現在、下記の子育て家庭を支援するための施設を利用していますか。
当てはまる施設の番号すべてに○をつけて、利用されている場合はおおよその利用回数（頻度）を
数字でご記入ください。

- | | | |
|----|---------------------------------------|----------------------|
| 1 | 0123 吉祥寺 | 1か月あたり_____回程度利用している |
| 2 | 0123 はらっぱ | 1か月あたり_____回程度利用している |
| 3 | 桜堤児童館 | 1か月あたり_____回程度利用している |
| 4 | 境こども園 いこっと | 1か月あたり_____回程度利用している |
| 5 | すくすく泉 | 1か月あたり_____回程度利用している |
| 6 | おもちゃのぐるりん | 1か月あたり_____回程度利用している |
| 7 | みずきっこ | 1か月あたり_____回程度利用している |
| 8 | みんなのとことこ | 1か月あたり_____回程度利用している |
| 9 | 幼稚園・保育園（あかちゃんのひろば、
プレママのひろば、園庭開放等） | 1か月あたり_____回程度利用している |
| 10 | コミセン（コミセン親子ひろば等） | 1か月あたり_____回程度利用している |
| 11 | テンミリオンハウス花時計・その他 | 1か月あたり_____回程度利用している |
| 12 | 現在、ひとつも利用していない | |

※「あかちゃんのひろば」とは、0歳児期のあかちゃんを子育てしている方が集えるひろばです。お母さん同士がおしゃべりを楽しみ、友達をつくったり、保育士に子育ての悩みを相談することができます。

※「プレママのひろば」とは、妊娠5ヶ月以上の妊婦の方を対象に出産後の育児がイメージできるように実際のあかちゃんを見てもらいながら、保育園職員と妊婦さん同士で交流する場です。

※「コミセン親子ひろば」とは、親子で自由に楽しく過ごせる遊び場です。乳幼児のおもちゃや遊具もあります。親同士でおしゃべりや情報交換したり、時には日ごろのちょっとした疑問や困っていることなど、市の子育て支援スタッフや先輩ママに聞くこともできます。

問20-1 現在利用していないが過去に利用したことがある施設、また、今までに利用したことがない施設の番号すべてに○をつけてください。

	現在利用していないが、過去に 利用したことがある施設	今まで一度も利用 したことがない施設
	↓	↓
(1) 0123 吉祥寺	1	1
(2) 0123 はらっぱ	2	2
(3) 桜堤児童館	3	3
(4) 境こども園 いこっと	4	4
(5) すくすく泉	5	5
(6) おもちゃのぐるりん	6	6
(7) みずきっこ	7	7
(8) みんなのとことこ	8	8
(9) 幼稚園・保育園（あかちゃんのひろば、 ブレママのひろば、園庭開放等）	9	9
(10) コミセン（コミセン親子ひろば等）	10	10
(11) テンミリオンハウス花時計・その他	11	11
(12) ひとつもない	12	12

問20-2 問20の施設をいずれかひとつでも「利用したことがない」方におうかがいします。今までに利用したことがない理由を具体的にお聞かせください。（例）近くにない、よく知らないなど

（施設の番号）	（理由）

問21 問20のような子育て家庭を支援するための施設について、「今は利用していないが、できれば今後利用したい」施設、また「すでに利用しているが、できれば今後利用回数を増やしたい」施設の番号すべてに○をつけて、1か月あたり希望するおおよその利用回数（頻度）を数字でご記入ください。

	現在利用していないが、できれば今後利用したい施設		すでに利用しているが、できれば今後利用回数を増やしたい施設	
	↓		↓	
(1) 0123 吉祥寺	1	1か月あたり__回希望	1	1か月あたり__回希望
(2) 0123 はらっぱ	2	1か月あたり__回希望	2	1か月あたり__回希望
(3) 桜堤児童館	3	1か月あたり__回希望	3	1か月あたり__回希望
(4) 境こども園 いこっと	4	1か月あたり__回希望	4	1か月あたり__回希望
(5) すくすく泉	5	1か月あたり__回希望	5	1か月あたり__回希望
(6) おもちゃのぐるりん	6	1か月あたり__回希望	6	1か月あたり__回希望
(7) みずきっこ	7	1か月あたり__回希望	7	1か月あたり__回希望
(8) みんなのとことこ	8	1か月あたり__回希望	8	1か月あたり__回希望
(9) 幼稚園・保育園（あかちゃんのひろば、プレママのひろば、園庭開放等）	9	1か月あたり__回希望	9	1か月あたり__回希望
(10) コミセン（コミセン親子ひろば等）	10	1か月あたり__回希望	10	1か月あたり__回希望
(11) テンミリオンハウス花時計・その他	11	1か月あたり__回希望	11	1か月あたり__回希望
(12) ひとつもない	12		12	

問21-1 問21でいずれかひとつでも「今後利用したいとは思わない」あるいはひとつでも「今後利用回数を増やしたいとは思わない」と思った施設があった方におうかがいします。

「今後、利用したいと思わない理由」、「今後利用回数を増やしたいとは思わない理由」を具体的にお聞かせください。

(施設の番号)	(理由)

※「あかちゃんのひろば」とは、0歳児期のあかちゃんを子育てしている方が集えるひろばです。お母さん同士がおしゃべりを楽しみ、友達をつくったり、保育士に子育ての悩みを相談することができます。

※「プレママのひろば」とは、妊娠5ヶ月以上の妊婦の方を対象に出産後の育児がイメージできるように実際のあかちゃんを見てもらいながら、保育園職員と妊婦さん同士で交流する場です。

※「コミセン親子ひろば」とは、親子で自由に楽しく過ごせる遊び場です。乳幼児のおもちゃや遊具もあります。親同士でおしゃべりや情報交換したり、時には日ごろのちょっとした疑問や困っていることなど、市の子育て支援スタッフや先輩ママに聞くこともできます。

問22 全員の方に「子育てひろば」についておうかがいします。

ここでいう「子育てひろば」とは、0123施設をはじめとする地域子育て支援拠点施設やコミセン親子ひろば等のような、乳幼児やその保護者同士で交流したり、子育てに関するちょっとした相談や地域の子育てに関する情報交換ができる場のことです。

「子育てひろば」は、ご自宅からどの範囲にあると良いと思いますか。（当てはまるもの1つに○）

- | | | | | |
|---|--------------------|---------------|-----|---|
| 1 | 歩いていける距離（（1）抱っこなどで | 分程度、（2）ベビーカーで | 分程度 | ） |
| 2 | 自転車でいける距離（自転車で | 分程度） | | |
| 3 | コミセンなどの地区単位 | | | |
| 4 | その他（具体的に | | | ） |

問22-1 「子育てひろば」に希望する開設形態はどのようなものですか。（当てはまるもの1つに○）

- | | | |
|---|--------------|---|
| 1 | ほぼ毎日（週に5～6日） | |
| 2 | 週に2～3回 | |
| 3 | 週に1回 | |
| 4 | その他（具体的に | ） |

問22-2 「子育てひろば」に対するご意見をご自由にお書きください。

--

問23 普段利用している公園はどこですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|---|---------|---|
| 1 | （公園名 | ） |
| 2 | 利用していない | |

問23-1 公園で子どもと一緒にできる（したい）活動はありますか。

--

問23-2 公園に求めることはどんなことですか。

--

宛名のお子さんの保護者の就労状況についておうかがいします。

問24 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をおうかがいします。

(1) 母親の就労状況 【父子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

1 フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	⇒ (1) -1 へ
2 フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	
3 パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	
4 パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	
5 以前は就労していたが、現在は就労していない	⇒ (2) へ
6 これまで就労したことがない	

(1) -1 (1) で「1～4」（就労している）に○をつけた方におうかがいします。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、「家を出る時刻」、「帰宅時刻」をお答えください。就労日数や就労時間、家を出る時刻や帰宅時刻が一定でない場合は、もっともよくあるパターンでお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、（例）8時～18時のように、24時間制でお答えください。

1週当たりの就労日数 _____ 日	1日あたりの就労時間 _____ 時間
家を出る時刻 _____ 時	帰宅する時刻 _____ 時

(2) 父親の就労状況 【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

1 フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	⇒ (2) -1 へ
2 フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	
3 パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	
4 パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	
5 以前は就労していたが、現在は就労していない	⇒問27へ
6 これまで就労したことがない	

- (2) -1 (2)で「1～4」(就労している)に○をつけた方におうかがいします。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」、「家を出る時刻」、「帰宅時刻」をお答えください。就労日数や就労時間、家を出る時刻や帰宅時刻が一定でない場合は、もっともよくあるパターンでお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、(例)8時～18時のように、24時間制でお答えください。

1週当たりの就労日数	_____日	1日あたりの就労時間	_____時間
家を出る時刻	_____時	帰宅する時刻	_____時

問25 問24の(1)または(2)で「1、2」(フルタイムで就労している)に○をつけた方におうかがいします。該当しない方は、問26へお進みください。

パート・アルバイト等(「フルタイム以外」)への転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親 【父子家庭の場合は記入は不要です】

1 ある (理由 _____)
2 ない

(2) 父親 【母子家庭の場合は記入は不要です】

1 ある (理由 _____)
2 ない

問26 問24の(1)または(2)で「3、4」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方におうかがいします。該当しない方は、問27へお進みください。

フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親 【父子家庭の場合は記入は不要です】

1 フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2 フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3 パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4 パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて、子育てや家事に専念したい

(2) 父親 【母子家庭の場合は記入は不要です】

1 フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2 フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3 パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4 パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて、子育てや家事に専念したい

問27 問24の(1)または(2)で「5以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6これまで就労したことがない」に○をつけた方におうかがいします。該当しない方は、問29へお進みください。

就労したいという希望はありますか。当てはまる番号それぞれ1つに○をつけ、該当する線の上には数字をご記入ください。

(1) 母親 【父子家庭の場合は記入は不要です】

- | | |
|---------------------------------------|---|
| 1 就労の予定はない | |
| 2 1年より先、一番下の子どもが _____ 歳になったところに就労したい | |
| 3 すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい | |
| ↳希望する就労形態 | 1 フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労) |
| | 2 パートタイム、アルバイト等(「1のフルタイム」以外) |
| | ↳ 1週当たり _____ 日 1日当たり _____ 時間 程度就労希望 |

(2) 父親 【母子家庭の場合は記入は不要です】

- | | |
|---------------------------------------|---|
| 1 就労の予定はない | |
| 2 1年より先、一番下の子どもが _____ 歳になったところに就労したい | |
| 3 すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい | |
| ↳希望する就労形態 | 1 フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労) |
| | 2 パートタイム、アルバイト等(「1のフルタイム」以外) |
| | ↳ 1週当たり _____ 日 1日当たり _____ 時間 程度就労希望 |

問28 問24の(1)または(2)で「5以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6これまで就労したことがない」に○をつけた方におうかがいします。該当しない方は、問29へお進みください。

就労の形態でなくても、地域や社会と繋がる仕事がしたい(ボランティア、サークル活動など)という希望はありますか。当てはまる番号それぞれ1つに○をつけてください。

(1) 母親 【父子家庭の場合は記入は不要です】

- | | | |
|------|-------|---------------------|
| 1 はい | 2 いいえ | 3 その他 (具体的に _____) |
|------|-------|---------------------|

(2) 父親 【母子家庭の場合は記入は不要です】

- | | | |
|------|-------|---------------------|
| 1 はい | 2 いいえ | 3 その他 (具体的に _____) |
|------|-------|---------------------|

宛名のお子さんの母親のことについておうかがいします。

問29 宛名のお子さんの出産前後（前後それぞれ1年以内）に離職をしましたか。（○は1つ）

- | | | |
|---------------------|---|---------|
| 1 離職した ⇒ 問29-1 へ |] | ⇒ 問30 へ |
| 2 継続的に働いていた（転職も含む） | | |
| 3 出産1年前にすでに働いていなかった | | |

問29-1 問29で「1 離職した」とお答えになった方におうかがいします。

仕事と家庭の両立を支援する保育サービスや環境が整っていたら、就労を継続しましたか。
次の中から最も近い考えの番号1つに○をつけてください。（○は1つ）

- | |
|---|
| 1 保育サービスが確実に利用できる見込みがあれば、継続して就労していた |
| 2 職場において育児休業制度等の仕事と家庭の両立支援制度が整い、働き続けやすい環境が整っていれば、継続して就労していた |
| 3 保育サービスと職場の両立支援環境がどちらも整っていれば、継続して就労していた |
| 4 家族の考え方（親族の理解が得られる）等就労する環境が整っていれば、継続して就労していた |
| 5 子育てや家事に専念したいのでやめていた |
| 6 その他（ ） |

宛名のお子さんの平日の「定期的」な教育・保育事業の利用状況についておうかがいします。

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。

具体的には、幼稚園や保育所など、問30-1に示した事業が含まれます。

問30 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。
(○は1つ)

1 利用している ⇒ 問30-1へ 2 利用していない ⇒ 問30-6へ

問30-1 問30-1～問30-5は、問30で「1 利用している」に○をつけた方におうかがいします。
宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」
利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 幼稚園
(通常の就園時間の利用)
- 2 幼稚園(預かり保育を利用)
(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)
- 3 認可保育所
(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの)
- 4 認定こども園
(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)
- 5 小規模保育施設
(国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のもの)
- 6 家庭的保育(保育ママ)
(保育者の家庭等で子どもを保育する事業)
- 7 事業所内保育施設
(企業が主に従業員用に運営する施設)
- 8 東京都の認証保育所
(認可保育所ではないが、東京都が認証した施設)
- 9 企業主導型保育施設
(企業が従業員の働き方に応じた柔軟な保育サービスを提供するために設置する保育施設や、
地域の企業が共同で設置・利用する保育施設)
- 10 ベビーホテルなどその他の認可外の保育施設
- 11 居宅訪問型保育
(ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)
- 12 ファミリー・サポート・センター
(地域住民が子どもを預かる事業)
- 13 定曜日保育等の定期利用保育事業
- 14 民間のスクール(英語教育など)
- 15 その他()

問30-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業については、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、具体的な数字でご記入ください。時間は、（例）9時～18時のように、24時間制でご記入ください。

（1）選択した事業の番号【 】 * 問30-1で○を付けた事業番号を【 】内にご記入ください

現在は、

1週当たりの利用日数	_____ 日	1日あたりの利用時間	_____ 時間	(_____ 時～	_____ 時)
------------	---------	------------	----------	---	----------	----------

希望は、

1週当たりの利用日数	_____ 日	1日あたりの利用時間	_____ 時間	(_____ 時～	_____ 時)
------------	---------	------------	----------	---	----------	----------

（2）選択した事業の番号【 】 * 問30-1で○を付けた事業番号を【 】内にご記入ください

現在は、

1週当たりの利用日数	_____ 日	1日あたりの利用時間	_____ 時間	(_____ 時～	_____ 時)
------------	---------	------------	----------	---	----------	----------

希望は、

1週当たりの利用日数	_____ 日	1日あたりの利用時間	_____ 時間	(_____ 時～	_____ 時)
------------	---------	------------	----------	---	----------	----------

（3）選択した事業の番号【 】 * 問30-1で○を付けた事業番号を【 】内にご記入ください

現在は、

1週当たりの利用日数	_____ 日	1日あたりの利用時間	_____ 時間	(_____ 時～	_____ 時)
------------	---------	------------	----------	---	----------	----------

希望は、

1週当たりの利用日数	_____ 日	1日あたりの利用時間	_____ 時間	(_____ 時～	_____ 時)
------------	---------	------------	----------	---	----------	----------

問30-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所はどちらになりますか。（○は1つ）

1 市内	2 他の市区町村	3 市内と他の市区町村の両方
------	----------	----------------

問30-4 現在、利用している教育・保育事業に満足していますか。（○は1つ）

1 満足している（理由	_____）
2 満足していない（理由	_____）

問30-5 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についておうかがいします。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 子どもの教育や発達のため
- 2 子育て・家庭教育をしている方が現在就労している
- 3 子育て・家庭教育をしている方に就労予定がある／求職中である
- 4 子育て・家庭教育をしている方が家族・親族などを介護している
- 5 子育て・家庭教育をしている方が病気や障害がある
- 6 子育て・家庭教育をしている方が学生である
- 7 その他（)

問30-6 問30で「2 利用していない」に○をつけた方におうかがいします。
平日に定期的な教育・保育事業を利用していない理由として、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 (子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない
- 2 子どもの祖父母や親戚の人がみている
- 3 近所の人や父母の友人・知人がみている
- 4 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない
- 5 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
- 6 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
- 7 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
- 8 子どもが小さいうちは育児(子育て・家庭教育)に専念したい
↳ (____歳くらいになったら利用しようと考えている)
- 9 その他（)

問31 すべての方におうかがいします。

現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。（当てはまるものすべてに○）

- 1 幼稚園
（通常の就園時間の利用）
- 2 幼稚園（預かり保育を利用）
（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）
- 3 認可保育所
（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの）
- 4 認定こども園
（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）
- 5 小規模保育施設
（国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のもの）
- 6 家庭的保育（保育ママ）
（保育者の家庭等で子どもを保育する事業）
- 7 事業所内保育施設
（企業が主に従業員用に運営する施設）
- 8 東京都の認証保育所
（認可保育所ではないが、東京都が認証した施設）
- 9 企業主導型保育施設
（企業が従業員の働き方に応じた柔軟な保育サービスを提供するために設置する保育施設や、地域の企業が共同で設置・利用する保育施設）
- 10 ベビーホテルなどその他の認可外の保育施設
- 11 居宅訪問型保育
（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業）
- 12 ファミリー・サポート・センター
（地域住民が子どもを預かる事業）
- 13 定曜日保育等の定期利用保育事業
- 14 民間のスクール（英語教育など）
- 15 その他（ _____ ）

問31-1 教育・保育事業を利用したい場所はどちらになりますか。（○は1つ）

- | | | |
|------|-------------------|----------------|
| 1 市内 | 2 他の市区町村（職場の近くなど） | 3 市内と他の市区町村の両方 |
|------|-------------------|----------------|

問31-2 問31で「1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ3～15にも○をつけた方にうかがいます。特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。

- | | |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

問31-3 幼児教育・保育の無償化実施に伴い、現在利用している、又は利用したい施設を変更する予定はありますか。

- | | |
|------|---------------------------------------|
| 1 ない | 2 ある |
| | 現在利用している、又は利用したい施設… 上記1～15のうちの _____ |
| | ↓ |
| | 幼児教育・保育の無償化後に利用したい施設…上記1～15のうちの _____ |

※「幼児教育・保育の無償化」とは、平成31年（2019年）10月から、3歳から5歳までの子どもたちが利用する幼稚園、保育所、認定こども園の費用の全部または一部を無償化する国の取組みです。

宛名のお子さんの土曜・休日や長期休業中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についておうかがいします。

問32 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯と利用したい理由をご記入ください。（例）時間帯は9時～18時のように24時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※保育・教育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

（1）土曜日

<ul style="list-style-type: none">1 利用する必要はない2 ほぼ毎週利用したい3 月に1～2回は利用したい	⇒	利用したい時間帯 _____ 時から _____ 時まで 利用したい理由（ _____ ）
--	---	---

（2）日曜日・祝日

<ul style="list-style-type: none">1 利用する必要はない2 ほぼ毎週利用したい3 月に1～2回は利用したい	⇒	利用したい時間帯 _____ 時から _____ 時まで 利用したい理由（ _____ ）
--	---	---

問33 「幼稚園」を利用されている方におうかがいします。

宛名のお子さんの夏休み・冬休みなど長期休業期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）9時～18時のように24時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

<ul style="list-style-type: none">1 利用する必要はない2 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい3 休みの期間中、週に数日利用したい	⇒	利用したい時間帯 _____ 時から _____ 時まで
---	---	---------------------------------

**宛名のお子さんの病気の際の対応についておうかがいします。
(平日の教育・保育を利用する方のみ)**

問34 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問30で1に○をつけた方）におうかがいします。利用していらっしゃらない方は、問35にお進みください。
この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育が利用できなかったことはありますか。（○は1つ）

1 あった	⇒ 問34-1 へ	2 なかった	⇒ 問35 へ
-------	-----------	--------	---------

問34-1 宛名のお子さんが病気やけがで学校を休んだり、普段利用している教育・保育が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。）

1年間の対処方法	⇒	日数
1 父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた	⇒	日
2 父親が休んだ	⇒	日
3 母親が休んだ	⇒	日
4 (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	⇒	日
5 病児・病後児の保育を利用した	⇒	日
6 ベビーシッターを利用した	⇒	日
7 ファミリー・サポート・センターを利用した	⇒	日
8 仕方なく子どもだけで留守番させた	⇒	日
9 その他 ()	⇒	日

【問34-1 で「2」「3」のいずれかに回答した方におうかがいします。】

問34-2 その際、「できれば病児・病後児を預けられる施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても()内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要です。

1 できれば病児・病後児を預けられる施設等を利用したい	⇒ ()日	⇒ 問35へ
2 利用したいとは思わない		⇒ 問34-3へ

問34-3 問34-2で「利用したいと思わない」に○をつけた方におうかがいします。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安	5 利用料がわからない
2 地域の事業の質に不安がある	6 保護者が仕事を休んで対応するべき
3 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間 日数など）がよくない	7 利用したいときに順番待ちで利用できない
4 利用料がかかる・高い	8 その他 ()

⇒ 問35へ

問34-4へ

【問34-1 で「4」から「9」のいずれかに回答した方におうかがいします。】

問34-4 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んでみたい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、「4」から「9」の日数のうち仕事を休んで見たかった日数についても数字でご記入ください。

1	できれば仕事を休んでみたい ⇒ () 日
2	休んで見ることは非常に難しい

⇒ 問35へ
⇒ 問34-5へ

問34-5 問34-4で「2休んで見ることは非常に難しい」に○をつけた方におうかがいします。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1	子どもの看護を理由に休みがとれない	3	休暇日数が足りないので休めない
2	自営業なので休めない	4	その他 ()

宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についておうかがいします。

【全員の方におうかがいします】

問35 宛名のお子さんについて、保護者の通院、不定期の就労、その他私用のために不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も数字でご記入ください。

利用している事業	利用している日数（年間）
1 一時預かり （私用など理由を問わずに一時的に子どもを保育する事業）	日
2 幼稚園の預かり保育 （通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ）	日
3 ファミリー・サポート・センター （地域住民が子どもを預かる事業）	日
4 夜間養護等事業：トワイライトステイ （児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業）	日
5 ベビーシッター	日
6 その他 ()	日
7 利用していない	

⇒ 問36へ

【問35 で「7 利用していない」と回答した方におうかがいします。】

問35-1 現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1	特に利用する必要がない	6	利用料がわからない
2	利用したい事業が地域にない	7	自分が事業の対象になるのかどうか わからない
3	地域の事業の質に不安がある	8	事業の利用方法（手続き等）がわからない
4	地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・ 日数など）がよくない	9	その他 ()
5	利用料がかかる・高い		

問36 宛名のお子さんについて、私用、保護者の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい一時預かり等の事業を利用したいと思いますか。利用希望の有無について、当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要と思われる日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を数字でご記入ください。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。）

1 利用したい	合計	日
ア 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や保護者の習い事等）、リフレッシュ目的 ⇒		日
イ 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や保護者の通院 等 ⇒		日
ウ 不定期の就労 ⇒		日
エ その他（ ） ⇒		日
2 利用する必要はない・利用したいと思わない		

問37 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も数字でご記入ください。

	この1年間の対処方法	日数
1 あった	ア （同居者を含む）親族・知人にみてもらった ⇒	泊
	イ 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業） ⇒	泊
	ウ 「イ」以外の保育事業（ベビーシッター等）を利用した ⇒	泊
	エ 仕方なく子どもを同行させた ⇒	泊
	オ 仕方なく子どもだけで留守番をさせた ⇒	泊
	カ その他（ ） ⇒	泊
2 なかった		

【問37 で「1 あった ア（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」と回答した方におうかがいします。】
⇒「ア」以外を選択した方は 問38へ

問37-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1 非常に困難	2 どちらかという困難	3 特に困難ではない
---------	-------------	------------

来年4月に小学校へ入学する予定のお子さんを持つ保護者の方におうかがいします。

【来年4月に小学校へ入学する予定のお子さんがいない方は 問42へ】

問38 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、学童クラブの場合は、利用を希望する時間も数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。

「学童クラブ」…保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。学童保育とも呼ばれ、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

「地域子ども館あそべえ」…小学校施設を利用した、放課後・土曜日、長期休業中等の子どもたちの居場所づくり、異年齢交流を目的とした事業です。保護者の就労状況に関わらず、市内のすべての小学生が利用できます。

1 自宅	週_____日くらい
2 祖父母宅や友人・知人宅	週_____日くらい
3 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週_____日くらい
4 地域子ども館あそべえ	週_____日くらい
5 学童クラブ	週_____日くらい → 下校時から_____時まで
6 ファミリー・サポート・センター （地域住民が子どもを預かる事業）	週_____日くらい
7 コミュニティセンター	週_____日くらい
8 桜堤児童館	週_____日くらい
9 その他（公園など）	週_____日くらい

問39 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。また、学童クラブの場合は、利用を希望する時間も数字でご記入ください。時間は、必ず（例）18時 のように24時間制でご記入ください

1 自宅	週_____日くらい
2 祖父母宅や友人・知人宅	週_____日くらい
3 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週_____日くらい
4 地域子ども館あそべえ	週_____日くらい
5 学童クラブ	週_____日くらい → 下校時から_____時まで
6 ファミリー・サポート・センター （地域住民が子どもを預かる事業）	週_____日くらい
7 コミュニティセンター	週_____日くらい
8 桜堤児童館	週_____日くらい
9 その他（公園など）	週_____日くらい

問40 問38または問39で「5学童クラブ」に○をつけた方におうかがいします。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、学童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。(1)(2)それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけ、利用したい時間帯と利用したい理由をご記入ください。(例)時間帯は9時～18時 のように24時間制でご記入ください。

(1) 土曜日

1 低学年(1～3年生)の間は利用したい	}	利用したい時間帯 ()時から ()時まで
2 高学年(4～6年生)になっても利用したい		利用したい理由 ()
3 利用する必要はない		

(2) 日曜日・祝日

1 低学年(1～3年生)の間は利用したい	}	利用したい時間帯 ()時から ()時まで
2 高学年(4～6年生)になっても利用したい		利用したい理由 ()
3 利用する必要はない		

問41 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期休業期間中の学童クラブ利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号1つに○をつけ、利用したい時間帯と利用したい理由をご記入ください。(例)9時～18時 のように24時間制でご記入ください。

1 低学年(1～3年生)の間は利用したい	}	利用したい時間帯 ()時から ()時まで
2 高学年(4～6年生)になっても利用したい		利用したい理由 ()
3 利用する必要はない		

**すべての方に、育児休業などの仕事と子育ての両立支援制度について
おうかがいします。**

⇒ 自営業の方は問43へ

問42 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、取得していない方はその理由の番号をすべてご記入ください。

母親（いずれか1つに○）	父親（いずれか1つに○）
1 働いていなかった 2 取得した（取得中である） 3 取得していない ⇒ 取得していない理由（下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも）	1 働いていなかった 2 取得した（取得中である） 3 取得していない ⇒ 取得していない理由（下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも）

- 1 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
- 2 仕事が忙しかった
- 3 （産休後に）仕事に早く復帰したかった
- 4 仕事に戻るのが難しそうだった
- 5 昇給・昇格などが遅れそうだった
- 6 収入減となり、経済的に苦しくなる
- 7 保育所（園）などに預けることができた
- 8 配偶者が育児休業制度を利用した
- 9 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
- 10 子育てや家事に専念するため退職した
- 11 職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
- 12 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
- 13 育児休業を取得できることを知らなかった
- 14 産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を取得できることを知らず、退職した
- 15 その他（ ）

問42-1 問42で「2 取得した（取得中である）」と回答した方におうかがいします。【該当しない方は、問43へ】
育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

（1）母親

- 1 育児休業取得後、職場に復帰した
- 2 現在も育児休業中である
- 3 育児休業中に離職した

（2）父親

- 1 育児休業取得後、職場に復帰した
- 2 現在も育児休業中である
- 3 育児休業中に離職した

問42-2 問42-1「1 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方におうかがいします。

【該当しない方は、問43へ】

育児休業から、実際にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があったら、希望としては、お子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。該当欄に数字でご記入ください。

(1) 母親

実際の取得期間	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> ヶ月	希望	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> ヶ月
---------	--	----	--

(2) 父親

実際の取得期間	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> ヶ月	希望	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> ヶ月
---------	--	----	--

【全員の方におうかがいします】

問43 仕事と子育てを両立させる上で大変だと思うことはなんですか。(当てはまるものすべてに○)

<p>1 当日急に残業がはいってしまうことが多いこと</p> <p>2 自分が病気・けがをした時や子どもが急に病気になった時に代わりに面倒をみってくれる人がいないこと</p> <p>3 働くことについて配偶者・家族の理解が得られないこと</p> <p>4 子育てしながら働くことについて職場の理解が得られないこと</p> <p>5 子どものほかに身の回りの世話をしなければならない人がいること</p> <p>6 保育園など子どもを預ける場所が見つからないこと</p> <p>7 子どもと接する時間が少ないこと</p> <p>8 日々の子どもの成長が見えづらいこと</p> <p>9 子育てサークルなど、子どもを中心としたコミュニティ活動に参加しづらいこと</p> <p>10 その他 ()</p> <p>11 仕事と子育てを両立させる上で大変だと思うことはひとつもない</p>

問44 市の子育て環境や支援への満足度について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

満足度が低い	←	→	満足度が高い	
1	2	3	4	5

問45 最後に、子育て環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>

以上でアンケートは終了です。ご協力誠にありがとうございました。
ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れて
平成30年10月29日(月)までにご投函ください。

小学生児童保護者用

武蔵野市子ども・子育て支援に関する アンケート調査

調査へのご協力をお願い

現在、武蔵野市では、平成 28 年度に一部見直しを実施した「第四次子どもプラン武蔵野」に基づき、子ども施策を計画的に進めています。この計画は、子ども・子育て支援法に基づく、「市町村子ども・子育て支援事業計画」を包含したものです。今年度より、次期「第五次子どもプラン武蔵野」の策定に着手するにあたり、新たにニーズ調査を行います。

この調査は、市内の小学生のお子さんのいる世帯を対象に、子ども・子育てに関する意識やニーズ等を把握するもので、小学生のお子さんのうち 1,200 人を無作為に選ばせていただきました。調査結果につきましては統計的に処理し、回答内容で個人が特定されるようなことは一切ありませんので、率直なご意見、お考えをお聞かせください。

子育て支援に関するニーズを把握するための、非常に重要な調査です。

お忙しいところ分量が多い調査で大変恐縮ですが、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成 30 年 10 月

武蔵野市長 **松下 玲子**

【ご記入にあたってのお願い】

- アンケートは、**お子さんの保護者の方が**記入してください。(無記名ですので、氏名・住所を記入する必要はありません)
- 特にことわりのある場合以外は、**封筒のあて名のお子さん**について記入してください。
- 回答は、**選択肢に○をつけて**お選びいただく場合と、**数字などを記入**していただく場合があります。○をつけていただく場合は、該当する番号に○をつけてください。
- 回答くださる際に「**その他**」をお選びいただいた場合は、その後にある()内に**具体的な内容**を記入してください。
- 前の設問への回答によっては、次の設問に回答していただく必要がなくなる場合がありますので、**ことわり書き**に従って回答してください。特にことわりのない場合は次の設問にお進みください。
- 全ての設問への記入が済みましたら、お手数ですが、同封の返信用封筒に入れて、**10月29日(月)**までに郵便ポストに入れてください。切手は不要です。
- ご不明な点がございましたら、お手数ですが下記までお問い合わせ下さい。

武蔵野市子ども家庭部子ども政策課 担当:金子・平塚・長坂 電話0422-60-1851

お住まいの地域についておうかがいします。

問1 お住まいの地区はどこですか。(○は1つ)

- | | | | |
|---------|---------|--------|-------|
| 1 吉祥寺東町 | 5 吉祥寺北町 | 9 八幡町 | 13 桜堤 |
| 2 吉祥寺南町 | 6 中町 | 10 関前 | |
| 3 御殿山 | 7 西久保 | 11 境 | |
| 4 吉祥寺本町 | 8 緑町 | 12 境南町 | |

封筒の宛名のお子さんご家族の状況についておうかがいします。

問2 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。

平成 年 月生まれ

問3 宛名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子のお子さんの生年月月をご記入ください。

お子さんの数 人 末子の生年月月 平成 年 月生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。(○は1つ)

- | | | |
|------|------|-----------|
| 1 母親 | 2 父親 | 3 その他 () |
|------|------|-----------|

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(○は1つ)

- | | |
|----------|-----------|
| 1 配偶者がいる | 2 配偶者がいない |
|----------|-----------|

問6 宛名のお子さんの身の回りの世話や子育て・家庭教育を主に行なっているのはどなたですか。宛名のお子さんから見た関係でお答えください。(○は1つ)

- | | | |
|---------|---------|-----------|
| 1 父母ともに | 3 主に父親 | 5 その他 () |
| 2 主に母親 | 4 主に祖父母 | |

問7 宛名のお子さんとの居住の状況(同居・近居(1km以内)の別)についておうかがいします。宛名のお子さんから見た関係でお答えください。(当てはまるものすべてに○)

- | | | |
|---------------|---------|---------------|
| 1 父母同居 | 4 祖父母同居 | 7 祖父近居(1km以内) |
| 2 父同居(ひとり親家庭) | 5 祖父同居 | 8 祖母近居(1km以内) |
| 3 母同居(ひとり親家庭) | 6 祖母同居 | 9 その他 () |

子どもの育ちをめぐる環境についておうかがいします。

【全員の方におうかがいします】

問9 日頃、宛名のお子さんを預かってもらえる親族・知人はいらっしゃいますか。
(当てはまるものすべてに○)

- 1 日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる
- 2 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる
- 3 日常的に子どもを預かってもらえる友人・知人がいる
- 4 緊急時もしくは用事の際には子どもを預かってもらえる友人・知人がいる
- 5 いずれもない

問10 今現在、宛名のお子さんについて、子育てに関して悩んでいることや気になることはありますか。
それはどのようなことですか。(当てはまるものすべてに○)

- 1 子どもとの時間が十分にとれないこと
- 2 子どものために必要なお金をかけてあげられないこと
- 3 子どもの育ち(健康・病気・発達・発育)に関すること
- 4 子どものしつけ、接し方に関すること
- 5 話し相手や相談相手がいないこと
- 6 仕事や自分のやりたいことが十分できないこと
- 7 子育てに関しての配偶者・パートナーの協力が少ないこと
- 8 配偶者・パートナーと子育てに関して意見が合わないこと
- 9 配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
- 10 子育てサークルや保育園、幼稚園での保護者同士の人間関係に関すること
- 11 子育てによる疲れ(身体面・精神面)が大きいこと
- 12 その他()
- 13 悩んでいることはない

問11 宛名のお子さんの子育て・家庭教育をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------------------|-----------|
| 1 相談できる人も、相談できる場所もある | ⇒ 問11-1 へ |
| 2 相談できる人はいないが、相談できる場所はある | |
| 3 相談できる場所はないが、相談できる人はいる | |
| 4 相談できる人も、相談できる場所もない | |

問11-1 問11で「1、2、3のいずれか」に○をつけた方におうかがいします。お子さんの子育て・家庭教育に関する相談先は誰(どこ)ですか。(当てはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------------------|--------------------------|
| 1 配偶者・パートナー | 8 教育支援センター |
| 2 その他の親族(両親、兄弟など) | 9 地域療育相談室ハピットのスタッフ |
| 3 地域の知人・友人 | 10 かかりつけ医 |
| 4 職場の人 | 11 民生・児童委員、主任児童委員 |
| 5 学童クラブ・地域子ども館あそべえ・桜堤
児童館のスタッフ | 12 インターネット(掲示板・SNS・ブログ等) |
| 6 小学校・中学校の先生 | 13 その他 () |
| 7 子ども家庭支援センター | |

【問11で「4 相談できる人も、相談できる場所もない」に○をつけた方におうかがいします】

問12 子育て・家庭教育をする上で、周囲（身近な人や市・施設の担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

問13 市の就学援助費制度（就学に係る経済的な支援制度）について知っていますか？

1 知っている

2 知らない

※ 経済的理由により就学困難と認められ、市内在住かつ市立・国公立小中学校に在籍する児童生徒の保護者のかたに、学用品費、給食費などの一部を援助する制度です（所得制限あり）。

毎年4月には、全ての児童・生徒のご家庭に対し、制度のご案内と申請書を配布しています。

宛名のお子さんの保護者の就労状況についておうかがいします。

【全員の方におうかがいします】

問14 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をおうかがいします。

(1) 母親の就労状況 【父子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号 1 つに ○ をつけてください。

1 フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	⇒ (1) -1 へ
2 フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	
3 パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	
4 パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	
5 以前は就労していたが、現在は就労していない	⇒ (2) へ
6 これまで就労したことがない	

(1) -1 (1) で「1～4」（就労している）に○をつけた方におうかがいします。週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、「家を出る時刻」、「帰宅時刻」をお答えください。就労日数や就労時間、家を出る時刻や帰宅時刻が一定でない場合は、もっともよくあるパターンでお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、（例）8時～18時のように、24時間制でお答えください。

1 週当たりの就労日数	⇒	<input type="text"/>	日
1日当たりの就労時間	⇒	<input type="text"/>	時間
家を出る時刻	⇒	<input type="text"/>	時
帰宅時刻	⇒	<input type="text"/>	時

(2) 父親の就労状況 【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号 1 つに ○ をつけてください。

1 フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	⇒ (2) -1 へ
2 フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	
3 パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	
4 パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	
5 以前は就労していたが、現在は就労していない	⇒ 問16 へ
6 これまで就労したことがない	

(2) - 1 (2)で「1~4」(就労している)に○をつけた方におうかがいします。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」、「家を出る時刻」、「帰宅時刻」をお答えください。就労日数や就労時間、家を出る時刻や帰宅時刻が一定でない場合は、もっとも多いパターンでお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、(例)8時~18時のように、24時間制でお答えください。

1週当たりの就労日数	⇒	<input type="text"/>	日
1日当たりの就労時間	⇒	<input type="text"/>	時間
家を出る時刻	⇒	<input type="text"/>	時
帰宅時刻	⇒	<input type="text"/>	時

問15 問14の(1)または(2)で「3」「4」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方におうかがいします。該当しない方は、問16へお進みください。

フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください

(1) 母親 【父子家庭の場合は記入は不要です】

- 1 フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
- 2 フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- 3 パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
- 4 パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて、子育てや家事に専念したい

(2) 父親 【母子家庭の場合は記入は不要です】

- 1 フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
- 2 フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- 3 パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
- 4 パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて、子育てや家事に専念したい

問16 問14の(1)または(2)で「5以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6これまで就労したことがない」に○をつけた方におうかがいします。該当しない方は、問18へお進みください。

就労したいという希望はありますか。当てはまる番号それぞれ1つに○をつけ、該当する()のなかには数字をご記入ください。

(1) 母親 【父子家庭の場合は記入は不要です】

- 1 就労の予定はない
- 2 1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい
- 3 すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
 - ↳ 希望する就労形態
 - ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
 - イ. パートタイム、アルバイト等(「ア.のフルタイム」以外)
 - ↳ 1週当たり()日/1日当たり()時間 程度就労希望

(2) 父親 【母子家庭の場合は記入は不要です】

1 就労の予定はない 2 1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になったところに就労したい 3 すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい ↳ 希望する就労形態 〔ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労） イ. パートタイム、アルバイト等（「ア. のフルタイム」以外） ↳ 1週当たり（ ）日／1日当たり（ ）時間 程度就労希望〕

問17 問14の(1)または(2)で「5以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6これまで就労したことがない」に○をつけた方におうかがいします。該当しない方は、問18へお進みください。

就労の形態でなくても、地域や社会と繋がる仕事がしたい（ボランティア、サークル活動など）という希望はありますか。（当てはまるもの1つに○）

(1) 母親 【父子家庭の場合は記入は不要です】

1 はい 2 いいえ 3 その他〔具体的に 〕
--

(2) 父親 【母子家庭の場合は記入は不要です】

1 はい 2 いいえ 3 その他〔具体的に 〕
--

宛名のお子さんの放課後の過ごし方についておうかがいします。

宛名のお子さんが小学校低学年（1～3年生）の方におうかがいします。

⇒ 宛名のお子さんが小学校高学年（4～6年生）の方は 問23へ

問18 宛名のお子さんは、現在、学童クラブを利用していますか。（○は1つ）

「学童クラブ」… 保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。

学童保育とも呼ばれ、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1 利用している（週 日くらい） ⇒ 問18-1へ 2 利用していない ⇒ 問18-2へ
--

問18-1 問18で学童クラブを「1利用している」と答えた理由をお聞かせください。（○は1つ）

お子さんの保護者が、 <ul style="list-style-type: none"> 1 現在就労している 2 就労予定である／休職中である 3 家族・親族などの介護をしなければならぬ 4 病気や障害がある 5 学生である 6 その他（ ）
--

⇒ 問19へ

問18-2 問18で学童クラブを「2利用していない」と答えた理由をお聞かせください。(○は1つ)

お子さんの保護者が、	1 現在就労していないから	
	2 就労しているが、学童クラブを知らなかったから	
	3 就労しているが、近くに学童クラブがないから	
	4 就労しているが、学童クラブに空きがないから	
	5 学童クラブを利用できる年齢を超えているから	
	6 就労しているが、学童クラブの開所時間が短いから	
	7 就労しているが、利用料がかかるから	
	8 就労しているが、子どもが習い事をしているから	
	9 就労しているが、短い時間なら子どもだけで大丈夫だと思うから	
	10 就労しているが、他の施設に預けているから	
	11 その他 ()	

問19 宛名のお子さんが小学校低学年(1～3年生)のうちは、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。学童クラブの場合には、利用を希望する時間も()の中に数字でご記入ください。時間は必ず(例)18時のように24時間制でご記入ください。

1 自宅	⇒	週	日くらい
2 祖父母宅や友人・知人宅	⇒	週	日くらい
3 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	⇒	週	日くらい
4 地域子ども館あそべえ	⇒	週	日くらい
5 学童クラブ	⇒	週	日くらい → 下校時から ()時まで
6 ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)	⇒	週	日くらい
7 コミュニティセンター	⇒	週	日くらい
8 桜堤児童館	⇒	週	日くらい
9 その他(公園など)	⇒	週	日くらい

問20 宛名のお子さんが小学校高学年(4～6年生)になったら、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。学童クラブの場合には、利用を希望する時間も()内に数字でご記入ください。時間は必ず(例)18時のように24時間制でご記入ください。

1 自宅	⇒	週	日くらい
2 祖父母宅や友人・知人宅	⇒	週	日くらい
3 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	⇒	週	日くらい
4 地域子ども館あそべえ	⇒	週	日くらい
5 学童クラブ	⇒	週	日くらい → 下校時から ()時まで
6 ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)	⇒	週	日くらい
7 コミュニティセンター	⇒	週	日くらい
8 桜堤児童館	⇒	週	日くらい
9 その他(公園など)	⇒	週	日くらい

問21 問19または問20で「5 学童クラブ」に○をつけた方におうかがいします。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、学童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。(1) (2) それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけ、利用したい時間帯と利用したい理由をご記入ください。(例) 時間帯は9時～18時 のように24時間制でご記入ください。

(1) 土曜日

1 低学年(1～3年生)の間は利用したい	}	利用したい時間帯 ()時から ()時まで
2 高学年(4～6年生)になっても利用したい		利用したい理由 ()
3 利用する必要はない		

(2) 日曜・祝日

1 低学年(1～3年生)の間は利用したい	}	利用したい時間帯 ()時から ()時まで
2 高学年(4～6年生)になっても利用したい		利用したい理由 ()
3 利用する必要はない		

問22 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期休業期間中の学童クラブ利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号1つに○をつけ、利用したい時間帯と利用したい理由をご記入ください。(例) 9時～18時 のように24時間制でご記入ください。

1 低学年(1～3年生)の間は利用したい	}	利用したい時間帯 ()時から ()時まで
2 高学年(4～6年生)になっても利用したい		利用したい理由 ()
3 利用する必要はない		

【全員の方におうかがいします】

問23 『地域子ども館あそべえ』についておうかがいします。あて名のおさんは『地域子ども館あそべえ』を利用したことがありますか。

1 利用している	週 ()日くらい	⇒ 問23-1 へ
2 以前は利用していたが、現在は利用していない	}	⇒ 問23-2 へ
3 いままで一度も利用していない		

【問23で『地域子ども館あそべえ』を「1利用している」と回答した方におうかがいします】

問23-1 『地域子ども館あそべえ』を利用する理由をお聞かせください。（複数回答可）

1 校庭で遊べる	4 ゲームで遊ぶことができる
2 工作ができる	5 スタッフの見守りで安全に過ごせる
3 本や漫画を読むことができる	6 その他（)

【問23で『地域子ども館あそべえ』を「2 以前は利用していたが、現在は利用していない」、
「3 いままで一度も利用していない」と回答した方におうかがいします】

問23-2 『地域子ども館あそべえ』を利用しない理由をお聞かせください。（複数回答可）

1 塾や習い事で忙しい	4 やってみたい遊びや参加してみたいイベントがない
2 自宅や友人宅で過ごしている	5 安心して過ごすことができない
3 一緒に遊ぶ友達がいない	6 その他（)

【全員の方におうかがいします】

問24 『地域子ども館あそべえ』で実施して欲しいプログラムをお聞かせください。（複数回答可）

1 自然観察	4 工作
2 スポーツ	5 学習
3 音楽	6 その他（)

問25 普段利用している公園はどこですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1 (公園名)
2 利用していない

問25-1 公園で子どもと一緒にできる(したい)活動はありますか。

--

問25-2 公園に求めることはどんなことですか。

--

宛名のお子さんの病気の際の対応についておうかがいします。

問26 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで学校を休んだり、学童クラブなどの事業が利用できなかったりしたことはありますか。

1 あった	⇒ 問26-1へ	2 なかった	⇒ 問27へ
-------	----------	--------	--------

問26-1 宛名のお子さんが病気やケガで学校を休んだり、普段利用している学童クラブを利用できなかったりした場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。）

1年間の対処方法	日数
1 父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた ⇒	日
2 父親が休んだ ⇒	日
3 母親が休んだ ⇒	日
4 (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった ⇒	日
5 病児・病後児の保育を利用した ⇒	日
6 ベビーシッターを利用した ⇒	日
7 ファミリー・サポート・センターを利用した ⇒	日
8 仕方なく子どもだけで留守番させた ⇒	日
9 その他 () ⇒	日

【問26-1で「2」「3」のいずれかに回答した方におうかがいします。】

問26-2 その際、「できれば病児・病後児を預けられる施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても()内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要です。

1 できれば病児・病後児を預けられる施設等を利用したい ⇒ ()日	⇒ 問27へ
2 利用したいとは思わない	⇒ 問26-3へ

問26-3 問26-2で「利用したいと思わない」に○をつけた方におうかがいします。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安	5 利用料がわからない
2 地域の事業の質に不安がある	6 保護者が仕事を休んで対応するべき
3 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間 日数など）がよくない	7 利用したいときに順番待ちで利用できない
4 利用料がかかる・高い	8 その他()

⇒ 問27へ

問26-4へ

【問26-1 で「4」から「9」のいずれかに回答した方におうかがいします。】

問26-4 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、「4」から「9」の日数のうち仕事を休んで看たかった日数についても数字でご記入ください。

1 できれば仕事を休んで看たい ⇒ () 日	⇒ 問27へ
2 休んで看ることは非常に難しい	⇒ 問26-5へ

問26-5 問26-4で「2休んで看ることは非常に難しい」に○をつけた方におうかがいします。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1 子どもの看護を理由に休みがとれない	3 休暇日数が足りないので休めない
2 自営業なので休めない	4 その他 ()

宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についておうかがいします。

【全員の方におうかがいします】

問27 宛名のお子さんについて、保護者の通院、不定期の就労、その他私用のために不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も数字でご記入ください。

利用している事業	利用している日数（年間）	
1 一時預かり （私用など理由を問わずに一時的に子どもを保育する事業）	日	⇒ 問28へ
2 ファミリー・サポート・センター （地域住民が子どもを預かる事業）	日	
3 夜間養護等事業：トワイライトステイ （児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業）	日	
4 ベビーシッター	日	
5 その他 ()	日	
6 利用していない		

【問27 で「6 利用していない」と回答した方におうかがいします。】

問27-1 現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1 特に利用する必要がない	6 利用料がわからない
2 利用したい事業が地域にない	7 自分が事業の対象者になるのかどうか わからない
3 地域の事業の質に不安がある	8 事業の利用方法（手続き等）がわからない
4 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・ 日数など）がよくない	9 その他 ()
5 利用料がかかる・高い	

【全員の方におうかがいします】

問28 宛名のお子さんについて、私用、保護者の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい一時預かり等の事業を利用することがあると思いますか。利用希望の有無について、当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要と思われる日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を数字でご記入ください。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。）

1 利用したい	合計	日
ア 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や保護者の習い事等）、リフレッシュ目的 ⇒		日
イ 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や保護者の通院 等 ⇒		日
ウ 不定期の就労 ⇒		日
エ その他（ ⇒		日
2 利用する必要はない・利用したいと思わない		

問29 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も数字でご記入ください。

	この1年間の対処方法	日数
1 あった	ア （同居者を含む）親族・知人にみてもらった ⇒	泊
	イ 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業） ⇒	泊
	ウ 「イ」以外の保育事業（ベビーシッター等）を利用した ⇒	泊
	エ 仕方なく子どもを同行させた ⇒	泊
	オ 仕方なく子どもだけで留守番をさせた ⇒	泊
	カ その他（ ） ⇒	泊
2 なかった		

【問29 で「1 あった ア（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」と回答した方におうかがいします。】

⇒「ア」以外を選択した方は 問30 へ

問29-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1 非常に困難	2 どちらかというと困難	3 特に困難ではない
---------	--------------	------------

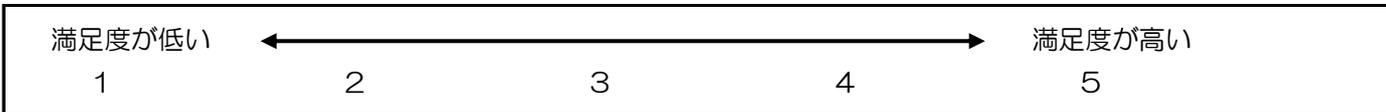
仕事と子育ての両立支援や子育て環境・支援のあり方などについておうかがいします。

【全員の方におうかがいします】

問30 仕事と子育てを両立させる上で大変だと思うことはなんですか。（当てはまるもの全てに○）

- 1 当日急に残業がはいってしまうことが多いこと
- 2 自分が病気・けがをした時や子どもが急に病気になった時に代わりに面倒をみってくれる人がいないこと
- 3 働くことについて配偶者・家族の理解が得られないこと
- 4 子育てしながら働くことについて職場の理解が得られないこと
- 5 子どものほかに身の回りの世話をしなければならない人がいること
- 6 子どもを預ける場所が見つからないこと
- 7 子どもと接する時間が少ないこと
- 8 日々の子どもの成長が見えづらいこと
- 9 子育てサークルなど、子どもを中心としたコミュニティ活動に参加しづらいこと
- 10 その他（)
- 11 仕事と子育てを両立させる上で大変だと思うことはひとつもない

問31 市の子育て環境や支援への満足度について、当てはまる番号1つに○をつけてください。



問32 最後に、子育て環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

以上でアンケートは終了です。ご協力誠にありがとうございました。
ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れて
平成30年10月29日（月）までに ご投函ください。

**武蔵野市子ども・子育て支援に関するアンケート調査報告書
平成31年（2019年）3月**

発行： 武蔵野市 子ども家庭部 子ども政策課

〒180-8777

東京都武蔵野市緑町2-2-28

電話：0422-60-1851 FAX：0422-51-9417